

日本美術年鑑：昭和48年版（1972.1-12）

著者	東京国立文化財研究所美術部（美術研究所） 編
出版年月日	1974-03-25
URL	http://doi.org/10.18953/00005636



YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

昭和 48 年 版 (1972. 1—12)

美術研究所

NATIONAL INSTITUTE OF ART RESEARCH

12—53 UENO-PARK, TAITO-KU. TOKYO

序

本年鑑は昭和11年に発行を開始して以来、毎年の美術界の動向を客観的に捉えるための資料を提供することに主眼をおいてきた。しかし、わが美術界は近年すこぶる活況を呈し、諸美術団体の定期展をはじめとして、随時の展覧会もその数を増し、更に各都市の諸画廊における個展・グループ展等の開催も相次ぎ、また古美術界をみても、国宝・重要文化財の新指定と相表裏して、国・公立博物館や諸財団の美術館における特別展も頻度を増し、加うるに諸新聞社・デパート、あるいはその他の関係団体が企画した国際的な美術展覧会の増加により、新しい文化交流の時代も現出しつつある。一方、東西にわたる美術関係の研究論文や現代美術に関する評論の発表、研究書、解説書、図録類の刊行等もまた枚挙にいとまのない実情である。

本年鑑はこのような美術界の盛況を、その豊富さと多様性において反映させるよう、必要な資料を集約載録して瞭然たらしめることに意を注ぎ、記事採択の適正と内容の充実とに努力している。しかし、前述のような美術界の現状は、もはや記録蒐集機能の限度を越すにいたり、とりわけ美術展覧会の多数化と美術関係施設、美術家の増加は著しいものがあり、その適正な採録は期しがたいと思われるので、美術展覧会はその主要展の記載にとどめ、受賞一覧その他と便覧はやむなく割愛した。なお、この間にも思わぬ過誤や不備の点がないとは限らない。利用される方々の叱正と教示とを得ることができれば幸甚である。

この年鑑の調査と編集は従来通り主として当研究所美術部（美術研究所）第2研究室がこれに当たり、更に古美術関係の項目は資料室・第1研究室が担当、庶務課もこれを援助するところが多かった。なお、年鑑の編集に当っては、常に諸官庁や美術関係の公私機関をはじめ多数の学者作家等の御助力を煩わしたが、殊に文化庁、国立美術館・博物館、各地の諸新聞社、美術館、研究所、学校、美術団体、画廊等の御援助に待つところが少くない。ここにこれら諸機関の当事者諸賢に対して深甚の謝意を表する。

昭和 48 年 12 月

東京国立文化財研究所

美術部長 岡 畏 三 郎

凡 例

1 本年鑑は、昭和47年1月から同年12月に至る1年間の美術界の主要な出来事を掲載した。

1 本年鑑は、「図版」「本欄」の二部からなり、「図版」には上記期間中に発表された注目すべき作品の写真を主として掲載し、「本欄」は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。

なお巻末の「便覧」は昭和44年版以降都合で休止している。

1 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫塑、工藝、書、および建築に限っている。絵画のうち、日本画と洋画の区別は困難な場合もあるが、ほぼ慣例に従った。建築と工藝はわれわれの注意をひく範囲にとどめ、書は古美術に限った。

1 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。

1 美術展覧会の欄は、展覧会名、日付、場所の順に略記したが、場所が東京の場合にすべてこれを略し、デパートの場合には日本橋の高島屋・三越の日本橋を省略した。

1 美術文献目録については項目の初めに凡例を記した。

なお「図版」に用いた写真は主に高林・村井・三友写真研究所の写真と諸雑誌よりの複写によることを記して資料提供の謝意に代えさせていただく。

目次

序	1	目次	4
凡例	3	図版目録	4

〔本欄〕

昭和47年美術界年史	1	目次	93
主要美術展覧会	5	定期刊行物所載文献	94
物語者	59	現代美術・西洋美術	94
美術文献目録	93	東洋古美術	163
凡例	93		

図版目録

日本画

1 群像(山種美術館賞展)	小嶋悠司
2 天草(〃)	小山硬
3 立夏(30回記念日本画院展)	望月春江
4 林(山種美術館賞展)	石田武
5 臥竜魁雪(19回日府展)	児玉三鈴
6 懸泉(57回院展)	岩橋英遠
7 大和のヒミコ王(〃)	安田靉彦
8 暉晨(〃)	樋笠数慶
9 高砂族の舞(〃)	福王寺法林
10 黄昏(〃)	堅山南風
11 醍醐(〃)	奥村土牛
12 北陲(〃)	今野忠一
13 鳴神想(〃)	菊川多賀
14 大原女三題の内(里だより)	
(〃)	森田曠平
15 バビロン王城(〃)	平山郁夫
16 鉢かつぎ姫(〃)	月岡栄貴
17 残照(〃)	後藤純男
18 流紋(36回新制作展)	稗田一穂
19 天橋雪後図(〃)	麻田鷹司
20 塔韻(〃)	平川敏夫
21 砂丘に倚れる(57回院展)	中村貞以
22 光昏(36回新制作展)	工藤甲人
23 寂陽(〃)	信太金昌
24 無遍光(36回新制作展)	近藤弘明
25 暦(4回日屋)	杉山寧
26 鳥と風月(36回新制作展)	山本丘人

27 白韻(4回日展)	下保昭
28 舞妓(36回新制作展)	石本正
29 春(〃)	加山又造
30 一本の木(4回日展)	小野竹喬
31 白馬の森(〃)	東山魁夷
32 富士(〃)	(故)野田九浦
33 囁(〃)	池田遙邨
34 青い実(〃)	三谷十糸子
35 坐す人(〃)	高山辰雄

洋画

36 小さな物語より(小さな村のおはなし(16回新槐樹社展))	早川義孝
37 古椅子とランプの悲しみ(〃)	行元昭子
38 函館(24回立軌展)	牛島憲之
39 くじゃくばと(〃)	五百住乙
40 アラスカ火の鳥(十一会春季展)	丸木俊
41 神津天上山(19回日府展)	竹上義治
42 会津の倉(24回立軌展)	山下大五郎
43 担屋A(24回三軌会展)	松本明也
44 大原女(38回東光展)	河井達海
45 スローン(58回光風会展)	小川博史
46 よりかかる女(58回光風会展)	宮崎進
47 雪原の男(〃)	田村一男
48 ジャガタラ文(〃)	笹岡了一
49 涼をとる(31回創元展)	鈴木千久馬
50 暁(〃)	高島常雄
51 象徴の森(72年モダンアート展)	周襄吉
52 出合い(西方)(〃)	朝妻治郎

53	四人(〃)	村井正誠
54	梓二ヶ(〃)	阪本文男
55	目かくしの告示者(口)(〃)	加藤三男
56	暮色(〃)	出水徹
57	爽秋(48回白日展)	小堀進
58	雪の二月堂より(25回記念示現 会展)	梶原健三
59	北の漁村(〃)	葛西四雄
60	村(49回春陽展)	前田舜敏
61	スペイン人形(41回朔日会展)	羽藤淑子
62	八角のコンポジション—赤(49 回春陽展)	松村禎夫
63	老松(〃)	加山四郎
64	河原(B)(〃)	志村一男
65	赤と緑(46回国展)	張替正次
66	月に献ず(〃)	立石鉄臣
67	童(〃)	宇治山哲平
68	女の顔(〃)	里見勝蔵
69	増幅する(〃)	福留章太
70	吹奏(11回十柯会展)	柳瀬俊雄
71	髪を洗う(越後贅女日記展)	斎藤真一
72	作品1(神原泰絵画展)	神原泰
73	休む道化(11回十柯会展)	阪倉宜暢
74	黄色い迷牒(68回太平洋美術展)	岸本政尚
75	じゃがたら文(11回十柯会展)	笹岡了一
76	サンマルコ聖堂(68回太平洋美 術展)	長岡忠三郎
77	女の肖像シリーズ(たわむれ) (15回記念新象展)	下田悌三郎
78	裸女習作(60回日本水彩展)	石井鶴三
79	トランシヨットのある風景(20 回記念光陽会展)	奥竜之介
80	空しき祈願(8回主体美術展)	森芳雄
81	上流(〃)	賀川忠
82	都市の虚構A(〃)	大村連
83	石の中1(〃)	小谷博貞
84	牛と馬とB(〃)	土井栄
85	洞窟の炎(26回女流画家展)	糸田玲子
86	むらさきの椅子(26回女流画家 展)	沢村美佐子
87	断章(ウガンダ)(〃)	西野久子
88	過る女(57回二科展)	大沢昌助
89	虹と花(〃)	鷹山宇一
90	ハンモックの少女(〃)	織田広喜
91	花と母娘(〃)	北川民次
92	転流(27回行動展)	田中稔之
93	半信半疑(〃)	江見絹子
94	サクロファガス(石棺)(〃)	田中忠雄
95	瀬戸内海南浦の朝(18回一陽展)	野間仁根
96	市邑(27回行動展)	大森朔衛

97	河のけむり(ベナレスにて) (〃)	前川佳子
98	メクネス(18回一陽展)	田所満男
99	倅(〃)	中村亮一郎
100	偽りの青空—大きなリンゴ (〃)	森秀雄
101	焼かれたる阿蘇の根子岳(34回 一水会展)	田崎広助
102	バルト海の集落(〃)	浮田克躬
103	室内(〃)	仲田好江
104	花のマリア(〃)	小松崎邦雄
105	木曾の峠(〃)	中村琢二
106	ダチウラ咲く伊豆(〃)	納富進
107	認証式(36回自由美術展)	井上長三郎
108	ある記憶(〃)	大成節子
109	鏡の中の女(三尾公三展)	三尾公三
110	白日夢(36回自由美術展)	八幡健二
111	赤い椅子と裸婦(〃)	伊藤朝彦
112	出口(〃)	大成瓢吉
113	女神誕生(祝舞)(36回新制作展)	山東洋
114	室内A(〃)	小磯良平
115	橙色の空間(36回自由美術展)	藤沢喬
116	VENUS ANADYOMENE(三部 作の内其二)(26回二紀展)	宮本三郎
117	座す(〃)	中西勝博
118	女(〃)	鈴木博
119	サンクルー(パリ郊外)(40回独 立展)	高島達四郎
120	向島(〃)	斎藤長三
121	Ⅱ(〃)	森兵五
122	朱音(〃)	松樹路人
123	うづくまる(〃)	中間冊夫
124	赤い鳥B(〃)	高間惣七
125	三相万華Ⅳ(ヨーロッパの日本 作家展)	田渕安一
126	那智の火祭り(40回独立展)	野口弥太郎
127	或る姉妹(〃)	芝田米三
128	ボンベイ(〃)	山本正
129	少女白衣(〃)	林武
130	作品(ヨーロッパの日本作家展)	松谷武判
131	まつり(〃)	菅井汲
132	夕日観音(4回日展)	堀田清治
133	裸婦(〃)	村岡平蔵
134	海辺の花畑(〃)	高田誠
135	朝(〃)	南政善
136	管絃祭(〃)	井手宣通

版 画

137	青空に消えた虹色の紙('72年モ ダンアート展)	吹田文明
-----	-----------------------------	------

目 次

- 138 海を視る(40回日本版画協会展)……吉 田 千鶴子
 139 水のうた 6(〃)……………岩 見 禮 花
 140 瓶とさくらんぼ(ヨーロッパの
 日本作家展)……………浜 口 陽 三
 141 Zone<72-9>Ⅱ(8回東京国
 際版画ビエンナーレ展)……………二 村 裕 子
 142 ランドスケープス(40回日本版
 画協会展)……………吉 田 穂 高
 143 No. Focus 72-25,26(8回東
 京国際版画ビエンナーレ展)……原 健

彫 刻

- 144 風・一人(48回白日展)……………峯 田 義 郎
 145 軌獣頭A(24回三軌会展)……………岡 三樹雄
 146 帆(個展)……………住 谷 正 巳
 147 アテナ(24回三軌会展)……………大 和 作 内
 148 山景(個展)……………山 本 衛 士
 149 高山右近の像(高槻市市民会館
 前広場)……………西 森 正 昭
 150 目の修理('72年モダンア ー ト
 展)……………高 木 辰
 151 作品B(〃)……………橋 本 正 司
 152 青年(2 回目彫展)……………清 水 多嘉示
 153 記念撮影(46回国展)……………鈴 木 実
 154 相対する 2つの正三角錐(7 回
 ジャパン・アート・フェスティ
 バル)……………小 田 襄
 155 作品(個展)……………速 水 史 朗
 156 水の中の太陽(26回新樹会展)……原 武 典
 157 裸女群(21回創型会展)……………村 井 辰 夫
 158 頭蓋(2 回目彫展)……………安 田 周三郎
 159 ヴィーナス試作(68回太平洋美
 術展)……………三 沢 寛
 160 何処へ行けばよいのか(個展)……石 黒 鏘 二
 161 物性(〃)……………原 口 典 之
 162 クレタの渚(57回二科展)……………淀 井 敏 夫
 163 方形上の胸像(〃)……………倉 沢 実
 164 SU No. 2(27回行動展)……………中 島 快 彦
 165 儀式(〃)……………建 畠 寛 造
 166 翁仲(36回新制作展)……………菅 原 安 男
 167 三角三ヶ(18回一陽展)……………横 沢 英 一
 168 たね(36回新制作展)……………五十嵐 芳 三
 169 業(〃)……………一 色 邦 彦
 170 全治三週間面会謝絶(26回二紀
 展)……………邑 田 五 朗
 171 帽子・夏(36回新制作展)……………佐 藤 忠 良
 172 道元(〃)……………細 川 宗 英
 173 焰と土(〃)……………加 藤 昭 男
 174 ひとNo.13(〃)……………高 橋 清
 175 土(26回二紀展)……………小 島 弘

- 176 坐す(〃)……………矢 形 勇
 177 テンションとコンプレッション
 (個展)……………篠 田 守 男
 178 塀の内外(36回自由美術展)……………池 田 宗 弘
 179 黄金餓鬼(〃)……………島 田 忠 恵
 180 つぶれるつぶれない(〃)……………松 本 光 司
 181 空間への弓状のかたち(須磨離
 宮公園 3 回現代彫刻展)……………江 口 週
 182 ダブル・ピーマン(個展)……………山 口 牧 生
 183 作品(須磨離宮公園 3 回現代彫
 刻展)……………土 谷 武
 184 24の部分からなる円筒体(〃)……河 口 竜 夫
 185 瞭くあきらか>(4 回目展)……………圓 鋳 元 規
 186 習作構成第二号(〃)……………堀 進 二
 187 みのり(〃)……………佐々木 大 樹
 188 華(4 回目展)……………平 原 孝 明
 189 風韻(〃)……………柴 田 篤 男
 190 フォルム I(〃)……………三 坂 耿一郎

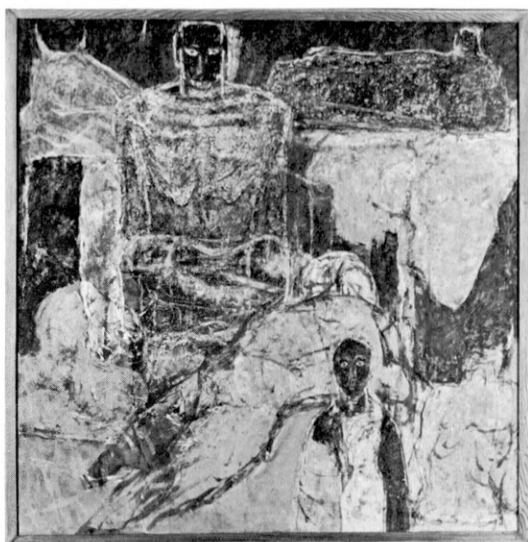
遺作・回顧

- 191 石と茎(宇治山哲平展)……………宇治山 哲 平
 192 遊女(伊東深水展)……………伊 東 深 水
 193 秘儀の空間(前田常作展)……………前 田 常 作
 194 初秋(中村研一遺作展)……………中 村 研 一
 195 滝と残雪(山本丘人展)……………山 本 丘 人
 196 クリスタル花瓶(東京国立近代
 美術館開館20年 記念「現代の
 眼・近代日本の美術から」展)……各 務 鉦 三
 197 朝顔日記(横山大観展)……………横 山 大 観
 198 鏡(児島善三郎展)……………児 島 善三郎
 199 扇を持つ婦人(平賀亀祐遺作展)……平 賀 亀 祐

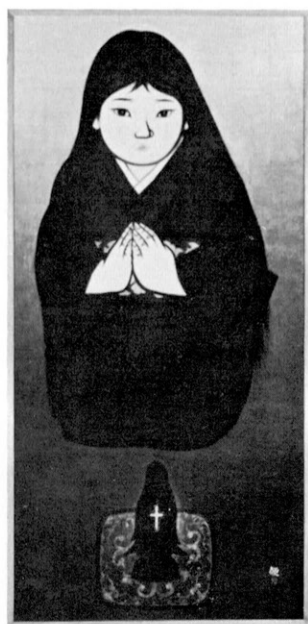
外 国

- 200 若い男の肖像(デューラーとド
 イツ・ルネッサンス展)……………アルブレヒト・
 デューラー
 201 アダム、なぜお前はふるえるの
 か(ウィーン幻想絵画展)……………ルドルフ・ハウ
 ズナー
 202 マテリア(近代イタリア美術の
 巨匠たち展)……………ウンベルト・
 ボッチョーニ
 203 蝶一銀(8回東京国際版画ビエ
 ンナーレ展)……………オットー・ビー
 ネ
 204 マリーサ(エミリオ・グレコ
 展)……………エミリオ・グレ
 コ
 205 「模型と素描」から(現代スウェ
 ーデン美術展)……………シーヴェット・
 リンドブロム
 206 マスクの装飾のある柱頭(フラ
 ンスの中世美術展)

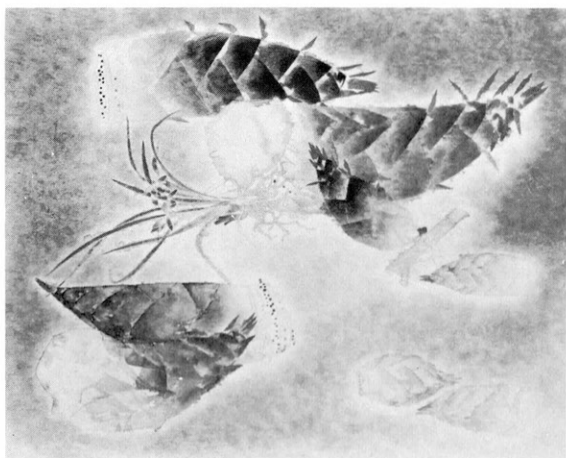
図 版



1 群像 (山種美術館賞展) 小嶋悠司



2 天草 (山種美術館賞展)
小山 硬



3 立夏 (30回記念日本画院展) 望月春江



4 林 (山種美術館賞展) 石田 武

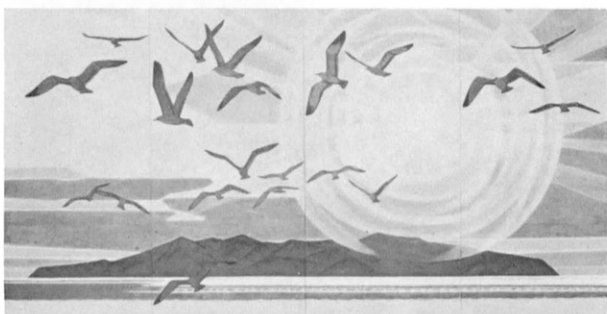
日本画



5 臥竜魁雪 (19回日府展) 児玉三鈴



6 懸泉 (57回院展) 岩橋英遠



8 暉晨 (57回院展) 樋笠数麿



9 高砂族の舞 (57回院展) 福王寺法林



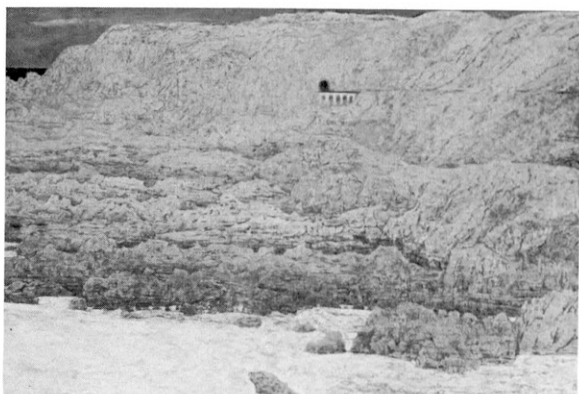
10 黄昏 (57回院展) 堅山南風



7 大和のヒミコ王 (57回院展)
安田靉彦



11 醍醐 (57回院展) 奥村土牛



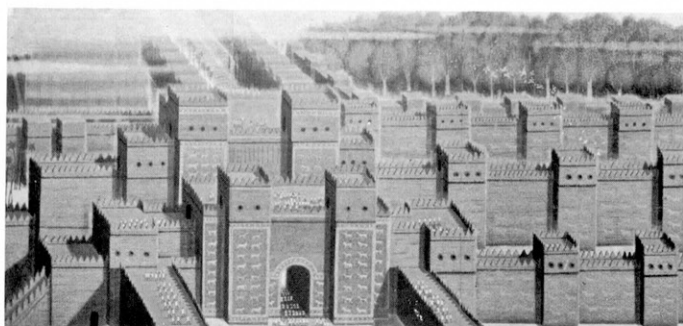
12 北陸 (57回院展) 今野 忠一



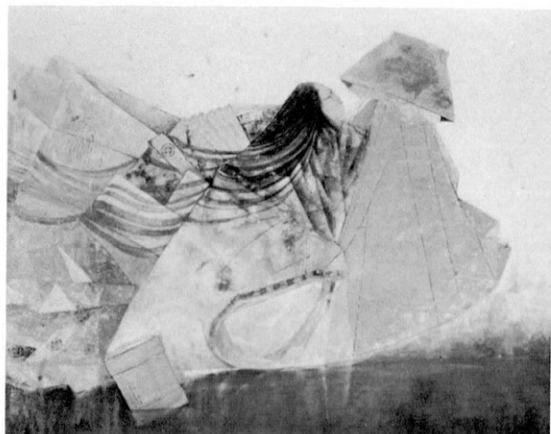
13 鳴神想 (57回院展) 菊川 多賀



14 大原女三題の内(里だより)
(57回院展) 森田 曠平



15 バビロン王城 (57回院展) 平山 郁夫



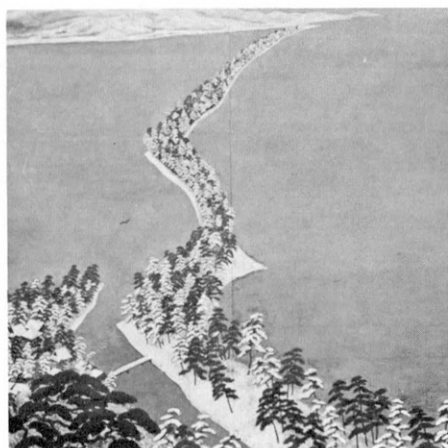
16 鉢かつき姫 (57回院展) 月岡 栄貴



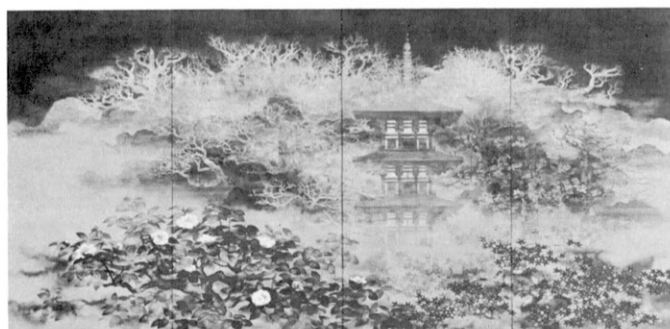
17 残照 (57回院展) 後藤 純男



18 流紋 (36回新制作展) 穂田 一穂



19 天橋雪後図 (36回新制作展) 麻田 鷹司



20 塔韻 (36回新制作展) 平川 敏夫



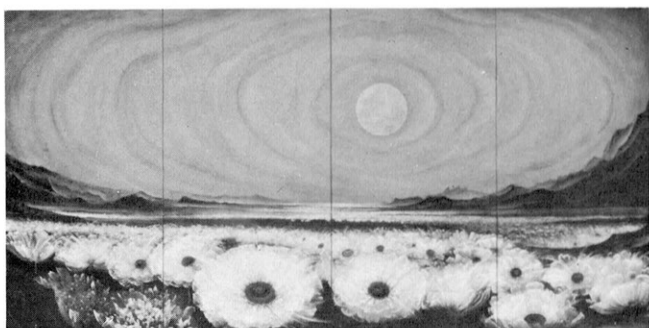
21 砂丘に倚れる (57回院展) 中村 貞以



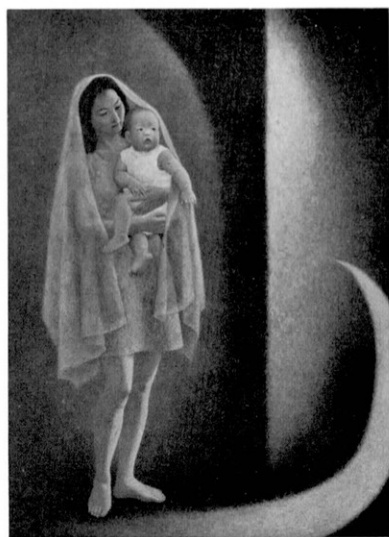
22 光昏 (36回新制作展) 工藤 甲人



23 寂陽 (36回新制作展) 信太 金昌



24 無遍光 (36回新制作展) 近 藤 弘 明



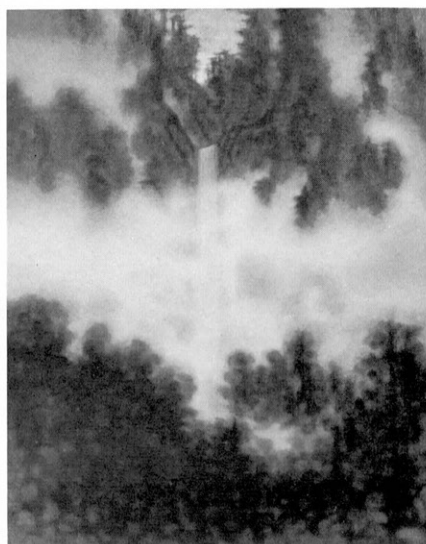
25 暦 (4回日展) 杉 山 寧



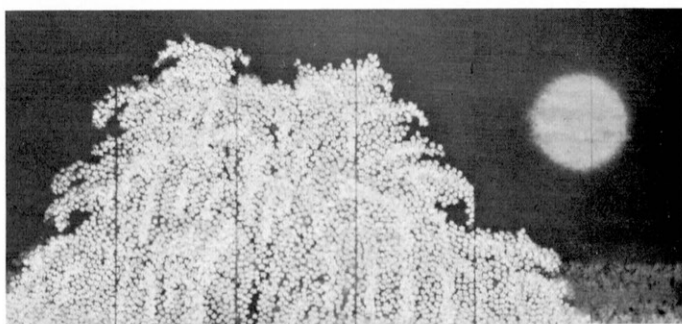
26 鳥と風月 (36回新制作展) 山 本 丘 人



28 舞妓 (36回新制作展) 石 本 正



27 白韻 (4回日展) 下 保 昭



29 春朧 (36回新制作展) 加 山 又 造



30 一本の木（4回日展）小野竹喬



31 白馬の森（4回日展）東山魁夷



32 富士（4回日展）畠野田九浦



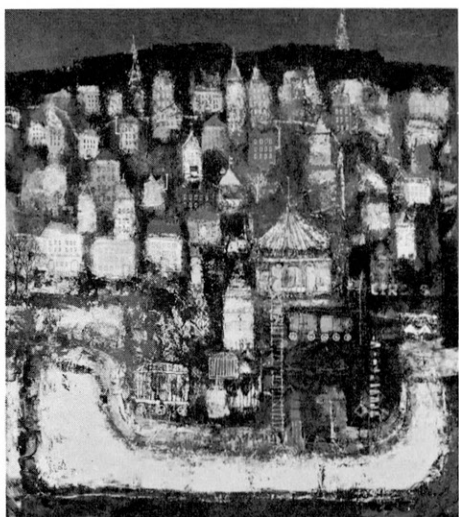
33 囁（4回日展）池田蓬邨



34 青い実（4回日展）三谷十糸子



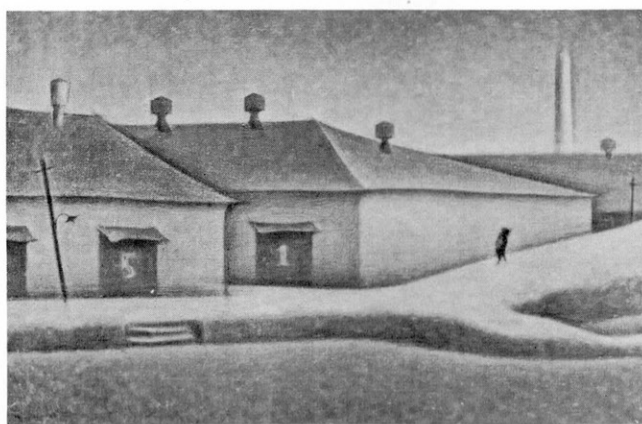
35 坐す人（4回日展）高山辰雄



36 小さな物語より (小さな村のおはなし)
(16回新槐樹社展) 早川 義孝



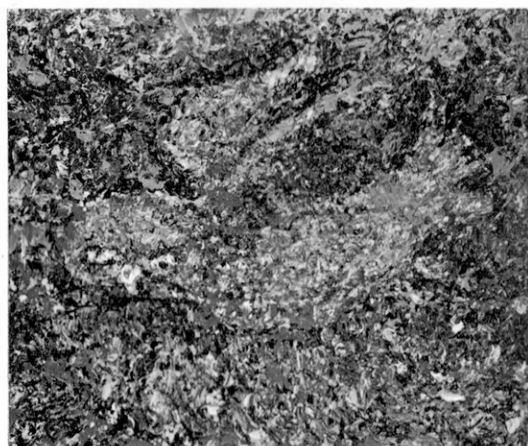
37 古椅子とランプの悲しみ
(16回新槐樹社展) 行元 昭子



38 函館 (24回立軌展) 牛島 憲之



39 くじゃくばと (24回立軌展) 五百住 乙



40 アラスカ火の鳥 (十一会春季展) 丸木 俊



41 神津天山 (19回日府展) 竹上 義治

洋 画



42 会津の倉 (24回立軌展) 山下 大五郎



43 担屋 A (24回三軌会展) 松本 明也



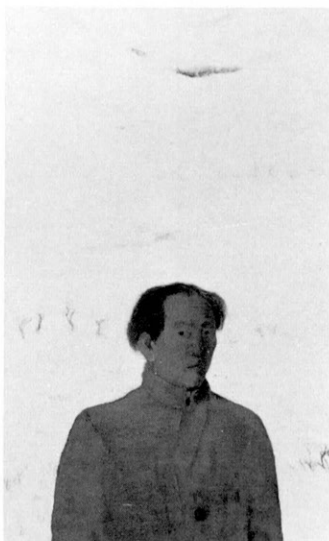
44 大原女 (38回東光展) 河井 達海



45 スローン (58回光風会展) 小川 博史



46 よりかかる女 (58回光風会展) 宮崎 進



47 雪原の男 (58回光風会展)
田村 一男



48 ジャガタラ文 (58回光風会展)
笹岡 了一



49 涼をとる (31回創元展) 鈴木 千久馬



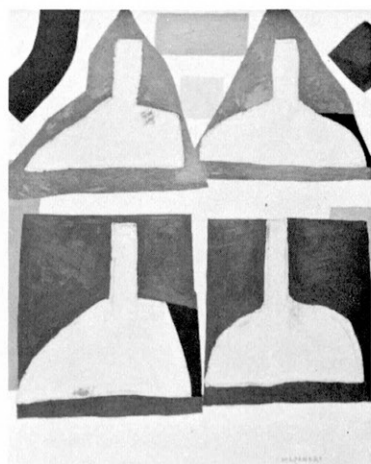
50 暁 (31回創元展) 高島 常雄



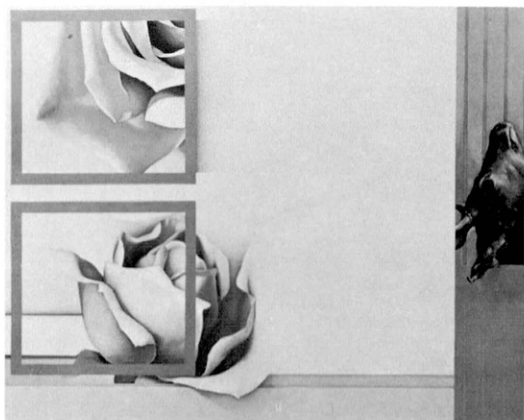
51 象徴の森 ('72年モダンアート展)
周 襄吉



52 出会い (西方)
('72年モダンアート展) 朝 妻 治 郎



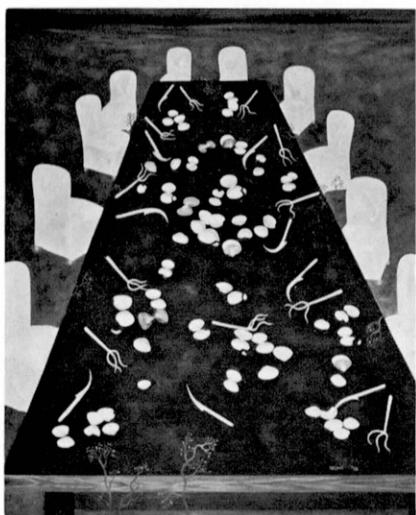
53 四人 ('72年モダンアート展)
村 井 正 誠



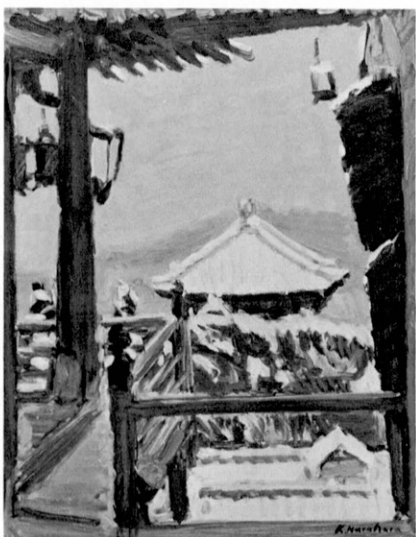
54 梓二ヶ ('72年モダンアート展) 阪 本 文 男



55 目かくしの告示者 (ロ)
('72年モダンアート展) 加 藤 三 男



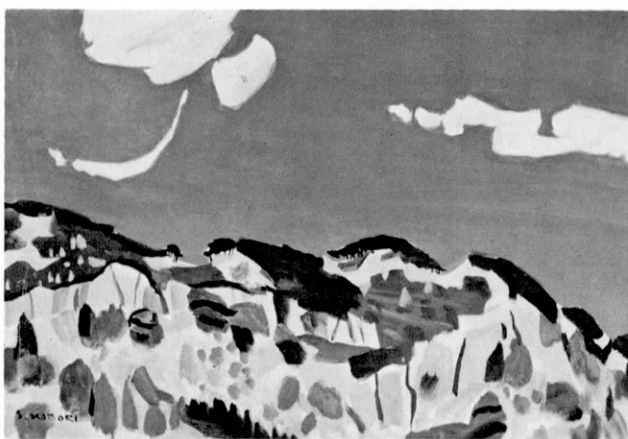
56 暮色 ('72年モダンアート展) 出水 徹



58 雪の二月堂より (25回記念示現会展) 榎原 健三



60 村 (49回春陽展) 前田 舜敏



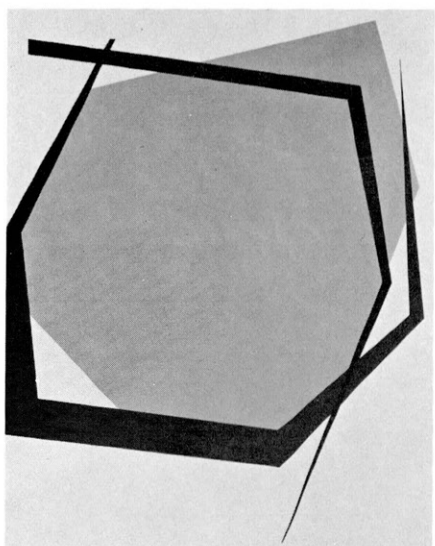
57 爽秋 (48回白日展) 小堀 進



59 北の漁村 (25回記念示現会展) 葛西 四雄



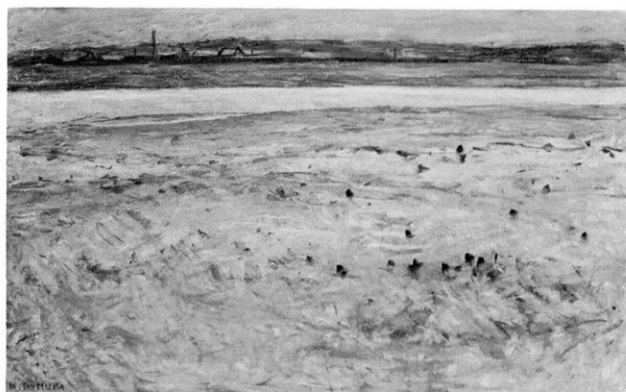
61 スペイン人形 (41回朔日会展) 羽藤 淑子



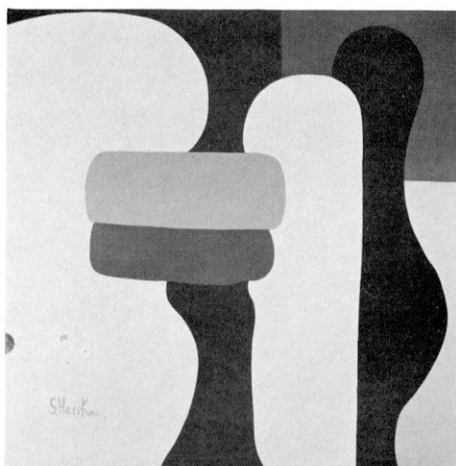
62 八角のコンポジションー赤
(49回春陽展) 松村 禎夫



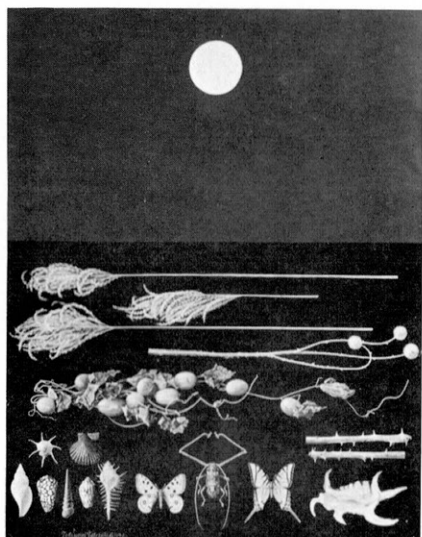
63 老松 (49回春陽展) 加山 四郎



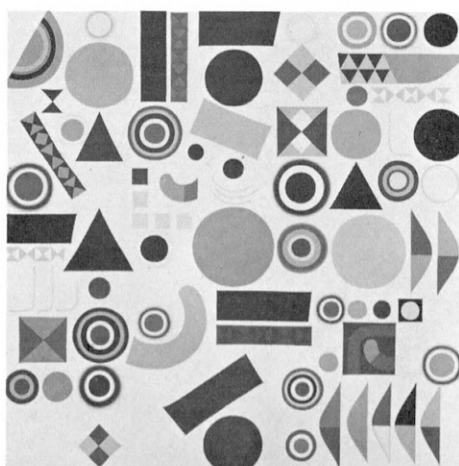
64 河原 (B) (49回春陽展) 志村 一男



65 赤と緑 (46回国展) 張 替 正 次



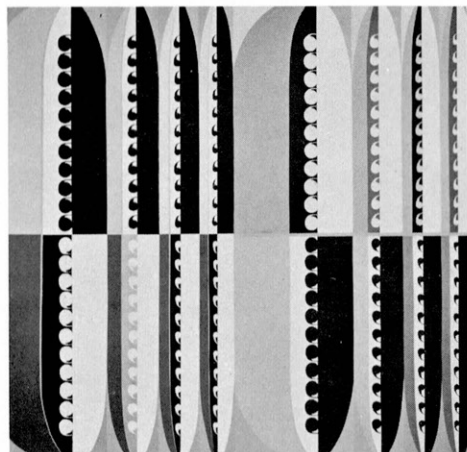
66 月に献ず (46回国展) 立石 鉄臣



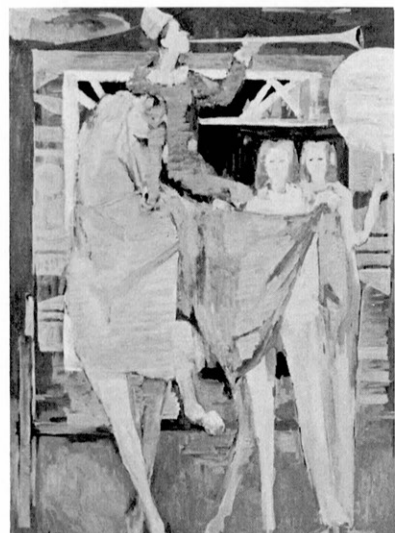
67 童 (46回国展) 宇治山 哲平



68 女の顔 (46回国展) 里見 勝蔵



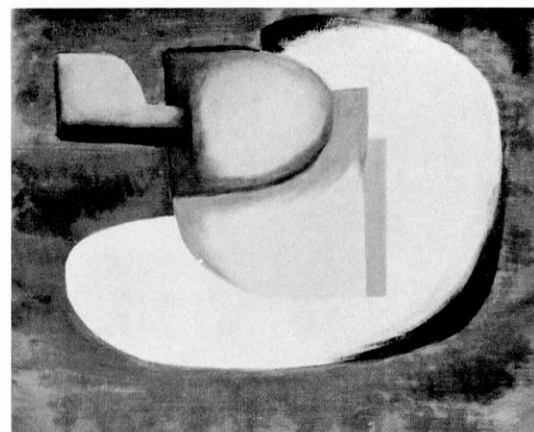
69 増幅する (46回国展) 福留 章太



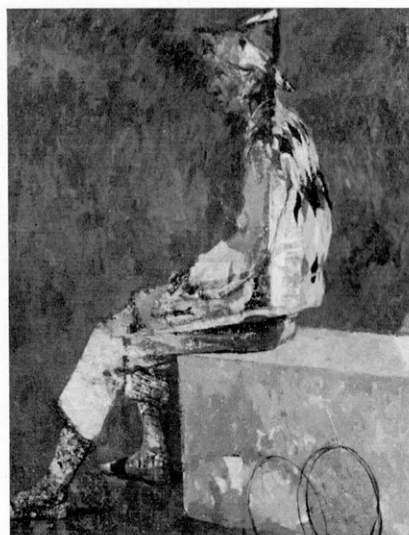
70 吹奏 (11回十柯会展) 柳 瀬 俊 雄



71 髪を洗う (越後賢女日記展) 斎 藤 真 一



72 作品1 (神原泰絵画展) 神 原 泰



73 休む道化 (11回十柯会展) 阪 倉 宜 暢



74 黄色い迷蝶 (68回太平洋美術展) 岸 本 政 尚



75 ジャがたら文 (11回十珂会展) 笹 岡 了 一



76 サンマルコ聖堂 (68回太平洋美術展) 長 岡 忠三郎



77 女の肖像シリーズ (たわむれ)
(15回記念新象展) 下 田 梯三郎



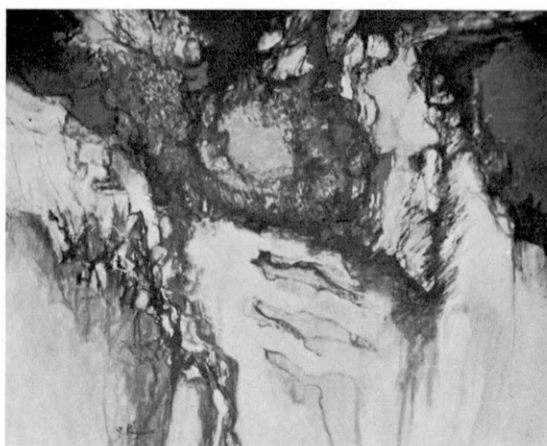
78 裸女習作 (60回日本水彩展) 石 井 鶴 三



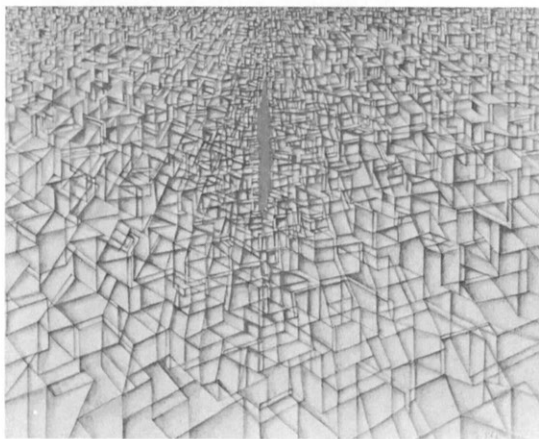
79 トランショットのある風景 (20回記念光陽会展) 奥 竜之介



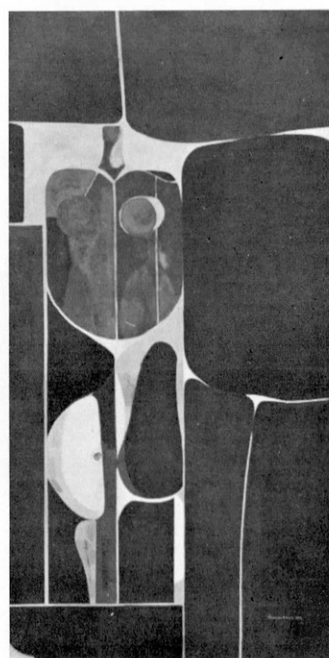
80 空しき祈願 (8回主体美術展) 森 芳雄



81 上流 (8回主体美術展) 賀川 忠



82 都市の虚構 A (8回主体美術展) 大村 連



83 石の中 1 (8回主体美術展)
小谷 博貞



84 牛と馬と B (8回主体美術展) 土井 栄



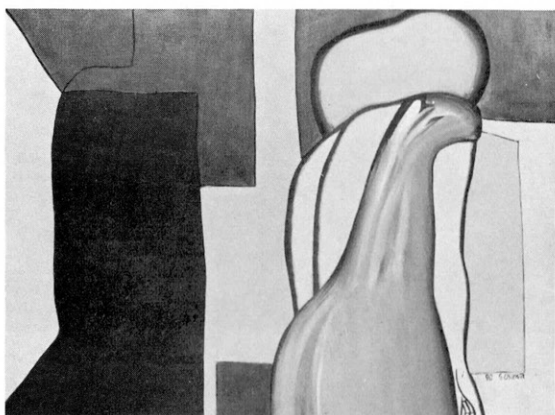
85 洞窟の炎 (26回女流画家展) 糸田 玲子



86 むらさきの椅子 (26回女流画家展) 沢村 美佐子



87 断章 (ウガンダ) (26回女流画家展) 西野 久子



88 過る女 (57回二科展) 大沢 昌助



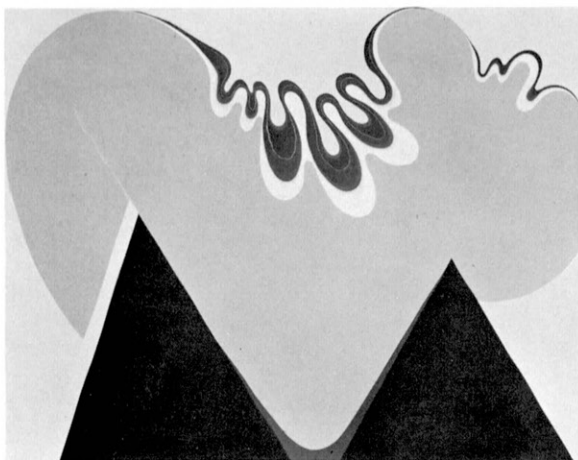
89 虹と花 (57回二科展) 鷹山 宇一



90 ハンモックの少女 (57回二科展) 織田 広喜



91 花と母娘 (57回二科展) 北川 民次



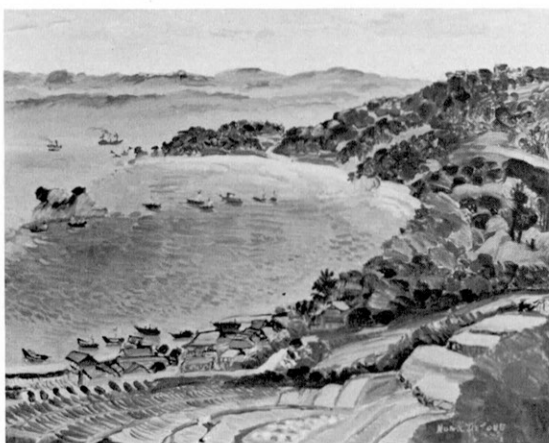
92 転流 (27回行動展) 田中 稔之



93 半信半疑 (27回行動展) 江見 絹子



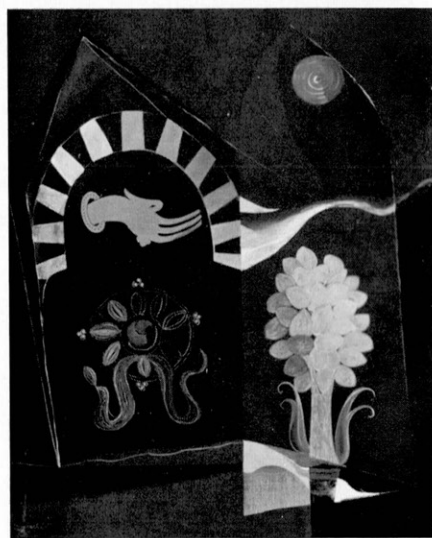
94 サクロファガス (石棺) (27回行動展) 田中 忠雄



95 瀬戸内海南浦の朝 (18回一陽展) 野間 仁根



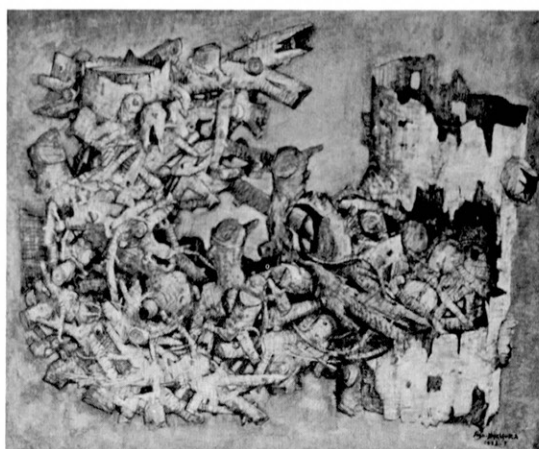
96 市邑 (27回行動展) 大森 朝衛



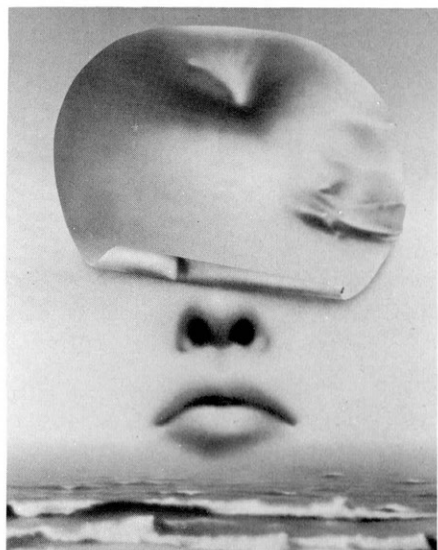
97 河のけむり (ベナレスにて)
(27回行動展) 前川 佳子



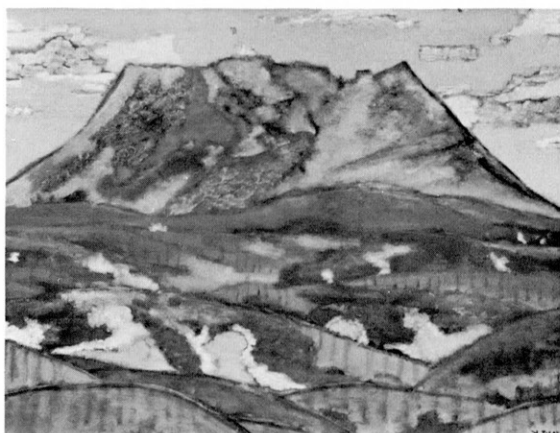
98 メクネス (18回一陽展) 田 所 満 男



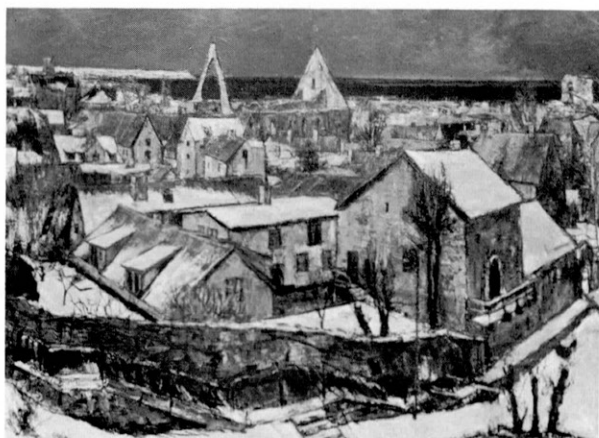
99 倅 (18回一陽展) 中 村 亮一郎



100 偽りの青空一大きなリング
(18回一陽展) 森 秀 雄



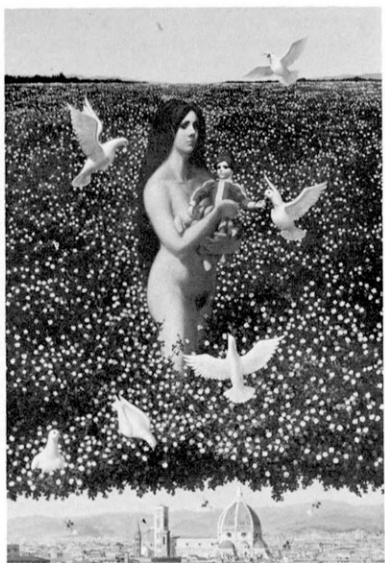
101 焼かれたる阿蘇の根子岳 (34回一水会展) 田 崎 広 助



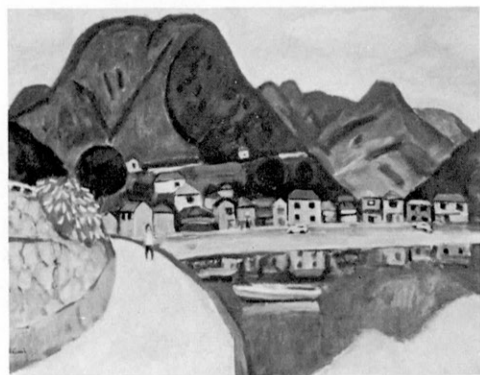
102 バルト海の集落 (34回一水会展) 浮 田 克 躬



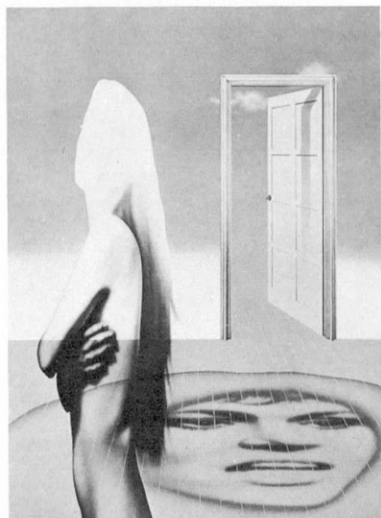
103 室内 (34回一水会展) 仲 田 好 江



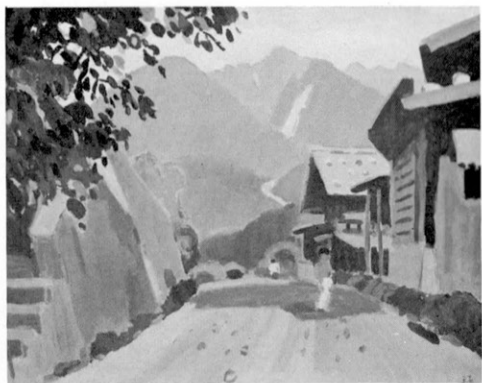
104 花のマリア (34回一水会展) 小松崎 邦 雄



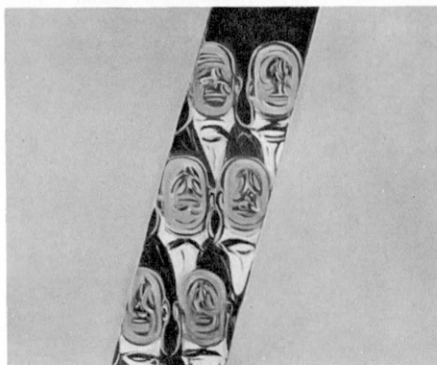
106 ダチウラ咲く伊豆 (34回一水会展) 納 富 進



109 鏡の中の女 (三尾公三展) 三 尾 公 三



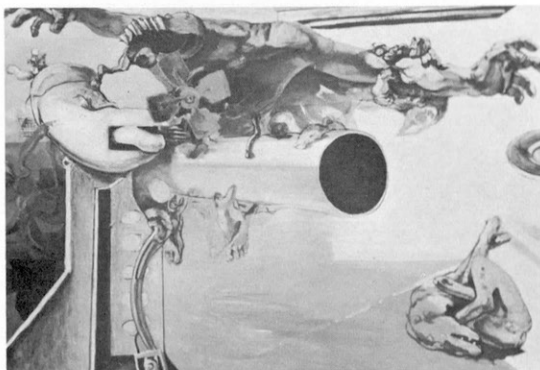
105 木曾の峠 (34回一水会展) 中 村 琢 二



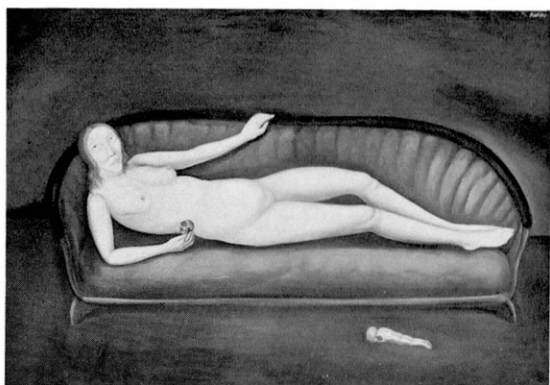
107 認証式 (36回自由美術展) 井 上 長三郎



108 ある記憶 (36回自由美術展) 大 成 節 子



110 白日夢 (36回自由美術展) 八 幡 健 二



111 赤い椅子と裸婦 (36回自由美術展) 伊藤朝彦



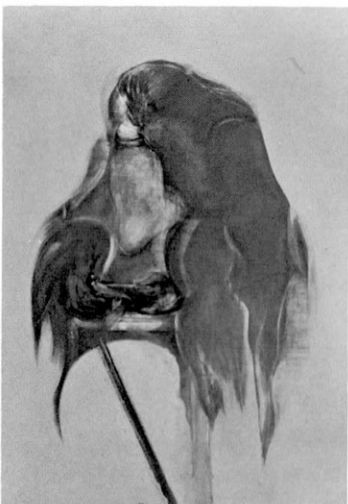
112 出口 (36回自由美術展) 大成瓢吉



113 女神誕生(祝舞) (36回新制作展) 山東洋



114 室内A (36回新制作展) 小磯良平



115 橙色の空間 (36回自由美術展)
藤沢 喬



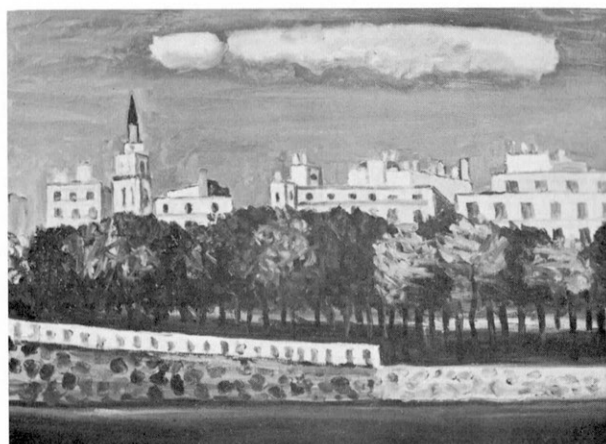
116 VENUS ANA DYOMENE
(三部作の内其二) (26回二紀展)
宮本三郎



117 座す (26回二紀展) 中西勝



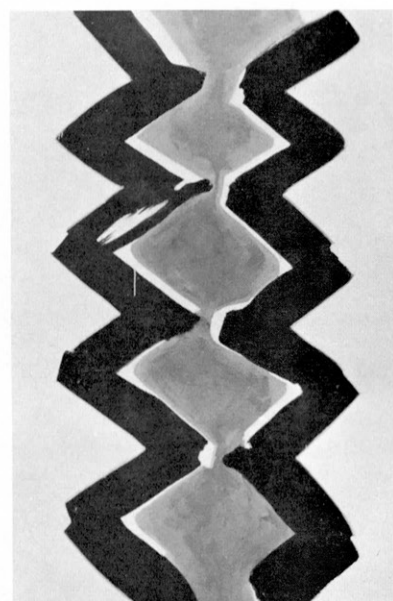
118 女 (26回二紀展) 鈴木 博



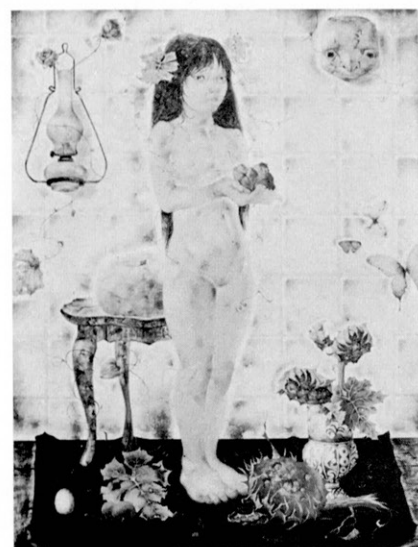
119 サンクルー (パリ郊外) (40回独立展) 高 島 達四郎



120 向島 (40回独立展) 斎 藤 長 三



121 II (40回独立展) 森 兵 五



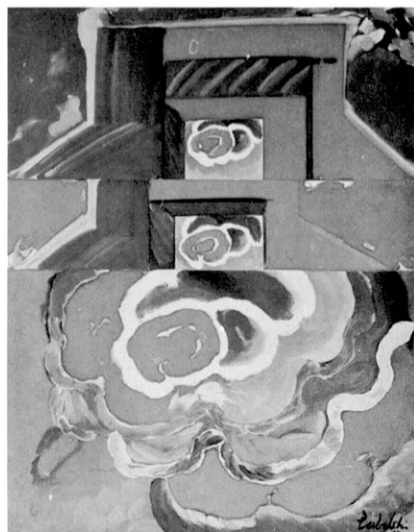
122 朱音 (40回独立展) 松 樹 路 人



123 うづくまる (40回独立展) 中 間 冊 夫



124 赤い鳥B (40回独立展) 高 間 惣 七



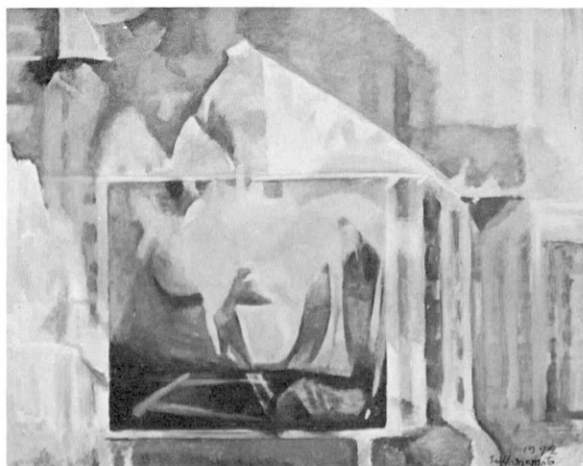
125 三相万華Ⅳ (ヨーロッパの日本作家展)
田 淵 安 一



126 那智の火祭り (40回独立展) 野 口 弥太郎



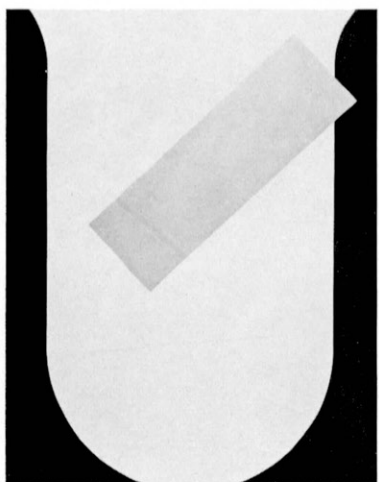
127 或る姉妹 (40回独立展) 芝 田 米 三



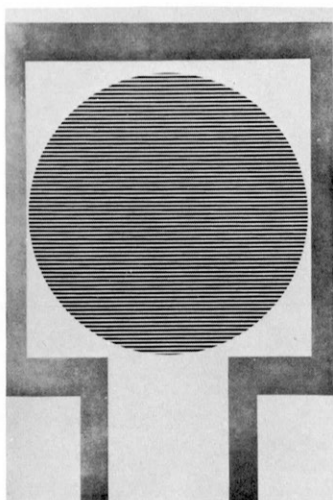
128 ポンペイ (40回独立展) 山 本 正



129 少女白衣 (40回独立展) 林 武



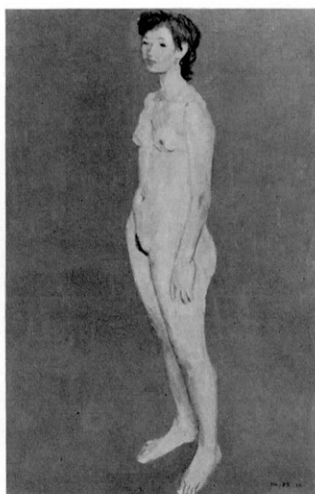
130 作品 (ヨーロッパの日本作家展) 松谷武判



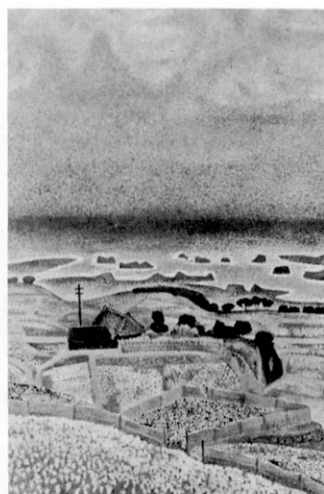
131 まつり (ヨーロッパの日本作家展) 菅井汲



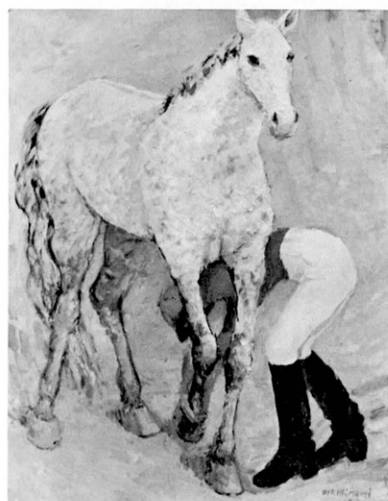
132 夕日観音 (4回日展) 堀田清治



133 裸婦 (4回日展) 村岡平蔵



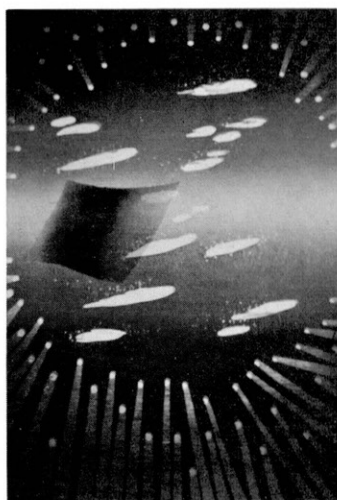
134 海辺の花畑 (4回日展) 高田誠



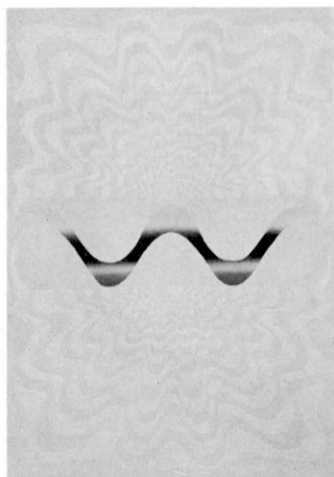
135 朝 (4回日展) 南政善



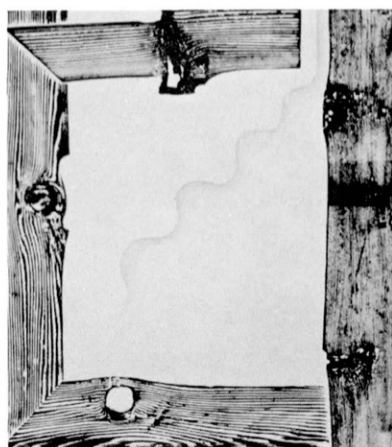
136 管絃祭 (4回日展) 井手宣通



137 青空に消えた虹色の紙
(’72年モダンアート展) 吹 田 文 明

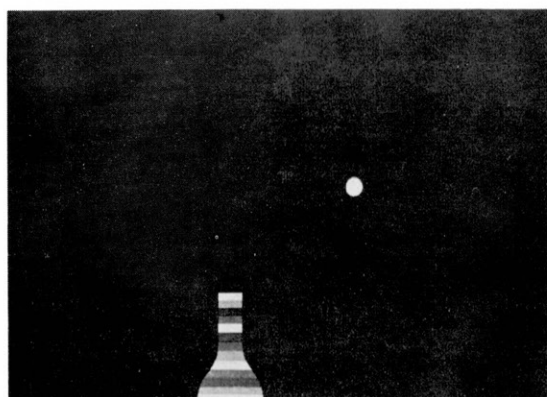


138 海を視る (40回日本版画協会展)
吉 田 千鶴子

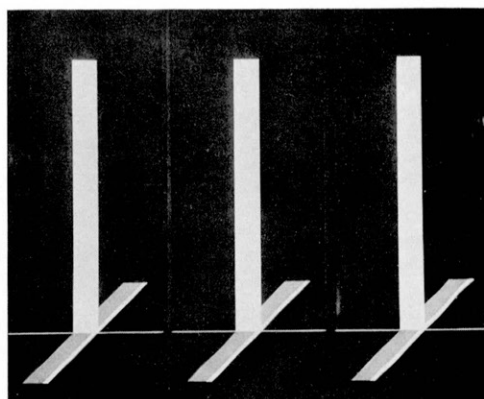


139 水のうた 6 (40回日本版画協会展)

岩 見 禮 花



140 瓶とさくらんぼ (ヨーロッパの日本作家展) 浜 口 陽 三

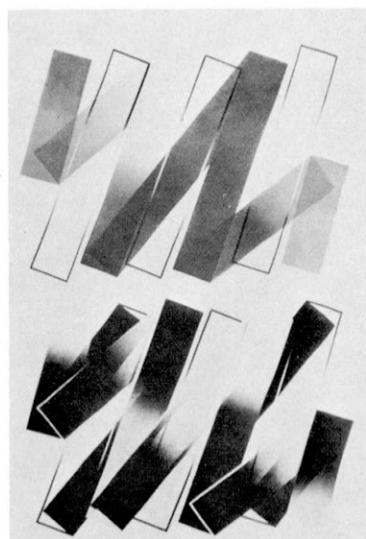


141 Zone 〈72-9〉Ⅱ (8回東京国際版画ビエンナーレ展)
二 村 裕 子

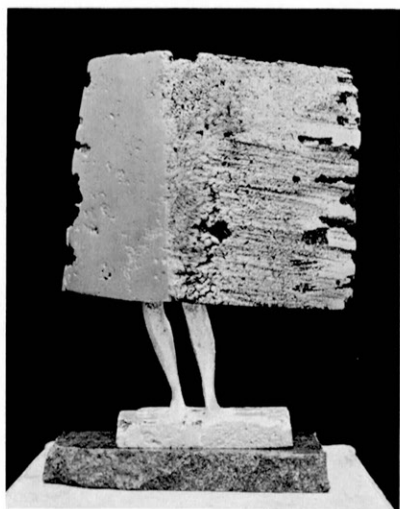


142 ランドスケープ (40回日本版画協会展) 吉 田 穂 高

版 画



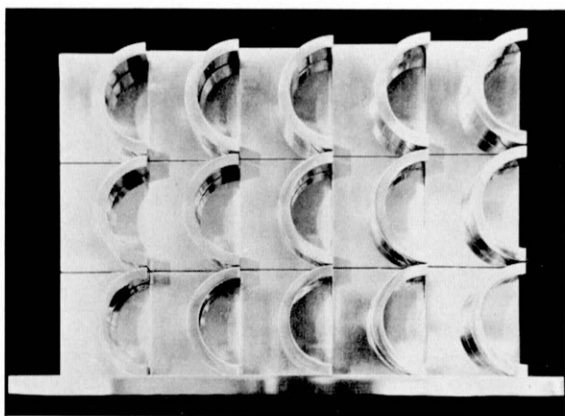
143 NO. Focus 72-25, 26 (8回東京国際版画
ビエンナーレ展) 原 健



144 風・一人 (48回白日展) 峯 田 義 郎



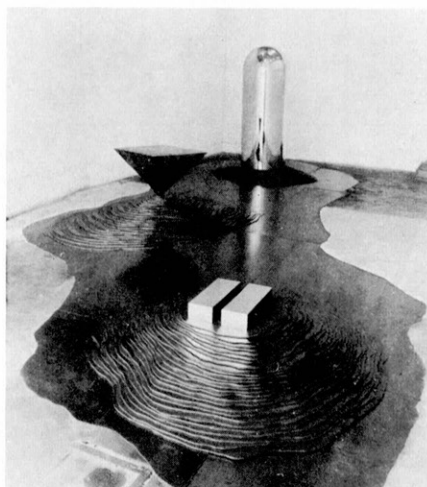
145 獣頭 A (24回三軌会展) 岡 三樹雄



146 帆 (個展) 住 谷 正 巳



147 アテナ (24回三軌会展)
大 和 作 内

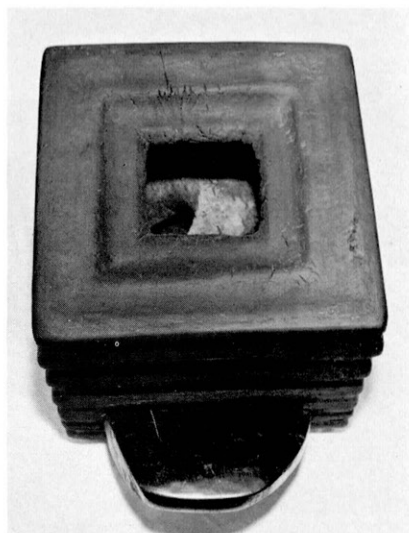


148 山景 (個展) 山 本 衛 士

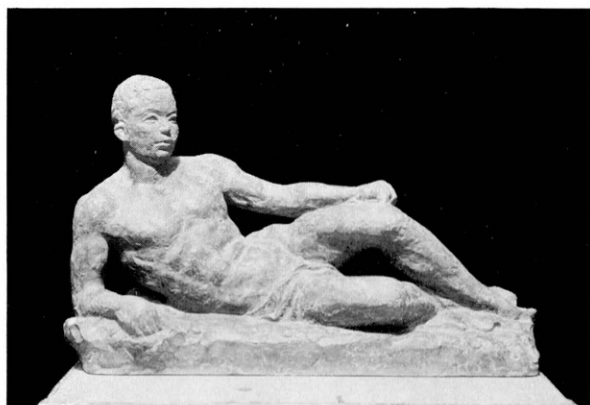


149 高山右近の像 (高槻市市民会館前広場)
西 森 正 昭

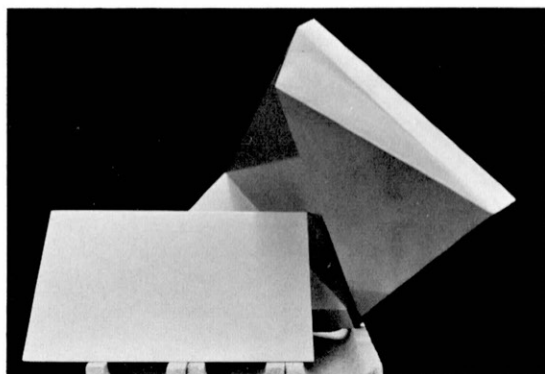
彫 刻



150 目の修理（'72年モダンアート展）高 木 辰



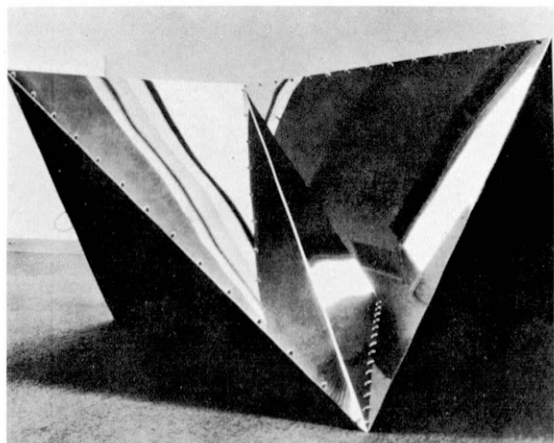
152 青年（2回日影展）清 水 多嘉示



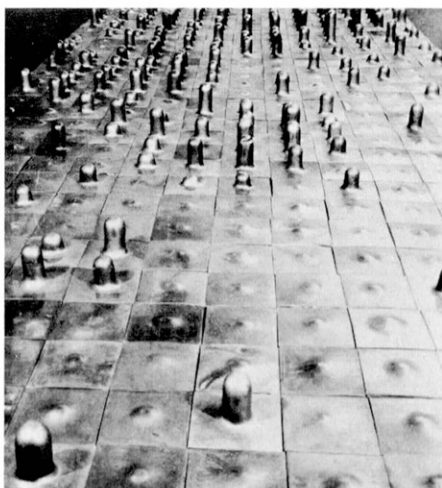
151 作品B（'72年モダンアート展）橋 本 正 司



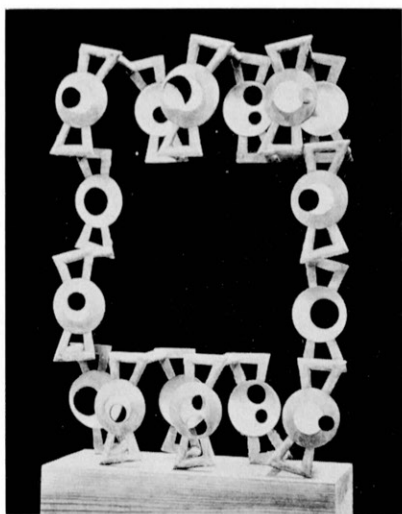
153 記念撮影（46回国展）鈴 木 実



154 相対する2つの正三角錐
（7回ジャパン・アート・フェスティバル）小 田 豊



155 作品（個展）速 水 史 朗



156 水の中の太陽 (26回新樹会展) 原 武 典



157 裸女群 (21回創型会展) 村 井 辰 夫



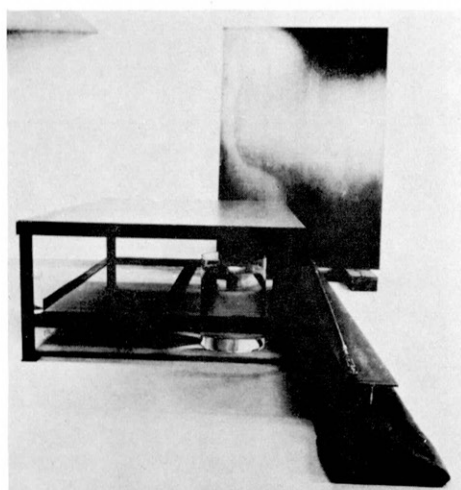
158 頭蓋 (2回日影展) 安 田 周三郎



159 ヴィーナス試作
(68回太平洋美術展) 三 沢 寛



160 何処へ行けばよいのか (個展)
石 黒 鎧 二



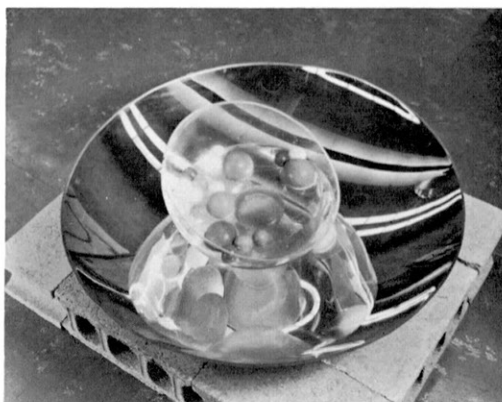
161 物性 (個展) 原 口 典 之



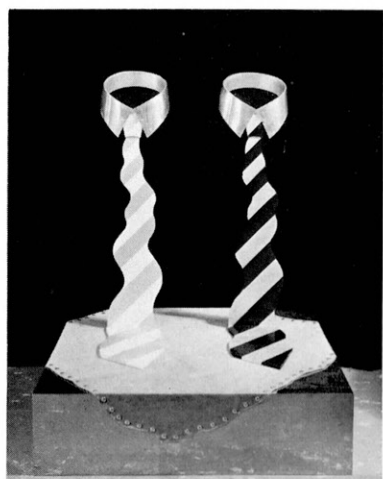
162 クレタの渚 (57回二科展) 淀 井 敏 夫



163 方形上の胸像 (57回二科展) 倉沢 実



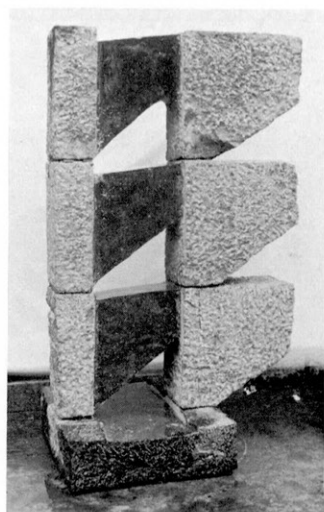
164 SU NO.2 (27回行動展) 中島 快彦



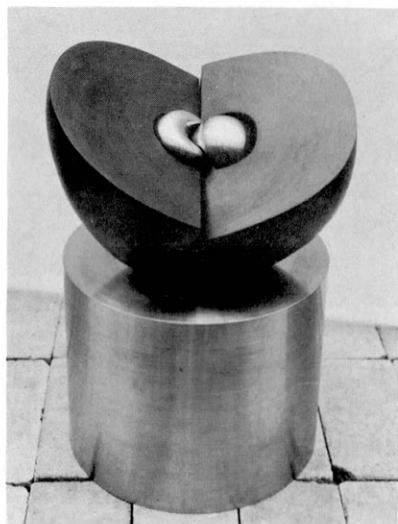
165 儀式 (27回行動展) 建畠 寛造



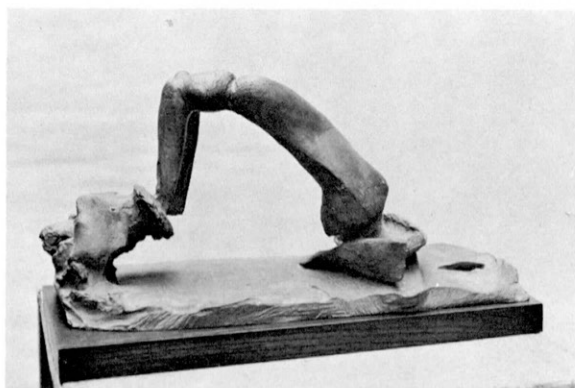
166 翁仲 (36回新制作展) 菅原 安男



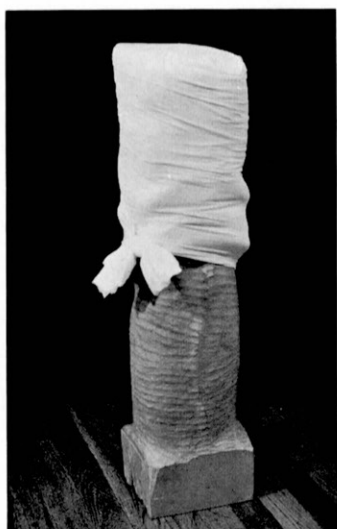
167 三角三ヶ (18回一陽展)
横沢 英一



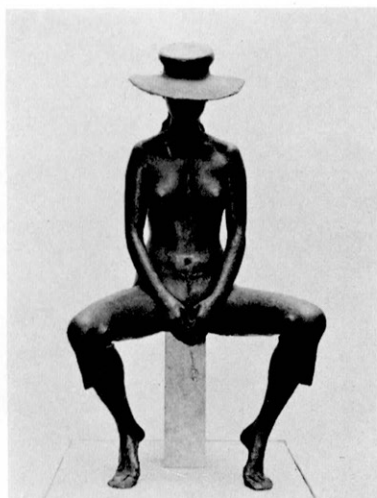
168 たね (36回新制作展) 五十嵐 芳三



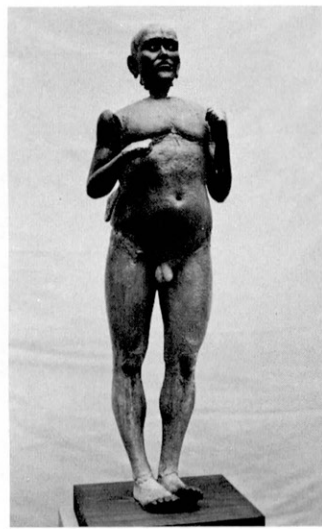
169 業 (36回新制作展) 一色 邦彦



170 全治三週間面会謝絶
(26回二紀展) 邑田五朗



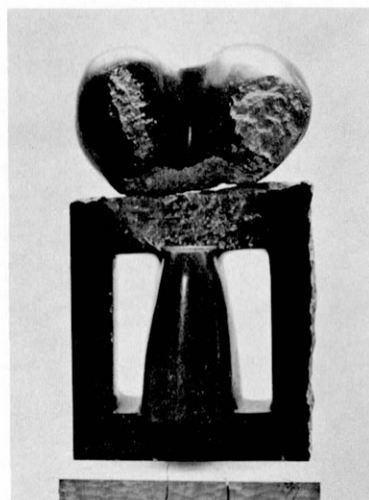
171 帽子・夏 (36回新制作展) 佐藤忠良



172 道元 (36回新制作展) 細川宗英



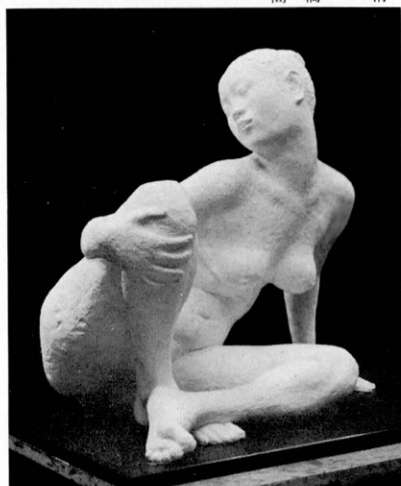
173 焔と土 (36回新制作展) 加藤昭男



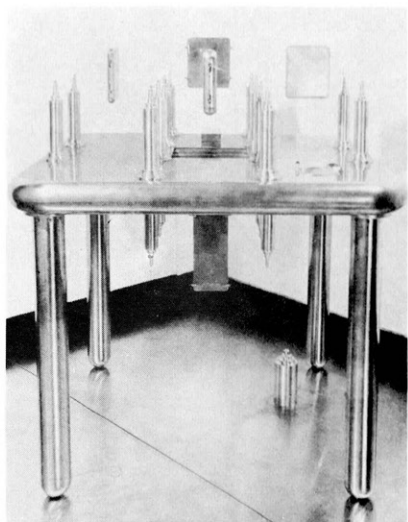
174 ひとNO.13 (36回新制作展)
高橋清



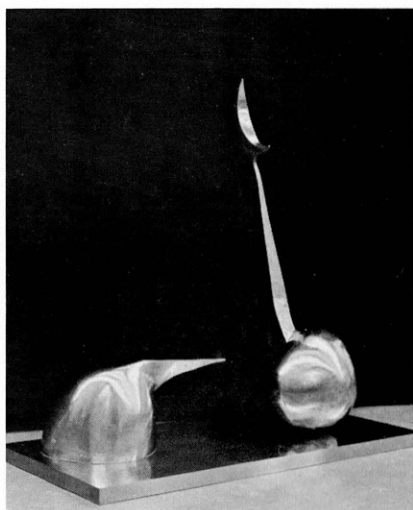
175 土 (26回二紀展) 小島弘



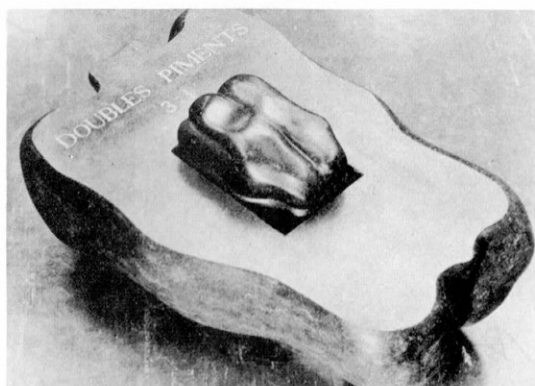
176 坐す (26回二紀展) 矢形勇



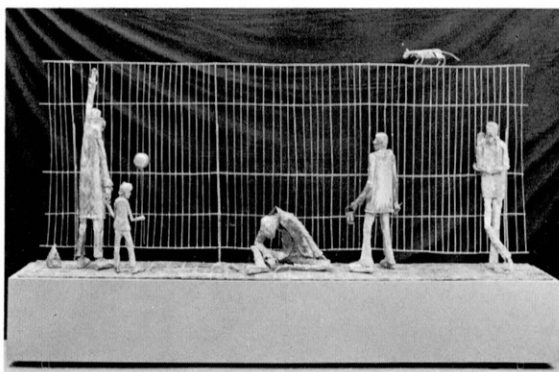
177 テンションとコンプレッション
(個展) 篠田 守男



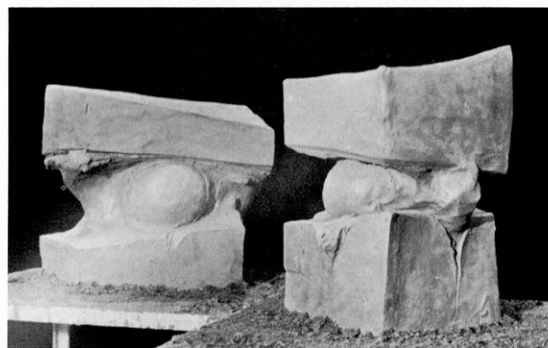
179 黄金妖鬼 (36回自由美術展) 島田 忠恵



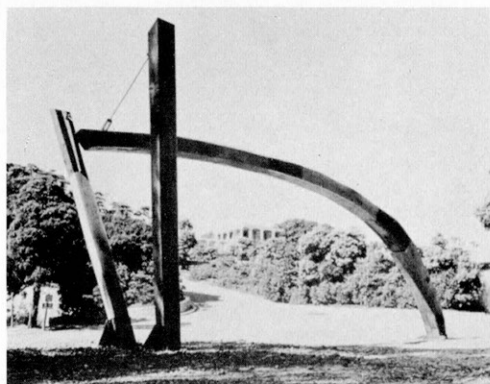
182 ダブル・ピーマン (個展) 山口 牧生



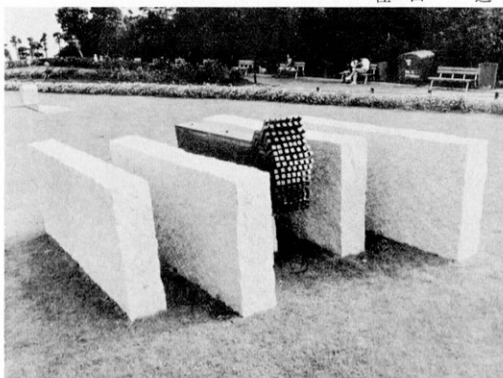
178 塙の内外 (36回自由美術展) 池田 宗弘



180 つぶれるつぶれない (36回自由美術展) 松本 光司



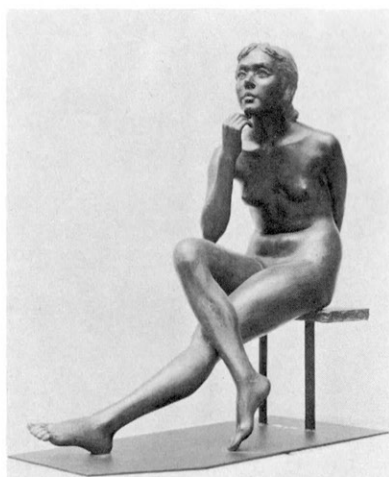
181 空間への弓状のかたち (須磨離宮公園3回現代彫刻展)
江口 遇



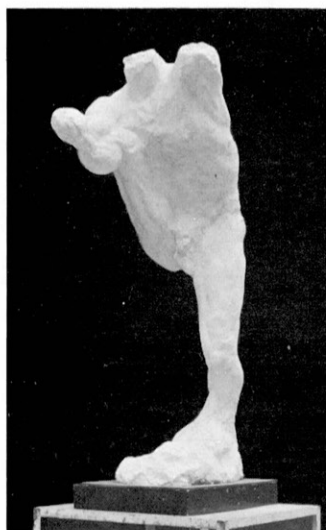
183 作品 (須磨離宮公園3回現代彫刻展) 土谷 武



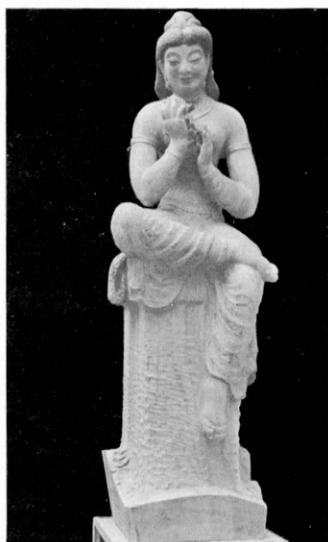
184 24の部分からなる円筒体
(須磨離宮公園3回現代彫刻展) 河 口 竜 夫



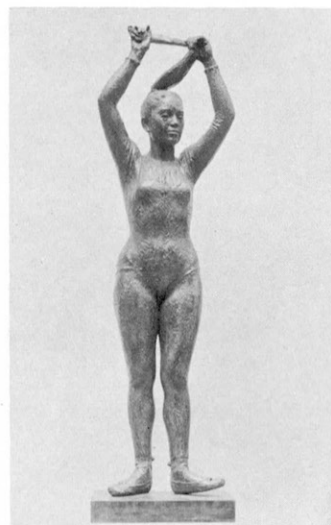
185 瞭あきらか(4回日展) 圓 鋳 元 規



186 習作構成第二号(4回日展)
堀 進 二



187 みのり(4回日展) 佐々木 大 樹



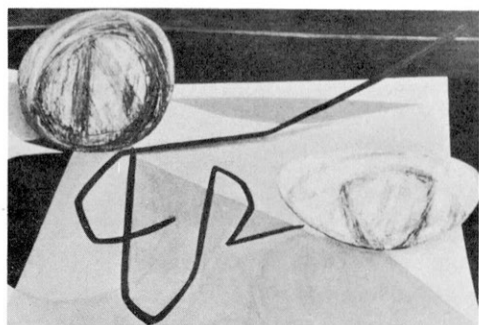
188 華(4回日展) 平 原 孝 明



189 風韻(4回日展) 柴 田 篤 男



190 フォルムI(4回日展) 三 坂 耿一郎



191 石と莖 (宇治山哲平展) 宇治山 哲 平



194 初秋 (中村研一遺作展) 中 村 研 一



197 朝顔日記 (横山大観展)
横 山 大 観

遺作・回顧



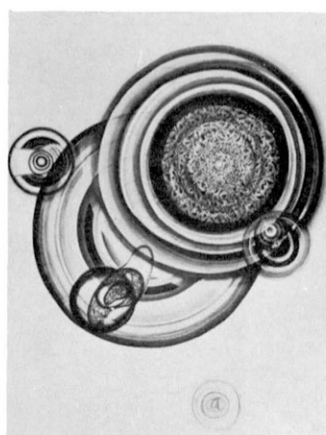
192 遊女 (伊東深水展)
伊 東 深 水



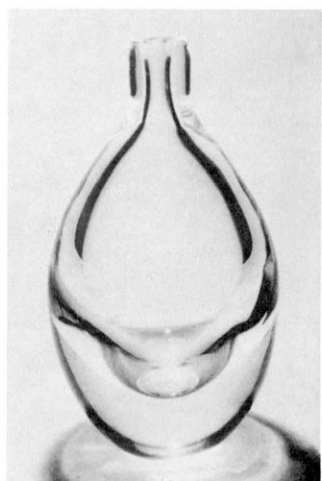
195 滝と残雪 (山本丘人展) 山 本 丘 人



198 鏡 (児島善三郎展) 児 島 善 三 郎



193 秘儀の空間 (前田常作展)
前 田 常 作



196 クリスタル花瓶 (東京国立近代美術館開館20年記念「現代の眼・近代日本の美術から」展)
各 務 鉦 三



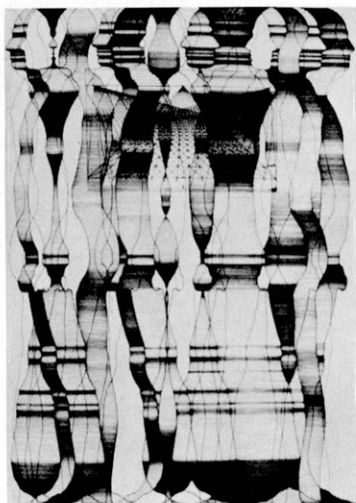
199 扇を持つ婦人 (平賀電祐遺作展)
平 賀 電 祐



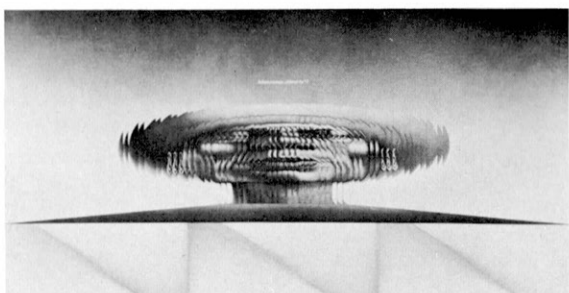
200 若い男の肖像 (デューラーとドイツ・ルネッサンス展) アルブレヒト・デューラー



202 マテリア (近代イタリア美術の巨匠たち展) ウンベルト・ボッチョーニ



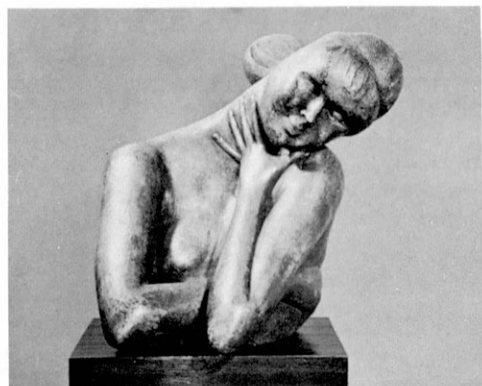
205 「模型と素描」から (現代スウェーデン美術展) シーヴェット・リンドブロム



201 アダム、なぜお前はふるえるのか (ウィーン幻想絵画展) ルドルフ・ハウズナー



203 蝶一銀 (8回東京国際版画ビエンナーレ展) オットー・ピーネ



204 マリーサ (エミリオ・グレコ展) エミリオ・グレコ



206 マスクの装飾のある柱頭 (フランスの中世美術展)

外国

本欄

昭和47年美術界年史

1 月

○ボロブドールの仏跡修復に協力 インドネシアのジャワ島にある仏跡のボロブドール遺跡を修復しようというユネスコ本部の呼びかけに、日本政府も協力することになった。ユネスコからの要請額180万ドルのうち3分の1の10万ドル(3,080万円)が、12日の閣議で了承された。あとの3分の2は財界が負担する方針だが、外務省は今後5年間毎年10万ドルずつ政府に要求することにした。

2 月

○大原美術館収蔵の盗難作品無事戻り 1 昨年11月末、倉敷の大原美術館が盗難に遭った収蔵作品のうち、6日未発見のルオー、ゴッホの二作品が戻り、1年2ヶ月ぶりですべて無事回収された。

○第1回平櫛田中賞 昨年百才を迎えた彫刻家平櫛田中の「百寿」を記念して設けられた平櫛田中賞の第1回授賞者が淀井敏夫に決定した。同賞は、木彫を中心に、将来彫刻界に貢献すると認められる彫刻家に与えられる。贈られる正賞は賞金50万円で副賞として東京日本橋高島屋で受賞者作品の展覧会を開催する。(今回5月30日より6月4日迄)なお、第1回選考委員氏名次の通り。今泉篤男、菊池一雄、山本豊市、河北倫明、菅原安男、中村伝三郎、本間正義、水船六洲、矢崎虎夫。

3 月

○安井賞 洋画の具象作品を対象とする安井曾太郎記念会の第15回安井賞は、前年度作品中から選ばれ、1日二紀会の中西勝「大地の聖母子」に決定し、佳作賞に後藤よ志子「寺院のある街(1)」が選ばれた。なお、同賞候補作品展は4日から14日まで東京西武百貨店池袋店で開催され、授賞式は3日同会場で行われた。選考委員次の通り。朝日晃、糸園和三郎、河北倫明、小磯良平、富永惣一、藤田吉香、本間正義、三木多聞、宮本三郎。

○第4回三大新潮賞 新潮文芸振興会主催による第4回三大新潮賞が1日決定した。そのうちの日本芸術大賞には多田美波「新宮殿のシャンデリア」京王プラザホテルの彫刻など多角的な立体造形活動の功に対して」が決り、副賞百万円が贈られた。

○イタリア・ペルーシア市国際設計競技に早大建築学科の「アッセンブリー-71」チーム受賞 イタリア・ペルーシア市ビジネス・センター計画国際公開コンペに、早大建築学科の池原義郎教授、木村伝講師指導の大学院生を中心とする20才代が大半を占める「アッセンブリー-71」チームが一等に入選した。この計画は鉄道駅舎、バスターミナル、ホテル、住居などを含む地区ぐるみのもので、今後約7年かけて実現するといふ。

○タンザニアのコンクルールで黒川紀章が1位となる タンザニアの一角である独裁政党的タンザニア・アフリカ民族同盟新本部の設計を決める国際コンクルールで、建築家の黒川紀章が一位となった。この建造物は、国会議事堂、文化センター、三千人収容のホールも含まれる。コンクルールには49ヶ国、430人が応募しており、一位の賞金は十万シリング(約431万円)が与えられた。

○吉川英治文化賞 第6回吉川英治文化賞が2日画家^{あがた}縣治朗に決まった。受賞は平安時代の特徴である金銀砂子、切箔、切りつき破りつぎの技法によって作られた料紙によって成った装飾性を現代に生かした壁画面の製作による。

○アジア地域文化財保護専門家会議 ユネスコ・アジア文化センター主催、日本ユネスコ国内委員会後援、ユネスコ協力のもとに、7日から13日まで東京高輪プリンスホテルで、アジア地域における各国の文化財を破壊と荒廃から保護するため文化財の目録作成、およびその保護方策を探ることを目的として、「アジア地域文化財保護専門家会議」が開催された。会議はアジア12ヶ国から15名の専門家が参加し、オブザーバーとして文化財修復ローマセンター、イコモス(国際記念物史跡会議)各1名、および日本の専門家11名が出席し、議長に日本代表の東京国立文化財研究所々長関野克がえらばれた。

○芸術選奨受賞 昭和46年度芸術選奨文部大臣賞評論などの部門に10日東大助教授高階秀爾「ルネッサンスの光と闇」が、新人賞美術の部門で、日本画家松尾敏男「海峡」がえらばれた。

- 高松塚古墳発見さる 奈良県高市郡明日香村上平田高松、文武陵の北約200メートルにある直径約18メートル、高さ約5メートルの円墳を、明日香村の依頼により橿原考古学研究所の人々が発掘中、21日に内部に彩色壁画があることを発見した。石室の天井には星辰、周囲の壁画には男女それぞれ4名づつと四神が描かれ、石室内からは漆塗りの木棺片、海獣葡萄鏡一面ほか副葬品が発見された。とりえず史跡に指定され、壁画保護の応急処置がほどこされて、4月22日に覆土、秋に再調査することになった。
- 伊藤嘉朗賞 第5回伊藤嘉朗賞は安部真知に決まった。授賞対象は、前年度の「オセロー」「未必の故意」(俳優座)「十二夜」(文学座)「神の代理人」「るつぼ」(民芸)「ガイドブック」(紀伊国屋演劇公演)などの舞台美術。副賞10万円。
- 文化財の新指定 今回指定された物件は、美術工芸品では国宝1件(絵画)重要文化財51件、このうち絵画10件、彫刻7件、工芸品17件、書跡13件、考古4件で、建造物関係では28件で、このうち社寺4件、民家11件、洋風建築4件、沖縄9件となっている。
- 唐招提寺講堂の解体修理成る 礎石の不同沈下、建物各部のゆるみなどによって根本的な修理をよぎなくされていた唐招提寺講堂はこのほど解体修理が完了し、再び美しい姿をあらわした。

4 月

- 芸術院賞 第28回(昭和46年度)芸術院賞の美術関係受賞者は、日本画の岩橋英遠(日本美術院評議員、元東京芸術大学教授、受賞対象第56回院展出品作「鳴門」)、洋画の高田誠(一水会会員、日展評議員、受賞対象第3回日展出品作「残雪暮色」)、彫塑の富永直樹(日本彫塑会監事、日展評議員、受賞対象第3回日展出品作「新風」)、書の広津雲仙(中京大学教授、日展評議員、受賞対象第3回日展出品作「杜甫詩」)である。授賞式6月7日。
- ウィーン幻想絵画展 現代オーストリアの幻想的レアリズムの画家、ルドルフ・ハウズナー、エルンスト・フックス、アントン・レームデン、ヴォルフガング・フッター、ユーリッヒ・ブラウワの作品100点による展覧会が開催され、鮮烈な印象をあたえて注目された(主催朝日新聞社、4月1日～18日＝東京小田急百貨店、5月20日～6月25日＝兵庫県立近代美術館、7月8日～22日＝愛知県美術館)。
- 現代スウェーデン美術展 東京国立近代美術館 4月8日～5月21日、京都国立近代美術館 5月27日～6月18日の日程で現代スウェーデンで活躍中の29作家118点の作品が公開され、彫刻、絵画、版画、素描を通して、従来わが国にあまり知られていなかったス

ウェーデン美術の現状が紹介された。

- 近代イタリア美術の巨匠たち展 美術館的な性格をもつといわれるジャンニ・スワティオーリ・コレクションのイタリア未来派、形而上絵画から戦後美術にいたる絵画、彫刻、素描(総点数104点)による展覧会が京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、イタリア大使館、イタリア文化会館の共同主催で開催された。近代イタリア美術の発展の歴史が組織的に紹介されたのははじめての例である。(京都展＝4月15日～5月21日、東京展＝5月31～7月9日)
- 阿弥陀仏彫像展 奈良国立博物館では4月22日～5月21日の間全国各地からいろいろ異った形相の阿弥陀如来像を約100点選んで、時代的、様式的に整理し、系統だててこれを展示した。
- 青木繁展 生誕90年、ブリヂストン美術館創立20周年を記念して、油彩、水彩、素描ほか、計216点による大規模な青木繁展が東京ブリヂストン美術館で開催された。会期4月22日～6月4日。
- デューラーとドイツ・ルネッサンス展 昨年のデューラー生誕500年にちなみ、ドレスデン国立美術館ほかの協力をえて国立西洋美術館、京都国立近代美術館、日本経済新聞社共催によりデューラーとドイツ・ルネッサンス展が開催された。彫刻8点、絵画(版画・素描を含む)200点、ほか工芸品、計241点。東京展＝4月29日～6月16日、京都展＝6月27日～7月30日。

5 月

- 東京都美術館改築の基本設計 東京都公園審議会は東京都が建築家前川国男に依頼して設計した上野公園内の新しい都美術館の基本設計を認めた。敷地12,500平方メートル、地上二階、地下二階(一部三階)、延29,800平方メートル。昭和48年1月着工、49年秋開館予定。
- 日本建築学会賞 昭和46年度の大賞は、長年の創作活動による建築界への貢献に対し、村野藤吾(村野森建築事務所長)に、建築学会賞は篠崎一男(「未完の家」以後の一連の住宅)、林昌二、矢野克己(ポーラ五反田ビル)に決定。贈呈式は5月30日。

6 月

- シケイロス展 メキシコ壁画運動推進者のひとり、ダビット・アルファロ・シケイロスの初期から現在にいたるまでの70点余による回顧展が開催され、これに因んで12日、シケイロス夫妻も来日した。(主催・朝日新聞社、メキシコ国立芸術院、会期・6月15日～7月16日＝東京セントラル美術館、7月22日～8月20日＝兵庫県立近代美術館)

7 月

- 菱田春草展** 大観、観山と並んで天心傘下の初期院展の中心作家で、日本画の近代化に貢献した菱田春草の作品82点を集めた回顧展を山種美術館が開催した。前期、4日から30日、後期、8月1日から27日まで。
- 清水寺釈迦堂全壊す** 12日夜、大雨による山くずれで京都清水寺の重要文化財釈迦堂が全壊した。同堂は江戸初期寛永10年の建立、一重寄棟造り。内部には釈迦如来像（鎌倉時代）地藏菩薩像（江戸初期）、大黒天像（同）が安置されていた。
- 明治天皇ご愛用の刀剣盗まれる** 明治神宮宝物殿に陳列中の明治天皇御愛用の刀剣のうち、「菊花紋茂」「備前福岡一文字吉房」銘、初代月山貞一作、菅原包則作の四振り盗まれた。（22日朝盗難を発見）

8 月

- メトロポリタン美術館展** 東京国立博物館において8月10日—10月1日にわたり、ニューヨークのメトロポリタン美術館の蔵品150点が公開展示された。出品内容は、古代中近東から、エジプト、ギリシャ、ローマ、中国、西洋中世を経て、ルネサンス以降20世紀に至るヨーロッパおよびアメリカの美術で、この展覧はこのあと京都市美術館でも10月5日から11月26日まで開催された。共催は読売新聞社。
- 伊勢丹賞設定** 東京新宿の伊勢丹デパートと東京美術サロンは新人洋画家に伊勢丹賞（賞金100万円）を設定し、第1回金賞に小田和典をきめた。その賞の大衆性を考慮して純粹の美術関係者以外に、選考委員は作家・神吉拓郎、評論家・坂西志保、イラストレーター・宇野亜喜良、服装デザイナー・コンノ・ジュンコを含む。受賞作は「人気作家17人による現代洋画精鋭選抜展」として19日から26日まで新宿伊勢丹で展示される。

9 月

- ジェームズ・アンソール展** ベルギー現代美術の代表者の一人で独自の幻想画家であるジェームズ・アンソールの油絵40点と版画、水彩デッサン104点の大規模な展覧会が神奈川県立鎌倉近代美術館で2日から10月10日まで開かれた。共催はベルギー文化省、日本美術館企画協議会、中日新聞社、東京新聞社、73年1月28日まで名古屋、佐賀、京都を巡回する。
- 東京国立近代美術館・開館20周年記念展** 東京国立近代美術館では創立20周年を記念して近代日本の日本画・

洋画・彫刻・工芸の作家150名の作品450点を精選した大展覽会「現代の眼——近代日本の美術から」を6日から11月5日まで開催した。主なる作品は、日本画では重文に指定されている大観の「生々流転」、春草の「落葉」、栖鳳「斑猫」、玉堂「行く春」、観山「弱法師」、紫紅「熱国の巻」、ほか小林古径の「鶴と七面鳥」、徳岡神泉の「刈田」など、洋画では高橋由一の「鮭」、浅井忠の「春畝」、黒田清輝「舞妓」、青木繁「海の幸」、岸田劉生「麗子微笑」、藤島武二「黒扇」などの重文指定作や、小出楯重の「前向の裸婦」、和田三造「南風」、彫刻では荻原守衛の重文「女」など、全館を使って名作を描いて披露されまさに近代美術の流れを集約的に展望できる意義深い催しであった。

- アメリカ巡回日本名陶百選展** 文化庁ではアメリカ合衆国の4美術館の要請により、縄文・弥生時代から江戸時代に至る日本陶磁の名品100点を次の日程で巡回展示する。1）シアトル美術館 9月7日—10月22日、2）アトキンズ美術館（カンサス・シティー）11月8日—12月20日、3）アジア協会アジアハウス美術館（ニューヨーク）48年1月18—3月4日、4）ロスアンゼルス郡立美術館 48年3月27日—5月13日。

- 旧近衛師団司令部庁舎の保存決定** 皇居周辺の北の丸公園内旧近衛師団司令部は昭和38年以来空家となっており、昭和41年に取壊しが閣議で定められていたが、明治43年に建設された典型的な洋風煉瓦建築として、また官庁建築の遺構として日本建築学会等から保存の要望があり、12月の閣議でこれを東京国立近代美術館分室として保存することが決定し、重要文化財指定の答申が文化財保護審議会から行われた。

- リッカー美術館開館** 本年3月に設定された平木浮世絵財団は浮世絵の「平木コレクション」で知られた故平木信二の蒐集になる浮世絵版画約5,000点を所有しているが、それを常設展示するリッカー美術館が17日から東京・銀座6の6に開館した。「平木コレクション」は戦前からわが国の三大コレクションといわれた松方、三原繁吉、斎藤報恩会のうち、東京国立博物館に入った松方コレクションを除く後の二者の大半を含むもので、極めて保存のよい稀観品の多いことも知られている。

- 高松塚古墳の総合学術調査始まる** 9月30日から10月10日にかけて、高松塚古墳の現地調査が行なわれた。この調査にはわが国の専門家だけではなく、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国、フランスの各国からも専門家が参加し、壁画の描法や顔料の鑑別、保存科学的諸測定と保存処理などを行い、10月11日から12日にかけて土を覆って元に復した。

10 月

- 高松塚古墳壁画模写を5名の画家に依頼** 文化庁では

9月30日から始まる高松塚古墳の総合調査の一環として、同古墳の模写を芸術院会員前田青邨を総監修に、平山郁夫を中心とする守屋多々志、近藤千尋、月岡栄貴の5氏に委嘱した。何れも院展所属作家で、先年の法隆寺壁画模写も手がけたベテランである。

○第3回中原悌二郎賞 北海道出身の彫刻家、故中原悌二郎の業績を記念して、旭川市が設定した中原悌二郎賞の第3回受賞者に、舟越保武作ブロンズ人物像「原の城」が選ばれ、更に今回からは悌二郎賞のほかに優秀賞が新設されて、細川宗英の「道元」、湯原和夫の「門」がそれぞれ受賞した。4日授賞式が行なわれた。

○平家納経と厳島の秘宝展 京都国立博物館は、平清盛が厳島神社に平家一門の繁栄を祈願して奉納した装飾法華経と、厳島神社の宝物を10月7日から11月5日まで特別展として展示した。平家納経が全巻展示されるということは古美術界にとって近來の快挙といえよう。

○フランス中世美術展 国立西洋美術館では12日から11月30日まで、7世紀から15・6世紀にいたる中世西欧美術を石像、工芸品、ミニアチュール、ステンド・グラスなど多くのジャンルから86点を選んで展示した。これらはフランス各地から集められた作品である。

○琳派展 東京国立博物館は創立百年記念として、10月10日から12月3日まで宗達・光琳の画派の展覧を行った。絵画を中心に、書跡、漆工、陶磁、染織など各分野にわたり、この流派の代表作を展示し、宗達・光琳を主軸とする近世装飾画派の全貌を明らかにしようとする催しである。

○文化財建造物の新指定 文化庁は建造物14件の指定を行った。今回は民家の指定にかぎられ、この結果、民家の重要文化財指定数は181件になった。

11 月

○芸術院新会員決まる 日本芸術院は、24日会員補充選挙を行ない、開票の結果、美術部門の新会員には日本画の郷倉千仞（院展評議員・監事）、高山辰雄（日展理事）、洋画の鈴木千久馬（日展評議員）、書の安東聖空（日展参与）の4作家を内定、12月15日付で正式に任命された。

○沖縄復帰記念日本古美術展 沖縄復帰も記念して、文化庁の主催により、沖縄県立博物館で10月29日―11月26日に考古と工芸品を中心にした日本古美術展が開かれた。

○平等院の梵鐘宝物館に入る 日本三名鐘の一つ京都宇治平等院の梵鐘は大気汚染による侵蝕から護るため、宝物館に移された（31日）。

○文化勲章・功労者決定 昭和47年度の文化勲章と文化功労者が28日、正式に決まった。4人の文化勲章受章

者のうち美術関係者は、洋画家の岡鹿之助、建築学・防災工学の内田祥三、6人の文化功労者のうちでは、美術工芸（陶芸家）の楠部弥式。文化勲章の伝達式は11月3日皇居で、文化功労者の顕彰式は同4日に東京・虎ノ門の国立教育会館で行なわれ、受章者にはいずれも終身年金150万円が贈られた。

○芸術・文化部門に褒章 学術、芸術、文化部門など、文部省関係の褒章受章者が7日の閣議で決定した。本年度の美術関係者では、紫綬褒章を美術評論の土方定一、重要無形文化財「日本刀」保持者の宮入昭平に、黄綬褒章を建造物修理の佐々木与一、本美濃紙の製紙の沢村伝十郎、仏像彫刻の地主賢二、染色補正技術の三島竜三、木版画の横山文治にそれぞれ贈られることになった。

○橋本明治壁画展 橋本明治が故郷である島根・出雲大社の奉納のために描いていた「龍」の壁画がこのほど完成、20日から26日まで東京・日本橋三越で披露展が開かれた。青竜を描いた本体（2×3.6メートル）、波涛を図案化した左右の袖の部分（各1.9×1メートル）とで構成され、従来の竜とは趣を異にした作家独特の解釈で描かれた竜の図で、その苦心の制作が窺われた。

○古照遺跡の発見 11月9日ごろ愛媛県松山市南江戸町において、市の下水処理場増設工事中、弥生時代の建造物と推定される埋蔵物が発見された。

12 月

○東京国際版画ビエンナーレ展 日本の海外文化交流事業を推進する中核機関として新発足した国際交流基金（理事長・今日出海）の主催による第8回展が16日から12月20日まで東京国立近代美術館で開催された。参加46カ国、出品作家149名、総計288点、日本からは25作家の43点を出品。最高賞である国際大賞には高松次郎「The Story」が選ばれた。

○現代美術選抜展の東京展 文化庁の主催で毎年地方のみを巡回していた同展が第6回展を迎え、はじめて東京で開かれた。滋賀、長崎、鹿児島をまわり、19日から28日まで銀座のセントラル美術館で開催、前年度の中央公募展13団体の受賞作品から選抜したものと文化庁買上げ作品を一堂に集めたもの、日本画19点、洋画32点、版画5点、彫刻15点、総計71点を展示して、近年この種の公的な選抜ダイジェスト展に恵まれない都民ファンに反って喜ばれた。

○円通寺本堂の修理成る 14世紀初期に創立された禅刹円通寺本堂は、昭和46年4月から修理が行なわれたが、このほど修理が完了し、いままでは改造されていたところが当初の姿に復原された。

主要美術展覧会

〔現代美術〕

1 月

アイヌの文様展 2—13 サント
リー美術館武者小路実篤作品展 4—9 三越
本店行動美術新人選抜展 4—11 紀伊
国屋画廊京都画壇精鋭日本画10人展 4—12
小田急

美人画の系譜展 4—19 京王

萬鉄五郎展 4—25 小田急

出品目録

油 絵

婦人の顔 1904.9.8
自画像習作 1907—09ころ
裸婦習作・横をむく
上半身 1908—09ころ
裸婦習作・後をむく
全身 1908—09ころ
裸婦習作・前をむく
上半身 1908—09ころ
裸婦習作 1908—09ころ
盛岡住吉神社風景 1908—09ころ
道習作 1908—09ころ
菊習作 1908—09ころ
壺のある静物 1908—09ころ
水辺風景 1908—09ころ
天平婦人立像習作 1909
裸婦習作・椅子の女 1909.10.20
裸婦習作・半身像 1909ころ
裸婦習作・うしろむ
き 1909ころ
裸婦習作・もたれて
立つ 1909ころ
森の道 1910ころ
築地風景 1910ころ
花咲く風景 1910ころ
雪の土沢 1910ころ
街灯のある風景(裏:
庭と建物) 1910ころ
静物・花 1910ころ
花 1910—11ころ
自画像・絵を描く 1911

馬車のいる風景 1911
裸婦・椅子による 1911ころ
裸婦習作・坐せる女 1911—12
裸体美人習作 1912
裸体美人 1912
自画像 1912
女の顔・萬夫人 1912
風景・春 1912
煙突のある風景 1912
ボアの女 1912
風景・モノクローム 1912
ガス灯 1912
木の屏のある風景 1912
赤マントの自画像 1912
田園風景 1912
雲のある自画像 1912
雲のある自画像 1912
自画像・赤い目の
風船をもつ女 1912
自画像・点描風の
自画像習作 1912ころ
窓外秋日・明るい屋
根 1912ころ
婦人坐像 1913
日傘の裸婦 1913
風景・丁字路 1913
霜の朝 1913
女優の顔 1913
軽業師 1913
自画像・口髭のある 1913
家のある風景 1913—14
自画像 1913—14
太陽の麦畑・太陽の
ある風景 1914
落暉・荷車ひきのい
る風景 1914
男 1914.6.14
山 1915
雪の日 1915
目のない自画像 1915
自画像 1915
家のある風景 1915
土沢風景 1915
雪 1915
雨の風景 1915
土沢風景 1915
自画像 1915

自画像 1915
松の木のある風景 1915
風景 1915—16
自画像 1916
パイプのある静物 1916
春の山・武州飯能 1916
筆立のある静物 1917
もたれて立つ人 1917
井戸端 1917—18ころ
茶罐と茶道具のある
静物 1918
木蔭の村 1918
猿ヶ石川アデラク園 1919.9
かなきり声の風景 1918
郊外風景 1918
裸婦 1918
庫 1918
盛夏風景 1918
木の間より見下した
町 1918
庭の花 1918
木の間よりの風景 1918
木の間風景 1918
松島屏風 1918
少女 1919
自画像習作 1919
桑野風景 1920—21ころ
宙腰の人 1922
雲と裸婦 1922
裸婦立像 1922
寝ている人 1923
冬の日 1923
荒模様 1923.4
桑と自転車 1923
漁村 1923—24ころ
風景・砂丘 1923—24ころ
魚煮る小屋 1924.1
夏の朝 1924
校服のとみ子 1924
地震の印象 1924
浜の納屋・小屋のあ
る風景 1924
鶴沼風景 1924
水のほとり 1924.2
宙腰の人 1924
砂丘富士 1924
羅布をかつぐ人 1925

美術展覧会(1月)

少女の像・次女馨 1925
男 1925
本と野菜のある静物 1926
窓 1926
農舎風景 1926
T子像・長女とみ子 1926
ほほ杖の人 1926
湘南風景 1926
砂丘 1926
水着姿 1926
小菊 1926
茅ヶ崎風景 1926
湘南風景・茅ヶ崎 1926
静物・花 1926
静物・果実 1926
農家風景 1926
曇日 1926
宝珠をもつ人(絶筆) 1927
水彩
風景 1904・春
雨降りの土沢 1904
道(裏:女の顔) 1913
三人の裸婦 1915ころ
裸婦 1917ころ
水浴の裸婦(裏:鉛筆、水浴の裸婦) 1921
丁字路・郊外の道 1923・夏
砂丘・茅ヶ崎海岸 1923
砂丘風景 1923.6
雨後の道 1923
照りつつ降る日 1923・夏
桑畑 1923
車引きのいる風景 1924.6
夏の朝 1924
茅ヶ崎風景・舟 1924.7
魚を煮る家 1925
家の前の道 1925
静流の秋・柳島風景 1926
暖い日 1926・春
茅ヶ崎風景 1926
漁具の納屋 1926ころ
薄明りの浜 1926ころ
漁村の朝 1926ころ
裸婦(紙・油彩)
素描
炭つぐ女 1907ころ
軽業師(下絵) 1913
裸の男 1917ころ
三つの裸婦のエチュード 1921

裸婦二人 1921ころ
宙腰の人 1922
茅ヶ崎風景・春 1923
茅ヶ崎風景・自転車、友田坂 1924ころ
水衣の人 1924ころ
ほほ杖の人 1925ころ
ほほ杖の人 1925ころ
窓外風景 1925.2
宝珠をもつ人(下絵) 1926
木版、銅版画
太陽のある風景 1912
田園風景 1912
丁字路 1913
二人の女 1913—14
女の顔 1913—14
坂 1919
羅布をかつぐ人 1924.7
羅布をかつぐ人・異版 1924.7
寝ている人 1925
人力車のいる道
男
男の顔
日本の山展 4—2月27 山種美術館
村上巖個展 5—14 椿近代画廊
西山真一展 6—14 日動サロン
3回八樹会展 6—15 日動画廊
片岡球子富嶽三十六景展 6—19
ギャラリー・ためなが
加賀谷武展 7—15 シロタ画廊
菅木志雄個展 7—16 田村画廊
中村憲之個展 7—16 村松画廊
天心と現代日本画展 7—30 東京セントラル美術館
市川秀光個展 10—15 日本画廊
坪井鶴吉個展 10—15 竹川画廊
森慧個展 10—15 養清堂画廊
宮島美明個展 10—15 フォルム画廊
島田忠恵彫刻展 10—22 ときわ画廊
沢村美佐子個展 10—29 ギャラリー・オカベ
荻野康児個展 11—16 高島屋
彫塑三人展 11—16 三越本店(北村西望、清水多嘉示、古賀忠雄)
元村平個展 13—18 渋谷・西武

小磯良平聖画展 15—21 梅田画廊
三番街店
ガラス絵二人展 16—25 椿近代画廊(佐田勝、射越久江)
島田章三個展 17—19 銀座サエグサ画廊
八駿会展 17—22 スルガ台画廊(朝倉摂、工藤甲人、近藤弘明、下田義寛、稗田一穂、広瀬功、堀文子、三岸黄太郎、森芳雄、渡辺学)
鷺田新太個展 17—22 下村画廊
橋本龍美個展 17—22 日本画廊
芥川耿個展 17—23 村松画廊
岩田専太郎小品展 17—29 彩壺堂
地階分室
森芳雄・西常雄二人展 17—2月5 フォルム画廊
金重陶陽名作展 18—23 三越本店
八木一夫陶芸展 18—23 伊勢丹
独立美術京都作家展 18—23 京都市美術館
井上武個展 18—24 中央美術画廊
五味悌四郎個展 20—25 渋谷・西武
新春展 20—29 丸ノ内サエグサ画廊
山下充展 20—31 日動画廊
荻須高德水彩リトグラフ展 20—2月1 東武
熊谷守一展 20—2月1 渋谷・西武
リアリテ72洋画展 21—26 大丸
後藤愛彦個展 22—2月5 フジテレビギャラリー
森真道個展 22—30 日動サロン
平野充個展 24—29 養清堂画廊
2回日本画七人展 24—29 中央公論画廊(秋元清治、市野龍造、上田勝也、那須勝哉、仲村進、成田環、長谷部権次郎、依田慶樹)
高橋新吉書画展 24—29 柳屋画廊
日下部滨江個展 24—30 村松画廊
永田力個展 24—2月5 南天子画廊
堀口泰造彫刻展 24—2月5 現代彫刻センター
21回刑部人油絵展 25—30 三越本店

吉田正雄個展 25—30 伊勢丹
 ゴヤ展 29—3月15 京都市美術館
 秋元清弘個展 30—2月5 銀座サ
 エグサ画廊
 御正伸個展 30—2月5日 ギャル
 リ・アルカンシェル
 知求会展 31—2月5 地球堂ギャ
 ラリー

2 月

酒見恒平不孤展 1—5 銀座ヤマ
 ト画廊

田中岑油絵展 1—6 三越本店

7 回昭和会展 1—10 日動サロ
 ン 出品目録

ロ マ 五十嵐 二 朗
 或る風景 伊牟田 経 正
 稲 かけ 内 田 光之助
 少年の対話 木 下 昌 彦
 変身 佐々木 信 平
 群像一轉 佐 藤 健次郎
 古き城と寺院 清水 拡 子
 栗 武 田 百合子
 白い樹 田 中 良 尊
 雪里の孤の嫁入 辻 司
 ある日のローマ 長 宗 希 佳
 トワイライト 能 登 房 之
 風景 松 田 松 雄
 餅 売 り 林 清 納
 瓶 三 澤 健 一
 髪を結う女 峯 田 義 郎
 メジナの女 山 本 亜 稀
 タぐれ 宗 重 喜久子
 港の倉庫 依 田 瑤 子
 ポーランド・ハンガリー現代版画展

1—13 東京セントラル美術館

県展選抜展 4—10 都美術館

受賞作家出品目録

日本画

北海道 鱈 翅 目 岸本 雅行
 青 森 榮 子 像 柴田 正義
 " 牛 堀江 潔
 岩 手 小鳥と子供 山本 武夫
 宮 城 実 験 室 佐藤 勝昭
 秋 田 ゆきのおはな 斎藤由紀子
 " 月 響 佐藤 功介
 山 形 母校の見える 草苺 一夫
 風景

山 形 過 疎 地 保科 弘治
 栃 木 おとずれる夏 北條 正庸
 群 馬 鳥 長野百合子
 埼 玉 少 女 和澄 明子
 新 潟 夜の樹の葉 伊藤 美和
 富 山 おらの里 林 兼二
 石 川 少 女 紺谷 禎子
 福 井 腰かける裸婦 勝元由美子
 長 野 夢 幻 折井 宏光
 岐 阜 大 王 崎 洞田 定夫
 静 岡 夢 殿 藤浪 修三
 滋 賀 犬 上 川 安土 優
 " 浮 御 堂 森田 郁子
 兵 庫 立 葵 東山 禮子
 奈 良 石 窟 浄 岩田 清川
 " 石 錠 原 流 山本 久圃
 和歌山 白 杵 石 仏 金森 清子
 " 火 祭 り 新谷 伝吉
 島 根 秋 暉 面曾 正子
 岡 山 泰 山 木 前川登喜子
 " 蘭 門 前原 定和
 広 島 水 前 竹永 克彦
 " ゆ り 前谷 綾子
 徳 島 秋 ふ か み 石田 秀憲
 " 溪 流 国行 房子
 香 川 風 景 中村佐和子
 愛 媛 挽 歌 城ノ戸和夫
 愛 媛 石垣のある村 白井 宏治
 高 知 塔 井上 高志
 " 遊君阿古屋 前田 朝子
 福 岡 桜 島 坂井 高明
 " 一 隅 田村 寿麻
 佐 賀 鳥 の 空 間 金子 剛
 長 崎 春 光 中村榮四郎
 大 分 暗 樹 上野マツ子
 洋 画
 北海道 季 白木 忠雄
 " ある感情 笠井 進
 青 森 雪の楼門 小野 熊児
 " スクラップ 宮崎多賀義
 No.1
 岩 手 りんごの木 佐々木勇作
 2
 宮 城 五 月 渡辺 敏広
 秋 田 園 川越 政美
 " 1/36 呪 文 鈴木 雅弘
 山 形 幼 い 夢 小形 晃子
 " 盆 おどりの 広田 和平
 福 島 のぞかれるもの 佐藤 英吉
 " 作品 71—A 米畑 勇

栃 木 ある時刻 大森 弘
 " 試 験 器 福田 俊三
 群 馬 花と青いテ 田村佐枝子
 プル
 埼 玉 ハ ッ ク ル 谷野新太郎
 新 潟 国 道 8 号 玉木 健
 " 作品 E 71 植木須美子
 富 山 P L A N T 西井 義隆
 石 川 とまった時計 増田 孝
 福 井 群像習作 津田 邦彦
 " 絶対時差I 前沢 広道
 長 野 石 の 鳥 太田 義信
 岐 阜 夢 遊 空 間 山田 照子
 静 岡 希 望 日吉 秀
 " 白 い 街 森下 正夫
 滋 賀 春 の 湖 角井 廣司
 " 風 景 (A) 中村 佳子
 兵 庫 旅 人 小林 康男
 " 所 在 地 A 藤田 修三
 奈 良 SERIES AT 出口 由孝
 LAST
 " 雪 の 踏 切 留田 良三
 和歌山 作 品 野田 裕示
 " 晩 夏 の 扉 野中 勝
 鳥 取 露店の親爺 中尾広太郎
 " 静 物 森下 道德
 島 根 女 阿式 康央
 岡 山 ソレアレスを 東 秀章
 歌うジブシー 人形
 " 山 陰 の 山 毛利 一就
 広 島 待 合 室 田谷 行平
 徳 島 ひ と と き 坂本柚美子
 " 旅 立 つ 山口 千恵
 香 川 まってくれ 川添正次郎
 愛 媛 花が神話にな 高橋 幸子
 るとき
 " 田 舎 松村 滝吉
 高 知 核のレモン 桑尾 寿秋
 " 夜はわたしの 吉井 英二
 福 岡 カボンガ(ニ 重富 基弘
 ユーゼランド)
 " よろこび 野中 三郎
 佐 賀 青い壁の室内 佐伯 勝巳
 " 想 上 滝 泰嗣
 長 崎 残 村 佐藤 利宗
 " 腐り果てた駅 佐藤 正美
 大 分 変 身 貞松 和憲
 宮 崎 映 象 2 池田 昭圭
 彫 刻
 北海道 首 小野寺紀子

美術展覧会(2月)

青森 髪を結うキーン 高橋 富雄
岩手 一戸の女 本田 邦雄
宮城 オランシオ(キリンの祈り) 深沢 守三
秋田 トルソー I 千葉 朝男
山形 昆 池田 正
福島 作 品 B 飛田 昭
茨城 向 係 II 粕谷 圭司
栃木 関 年 吉田 光正
群馬 青 の ぞ み 北川 慧子
埼玉 大 地 堀田 正
新潟 トルソー 加茂 為男
富山 無 我 北島 清治
福井 野 響 渡会 意士
長野 岡 清 流 篠田 幸夫
静岡 賀 あ る 男 山下 順一
滋賀 庫 弧 樽本 淳二
兵衛 良 初 秋 瀬井 徳司
奈良 山 作 品 No.5 森 伸二
和歌山 立 つ 中川 潤子
広島 島 実 の 花 宮本 幸江
徳川 夜 作 品 B 渡辺 隆根
福岡 賀 首 武藤 三男
佐賀 分 19 才 平原 孝明
大分 芸
北海道 晩 秋 木本 裕子
青森 茶 箱 岩谷 武治
岩手 南部紋の絵壁 藤田 勉
秋田 丸と角のお話 藤並 兼美
山形 壺 土屋 太市
福島 秋 翔 照井 克彦
栃木 縞 紋 壺 成良 仁
群馬 革 の 屏 風 笠木せい子
埼玉 連 鈴木 忠次
新潟 接 玉川 政男
富山 容 水牧 憲治
福井 慈 愛 高島政二郎
長野 花 八木 昭子
静岡 藍 増田 猪富
滋賀 ね ぐ ら 辻川 和子
兵衛 緋 ベッドカ 山本 和子
奈良 縞紋様平壺 古瀬 堯蔵
和歌山 生 古谷 正義
鳥取 面取白釉水指 山下 碩夫
島根 伊羅保十字掛 嶋田 春男
大皿

岡山 櫛拭漆胴張盆 森田 翠玉
広島 島 まちととり 西原 英樹
徳島 萌 森 昌男
香川 翔 藤沢 淳二
福岡 鉢 II 太田 孝宏
佐賀 青白磁花器 井上 萬二
長崎 サイチック アート音と色のシンフォニー 江崎 浩二
田中稔之個展 5-26 第七画廊
江藤哲個展 7-12 下村画廊 7-14 銀彩堂画廊
奥田善巳・木下佳通代展 7-13 シロタ画廊
能仲ヤツオ個展 7-13 夢土画廊
若江漢字展 7-13 田村画廊
丸山妙子油絵展 8-13 三越ギャラリーアネックス
戦後日本美術の展開具象表現の変貌 8-3月12 東京国立近代美術館
出品目録
《戦争体験あるいは社会意識の強い傾向》
敗戦群像 1948 福沢 一郎
霊歌 1962 〃
自我像 1947 北脇 昇
クオ・ヴァディ 1949 〃
牛 1960 井上長三郎
委員会 1966 〃
重い手 1950 鶴岡 政男
人間気化 1953 〃
青いカーテン 1965 〃
炭坑 1956 中谷 泰
陶土 1959 〃
告別 1958 香月 泰男
黒い太陽 1961 〃
アムール 1962 〃
落陽 1946 松本 竣介
建物 1948 〃
二つの道 1954 寺田 政明
人のいない風景 1969 〃
赤い空 1955 麻生 三郎
母子像 1959 〃
燃える人 1963 〃
いやなやつA, 1953 小山田二郎
B
野 著 人 1954 〃
鳥 女 1960 〃
浴室(妊婦) 1954 河原 温

物置小屋シリーズ(2点) 1954 河原 温
黒人歌手ポール・ロブスン 1959 朝倉 撰
初年兵哀歌(8点) 1951-54 浜田 知明
《フォーヴ的傾向》
ノートル・ダム 1960 林 武
パークウェイ富士 1968 〃
セビラの行列 1963 野口弥太郎
港の眺め 1968 〃
伊太利人の石運び 1958 鳥海 青児
ピカドール 1958 〃
殉教者 1951 海老原 喜之助
船を造る人 1954 〃
仮面なくては生きられない 1963 朝井閑 右衛門
行進曲(鬼の念仏と鼻くらべ) 1965 〃
塔 1957 横山 操
自画像 1963 中村 正義
男と女 1963 〃
《新感覚的傾向》
青い昆虫 1964 大沢 昌助
背 面 1968 〃
季節の哀歌「田圃と鳥」 1953 山口 薫
千手「黒夫人」像 1957 〃
鳥寄せ 1954 脇田 和
あらいそい 1955 〃
岩上の人 1958 野見山曉治
蔵王 1968 〃
町(トレド) 1969 藤田 吉香
春木万華 1970 〃
蝕 1959 岩橋 英遠
記 録 二 1964 〃
火口(浅間山) 1965 片岡 球子
くさむら 1950 吉岡 堅二
雉子 1952 〃
夜穹 1963 高山 辰雄
穹 1964 〃
月 華 1964 近藤 弘明
霊光 1966 〃
仲 間 1963 上野 泰郎
漂民 1965 〃
冬 1957 加山 又造
蒼い日輪 1959 〃
見つけたポーズ 1954 木内 克
女 1956 〃
三味線試作 1961 新海 竹藏
海 女 1968 〃

エチュード 1959 山本 豊市
 黒人裸婦 1957 柳原 義達
 坐る 1960 “
 道標(カラス) 1968 “
 萩原朔太郎 1955 舟越 保武
 原の城 1964 “
 黄 駝 1956 豊福 知徳
 立 像 1960 “
 《生活感情に基づく傾向》
 哺 育 1964 北川 民次
 セ ト モ ノ 1965 “
 人 1962 糸園和二郎
 ひ と り 1970 “
 闘牛を見る人 1968 田中阿喜良
 踊る娘達 1949 福田豊四郎
 海 女 1950 “
 北 辺 1967 小野 具定
 加工場の午後 1960 渡辺 学
 魚 ・ 人 1962 “
 舞 妓 1964 石本 正
 横臥舞妓 1967 “
 女 (2) 1961 池田満寿夫
 タエコの朝食 1963 “
 夏 1964 “
 日記68年8月22 1968 野田 哲也
 日記68年9月11 1968 “
 日記“今日,, 1969 “
 哭 1959 本郷 新
 鳥を抱く女 1962 “
 群馬の人 1952 佐藤 忠良
 冬のこども 1965 “
 《虚像としての傾向》
 月 1963 藤松 博
 Perspective in 1967 三尾 公三
 Blue B
 虫世界チ・S・ 1965 岡本信治郎
 A
 扉の影 1968 高松 次郎
 No. 273 (影) 1969 “
 複 数 人 間 1966 宇佐美圭司
 のどちらことは 1965 堀内 正和
 なのあな
 これはひとつの 1971 “
 リングである
 熱 変 へ 1964 若林 奮
 残り元素Ⅰ,Ⅱ, 1965 “
 牛玖健治個展 10—15 東和画廊
 小磯良平聖画展 11—16 京王梅田
 画廊

三橋兄弟治個展 11—18 日動サロ
 ン
 吉田清志個展 14—25 丸ノ内サエ
 グ画廊
 松井豊・市川正三・長宗希佳三人展
 14—19 昭和画廊
 小林丙個展 14—19 銀座アート
 ギャラリー
 沢野岩太郎個展 14—19 大倉画廊
 彩虹会展 14—26 彩壺堂(入江
 観、小原稔、大歳克衛、国領経
 郎、小松崎邦雄、進藤蕃、土井邦
 晃、中根寛、平野遼、星守雄、松
 樹路人、宮崎進、森本草介)
 1972・四人の道化師 14—26 日本
 画廊(倉石隆、岩織治、松井豊、
 司修)
 フサロ展 14—26 ギャラリー・た
 めなが
 酒井三良を偲ぶ会 15—20 高島屋
 結城天童渡欧作品展 17—22 大丸
 織田広喜・福井良之助二人展 17—
 22 渋谷・西武
 大森啓助近作展 19—26 日動サロ
 ン
 19回日府展 19—28 都美術館
 25回日本アンデパンダン展 19—3
 月2 都美術館
 16回新槐樹社展 20—3月2日 都
 美術館
 新鋭画家水彩画展 21—26 サエグ
 サ画廊
 斎藤かおる展 21—26 昭和画廊
 森田やすこ彫刻展 21—26 みゆき
 画廊
 島崎翁助個展 21—26 柳屋画廊
 ジャスパー・ジョーンズ版画展 21
 —3月11 南画廊
 牧進日本画展 22—27 三越本店
 2回現代日本新人作家 22—27 高
 島屋
 真野広個展 25—3月1 東急本店
 浜口陽三版画展 25—3月1 小田
 急
 11回大調和展 26—3月2 都美術
 館
 藤本東一良展 26—3月5 日動サ
 ロン
 野田習之個展 28—3月4 一方堂
 画廊

新構造春季展 28—3月4 銀座
 アートギャラリー
 二元会選抜展 28—3月—4 柳屋
 画廊
 ウィリアム・ブレーク展 28—3月
 11 東京画廊
 岡田又三郎油絵展 29—3月5 池
 袋・三越
 4回潮展 29—3月5日 銀座・三
 越

3 月

日本芸術大賞候補者展 1—5 伊
 勢丹
 竹山博展 1—7 サカモト画廊
 山本平展 1—11 日本橋画廊
 形真展 1—11 飯田画廊(青山兵
 吉、石田武、遠藤昭吾、佐藤照
 雄、田染幸雄、田中昇、谷俊彦、
 塚原哲夫、三栖右嗣)
 西村計雄展 1—12 東京セントラ
 ル美術館
 木村光佑個展 2—11 紀伊国屋画
 廊
 安井賞受賞作家展 3—15 池袋・
 西武
 15回安井賞展 3—15 池袋・西武
 出品目録
 静物と風景 赤 堀 尚
 落下風景 麻 田 浩
 雪の静物(Ⅰ) 芦 田 芳 男
 さすらい 麻 生 蓉 子
 翼の城(Ⅰ) 石 阪 春 生
 町はずれの教会 伊 東 順 子
 風・光・影 伊 庭 新太郎
 舞 台 伊牟田 経 正
 椅子のある静物 稲 垣 昌 紀
 夜 稲 葉 実
 祈 り “
 仕事場(Ⅰ) 井 上 悟
 仕事場(Ⅱ) “
 十字架の人形 岩 田 栄 吉
 野 の 秋 宇田川 タミ子
 魚 う り 大 石 可久也
 浜 辺 の 店 “
 鳥のいる風景 大 木 英 穂
 蹴 ま り 大 津 英 敏

美術展覧会(3月)

遠いうみ 大津英敏
春雷の丘 奥竜之介
一族の挽歌 奥村光正
部屋の中の使者群 //

室内(人物) 笠井誠一
邪馬台賦 No. 4 北原悌二郎
黒い雨(1) 木村栄治
漁獲 工藤和男
風車 熊谷明子
Z氏 鞍掛徳磨
残像(1) 小島喜八郎
或る日のグラン
ドビル 小島俊男
闘い 小林孝一
馭者の夢 小松崎邦雄
奥信濃 小山オサム
寺院のある街
(I) 後藤よ志子
寺院のある街
(II) //

人工園に遊ぶ
(A) 駒込繁芳
背広のある部屋 桜井寛
ハトおじさん 佐々木豊
風神 沢田哲郎
野の休息 柴宮忠徳
さんま・さんま 下高原千歳
女の肖像シリー
ズ(3) 下田悌三郎
暗い窓の前で 白根光夫
閉山送別 鈴木伴造
鳥と地中海 田中昇
待つ 田谷行平
エーゲの旅 寺井力三郎
能登の山太鼓 寺戸恒晴
砂漠の黒い男 中西勝
大地の聖母子 //

港の丘 成田禎介
黒の静物Ⅱ 野田弘志
鳥と少女とざく
ろ 能仲ヤツヲ
春走鳥 羽生智樹
鏡の部屋 浜村博司
悪魔梵天 平野杏子
四人 平野遼
不死の夢 馬越陽子
映す「夜」 松本宏
光る河 丸山孝晴

仮晶 三浦哲生
シャコタン漁 三栖右嗣
村 磨船(1) 溝口七生
磨船(A) 宮川社夫
偽りの青空一と 森秀雄
らわれた空 静物 山本久美子
風景画 W 山本貞
風景画 T //

翳身 1 山田文子
メトロで 渡辺恂三

描かれた歴史展—近代日本画にみる
4—4月30 山種美術館

寺島穰個展 5—10 ギャラリー21
二村裕子展 5—17 ギャラリープ
リントアート

安東千恵子個展 6—11 養清堂画
廊

15回中央公論新人展(日本画) 6—
11 中央公論画廊

大村連個展 6—11 ときわ画廊
斎藤隆個展 6—11 柳屋画廊
久保吉汎展 6—11 昭和画廊
合田佐和子個展 6—12 村松画廊
前田麦二個展 6—13 日動サロン
住谷正巳彫刻展 6—15 現代彫刻
センター

杉全直個展 6—25 第七画廊
鈴木保徳新作油絵展 9—14 大丸
2回三月会展 10—22 日動画廊
北大路魯山人展 10—22 小田急
フェルナン・レジェ展 10—30 フ
ジテレビギャラリー

小川游個展 13—18 みゆき画
廊

小紋章子個展 13—18 老番館画廊
三浦重雄彫刻展 13—18 ときわ画
廊

山本衛士個展 13—19 田村画廊
鄭相和個展 13—19 村松画廊
井上公三個展 13—20 紀伊国屋画
廊

大森朔衛滞欧作品展 13—20 兜屋
画廊 27—4月1 西美会クラ
ブ

坂本保個展 13—22 ケニヤ画廊

伊勢正義「花と女」展 13—25 彩
壺堂

上矢津の版画 13—25 ギャラリー
プリントアート

藤田吉香展 14—19 高島屋、丸ノ
内サエグサ画廊

4回星々会油絵展 14—20 三越
ギャラリーアネックス(福井敬
一、石原宏策、伊藤善、川合喜二
郎、北村脩、小館善四郎、中山爾
郎、大久保実雄、阪倉宜暢、内堀
勉、渡辺治郎、横地康国)

田中祥三滞欧作展 14—21 日動サ
ロン

彩絵会 14—26 東京セントラルサ
ロン

中川一政近作展 15—31 吉井画廊
新館

小原稔展 16—21 渋谷・西武

河野日出雄ファミリー3人展 16—
21 竹川画廊

東郷たまみ油絵展 17—22 銀座・
松屋

香月泰男石版画展 17—22 小田急
新収蔵作品の展示 洋画・彫刻 17
—26 東京国立近代美術館
出品目録

絵画

アダムとイヴ 齋 嘔
アダムとイヴ 青山義雄
カーニュ風景 //

母子像 麻生三郎
パ ン 伊藤廉

リュウマチの勞
働者 //

鳩のいる窓辺の
静物 //

赤円卓無花果 //

ヴェトナム 井上長三郎
答 弁 //

コンフュージョ
ン・アンド・
オーダー 猪熊弦一郎

室内群像 伊原宇三郎
由利子とミミ //

作品67・10・8 因藤寿
立 秋 牛島憲之
倉 庫 //

No. 194 響 宇治山哲平

自画像 梅原龍三郎
 自画像 〃
 黄金の首飾り 〃
 静物 〃
 熱海風景 〃
 座裸婦 〃
 桜島(青) 〃
 城山 〃
 長安街 〃
 北京秋天 〃
 噴煙 〃
 カンヌ 〃
 カンヌ 〃
 純子像 〃
 赤の中の小さな 英 九
 赤い輪 〃
 作品 UZ 岡部繁夫
 反世界 岡本太郎
 失題 岡本唐貴
 静物 〃
 黒白の丸 小野里利信
 雪 香月泰男
 作品 桂 ユキ子
 ゴンベとカラス
 静止した刻 鴨居玲
 群鳥 川口軌外
 スクリabinの 神原泰
 「エクスタシー」 岸田劉生
 の詩に題す 熊谷守一
 麗子五歳之像 小寺健吉
 鬼百合に揚羽蝶 〃
 雪の町の夜明け(蔵王) 〃
 陶器造りの庭 小林和作
 アマルフィ風景 〃
 伯耆大山の秋 〃
 秋山 〃
 海 〃
 ML夫人像 小山敬三
 白鷺城一郭 〃
 浅間山初冬 〃
 おみかの悲しみ 斎藤真一
 ベンチ 斎藤義重
 自画像 佐伯祐三
 ビアノ 佐藤敬
 結晶 〃
 天女 里見勝蔵
 フェスティバル・ド・トゥキョウ 菅井汲
 雪原に舞う 鈴木千久馬
 なわとび 〃

コサックの厨房 鈴木亜夫
 人魚のいる風景 〃
 農婦 鈴木保徳
 日輪と馬車 〃
 書斎 須田国太郎
 禽舎 〃
 かれはなばたけ 曾宮一念
 No. 273 (影) 高松次郎
 二人の女 田中佐一郎
 辺土 〃
 基地のキリスト 田中忠雄
 コンポジション 丹下富士男
 静物 〃
 栗色の帽子 中川紀元
 リボンをつけた 仲田好江
 小女像 〃
 花 〃
 大根と小娘 中山巍
 遠三彩鉢のある 〃
 静物 〃
 古陶とマジョリカ 〃
 カの壺など 難波田龍起
 発生 〃
 青のコンポジション 〃
 長崎の風(風神) 野口弥太郎
 月花雲 野田好子
 ケイフラマン 原勝郎
 森 B 〃
 冥海の鯉 平野杏子
 飛ぶ鳥 三岸節子
 静物 〃
 エジプトの鷹 〃
 椅子による裸婦 満谷国四郎
 行水 〃
 少女 南薫造
 ダリア 向井潤吉
 衣ぬぐ女 〃
 飛驒立秋 〃
 安倍能成 安井曾太郎
 像 山口薫
 子供のための楽 山口長男
 曲「田園」 山本鼎
 池 山本文彦
 裸婦 山本治良
 語り 1 吉原信平
 黒字に白 赤堀信平
 彫刻 飯田善国
 K氏の顔
 ミラー・オン・ザ・コンストラクション No.2

門 イサム・ノグチ
 球を抱く弧 江口遇
 七つの祈り 木村賢太郎
 裸婦 清水多嘉示
 石橋正二郎氏之 〃
 胸像 〃
 座女 新海竹蔵
 半跏の女 〃
 海女 〃
 曇り 戸張孤雁
 座女 〃
 潤 〃
 CAELUM-IV 豊福知徳
 (空) 仲田定之助
 首 平櫛田中
 鏡獅子試作頭 舟越保武
 萩原朔太郎 〃
 原の城 〃
 円筒の二等分 堀内正和
 E A R 三木富雄
 ユニヴァース 山口勝弘
 灯下抱擁 陽威二
 サロメ 〃
 ある休戦將軍の 〃
 顔 〃
 不透明・低空 若林奮
 跡見泰・林倭衛遺作展 17-26 埼
 玉会館
 ベーテル・ブリューゲル版画展 18
 ー4月16 鎌倉近代美術館
 近藤吾朗展 20-25 下村画廊
 松本俊郎個展 20-25 地球堂ギャ
 ラリー
 山本平写生作品展 20-26 あかね
 画廊
 大野修個展 20-4月1 日本画廊
 竹谷富士雄展 21-4月1 ギャル
 リー・ためなが
 埴賢三展 22-29 日動サロン
 関口茂油絵作品展 24-29 小田急
 帖佐美行金工展 24-29 銀座・松
 屋
 磯村敏之個展 24-4月1 ケニヤ
 画廊
 河口龍夫個展 25-4月8 ビナー
 ル画廊
 溝田コトエ個展 25-4月8 愛宕
 山画廊
 松永敏太郎展 27-4月1 昭和画
 廊
 佐藤彰一遺作展 27-4月5 日本

美術展覧会(3・4月)

橋画廊
6回阿部隆行個展 28-4月1 兜
屋画廊
19回サンシュマン展 28-4月2
高島屋
塚本茂近作展 28-4月2 高島屋
荻太郎・伊東繁2人展 28-4月2
日 銀座・松坂屋
香月泰男シベリア・シリーズ展 28
-4月16 東京セントラル美術館
正田壤展 30-4月5 日動サロン

4 月

永瀬義郎展 1-5 小田急
レジェ展 1-5 池袋・西武
小栗正小品展 1-8 彩壺堂
高間惣七・高間真理父子展 1-10
東急日動画廊
佐藤真一新作展 1-10 梅田画廊
三番街店
久野真展 1-15 東京画廊
ウィーン幻想絵画展 1-18 小田
急
明治の大阪展 1-5月14 サント
リー美術館
22回モダンアート展 2-19 都美
術館

会員出品目録

絵 画

作 品 A 水 藤 澄 子
作 品 B " "
作 品 72-1 江 藤 嬰 子
作 品 72-2 " "
Blue-square
No. 1 鈴木田 俊 二
α・β・γ 刀 根 真 澄
作 品 1 西 原 元
作 品 2 " "
証 = 落 盤 石 井 利 秋
証 = 炭 塵 爆 発 " "
扉 正 田 壤
窓 " "
盲 黙 の 歩 み 岡 本 公 夫
" " "
作品'72/15「綵
れる衣」 小 林 美 奈 子
バス 停 留 所 能 仲 ヤツヲ
虚 飾 の 宴 " "

復元 ファイア
ロン
" プロゲロ
ン
ミゼレレ・ノビ
ス No.6 青の原
罪
" No.5 十字架
の昇天
象 徴 の 森 周 襄 吉
人 村 井 正 誠
四 人 " "
ゆっくり浮ぶよ
うに 小 川 孝 子
風の中に見える " "
1972状態 O-L-
AG 佐 藤 多 都 夫
" O-L-
BR " "
聖(ひじり) I 山 口 信 郎
" II " "
聖 なる 手 岸 浩
シルエット III 光 永 直 人
" I " "
曲 -722- 恒 川 俊 明
曲 -721- " "
作品 172-4 A 白 石 道 夫
木霊 " "
" 172-4 B " "
無言歌
心を何故か忘れ
て 赤 崎 君 美
黒い心の支配す
る時 " "
虹に Kiss を 小 倉 ボ オ
羽蝶の夢をみた " "
帰 る 永 原 道 郎
蝶 の 館 " "
雲 根 岸 茂 行
地 下 道 " "
如意輪 観 音 勝 田 寛 一
伎 芸 天 " "
初 霜 東 俊 二
雨 後 " "
ローマボポロ広
場 矢 橋 六 郎
ボポロ広場 太
陽の門・ローマ " "
仮 面 な ど 近 藤 鉄 之 助
虹 " "
暮 色 出 水 徹
陶 醉 " "
エレクトラ III 渡 辺 可 久
-A

エレクトラ III
-B 渡 辺 可 久
皇帝門舞曲 II 水 谷 信 子
" I " "
星屑の中のかぐ
や姫 宅 野 豊
ひ ざ し (ア) 加 藤 博 康
" (イ) " "
幻 映 大 津 忠 太 郎
風 滝 " "
紅 葉 鈴 木 初 江
クオパデス 芦 田 尚 一
高 層 住 宅 " "
栄 華 ・ 式 斎 藤 忠 誠
栄 華 ・ 壺 " "
GOOD BLESS
AMERICAN
SERIES 靱 山 七 重
New York New
York
American bea-
utiful
Gun power
Willow broo's
children
ヘアースペース 堀 田 能 生
ヘ ア ー " "
目かくしの告示
者 (イ) 加 藤 三 男
" (ロ) " "
風の中を走りぬ
けてゆく人々 " "
" " "
フレームアップ 阪 本 文 男
静物 " "
二 つ の 枠 " "
白と赤スペース 勝 本 富 士 雄
ライジングサン " "
出 会 い (西方) 朝 妻 治 郎
" (東方) " "
Libido 66 木 村 一 生
" 67 " "
離 離 " "
逢 逢 " "
乾燥地帯 A. 1 鯛 天 伸 一
" B. 2 " "
幟 A 木 村 良 枝
" B " "
櫓 火 B 森 慧
" A " "
窓 " "
カーニバルの朝 小 林 孔
夏 の 雨 執 行 正 夫

雨 期 執行正夫
 薔薇と海と 河野穰而
 窓のある自画像 小林和利
 1 高塚篤
 「間」 " "
 「ク」 " "
 作 品 山内慶子
 " " "
 722 上野山 エイシ
 721 " "
 風 1 永井 肇
 " 2 " "
 作品 722-1 伊勢昌史
 " 722-2 " "
 ゆ く 西川幸衛
 み ち の む " "
 分譲広告 曾根 亮
 連戸と分譲 " "
 貨車にのせられて 坂本正直
 野 (来迎) 荒瀬貞次
 (飛天) " "
 標本化された共 渡部 武
 同体 松永品子
 狼 っ 子 " "
 ツ キ モ ノ " "
 標本のある室 渡部 武
 室・室 栗原 勇
 庄 A " "
 " B " "
 作品シリーズ1 芝 章一
 夜明けはセレモ 河村一夫
 ニーで始まる(B) " "
 " (A) " "
 The~The オオミダイゾー
 作 品 B 上田初生
 冬 (B) 岩田ちよ子
 " (A) " "
 PROJECTION 志賀 広
 No.1 " "
 " " "
 No.2 " "
 作品 72-W 和田季悦
 作品 72-K " "
 あ 嶋本昭三
 赤 い ま る " "
 彫 刻 " "
 メモリアル 広井 力
 風の軌跡 " "
 作 品 A 橋本正司
 作 品 B " "

響 (発) 重田照雄
 響 (受) " "
 帆 住谷正巳
 作 品 " "
 " " "
 目の修理 高木 辰
 煙突のみえる風景 " "
 記録 72-6 杉江淳平
 よ ろ い 加藤重男
 祖 一 A 荻野博
 祭 器 谷村敬八郎
 苦 い 泉 " "
 水 の 華 半田富久
 150キロの自然 佐藤清人
 版 画 蓮見幸夫
 Saku-Z 8 " "
 Saku-WH 2 " "
 青 一 72 A 友沢恭男
 72 B " "
 ざ ん せ つ 牛玖健治
 雪 国 の 村 " "
 火 の 花 吹田文明
 青空に消えた虹 田島宏行
 色の紙 伊藤弥四夫
 悲しい水差し " "
 飛来 No. 26 " "
 " No. 25 " "
 デザイン 朝倉直巳
 オシロスコープ による構成
 "green-No.1,, " "
 " " -No.2,, " "
 " " " "
 "blue-No.1,, " "
 " " -No.2,, " "
 M A 721 馬場雄二
 M A 722 " "
 リズム 1 高橋伸子
 " 2 " "
 M o i r è 72 宮木慧子
 生活美術 田中靖彦
 ダイヤのクイー ン " "
 ダイヤのエース " "
 WALL-72 本野東一
 " " "
 写 真 " "
 公 害 A 杉本 清
 " B " "

固 執 A 吉川悦陽
 " B " "
 作 品 (A) 桜井武人
 " (B) " "
 タウン D 原本康三
 オブジェ A 益田凡夫
 " B " "
 く さ り 小島洋吉
 " " "
 " " "
 " " "
 Khajuraho 2 鳥居良禅
 " 3 " "
 " 1 " "
 ブルー III 柴田奉明
 " II " "
 貌 '72 吉川治夫
 " " "
 " " "
 " " "
 ケルン聖堂 高柳英麿
 " " "
 作品 H-II 草野昭治
 I " "
 錦木昌弥個展 3-8 あかね画廊
 星方展 3-9 銀座アートギャラ
 リー(大久保実雄、北村脩、鳥居
 雅隆、吉野純、北川薫、木津一
 夫、小島弘、矢形勇)
 上智智祐個展 3-15 藤美画廊
 春の院展 4-9 三越本店
 4回転石会彫刻展 4-9 高島屋
 (菊地一雄、佐藤忠良、菅原安男、
 高田博厚、早川巍一郎、舟越保
 武、本郷新、柳原義達、吉田芳
 夫)
 米田三男之助個展 4-9 銀座一
 方堂画廊
 女流陶芸展 5-10 京都市美術館
 14回十二展 6-13 日動サロン
 7回日春展 7-12 銀座・松屋
 桃山・江戸・明治300年の美術 8
 -5月7 上野の森美術館
 出品目録
 網干図屏風 伝海北友松
 唐獅子図屏風 狩野永徳・常信
 南蛮人渡来之図
 屏 風
 梅に鴉図 伝雲谷等顔
 鮭 高橋由一

美術展覧会(4月)

東海道北陸御巡幸
幸屋従筆写画
(石山親月堂・長良川鵜飼之図)

イタリア兵士
舞妓図
収穫
蘭亭図幅
群猿図
不動明王図

柳橋水車図屏風
宇治橋図屏風
網干図屏風
牧馬図屏風
大原御幸図屏風
龍虎図屏風
鷺鷥図屏風
源氏物語図
周茂叔林和靖図屏風

風俗図巻
柳下鬼女図屏風
紅白梅図屏風
雪中老松図
山水図屏風
四君子図屏風
ブルガリアの女

西洋婦人
靴屋の阿爺
夏の夕
夜汽車
少女像
智仁勇図
梅花書屋図幅

月夜山水
水鏡
春暖
村童観猿翁
常世
花卉禽獸図巻
鳥獸蒔絵油彩
基督画像聖龕

現代スウェーデン美術展 8—5月

21 東京国立近代美術館

黒田外喜男油絵個展 10—15 昭和画廊

林秀行個展 10—15 日本画廊

銀・若冲に捧ぐ 富張広司個展 10—15 ギャラリープリントアート

小谷良徳個展 10—15 柳屋画廊

田栗テル個展 10—15 銀座サエグ

五姓田 義 松

松 岡 寿

黒 田 清 輝

浅 井 忠 忠

野 口 小 蘋

川 端 玉 章

狩 野 芳 崖

長谷川 久 蔵

會 我 直 庵

〃

伝 土佐 光吉

狩 野 探 幽

菱 川 師 宣

會 我 蕭 白

抱 玉 玉

円 山 応 挙

呉 春 春

椿 椿 山

百 武 兼 行

山 本 芳 翠

原 田 直次郎

久 米 桂一郎

赤 松 麟 作

川 村 清 雄

野 口 幽 谷

松 林 桂 月

橋 本 雅 邦

菱 田 春 草

西 郷 孤 月

横 山 大 観

小 堀 軔 音

国 井 応 文

サギャラリー

三浦巖個展 10—15 銀座アート

ギャラリー

7回安西啓明日本画展 10—16

ギャルリ・アルカンジェ

加藤三男個展 10—16 あかね画廊

坂本善三(72 No.2 企画)展 10—19 ミヤマ画廊

現代彫刻展春季展 10—20 アート

ギャラリー・マスママ

黒崎彰木版画展 10—22 シロタ画廊

田中敦子個展 10—22 南画廊

15回安井賞受賞記念・中西勝展 11—14 梅田画廊三番街店

岩田糸子作品展 11—16 銀座・三越

岩崎巴人個展 11—22 ギャラリーオカベ

墨の美術 13—18 大丸

大久保実雄画集出版記念展 13—25 愛宕山画廊

長岡忠三郎油絵個展 14—19 小田急

塩原友子日本画展 14—19 東タイ画廊

2回後藤よ志子展 14—21 日動サロン

吉川三伸油絵作品展 15—20 巴里画廊

菅木志雄個展 15—21 紀伊国屋画廊

近代イタリア美術の巨匠たち 15—5月21 京都国立近代美術館

出品目録

戦 場 に て 1911 ウンベルト・ボッチョーニ

町 が 昇 る 1910 〃

マ テ リ ア 1912 〃

「いろいろな気分のための三つの習作」 1911 〃

a. とどまる人びと

b. とどまる人びと

c. 行ってしま

う人びと

二つの肖像 1912 〃

a. 「反優雅」の

ための習作

b. バッラの肖像

動 く 人 1913 ウンベルト・ボッチョーニ

空間の中の連続するユニークな形態 1913 〃

横 た わ る 女 1911—15 〃

自転車に乗る人のダイナミスム 1913 〃

風 景 〃

ミラノのガレリアのための習作 1912 カルロ・カッラ

踊る人;円運動の形態 1912 〃

ミラノのガレリア 1912 〃

酔っぱらった紳士 1916 〃

ダイスをする人—形面上の素描 1917 〃

追 跡 1914 〃

マ ス カ ン 1918 〃

男 性 像 1920 〃

技 師 の 愛 人 1921 〃

フリー・ワード・ペインティング(愛国式典) 〃

ヘルマフロディテ崇拜像 1917 〃

セジアの田舎家 1924 〃

西洋の騎士 1917 〃

モネリアの港 1921 〃

海 辺 の 朝 1928 〃

動きの進路+ダイナミック・シンクエンス 1913 ジャコモ・バッラ

ダイナミックな深さ 1913 〃

太陽の前を横切るマーキュリー 1914 〃

「あまつばめの飛翔」のための習作 1913 〃

切り刻まれた木々 1918 〃

霧 の 凝 固 1912 ルイジ・ルッソ

ギ タ ー 1918 ジーノ・セベリーニ

青 い 踊 子 1912 〃

動 物 抽 象 1914 フォルトゥナート・デペロ

び ん 1961 〃

クラベルの肖像 1917 〃

造型的リズム —ストラビンス キー類	1919	フォルトゥ ナート・デ ペロ	横たわる裸婦	1917 —18	アメデオ・ モディリア ーニ	東京ブリチストン美術館新収作品展 15—6月4日 ブリチストン美術館
橋の各面の転置	1913	アルデン ゴ・ソッ フィチ	画家フランク・ ハビランドの肖 像	C. 1914	〃	杉浦一郎個展 16—21 銀彩堂画廊
小さなトロフィ	1914	〃	花	1913	ジョルジ ン・モラン ディ	会沢貞子個展 17—22 養清堂画廊
果物とリキュー ル	1915	〃	浴女のいるコン ポジション断片	1914	〃	淀井彰子個展 17—22 みゆき画廊
女性像	1913	マリオ・シ ローニ	風景	1914	〃	重田照雄彫刻展 17—22 ときわ画 廊
未来派的コンボ ジション	1914	〃	旅行用時計のあ る静物	1915	〃	松田正平個展 17—22 フォルム画 廊
パンドラ	1919	〃	びんと果物鉢	1916	〃	鱈利彦油絵展 17—22 ギャラリー・ アルカンシェル
戦争	1916 —18	〃	サボテン	1918 —19	〃	西村正次展 17—23 兜屋画廊
未来派的コンボ ジション	1915	〃	サボテン	1918	〃	野田弘志展 17—28 ギャラリー・ ためなが
白い馬	1919	〃	人物	1918	〃	木彫とテッサン展 (平櫛田中、澤 田政廣、圓錐勝三) 18—23 三 越本店
プロペラのある コンポジション	1916 —18	〃	ばら	1917	〃	児島善三郎展 18—23 高島屋
人物のいる都市 風景	1932	〃	野の花	1924	〃	パンリアル春季展 18—23 京都府 立文化芸術会館
後から見た裸体	1927	〃	巻き貝のある静 物	1929	〃	19世紀フランス絵画「美しき女性」 展 18—30 三越本店
酒を呑む男	1924	〃	ランプのある静 物	1923	〃	前田常作展 18—30 東京画廊、東 京セントラル美術館
目ざめ	1933	アルトゥー ロ・マル ティーニ	黄色いびんのあ る静物	1931	〃	石黒直子作品展 18—30 東京セン トラルサロン
トランプをする 人	1920	オットー ネ・ロザイ	コーヒーポット のある静物	1930	〃	恵俊彦展 19—28 日本橋画廊
ダイナミスム酒 場サン・マルコ	1914	〃	巻き貝と果物鉢	1931	〃	中村清治個展 21—5月3日 京王梅 田画廊
街路の断片	1914	〃	静物	1932	〃	牧野司郎個展 22—27 銀彩堂画廊
果物鉢のある静 物	1916	〃	大きな静物	1935	〃	7回穹展 22—28 日動サロン(梅 津五郎、菅野矢一、所榮次、西田 亨、日野耕之祐、平松譲、広瀬 功、深谷徹)
私の父	1920	〃	びんのある静物	1936	〃	38回東光会展 22—5月8日 都美術 館
風景	1923	〃	アマゾンたち	1928	マッシモ・ カンビーリ	46回国画会展 22—5月8日 都美術 館
時間の謎	1911	ジョルジ ン・デ・キ リコ	女看守	1929	〃	49回春陽会展 22—5月8日 都美術 館
巨塔	1914	〃	雨傘を持つ婦人	1932	〃	大正期の画家展その1 22—5月21 日 神奈川県立近代美術館
小さな仕事場の 形面上的インタ リア	1917	〃	デカノ枢機卿の 肖像	1929	ジーノ・ボ ニキ(通称 シビオー ネ)	出品目録
不安な女神たち	1916	〃	デカノ枢機卿	1929	〃	松並木横山大観
バオロとフラン チェスカ	1917	〃	小さな馬	1929	〃	千与四都
ヘクトールとア ンドロマケ	1917	〃	裸婦	1929	〃	山窓無月
坐る裸婦	1917	アメデオ・ モディリア ーニ	ローマの高級娼 婦	1930	〃	喜撰山
坐る女	1918	〃	ヌード(坐る若 者)	〃	フィリッ ポ・デ・ピ シス	洞庭の夜
ベアトリス・ヘ ステングスの肖 像	1915 —16	〃	目のある静物	1926	〃	生々流転
男の肖像	1918	〃	ドラゴン通り	1930	〃	美人人下村観山
ハイドンの肖像	1918 —19	〃	郊外	1934	〃	東海道五十三次
			老人の肖像	1930	〃	
			パリの四旬節	1928	〃	
			椅子に坐る少女	1949	ジャコモ・ マンズー	
			馬	1939	マリノ・マ リーニ	

美術展覧会(4月)

浪花津、高津宮 今 村 紫 紅
 業平東下り図 //
 湯 の 宿 //
 龍 虎 //
 閑 庭 //
 沙 魚 //
 潮 見 坂 //
 東海道左富士 //
 紫 陽 花 小茂田 青 樹
 妙 高 山 //
 雪 景 //
 楽 山 新 秋 //
 楽山新秋 下絵 //
 出雲江角港 //
 ボンボンダリヤ //
 寒 林 //
 写生画 卷 //
 洛北修学院村 速 水 御 舟
 比 叡 山 //
 紙 す き 場 //
 鶺鴒 舟 富 田 溪 仙
 祇園夜桜 //
 前 赤 壁 //
 蘭亭曲水 //
 吉野細雨図 //
 樹下石人談 小 川 芋 銭
 樹下石人談稿本 //
 石炭と椿の円光 //
 夕 風 //
 加賀千代図 北 野 恒 富
 極 楽 井 小 林 古 徑
 極楽井 下絵 //
 住 吉 詣 図 //
 異端(踏絵図) 下絵 //
 阿弥陀堂 下絵 //
 い で ゆ //
 犬と遊ぶ 下絵 //
 機 織 下絵 //
 鶺鴒 銅 近 藤 浩一路
 御 夢 安 田 靱 彦
 日 食 //
 竹 取 物 語 前 田 青 邨
 京 名 所 八 題 //
 神 代 の 巻 //
 霜 月 頃 堅 山 南 風
 龍 神 中 村 岳 陵
 薄 暮 //
 輪廻物語 //

青木繁展 22—6月4 プリヂスト

ン美術館

作品目録

油 彩

ランケ肖像画 1902
 タ 焼(風景) 1902—4
 自 画 像 1903
 太 田 の 森 1903
 輪 転 1903
 享 楽 1903
 享 楽 1904
 天 平 時 代 1904
 少 女 群 舞 1904
 木立(森の暮色) 1904
 曇 り 日 1904
 農 夫 1904
 農 家 1904
 自 画 像 1904
 海 1904
 海 1904
 海 1904
 海 の 幸 1904
 女 の 顔 1904
 女 の 顔 1904
 海景(布良の海) 1904—5
 海 1905
 自 画 像 1905
 光 明 皇 后 1905
 大 穴 牟 知 命 1905
 芙蓉(円光寺板戸) 1905
 神 話 1906
 女 星 1906
 旧約聖書物語挿絵 1906
 1 光あれ
 旧約聖書物語挿絵 1906
 2 葦舟のモーゼ
 旧約聖書物語挿絵 1906
 3 紅海のモーゼ
 旧約聖書物語挿絵 1906
 4 ヤエル、シセラを斬る
 旧約聖書物語挿絵 1906
 5 ダビデの聖詠
 旧約聖書物語挿絵 1906
 6 ソロモン王とエルサレム
 旧約聖書物語挿絵 1906
 7 ネブカデネザルとダニエル
 旧約聖書物語挿絵 1906
 8 エステルとハマン
 雪 景 1906
 日 本 武 尊 1906
 風 景(未完) c.1906—7

わだつみのいろこの宮 1907
 下絵
 わだつみのいろこの宮 1907
 幸 彦 像 1907
 谷ちか夫人像 1907
 月下滞船図 1908
 筑 後 風 景 1908
 漁夫晩帰下図 1908
 漁 夫 晩 帰 1908—9
 晩 帰 1908
 秋 声 1908
 初代富安猪三郎氏像 1908
 天 草 風 景 1909
 二 人 の 少 女 1909
 渡 し 場 1909
 白 壁 の 家 1909
 虹 の 松 原 1909
 春 郊 1909—10
 旭 c.1909—10
 温 泉 1910
 風 景 1910
 風 景 1910
 筑 後 風 景 1910
 犬 1910
 木下秀康大尉像 1909—10
 T 氏 像 1910
 橋本道達氏像 1910
 夕 焼 け の 海 1910
 海 1910
 朝 日 1910
 朝 日(絶筆) 1910
 水 彩
 ラ ン プ c.1901
 男 半 裸 体 1901
 閻 威 弥 尼 1903
 黄泉比良坂下絵 1903
 黄 泉 比 良 坂 1903
 春 1904
 丘 に 立 つ 人 1904
 風 景 1904
 女 1904
 堅琴をもてる女 1904
 河 岸 の 家 1904
 エ ス キ ー ス 1904
 水 浴 1904—5
 勝 関 図 c.1904—5
 鏑斧(春鳥集口絵) 1905
 錦 絵 1905
 狂 女 1906
 雪 景 1906

妙義山 1907
 春秋 1908
 菊 籬 1909—10
 浴 女 1910
 素描
 犬の図 1900
 人物素描 c.1901
 妙義最奥 1902
 下仁田の町から見た風景 1902
 妙義山金洞第一石門 1902
 落葉径 1902
 神塞妙義 1902
 麓より妙義山を望む 1902
 汗の妙義山スケッチ行 1902
 山上のスケッチ 1902
 妙義神社 1902
 松井田駅 1902
 網 棚 1902
 妙義登山戯画 1902
 秋の夜 1902
 越後獅子(妙義祭) 1902
 スケッチする男 1902
 男の顔(丸野豊氏) 1902
 男の顔と足 1902
 碓氷川磧 1902
 馬 1902
 馬肉屋 1902
 蚕 家 1902
 蚕村晩秋 1902
 月の夜 1902
 毛の国の歌入りスケッチ 1902
 上小坂廃寺 1902
 中小坂村 1902
 風景 1902
 籠をせおった男 1902
 信州甘菜川のスケッチ 1902
 小関村附近 1902
 風景 1902—4
 自画像 1903
 自画像 1903
 根津権限 1903
 根津権限(柱) 1903
 安藤氏の顔 c.1903
 女素描 1903
 舞妓 1903
 習作 1903
 裸夫立像(後向) c.1903

裸夫立像(正面) c.1902—3
 裸夫立像(正面) c.1902—3
 裸夫立像(横向) c.1902—3
 黄泉比良坂下絵 1903
 顔 1903—4
 林 c.1903—4
 町の風景 1903—4
 風景(家) 1903—4
 晩 婦 1903—4
 桜 c.1904
 自画像 1904
 男の顔 1904
 男の肖像 1904
 自画像(眼) 1904
 眼 1904
 眼 1904
 歌入り自画像 1904
 おもかげ c.1904
 男の顔・戯画 1904
 渾沌(「夕潮」挿絵) 1904
 ギリシャ武人 1904
 男・裸像 c.1904
 裸 体 1904
 神話の男とかがめる女 1904
 Artistic Anatomy 1904
 エスキース(正面) 1904
 エスキース(横向) 1904
 海の幸下絵 1904
 帰漁を待つ母子 1904
 帰漁を待つ母子 1904
 元禄の女 1904
 舞妓のスケッチ 1904
 海上の市場 1904
 カット風の風景 1904
 門壁のある風景 1904
 婦人像(「せゝらき集」挿絵) 1904—5
 暁の祈り下絵 1904—7
 遊 女 c.1905
 門壁の図案 1905—6
 真・善・美 1905—6
 人物群像 c.1905—6
 山田義臣氏像 1906
 椿の花をもつ女 c.1906
 かぐや姫 1906—7
 わだつみのいろこの宮下絵 1907
 天平の女 1909
 日傘と少女 1909
 佐賀郊外 1909

犬の顔 1909
 アヒル 1909—10
 山あいの風景 1910
 風景 1910
 橋のある風景 1910
 山村風景 1910
 明治の女 1910
 湯 祭 1910
 老 女 1910
 晩年の自画像 1910

その他

神社(中学時代の作品) 1896
 画稿集表紙 1902
 香合(男の顔) 1903
 香合(人物) 1903
 絵かるた 1904
 漢詩かるた 1904
 かるた 1904
 しおり(女) 1904
 書(歌)(扇面) 1904
 書(歌)(扇面) 1904
 海景(円光寺板戸) 1905
 うちわ c.1905—6
 龍のふくさ 1908
 木下秀康大尉像外箱 1909
 富士山図(扇面) 不詳
 うちわ(風景) 不詳
 塚越寛子油絵近作展 23—29 地球堂ギャラリー
 押尾豊彫刻展 23—30 紀伊国屋画廊
 田中義昭個展 24—28 フォルム画廊
 堀川恭彫刻展 24—29 とぎわ画廊
 石黒直子個展 24—29 吉井画廊
 小川原脩個展 24—29 柳屋画廊
 鈴木延雄展 24—29 昭和画廊
 高橋虎之助個展 25—5月1日 中央美術画廊
 山鹿清華手織錦展 25—5月4日 京都府立文化芸術会館
 デューラーとドイツルネッサンス展 29—6月11日 東京国立西洋美術館
 柴田祐作水彩画展 30—5月6日 銀座ヤマト画廊
 齋藤タカシ個展 1—6 楡の木画

美術展覧会(5月)

廊

角卓油絵展 1—6 丸善画廊
元田乾行個展 1—6 大倉画廊
桜井達之個展(都市プラン) 1—6
ときわ画廊
関口誠・確田勝己2人展 1—6
昭和画廊
彫刻集団五月会5回展 1—13 日
本画廊(木内岬、桑原巨守、鈴木
政夫、堀口泰造、森川昭)
北京・梅原龍三郎展 1—30 吉井
画廊
加山四郎近作油絵個展 2—6 兜
屋画廊
小川千麿遺作展 2—7 上野・松
坂屋
13回友人会 2—7 高島屋(服部
正一郎、大沢昌助、田崎廣助、田
村孝之助、田中忠雄、田辺三重
松、中村善策、松本弘二、古家
新、寺田竹雄、宮本三郎)
和田徹展 2—13 日本橋画廊
田村鎮男個展 2—14 東京セント
ラルサロン
松永敏宏彫刻展 4—9 椿近代画
廊
2回桐弘史郎油絵展 5—10 小田
急
水墨と陶器による川崎小虎展 5—
15 北辰画廊
日本の四季「春」展 5—6月25 山
種美術館
6回飯田満佐子個展 7—13 大倉
画廊
棟方志功展 7—16 日本橋東急
加倉井和夫・山岸純2人展 8—13
サカモト画廊
浅見増子個展 8—13 銀座アート
ギャラリー
沢和子個展 8—13 一方堂画廊
鷺見哲彦個展 8—14 シロタ画廊
堂本尚郎個展 8—20 南画廊
加藤栄三日本の祭展 9—14 三越
本店
5回臥龍会展 9—14 高島屋(熊
谷九寿、車田綴、久保守、杉本健
吉、香月泰男)
7回ジャパン・アートフェスティバ
ル 9—14 東京セントラル美術

館

みのわ淳個展 9—20 ギャラリ
ー・オカベ
北川民次回顧展 10—21 名古屋・
日動画廊
32回日本画院展 10—22 都美術館
41回朔日会展 10—22 都美術館
5回伍彩会油絵展 12—17 小田急
(上橋薫、大歳克衛、土井邦晃、
三宅悦隆、樋口浩平)
浅井昭油絵展 12—17 渋谷・東急
木内克新作彫刻展 13—24 現代彫
刻センター
三雲祥之助展 15—20 ギャルリ
ー・ためなが
舘岡豊照展 15—20 ミヤマ画廊
井上悟個展 15—25 丸ノ内サエグ
サ画廊
奈良清四郎油絵展 15—27 愛宕山
画廊
富樫実個展 15—27 ガレリアグラ
フィカ
8回樺会油絵展 16—21 高島屋
(林武、山下大五郎、島村三七雄、
鳥居敏文、矢崎牧広、周襄吉、中
間冊夫、小林数、樋口加六、牛島
憲之、水島清)
片柳忠男個展 16—21 銀座・松坂
屋
11回独立選抜展 17—23 都美術館
加藤助八展 17—24 日動サロン
ジョルジュ・デスパニエ展 17—27
日動画廊
ルーマニア現代民俗芸術展 17—6
月4 東京セントラル美術館
鬼才の画人・谷中安規展 18—28
紀伊国屋画廊
能仲ヤツヲ油絵展 19—24 小田急
早川義孝展 22—27 昭和画廊
二元会選抜・鈴木博尊個展 22—27
柳屋画廊
名村定志個展 22—27 日本画廊
中央美術協会展 22—28 上野の森
美術館
神門四郎小品展 22—28 造形画廊
高田博厚彫刻展 22—31 梅田画廊
三番街店
飯田善国版画展 22—6月3 南天
子画廊

国領経郎展 22—6月3 彩壺堂
ロココからアール・ヌーボーまで
「王朝美術展」 23—28 高島屋
安井賞候補作家展 23—6月4 椿
近代画廊
38回旺玄会展 24—6月5 都美術
館
43回第一美術展 24—6月5 都美
術館
近藤信道個展 25—31 日動サロン
2回水谷淳油絵個展 26—31 小田
急
利根山光人・萩原英雄 版画とスケ
ッチ2人展 26—31 小田急
7回京翠会 26—31 京王梅田画廊
(麻生三郎、伊藤清永、井上覚造、
大沢昌助、鬼頭鍋三郎、小磯良
平、児玉幸雄、佐野繁次郎、田崎
広助、鷹山守一、田村孝之助、野
間仁根、原精一、堀内規次、他)
昭和期の青春の詩編・三岸好太郎展
26—6月13 小田急
長谷川路可フレスコ模写展 27—6
月11 神奈川県立近代博物館
飯塚八朗個展 27—6月17 第七画
廊
現代スウェーデン美術展 27—6月
18 京都国立近代美術館
現代イタリア彫刻の全貌展 27—11
月30 彫刻の森美術館
出品作家
ジャコモ・バルラ、ジャコモ・ベ
ネヴェルリ、ウンベルト・ボッチ
オーニ、フロリアノ・ボディー
ニ、ルイジ・ブロッジーニ、グア
ルティエロ・ブサト、コルラド・
カリ、アルド・カロ、クラウド
オ・カボトンディ、カルメロ・カ
ッペルロ、ピエトロ・カシエ
ラ、ニーノ・カッサーニ、ブルー
ノ・カッシナリ、アリク・カヴァ
リエレ、サンドロ・ケルキ、ピエ
トロ・コンサグラ、ジョルジオ・
デ・キリコ、アジェノーレ・ファ
ツプリ、ペリクレ・ファッツイー
ニ、ヴィルジニオ・フェルラー
リ、ルチオ・フォンタナ、ニー
ノ・フランキーナ、オスカー・ガ
ルロ、フランコ・ガレルリ、ルイ
ジ・ゲノ、クイント・ゲルマン

ディ、エミリオ・グレコ、ルイ
ジ・グロッソ、マルチェロ・グ
アスティ、レナト・グットツ、
ラッファエレ・イアンドロ、フラ
ンコ・リベルトウッチ、エドガ
ルド・マッスッチ、ジャコモ・マ
ンズー、ジャンカルロ・マルチー
ゼ、マリノ・マリーニ、アルト
ウーロ・マルティーニ、クイン
ト・マルティーニ、マルチエル
ロ・マスケリーニ、ウンベルト・
マストロヤンニ、マリノ・マッザ
クラティ、ジュセッペ・マズル
ロ、フランチェスコ・メッシー
ナ、ウンベルト・ミラーニ、ルチ
アノ・ミングッチ、ミルコ・バザ
ルデルラ、マリオ・ネリ、アウグ
スト・ベレス、ピエール・ルカ、
アルナルド・ボモドーロ、ジオ・
ボモドーロ、エンリコ・ペランボ
リニ、アミルカーレ・ランベル
リ、カルロ・ラムス、アントニ
エッタ・ラファエル・マファイ、
メダルド・ロッソ、ミーノ・ロッ
ソ、ブルーノ・サエッティ、ラッ
ファエル・サリンベニ、サル
ヴァトーレ・メッシーナ、ジャン
カルロ・サングレゴリオ、ウー
ゴ・サルトリス、アリジ・サッ
ス、ジーノ・セヴェリーニ、ロレ
ノ・スグアンチ、セルジオ・カル
ロ・シニョーリ、マリオ・シロー
ニ、フランチェスコ・ソマイニ、
ヴィットリオ・タヴェルナリ、
リーノ・ティーネ、アメリカ・ゴ
ット、ヴァレリアン・トルッピ
アーニ、ジュリアーノ・ヴァンジ
郡山三郎個展 29—6月4 銀座
アートギャラリー
細木茂子展 29—6月4 村松画廊
原精一展 29—6月7 日動画廊
五百住乙展 29—6月7 日本橋画
廊
藤沢匠油絵展 29—6月10 愛宕山
画廊
岩崎鐸油絵個展 30—6月4 新
宿・三越
近代絵画の巨星「大観・玉堂・栖鳳」
展 30—6月4 上野・松坂屋
斎藤真一警女日記展 30—6月4

三越ギャラリー・アネックス
中山忠彦、野々内良樹2人展 30—
6月4 東京セントラルサロン
1回平櫛田中受賞記念・淀井敏夫彫
刻展 30—6月4 高島屋
現代イタリア美術の巨匠たち展 31
—7月9 東京国立近代美術館

6 月

地主梯助展 1—8 梅田画廊三番
街展
26回女流画家協会展 1—13 都美
術館
68回太平洋美術展 1—13 都美術
館
四人の作家(能仲ヤツヲ、斎藤鷹
廊、みのわ淳、出水徹)による幻想
陶芸展 2—7 小田急ハルク
中尾彰個展 2—7 竹川画廊
辻清明・協子陶芸展 2—7 銀座
・松屋
サロン・ド・ジュワン展 3—8
椿近代画廊
土窯グループ作陶展 3—9 ギャ
ラリー・アルカンシェル
21回創製会展 4—15 都美術館
湯沢正臣個展 5—10 日本画廊
田中修近作展 5—17 吉井画廊新
館
森田英二油絵展 5—17 現代画廊
難波田龍起新作展 5—30 東邦画
廊
大平華泉日本画展 6—11 銀座・
三越
三浦巖水彩画展 6—11 上野・松
坂屋
4回八木一夫展 7—14 伊勢丹
20回光陽会展 7—19 都美術館
8回主体美術展 7—19 都美術館
会員出品目録
魔 船 岩 見 陸 雄
" " " " " "
風 景 A 加 藤 勁
" B " " " "
食 卓 (2) 松 井 豊
" (1) " " " "
飛 翔 賀 川 孝
両 界 " " " "

煤 煙 運 河 中 野 淳
北 国 運 河 " " " "
花の下には…… 根 岸 正
Private-space 筑 波 進
(G) " " " "
Private-space (H) " " " "
画 室 の 馬 松 本 忠 義
人 羊 座 野 本 醇
人 馬 座 " " " "
礼 拝 堂 菊 地 長 市
space II 舟 見 俊 二
" I " " " "
白 衣 渡ヶ敷 唯 信
ロトの娘達 司 修
エ ヴ ァ " " " "
no more 佐 藤 吉 彦
少年と牛 中 村 輝 行
少年と球 " " " "
化粧部屋 平 沢 理 紀 夫
ロトを追わる 林 俊 治
最後の楽園 " " " "
石の中 II 小 谷 博 貞
" I " " " "
足摺岬の伊佐港 大 野 五 郎
釣 舟 塚 田 重 明
釣 人 " " " "
レクエム・赤 豊 田 一 男
" 青 " " " "
無 辜 の 民 奈 良 清 四 郎
潮 羽 原 智 達
" " " " " "
歌 手 た ち 西 良 三 郎
残されたもの 野 嶋 佳 浩
古拙への道 " " " "
森の四角い木精 奥 井 章 夫
季節の断章 堀 内 菊 二
(I) " " " "
(II) " " " "
碓氷峠の雪 深 見 公 道
妙 義 の 雪 " " " "
大 地 上 野 実
ま わ る 伊 志 嶺 保 俊
公 園 " " " "
作 品 D 八 幡 三 郎
" M " " " "
列 ぶ 人 平 野 遼
旅 立 ち 塚 田 猛 昭
きれいな一日 " " " "
森 に て 浜 田 方 一

ふ	る	さ	と	泉	幹	夫
港				前	田	進
〃					〃	
牛	と	馬	と	土	井	栄
〃			B		〃	
回		帰	(1)	森	秀	男
〃			(2)		〃	
静			物	原	本	季
あ	る	風	景		〃	
作		品	1	吉	江	新
〃			2		〃	
埋	立	地		磯	村	敏
東	京	湾			〃	之
〃					〃	
夏	の	終	り	八	橋	誠
予		感			〃	滋
ブルタニユーの				寺	田	政
海辺					〃	明
野	の	ひ	と	吉	井	忠
海	の	ひ	と		〃	
野		声		森	田	六
花	の	季	節		〃	男
K	の	肖	像	倉	石	隆
室内	の	裸	婦		〃	
われらの暦は快				関	晴	明
適の季節に遠					〃	
く、雪よ					〃	
おのれの影に対				宮	崎	照
するとき、その					〃	雄
月の出よ、					〃	
新聞を見る人々				瀬	高	政
待つ人々(朝)				塩	水	良
都			市	長	流	功
最後	の	田	植	尾		和
国境	の	ま	ち		〃	
〃			(B)	岩	織	治
お	と	ず	れ		〃	
ま	ど	ろ	み	紺	野	修
人	の	居	る	古	木	司
花	と	貝	と	浜		雄
人			(B)		〃	郎
人			(A)	奥	富	修
お	ど		り	島	田	武
新	緑	の	風	尾	内	健
夜	の		海		〃	治
破			船	尾	崎	平
作		品	A		〃	次
〃			B	中	川	美
荷	と	人	者		〃	智
生	活			山	田	光
月	と	花				春

内 景	渡 辺 貞 之
内 海 風 景	〃
集った女たち	田 中 敏 夫
樹 と 山	前 川 博 人
記 念 碑	赤 塚 徹
静物(紙風船のある)	塚 谷 恵 津 子
静物(凍豆腐のある)	〃
静物(きぶしの ある)	〃
北 国 の 町	金 野 宏 治
窓ぎわの裸婦	塚 谷 政 義
白 い 手 袋	〃
臥 る 裸 婦	〃
排 土 の 人々	田 中 朝 吉
水 の 風 景	賀 川 忠 忠
上 流	〃
白 い 足	川 合 喜 二 郎
二 人	〃
葉 (2)	小 菅 徳 二
〃 (1)	〃
〃 (3)	〃
〃 (4)	〃
〃 (6)	〃
〃 (5)	〃
荒涼たる歩みの 果ては何処?	井 上 俊 郎
アッシジの春	島 田 由 紀 子
えっ ころぼっ ぼっ	橋 本 章
海	荒 木 道 夫
作 品 A	加 藤 一
〃 B	〃
死 ん だ 海	手 塚 益 雄
蝶 の 作 品 (A)	加 藤 十 三 郎
〃 (B)	〃
馬 1	脇 坂 憲 治
〃 2	〃
風 神	八 木 四 郎
団地の見える風景	吉 田 弘
引込線のある風景	〃
人 柱(沖繩)	儀 間 道 義
母 と 子(沖繩)	〃
北 辺	亀 山 良 雄
会 話	〃
状 況	〃
う な さ か	田 中 淳
タンクのある風景	久 保 田 孝 司

歌謡	曹	小	林	良
讀の墓標	〃	オリーヴ	木村	榮治
黒い雨Ⅱ	〃	〃	矢野	利隆
録化	〃	或る記	小谷	良徳
楽市	〃	文子板	細井	憲摩
(バンガラデシユ)	森	空しき祈願	芳雄	樹彦
蜜ある深き海	末松	埋立て地	中島	保松
二人の女	和	二女	戸津	勇作
景(一)	〃	赤灯	鬼頭	太三夫
景(A)	〃	朝の電車	森川	ユキエ
景(B)	〃	終電	石川	歌子之
静物A	〃	猫のいる像	荒木	〃
B	〃	群像	〃	〃
22回新興美術展 館	7—19	都美術	〃	〃
会員出品目録	〃	〃	〃	〃
風景	瀬尾	徳司	〃	〃
昔語1	根本	正	〃	〃
〃2	〃	〃	〃	〃
〃3	〃	〃	〃	〃
埋立五号地	小野	一郎	〃	〃
1(まるいたンク)	〃	〃	〃	〃
2(石油基地)	〃	〃	〃	〃
3(パルプ工場)	〃	〃	〃	〃
漁村の店	野口	広文	〃	〃
クルスの島	鈴木	忠実	〃	〃
神の島	〃	〃	〃	〃
六道済度	坂本	宏里	〃	〃
瀬戸内海1	中村	千	〃	〃
〃2	〃	〃	〃	〃
白夢	古川	正叙	〃	〃
風化のプロセス	池田	多麻	〃	〃
失題	原田	佳泉	〃	〃
ケシキ底	小林	恒吉	〃	〃
林の底	皆川	〃	〃	〃

原始の美 平野三代喜
 白 い 崖 松尾信春
 晩 秋 安部マユ子
 樹 皎 飛田啓之助
 水 族 館 南部白 光
 武蔵野 静日 一郎
 フラメンコ 牛 草 牛
 闊 フラメンコ 〃
 溪 潤 正 木 巍
 青 命 後 藤 大 学
 アジャン 石窟 高 島 祥 光
 懸 泉 南 飯 田 良 夫
 初夏 菩提 山 利 幸
 秩父 霊 場 中 村 雄 潮
 池 畔 平 田 春 照 子
 杉 嫁 杉 本 巴 都 美
 閑 布引 観音の秋 野 口 義 男
 北 山 礼 讀 広 本 勝 平
 冬 晴 れ 御 田 地 英 一郎
 雪 県 想 山 林 大 山 魯 牛
 寄 情 雲 畑 〃
 雨 降 る 小 林 巢 居 人
 愛 欲 戒 鬼 原 素 俊
 群 れ る (一) 茨 木 杉 風
 〃 (二) 〃
 源氏物語 連作 渡 辺 玉 花
 八木 の 梅 船 田 玉 樹
 生 生 谷 口 正 春
 不 動 鎌 田 緑 峯
 白 凱 石 川 栄 一 男
 運 河 田 村 英 郁
 幽 祭 礼 屋 高 二 郎
 祭 納 里 風 景 齋 佐 藤 大 醒
 村 里 風 景 齋 佐 藤 大 醒
 雪 雨 上 好 日 境 野 大 樹
 早 乙 女 好 日 境 野 大 樹
 映 春 宵 行 秋 頃 霧 照 野
 深 山 山 行 秋 頃 霧 照 野
 錦 葉 の 頃 霧 照 野
 若 朝 返 緑

北山 鍾 杉 加 藤 敬 三
 秋 湖 菊 池 桎 寿
 蔭 遠 山 可 住
 楽園 鳥 語 秋 田 仙 喬
 雨 後 松 本 涼 春
 夏 富 士 大 川 一 男
 大 椿 宮 崎 武 夫
 闊 牛 河 野 正 長
 田 舎 佐 藤 一 彰
 青 晴 加 納 千 恵 女
 (遺 作) 江 口 翠 光
 火 境 三 味 丸 茂 湛 祥
 1968年頃の浦安 朝 木 良 之 助
 か くれ 里 鈴 木 春 栄
 絞 水 の 椿 〃
 亜細亜の叫び 〃
 萩原英雄のサーカス展 8—14
 ギャラリーセンタービル
 三浦勝治油絵個展 9—14 小田急
 鈴木博展 9—16 日動サロン
 11回十柯会展 10—21 上野の森美
 術館(安藤信哉、江藤哲、大内田
 茂士、阪倉宜暢、笹岡了一、笹鹿
 彪、中谷龍一、西尾善積、日野耕
 之祐、安武芳男、柳瀬俊雄)
 3回リム展 10—22 フォルム画廊
 (今村昭寛、佐々木信平、長宗希
 佳)
 上原重和個展 12—17 フォルム画
 廊
 佐熊桂一郎個展 12—17 日本画廊
 ジーン・ミッチェル・フォロン版
 画展 12—17 現代彫刻センター
 矢橋六郎個展 12—17 丸ノ内サエ
 グサ画廊
 藤松博展 12—24 南天子画廊
 白根光夫素描展 12—24 丸ノ内サ
 エグサ画廊
 吉岡堅二展 13—18 高島屋
 26回露社展 14—26 都美術館
 60周年記念日本水彩展 15—27 都美
 術館
 15回新象展 15—27 都美術館
 シケイロス展 15—7月16 東京セ
 ントラル美術館
 芝田耕油絵新作展 16—21 小田急
 土橋醇グワッシュ展 17—23 日本
 洋画商ホール
 秋保正三個展 19—24 フォルム画
 廊

佐伯義郎展 19—24 スルガ台画廊
 白根光夫淡彩素描展 19—24 丸ノ
 内サエグサ画廊
 田辺竹次個展 19—24 地球堂ギャ
 ラリー
 成松由季子個展 19—24 銀座アー
 トギャラリー
 竹田和子展 19—25 シロタ画廊
 大久保実雄油絵展 20—25 三越
 ギャラリーアネックス
 赤堀尚水彩画展 20—25 三越ギャ
 ラリーアネックス
 林男三男個展 20—26 中央美術画
 廊
 松島治基個展 20—7月2 東京セ
 ントラルサロン
 9回太陽展(昨日・今日・明日) 20
 —7月10 日動画廊
 井上善教展 21—30 日本橋画廊
 26回職美展 21—7月3 都美術館
 25回創造美術展 21—7月3 都美
 術館
 群炎美術展 23—30 上野の森美術
 館
 片谷美香個展 24—7月15 第七画
 廊
 西村功個展 26—7月1日 フォル
 ム画廊
 田代喬之個展 26—7月1 ミヤマ
 画廊
 吉城弘個展 26—7月1 銀座サエ
 グサ画廊
 佐藤一郎個展 26—7月2 あかね
 画廊
 佐藤大寛墨彩画展 27—7月2 三
 越本店
 上田清一個展 28—7月4 梅田画
 廊三番街店
 28回現展 28—7月10 都美術館
 44回新構造社展 28—7月10 都美
 術館
 52回朱葉会展 28—7月10 都美術
 館
 亜美の会選抜展 29—7月4 東和
 画廊

7 月

北村修個展 1—5 渋谷・西武
清宮質文木版画集“暗い夕日”展
1—11 南天子画廊
3回駒展 1—11 都美術館
高橋庸男・池辺一郎2人展 3—12
愛宕山画廊
大津英敏作品展 3—15 彩壺堂サ
ロン
小杉放庵展 4—10 高島屋
松島治基作品展 4—16 東京セン
トラルサロン
菱田春章その人と芸術展(前期) 4
—30 山種美術館
2回佐藤保春油絵個展 7—13 小
田急
松田文雄画業50年展 7—13 小田
急
三上隆彦洋画展 8—13 銀座・三
越
明治の諷刺画家ジョルジュ・ビゴー
展 8—8月6 サントリ美術
館
立働会彫刻展 9—15 銀座ヤマト
画廊
雨晴会17回展 10—15 兼素洞
サルバドール・ダリ銅版展 10—15
丸善画廊
谷本重義個展 10—15 ミヤマ画廊
小野忠重版画展 10—16 銀座・松
坂屋
成川雄一油絵展 10—22 現代画廊
ドガの彫刻展 15—22 日動画廊
小林研三個展 17—27 大阪フォル
ム画廊東京店
今井繁三郎洋画展 18—23 上野・
松坂屋
佐伯茅子油絵展 18—23 三越本店
22回独立十人の会 18—23 高島屋
(島居敏文、小原稔、田中行一、
竹内晟、中津瀬忠彦、中村節也、
矢崎牧広、藤岡一、湯沢正臣、清
水鍊徳、妹尾正彦)
2回セントラル百人展 18—30 東
京セントラル美術館
高橋北修個展 19—25 日動サロン
中村一郎個展 19—29 日本橋画廊

大沢康之個展 21—26 銀座・松屋
松井叔生油絵展 21—26 東急本店
斎藤タカシ個展 24—29 楡の木画
廊
黒田頼綱・久美子2人展 25—30
高島屋
奈良岡正夫油絵展 25—30 三越本
店
礫土会展 26—30 伊勢丹
3回瀧の会展 26—8月2 日動サ
ロン(糸園和三郎、島あふひ、田
中忠雄、西垣武雄、山田菊枝)
桐生照子個展 31—8月5 銀座
アートギャラリー

8 月

三保憲司個展 1—6 銀座・松坂
屋
末永胤生展 3—8 日動サロン
永井宏遺作展 5—11 紀伊国屋画
廊
榎倉省吾展 5—13 梅田画廊三番
街店
林清納個展 7—12 みゆき画廊
4回十騎会 8—13 高島屋(大木
英穂、加賀美勲、数野繁夫、小谷
英紀、竹内晟、羽田裕、宮下実、
森本草介、山川輝夫、山田嘉彦)
7回秋の日府展 8—13 三越ギャ
ラリーアネックス
25回新しき村美術展 8—13 三越
本店
鎮西忠行水彩画展 8—13 上野・
松坂屋
畦地梅太郎版画展 8—15 ギャル
リ・アルカンジェ
バルビゾン派とその周辺19世紀フラ
ンス絵画展 8—20 三越本店
20回平和美術展 01—19 都美術館
メトロポリタン美術館展 10—10月
1日 東京国立博物館
島州一個展 14—19 ギン画廊
鈴木良三展 14—21 日動サロン
荒井映延展 15—20 高島屋
19回仏教美術彫刻展 15—20 三越
本店(森大造、西山如拙、鈴木国
策、先崎栄伸、三木貞夫、野坂法
山、佐藤匡義、佐藤勝利、鈴木信

春、萩原雅春、安西順一、西川宗
舟、松本昇、高村晴雲、長谷川雅
宣、高野五聖、渡辺龜三郎)
青山義雄近作展 22—27 高島屋
日野耕之祐展 22—29 日動サロン
阪本文男個展 22—9月2 ギャラ
リー・オカベ
3回樹展 25—9月2 あかね画廊
(糸園和三郎、大野五郎、寺田政
明、吉井忠)
15回十一会展 27—9月2 銀座ヤ
マト画廊
石黒鏑二彫刻展 28—9月2 とき
わ画廊
水本修二個展 28—9月3 シロタ
画廊
星野真吾展 28—9月9 日本画廊
伊東深水展 29—9月3 三越本店
16回シェル美術賞展 29—9月3
霞が関ビル・プラザホール
26回新樹会展 29—9月3 三越本
店

出品目録

絵 画

花 祭 り	青 山 龍 志
提 灯 ま つ り	〃
三河のまつり	〃
静 物	赤 堀 尚
裡	池 内 康 子
知らない間に	〃
浴 槽 の 女	今 関 一 馬
黒 い ベ ッ ド	〃
浴 女 A	〃
浴 女 B	〃
静物(サ克蘭 ボ)	伊 藤 禎 朗
静 物	〃
彫刻のある風景 A	岡 田 菊 恵
〃	〃
B	〃
作 品 A	桂 ゆ き
〃 B	〃
「お 告 げ」	アルベルト・カ ルペンティール
「御 訪 問」	〃
漕 ぐ	築 地 進
二 雙 の 船	〃
滞 船	〃
シ テ 島	〃
ア モ ー レ	絹 谷 幸 二

マ リ ア 絹 谷 幸 二
座 像 A 紺 野 修 司
" B " 藤 蕃
ま ど ろ み 進
く つ ろ 中 神 潔
窓 と 少 女 丹 羽 洋 介
月 と り 子
ひ と て 野 間 佳 子
渚 に 庭 橋 本 博 英
白 い 庭 " 橋 本 博 英
大和の春・3
プロヴァンス風
景 教会の裏庭
シャンパーニュ
(六月)
作品・ステンド
グラス
静 物 A 星 俊 六
" B " 星 守 雄
人 A 星 陽 子
" B " 馬 越 子
北 国 の 人 馬 越 子
呼 び 声 三 雲 祥之助
ば ら と 海 浜 三 雲 祥之助
婦 人 像 " 水 村 喜一郎
三つの林檎 門 " 水 村 喜一郎
郊外の工場 路 " 植 田 寛 治
水 街 街 " 笠 井 誠 一
運 の 街 街 " 笠 井 誠 一
水 下 の 街 街 " 笠 井 誠 一
昼 霧 の 街 街 " 笠 井 誠 一
霧 朝 日 の 街 街 " 笠 井 誠 一
朝 船 船 A 笠 井 誠 一
船 船 B 笠 井 誠 一
船 船 C 笠 井 誠 一
農 家 の 裏 黒 木 実
土 塀 " 黒 木 実
門 " 山 本 蘭 村
和 ・ 信 山 本 蘭 村
久 遠 " 朝 井 閑右衛門
作品 A・B・ 朝 井 閑右衛門
C・D・E・ 朝 井 閑右衛門
F・G 朝 井 閑右衛門
ハリストス教会 岡 田 又三郎
過疎の村(プロ
バンス地方) " 岡 田 又三郎
リ ヨ ン 駅 " 岡 田 又三郎
初雪の富士 片 岡 球 子
伊豆よりみたる 片 岡 球 子
富士 " 片 岡 球 子

月夜の富士 片 岡 球 子
富士に花ひらく " 片 岡 球 子
めびなとおびな " 片 岡 球 子
作品 A~D 門 倉 芳 枝
薔 薇 机 上 志 邸 武 久
裸 婦 横 臥 " 志 邸 武 久
窓 辺 紫 陽 花 " 志 邸 武 久
松 虫 草 卓 上 " 志 邸 武 久
紫 陽 花 赤 " 志 邸 武 久
ソ ロ 武 田 邦 雄
友 禪 " 武 田 邦 雄
チェリスト " 武 田 邦 雄
壁 画 " 武 田 邦 雄
花とくだもの " 武 田 邦 雄
緑 る " 武 田 邦 雄
「静 物」 仲 田 好 江
「猫とローソク」 仲 田 好 江
「グラス器の静 物」 仲 田 好 江
調 馬 平 沢 喜之助
船 大 工 " 平 沢 喜之助
船 着 場 " 平 沢 喜之助
街 外 れ " 平 沢 喜之助
長 崎 の 塔 " 平 沢 喜之助
ア テ ネ の 滝 " 南 政 善
白 い 馬 " 南 政 善
首かざりの女 " 南 政 善
ベトナムの女 " 南 政 善
裸 婦 " 南 政 善
縞のセーター " 南 政 善
女 " 南 政 善
小 さ な 橋 三 宅 悦 隆
小山羊を抱く男 " 三 宅 悦 隆
低 い 雲 " 三 宅 悦 隆
海辺のテラス " 三 宅 悦 隆
彫 刻
梳 坐 女 秋 山 進
「陽 光」 雨 宮 敬 子
作 品 No.18 大 滝 直 平
い も う と 栗 原 和 子
ゆ う " 栗 原 和 子
人間家族・ポー
ズをとる未亡人
の座像 島 田 勝 吾
婦 人 座 像 " 島 田 勝 吾
人間家族・妻の
座像 " 島 田 勝 吾
婦 人 座 像 " 島 田 勝 吾
立つ(ポリエス
テル) 染 谷 英 五

女 72 - 3 高 橋 洋
" 72 - 5 " 高 橋 洋
掌 の 華 高 橋 米
掌 の 花 " 高 橋 米
エ チ ュ ー ド 蕨 竜 明
女 広 瀬 和 子
作 品 1 " 広 瀬 和 子
作 品 品 平 原 喜代子
飾 る 女 峰 田 敏 郎
流 れ 水 島 石 根
そ ら " 水 島 石 根
艇 上 水 谷 た き
ゆ う 茂 木 弘 行
女 の 首 " 渡 部 嬰 子
ま ど か 渡 部 嬰 子
変 身 荒 川 明 照
水の中の太陽一
'72 原 武 典
砂の中の太陽一
'72 " 原 武 典
石積み道(パラ
オ) 土 方 久 功
タロサチたんぼ
(パラオ) " 土 方 久 功
クロトンの娘 " 木 内 克
エーゲ海に棒ぐ
裸 婦 像 " 桜 井 裕 一
初 夏 の 女 千 野 茂
花 " 千 野 茂
M さ ん " 山 本 豊 市
絵 山 本 豊 市
工 芸
作 品 A 岩 田 藤 七
" B " 岩 田 藤 七
" C " 岩 田 藤 七
田村文雄版画展 30-9月6 日動
サロン

9 月

西村憲定個展 1-5 渋谷・西武
17回日本山林美術展 1-5 豊島
区民センター
11回律動展 1-6 日本橋・東急
桜井寛個展 1-7 紀伊国屋画廊
57回院展 1-20 都美術館

出品目録

天 地 異 変 飯 鉢 王 朝
熱 国 の 市 鎌 倉 秀 雄
化 身 小 林 五 浪

美術展覧会(9月)

賀朝人	草郎	幾示	邦称	繁子	久成	子幸	山孔	勝子	巳友	千子	鳥夫	惠茂	育緒	志子	山硬	夫輝	夫青	映雄	子夫	遠林	郎朗	佳靈	英以								
多三	雪珪	長大	啓石	余時	菊信	妙重	栗翔	琳正	安万	侯康	静	倭文	多々	愛	俊玄	武冬	白常	弥郁	英法	藤志	澄伯	正勢									
川木中	田岩	林川	村山	原田	辺	橋野	岡下	本田	江辺	垣井	口田	藤屋	谷木	山瀧	橋村	尾井	橋本	山橋	寺庭	藤松	崎田	藤浪									
菊鈴山	上平	小吉	三横	桑津	川牧	土大	館木	松池	入渡	原上	藤山	星沢	斎守	水若	小田	高木	松藤	高岡	平岩	福松	後小	森前	近高								
想麻ル	滝照	衣祀	池教	日幻	べ来	楽神	草晴	誕影	朝説	鳥わ	壁庭	淫	草影	動	樹松	野古	城泉	舞	韻妓	風層	像朝										
神ブドル	降	祭師	の法	の	番明	生幻	の伝	の	に	性	の	淫	不	日	王族	の	の	道													
鳴当	泉浜	霧夕	紅山	大司	雪白	調飛	郷土	通	夏羅	伊中	は臂	裏牛	花老	磯天	緑鑑	門老	赤春	懷バ	ビロン	砂族	の										
韌風牛	龜月	明志	恬卵	子朗	信郎	慶正	彦	満郎	省子	江架	彦威	枝祐	羅子	卓澄	男生	空均	谿子	吉子	郎枝	人郎	雄子	福									
千南土	遊映	黎光	土三	織高	昭善	十五	青善	訥三	三重	芳青	十虎	瑞良	青陽	青哲	竹大	一公	三代	九千	枝人	郎雄	子福										
倉山村	倉沢	道石	野田	川田	沢山	尻田	栗田	野多	川井	上本	矢島	田原	野林	川田	川盤	松島	原投	岡尻	田谷	川場	田司										
郷堅奥	小北	真羽	小内	菊藤	長横	江岡	小吉	真島	梅益	川宮	大村	島神	上若	長島	小常	小小	松丸	梅江	神薬	堀番	安莊										
陽昏	翻う	己雀	院録	堂廻	乙	羅暉	鐘映	愛図	滝流	女史	生り	歌春	い	壁風	り窟	楽林	楼鼓	(サマ)	叙事	池湖	女少	比祭	朝丘	湖辺	園て	史					
赤と	人	光	記	(美乙)	陀羅	暉暉	映映	愛図	滝流	女史	生り	歌春	い	壁風	り窟	楽林	楼鼓	(サマ)	叙事	池湖	女少	比祭	朝丘	湖辺	園て	史					
鶏と	人	光	記	(美乙)	陀羅	暉暉	映映	愛図	滝流	女史	生り	歌春	い	壁風	り窟	楽林	楼鼓	(サマ)	叙事	池湖	女少	比祭	朝丘	湖辺	園て	史					
野黄	醒舞	女朱	寂花	柳輪	みや	らび	(美女)	海朝	金月	夢科	入右	千筋	の銀	皇の	誕踊	寺の	ら	い	壁風	り窟	楽林	楼鼓	(サマ)	叙事	池湖	女少	比祭	朝丘	湖辺	園て	史
寛男平	紀男	人華	信子	樹波	風子	一子	漾惠	星郎	湖夫	男坪	慶子	雄雄	二廣	康子	功貴	泉美	慈人	子郎	以子	之堂	彦										
義正曠	純爽	媛政	照百	千朝	公忠	美保	丹津	煌三	春富	敏青	数球	英辰	憲榮	博美	智	榮珠	雅大	皓耐	芳貞	和清	風靱										
田口田	矢藤	井庭	岡沢	野島	川川	野崎	島山	多目	三春	富敏	青数	球	出尾	田田	藤市	岡井	津本	木上	多村	倉島	取田										
下関森	大後	福中	松吉	大谷	堀今	篠小	横那	牧鯨	岩松	田樋	片	塩蓮	池池	齋小	林月	今小	山稻	井佐	中郷	中富	安										
駈現題	舟堂	り譜	照夢	浄郷	翳山	虹燎	詩陞	節船	譜神	堂暉	歌水	い晨	構川	歌長	閣	光光	想ス	み姫	島	る軍	産夏	王									
涌三陀	の	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義	義										
土女弥	だの	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の										
白浄大	笹阿	里	北残	帰敵	懷蒼	妙白	鬼ユ	北失	待花	雷高	晨海	洪少	女と	喜多	居清	長閣	光光	想ス	み姫	島	る軍	産夏	王								
一、	二、	禪	蘇寂	春北	サ秋	鉢穹	遙牡	現薰	田砂	苑阿	初大	和の	ヒミ	コ	王																

夫 子 英 一 夫 屋 子 嗣 一 光 吉 於 久 也 惇 繁 子 子 郎 子 一 美 二 治 光 展 子 象 泰 子 二 宏 世 子 泉 浩 雄 子 茂 男 生 子 二 樹 久
 信 武 笑 博 隆 和 晴 佳 公 秀 生 雄 美 武 真 久 実 弘 英 奈 興 三 恭 浩 基 幸 茂 重 文 洋 心 清 真 研 恒 紀 映 一 郁 忠 鷹 三 修 秀 宣
 見 中 川 村 田 島 下 本 村 野 内 野 野 井 本 藤 田 谷 野 藤 本 田 野 中 村 本 山 川 辺 島 松 家 内 木 倉 沢 辺 田 井 藤 木 野 倉 川 山 岡
 浅 田 長 木 樹 小 柳 坂 松 牧 神 香 中 今 山 齋 飯 大 倉 齋 芦 浜 芦 小 田 田 栗 畠 江 渡 島 森 西 吉 野 鈴 郷 荻 根 渡 石 永 齋 鈴 市 朝 小 中 片
 し ト 路 し 木 夫 庭 原 歌 俵 塚 夢 島 冬 市 間 街 る 歌 華 港 女 子 宴 景 道 中山 道 風景 間 音 像 映 子 唄 輪 春 ね れ 夢
 近 オ ネ 大 和 木 夫 庭 原 歌 俵 塚 夢 島 冬 市 間 街 る 歌 華 港 女 子 宴 景 道 中山 道 風景 間 音 像 映 子 唄 輪 春 ね れ 夢
 縞 春 マ リ 春 と う 醫 樹 想 漁 閑 草 や 土 星 夏 天 殘 飛 樹 凍 躍 歩 道 橋 と 踊 國 の 少 ぼ の 風 景 仲 の 飛 彈 高山 子 唄 輪 春 ね れ 夢
 子 雄 夫 田 紀 都 郎 始 枝 男 一 風 呂 治 夫 雄 男 子 嗣 夫 代 子 倪 治 瞳 一 僊 夫 子 鶴 以 鱗 子 人 信 衛 夏 美 郎 惠 乃 夫 子 衛 峯 夜 庵 三 丸
 秀 立 日 硯 世 雄 治 幸 元 逸 亮 光 富 安 信 昌 秀 秀 武 津 和 鈴 端 正 功 英 節 和 千 東 青 世 彦 道 勝 立 久 將 存 武 道 直 春 良 米 仁 喜
 出 沢 司 川 川 田 島 野 藤 東 口 田 沢 本 中 保 田 森 下 川 智 浪 多 目 英 節 和 千 東 青 世 彦 道 勝 立 久 將 存 武 道 直 春 良 米 仁 喜
 中 小 宮 郡 岡 皆 豐 神 真 大 齋 山 樋 岡 入 宮 村 久 山 大 松 江 康 越 米 那 神 鶴 室 奧 熊 富 中 八 久 荻 下 藤 加 仙 鈴 浜 前 加 塩 里 十 二 遠
 踊 海 間 ぐ 女 堂 辺 幸 景 址 牛 音 雪 命 ま 透 視 の 部 里 春 並 土 碑 花 座 春 苑 ろ 晴 園 網 室 城 日 鋪 春 日 家 園 れ 屋 苑 駅 夜 宴
 舞 踊 少 陀 幸 山 の 部 里 春 並 土 碑 花 座 春 苑 ろ 晴 園 網 室 城 日 鋪 春 日 家 園 れ 屋 苑 駅 夜 宴
 スペイン 樹 樹 大 空 憩 糸 篩 雪 海 海 城 双 流 春 土 よ こ は ま 透 視 の 部 里 春 並 土 碑 花 座 春 苑 ろ 晴 園 網 室 城 日 鋪 春 日 家 園 れ 屋 苑 駅 夜 宴
 徹 葉 信 久 男 水 介 支 之 子 憲 郎 重 輔 方 園 昇 猛 史 世 三 興 子 茂 樹 子 二 世 夫 人 角 彦 万 勲 坦 孝 一 史 一 士 泉 子 郎 子 更 治 三 二 肇
 玉 西 生 崎 藤 田 岩 井 谷 藤 市 野 藤 置 井 丸 島 田 田 藤 水 崎 野 多 崎 井 藤 野 木 藤 浜 中 井 津 井 井 郷 本 村 瀬 田 室 島 谷 田 田 沢 田 木 条
 児 小 土 川 齋 四 白 酒 染 内 古 荻 加 日 今 西 小 村 浅 後 清 高 磯 本 松 福 伊 松 鈴 伊 小 谷 浅 大 川 荒 本 寺 中 川 飯 松 飯 綿 飯 堀 小 四 鈴 上
 湯 祀 た エ ム 場 譜 屋 館 影 國 秋 詩 浦 女 韻 妓 港 庭 園 廣 場 上 灯 落 溪 園 角 ラ 日 華 花 丘 星 殿 鳥 森 村
 大 の レ げ 秋 董 ア ー ル の 秋 詩 浦 女 韻 妓 港 庭 園 廣 場 上 灯 落 溪 園 角 ラ 日 華 花 丘 星 殿 鳥 森 村
 早 姚 大 巴 し 牧 朝 春 骨 ロ 投 想 北 街 高 景 森 五 海 光 舞 漁 樂 禪 舞 晨 シ 葵 寒 村 雪 影 樂 城 ュ 遠 聖 浜 紫 浜 し 遠 浩 播 女 白 早 鳥 猿 悠

美術展覧会(9月)

夕瀬北白さ早呪牛蝕和朝旅のニューヨーク番街
 月戸国譜ま苗術怨日詩女五流畔屋宴り季落到り間陽韻堂下仏譜店礎春内浜院ダ後森佐折井宏光
 川小江水黒川柴戸市外渡神佐藤孝義大道柳野藤高江鎌渡藤五十和田柄三宮戸服井角島村藤浦連原日下部小高田崎森佐折井宏光
 島川口谷沢合田塚和秀利栄トシイ藤孝義大道柳野藤高江鎌渡藤五十和田柄三宮戸服井角島村藤浦連原日下部小高田崎森佐折井宏光
 登房正たか子正政繁郎人雄子トシイ藤孝義大道柳野藤高江鎌渡藤五十和田柄三宮戸服井角島村藤浦連原日下部小高田崎森佐折井宏光
 美子忠子正政繁郎人雄子トシイ藤孝義大道柳野藤高江鎌渡藤五十和田柄三宮戸服井角島村藤浦連原日下部小高田崎森佐折井宏光
 次子忠子正政繁郎人雄子トシイ藤孝義大道柳野藤高江鎌渡藤五十和田柄三宮戸服井角島村藤浦連原日下部小高田崎森佐折井宏光
 27回行動展 1-20 都美術館
 会員出品目録
 絵画
 作品 '72 戸田綾子

黒のコンポジション
 北方へ遠く (3)
 北方へ遠く (5)
 Green belt 1
 Green belt 2
 シェリト・リンド '72
 三つのアリア
 二つのアリア
 河のけむり(ペナレスにて)
 河の声(ペナレスにて)
 とらわれた記憶
 とざされた記憶
 火山口湖
 Sign -P-
 Sigen -P-
 半信半疑
 原始の記憶
 beach (1)
 beach (2)
 作品 772 A
 作品 772 B
 空隙 A
 空隙 B
 方式 72~25
 方式 72~26
 寂思
 扇形のある作品
 扇形のある作品
 窓(ともしび)
 窓(やまなみ)
 神殿に……(2)
 神殿に……(1)
 チベットの歌(1)
 チベットの歌(2)
 二人場
 腰をおろして
 再び会う
 漁村
 街(黒い空)
 スペインの大地(羚羊)
 スペインの大地(牛)
 三人

戸田綾子
 藤井多鶴子
 笹瀬悦子
 中右英
 田中徳嘉
 前川佳子
 南和子
 三箇三郎
 河端亮治
 江見絹子
 大門清次
 伊藤久三郎
 保地謹哉
 吉川家永
 阿部平臣
 鬼頭正人
 小山内益郎
 下高原進
 野尻弘
 柘植太
 星野和雄
 大熊峻
 貝原六一
 佐藤真一

二夏
 浮遊する卵
 静止する卵
 車窓 72-A
 車窓 72-B
 変白石碑
 マッソン
 転流
 過去の海
 ミイラとキツネ
 対話
 火の鳥
 ある誕生日
 母・子
 麻具波比の儀式
 朝の二人
 噂話
 能登雪譜
 不尽大毘売神の脱出
 八岐禍津水神に追放される久延毘古神
 祭り歌
 太陽を取り戻せ
 室内跡
 航路の柩
 ガラスの柩
 夏の終り
 紅葉狩
 炮烙
 ひと邑
 女と風車
 集材場
 船と女
 壺売る人
 帽子売り
 雪景色
 白い林
 灯台の見える風景
 フィヨルド船着場
 桜島(未完)
 残冬
 遅春
 しぐれに明ける
 海

佐藤真一
 高井寛二
 河野通純紀
 大場厚
 深見隆
 田中阿喜良
 田中稔之
 斎藤真成
 大谷久子
 下高原千歳
 小林武夫
 辻司
 難波香久三
 下高原竜巳
 高橋進
 竹内豊
 矢野喜久男
 辻親造
 大森朔衛
 故飯田清毅
 故田辺三重松
 向井潤吉
 古家新

高原の湖
踊り子のポーズ
旗のある静物
風に乗る
瓦と柿の朝霧風景
花と梅干のある
夏の庭
街
港
内海晴日
初夏大山
海峡夜景
淀川尻風景
オリーブの岬
画室の老梅
雲の柱
NOAH
椿と地蔵と千枚
田
あまめはぎがご
ざった(奥能登)
街(落日)
歩道
サルコファガス
(石棺)
メモランダム
'72-つむ
メモランダム
'72-さがる
春
白壁の家
漁港
歴史の胸像
山陰湖畔
山陰段々島
国崎の潜女
海女(解禁)
生
生
三十三間堂
地蔵堂
トレドの女
白い壁の町
托鉢教
発掘された祈り
(A)
発掘された祈り
(B)
冬の葬列
雪の夜店
若き日の自像

田川寛一
" "
三芳悌吉
" "
福井勇
" "
川原章二
" "
柏原覚太郎
" "
小出卓二
" "
榎倉省吾
" "
西阪修
" "
高須国之
" "
田中勇次郎
" "
田中忠雄
河合祐司
" "
荒井秀宣
" "
荒木由三
" "
尾崎悌之助
" "
大森重夫
" "
辻好子
" "
西田秀雄
" "
山森元亀
" "
小西嘉純
" "
近藤直行
" "
原義行
" "
全和鳳

阿修羅像
丘陵病む
半島病む
金堂
あぜくら遠望
朝市人物
朝市の二人
ヨセフ
悲劇性の消失
つけようのない
題名

彫刻

「酔木」「拗木」
「等辺木」

72 - A L
神
蝸は何になる
Chair

連作オラ 108
SU
SU No. 2

儀式

ALARM

KOUZU-U

ニューフェイス

II

ニューフェイス

I

第4楽章-ねむ

りのための

1本の朱色の線

のために

午前11時現在

「茶畑の詩」より

ピムの城

作品 G. R. 58

作品 G. R. 57

仮標

文化へのイロ

ニー

DUN-BALE

祭祀

ある蛮旅の碑

バンドラの箱-I

III

神々の空間

アダムとイブの

リンゴ

作品「昇」

WAVE No. 4

蝸の玉冠

栄光の系図(陣)

全和鳳
仲谷孝夫
" "
玉沢潤一
" "
斎藤博
" "
古田十郎
木村平
" "

小川健
木下宏男
新名隆武
安原喜二
翁観二
岩城信嘉
中島快彦
" "

建畠覚造

" "

村井和夫

石井厚生

" "

篠内弘

小林陸一郎

村井浩弘

辻三郎省

西橋本

" "

塩見哲郎

板谷慎

佐藤允了

井上平八郎

村上泰造

藤庭賢一

田中栄作

" "

伊藤勝美

富谷道信

白井謙二郎

小門光男

マーク・ア・レ
コード
空にかける段階
'72IX

位相における飛
行計画

鬼のパレット

作意

生きるを問う

現代の指標その

III

と

装い

「ワタシノハタ

ケ」

巢

3個の面6体

作品

雲の上

風景

57回二科展 1-20

都美術館

会員出品目録

絵画

城址

セビージャーの

祭

白昼夢

風

ハンモックの少

女

過る女

楽屋

断

モロッコの籠

売り

ムーラン・ルー

ジュ

朝暉

サンマルタンの

午後

燦祭(はんさい)

リュクサンブー

ル

雪

馬力大会

森と小鳥

聖堂への道

マラケシの蛇使

い

春のリリズム

大念仏土蜘蛛

大念仏鬼の子供

達

或る記録(バリ)

石黒鐸二
富樫実
押尾豊
井上昭
風間大輪
篠井欽治
高橋慎悟
松岡卓
戸津侃
北田孝之
中野將
横田通
長谷川栄
富田真平
高野佳昌
都美術館
松任谷国子
斎藤三郎
熊谷善生
熊谷善生
新田稲実
織田広喜
大沢昌助
寺田竹雄
佐伯輝一
天野三郎
鶴岡義雄
中井史郎
" "
田中君枝
吉村勲
小島喆治
石橋宏一郎
伊東俊平
高根秀雄
塙賢三
藤田慎治
猪田七郎
" "
福鳥淳志郎

美術展覧会(9月)

風	景(瀬戸)	加藤	孝一
ガラパと娘たち		青柳	三郎
朝の山		増田	勉
風・光・影		伊庭	新太郎
スペインの宿		佐々木	宗一郎
スペインの庭			〃
生えの禱り		桑原	実
侯爵夫人		春田	安喜子
アンダルシアの		久保	繁造
壁		相沢	和郎
ピエロ小憩		月館	れい二
テエーブル		松本	〃
富士山			〃
庭園の午後		福島	金一郎
公園の午			〃
公セース下			〃
蒼ざめた夜		東郷	青児
(タッシリ)			〃
女体礼賛		鈴木	崧夫
雨の花菖蒲		鈴野	守
樹海(北京回想)			〃
丘にある街		服部	正一郎
木曾谷			〃
筑波ス		山尾	薫明
ニートダジュ			〃
ール		西村	竜介
城虹と花		鷹山	字不二夫
残雪消える頃			〃
たそがれのダム		安藤	幹
壁画習作		青山	竜
山峡の川		清	〃
壺			〃
砂		藤井	二
白装い人		狩野	守
街と少女			〃
邑と少		郷	たま
憂の浜		井	淳
朝の山		大	陽
北花と母		北	川
室の内		藤	川
猿人の日		井	上
森の祭		田	川
草の女		吉	田
作の品		松	葉
二つの形			〃
ポスター貼る人		中	川
タスコの丘		末	永

夜のうた
 山羊とともに
 若き信者
 八ヶ岳初雪
 残像
 蒼貌
 マリンゴの女(2)
 マリンゴの女(1)
 花の城壁
 白日の愛
 追憶のともしび
 回想
 アトリエ
 海に近い街
 ある風景
 旅路の宴
 ナザレの旅情
 哀しみの遺跡
 家族
 初夏
 野
 電線が見える街
 ビエロ達
 地
 花
 少年の森
 風の
 夜の長崎にて
 落日
 夜の長崎にて
 珊瑚礁
 オロロンの塔
 太陽の記念碑
 幻影のルインズ
 静物のある風景
 さすらい
 樹
 落日の舞
 九鬼崎原生林
 木彫家の小屋
 技術者の小屋
 扉
 カスバの子供たち
 少女
 日本の歌
 スペインの歌
 人形達
 巴里の手帳

三郎 保功男
 三三 恒
 村 味島羽
 辻野 五高赤
 はしぐちみよ子
 戸西 川村 千太郎
 宮石伊 村付藤 研 長進之
 原小井田吉 野坂島野谷 良武 明正 茂隆典 丁 京次 禾春 口嘉盛 三睦 益淡武 耕英 哲串 賢一
 今木堀藤関池竹内犬内福今西新中佐古野大ジエマニク 齋寿郎 弘生 夫ク
 古杉文ベ 井安

Maelstrom

記憶の断層
カルニバーレ
南の海の嘶
バラエティ
青い山
猫と倉
楽園追放
彫塑
好日
協
円のある空間
対話
立方体の幻想
讀歌
食用花
マダム・ブライ
ンドの肖像
作品 72
コスモスよりの
使者
鹿野苑
だだっ子
脱
或る一つの世界
No. 47
或る一つの世界
No. 46
赤華
青華
クレタの渚
夏の海
渚のエウローペ
群像(水)
波・母子
横たわる
萌える
落部
頭部
炎
田園の旅から
(梟の森)
彦神姫神
かみ様の忘れも
の
風 そのA
〃 そのB
穿かれた形態
虚 721827
椅子
贖罪
メンカウラー

[illegible]

ある形(B)	飯田艇三	ポスター 2点	黒木しげる	鮭	c.1875	高橋 由一
"(A)	"	ポスター 1点	黒木 邦彦	豆腐と油揚げ	c.1875	"
プラス丸の期	高橋 忠雄	ポスター 2点	杉本 強一	巻 布	c.1875	"
或る空間への想	小山 由寿	ポスター 2点	高山 一政	花 魁	c.1876	"
念 B	"	ポスター 1点	京田 信太良	鱈 梅 花	1877	"
"	"	小型ポスター 3点	"	鮭	1878	"
A	"	ポスター 1点	関 豊	山形市街図	1884	"
月 環	野水 信	ポスター 2点	林 明伸	(山形県庁前通り)	"	"
分断された平面	西川 利夫	ポスター 1点	大里 栄一	醉川にかかる	1884	"
の中の四角錐	三国 恭三	ポスター 5点	石井 福三郎	常盤橋	1883	五姓田義松
集合体 A	三斎 藤頭	ポスター 1点	嘉悦 歌子	操 芝 居	1888	浅井 忠
ドルメン・回生	倉沢 実	ポスター 1点	高畑 利雄	春 畝	1890	"
方形上の胸像	"	ポスター 2点	加藤 明輝	収 穫	1901	"
方形上のトルソー	"	ポスター 2点	原 康夫	グレーの秋	1901	"
女 児	河合 隆三	ポスター 2点	栗栖 福三	グレーの洗濯場	1901	"
リングの断面	吉久保 三郎	ポスター 2点	河村 一平	グレーの森	1901	"
鳥(平和)の唄を	日高 頼子	ポスター 2点	月山 勝城	若 葉	1901	"
歌うオペラ歌手	"	ポスター 2点	黒田 矩彰	春	1901	"
首	千本木 康亘	ポスター 3点	縄田 健次	フォンテンブローの森	1901	"
袋	"	ポスター 3点	小川 弘子	グレーの古橋	1901	"
革	竹内 正治	ポスター 2点	舛元 和夫	グレーの橋	1901	"
遊 行	安藤 菊男	ヴォラール・コレクション展 1—		ロアン河の洗濯場	1901	"
若い女	乗松 巖	26東急本店		冬 木 立	1902	"
呪われた手	"	阿伊染徳美個展 4—9 櫟画廊		牧 童	c.1879	小山正太郎
道 (連作72)	"	尾内健治個展 4—9 丸ノ内サエグサ画廊		仙台の桜	1881	"
商業美術		9回上田貞一個展 4—9 ミヤマ画廊		靴屋の阿爺	1886	原田直次郎
ポスター 2点	赤羽 喜一	高松健太郎個展 4—9 ギャラリー・オカベ		伊藤快彦像	1890	"
ポスター 1点	高橋 春人	大沢昌助・荻太郎2人展 4—14 画廊耶摩沙		安藤信光像	1898	"
ポスター 1点	高橋 良駿	高井寛二展 4—14 日本橋画廊		読 書	1890	黒田 清輝
ポスター 2点	日置 勝吉	平野遼展 4—14 大阪フォルム画廊東京店		婦人図(厨房)	1891	"
ポスター 1点	坪井 鶴三	江口週個展 4—22 第七画廊		舞 妓	1893	"
ポスター 2点	池田 正次	ムンク・ノルデ展 4—22 フジテレビギャラリー		昼 寝	1894	"
ポスター 2点	明山 正信	濱田観日本画展 5—10 三越本店		湖 畔	1897	"
ポスター 2点	藤 重平	田中阿喜良展 5—15 東京セントラル美術館		鉄 砲 百 合	1909	"
ポスター 2点	轟 周平	現代の眼—近代日本の美術から		木 苺	1912	"
小型ポスター 6点	田沢 清見	6—11月5 東京国立近代美術館		蝶	1904	藤島 武二
ポスター 1点	"	出品目録		黒 扇	1908	"
ポスター 2点	河村 久子	絵 画		ヴィラ・デステの池	1909	"
ポスター 2点	竹内 和夫	な ま り c.1875	高橋 由一	う つ つ	1913	"
ポスター 2点	木島 武雄	—78	"	芳 蕙	1926	"
ポスター 2点	山崎 達雄	読本と草紙 c.1875	"	大王岬に打ち寄せる怒濤	1931	"
ポスター 1点	能勢 節郎	—78	"			
ポスター 2点	水口 満三					
ポスター 4点	佐々木 幸三					
ポスター 1点	菊地 保太郎					
ポスター 3点	阿部 重次					
ポスター 2点	岡 悦次					
ポスター 2点	中馬 師津夫					
ポスター 2点	安藤 広吉					
ポスター 2点	藤原 祥雅					

美術展覧会(9月)

東海旭光	1932	藤島 武二	ポーズせるモデル	1931	安井曾太郎	海	1929	古賀 春江
ヨネ桃の林	1916	岡田三郎助	金 蓉	1934	"	窓外の化粧	1930	"
あやめの衣	1927	"	承德喇嘛廟	1937	"	バラと少女	1917	村山 槐多
靴の女	1908	山下新太郎	深井英五氏像	1937	"	湖水と女	1917	"
海の幸	1904	青木 繁	初秋の明神岳	1939	"	赤い帽子の女	1925	前田 寛治
海 景	1904	"	黒卓の桃	1952	"	裸 体	1928	"
わだつみのいるこの宮	1907	"	ボンネットの女	1909	梅原龍三郎	新緑風景	1929	"
人 参 畑	1914	坂本繁二郎	黄金の首飾り	1913	"	十和田湖	1953	林 武
帽子を持てる女	1923	"	ベスピオ	1921	"	ノートルダム	1961	"
放牧三馬	1932	"	桜 島(青)	1935	"	少 女	1963	"
松 間 馬	1938	"	北京秋天	1942	"	雪 景色	1927	佐伯 祐三
柿	1939	"	天地鍾秀	1952	"	ガス灯と広告	1927	"
水より上る馬	1953	"	浅 間 山	1959	"	ルクサンブル公園	1927	"
南 風	1907	和田 三造	カンヌ	1962	"	モランの寺	1928	"
裸体美人	1911	万 鉄五郎	カンヌ・月と雲	1966	"	煉瓦焼場	1928	"
ボアの女	1912	"	バーナード・リーチ像	1913	岸田 劉生	郵便配達夫	1928	"
自画像・赤い目の	1912	"	切通しの写生	1915	"	牛	1936	福沢 一郎
もたれて立つ人	1917	"	静物(リーチの茶碗と湯呑、林檎)	1917	"	埋 葬	1957	"
筆立のある静物	1917	"	麗子五歳之像	1918	"	遊 蝶 花	1951	岡 鹿之助
かなきり声の風景	1918	"	早春之一日	1920	"	雪の発電所	1956	"
夏の朝	1924	"	麗子微笑	1921	"	群 落(雪)	1962	"
湘南風景	1926	"	麗子住吉詣之立像	1922	"	信仰の悲しみ	1918	関根 正二
パリ風景	1918	藤田 嗣治	童女飾髪図	1922	"	姉 弟	1918	"
五人の裸婦	1923	"	蕪 図	1925	"	三 星	1919	"
ラパスの老婆	1932	"	鬘光の肖像	1929	長谷川利行	オランダ坂	1954	野口弥太郎
猫のいる静物	1939	"	鉄工場の裏	1931	"	踏 絵	1956	"
猫	1940	"	新宿風景	c.1937	"	セビラの行列	1963	"
ドルドーニュの家	1940	"	グレコ・イベリヤの首	1931	須田国太郎	独 活	1937	北脇 昇
海浜の村	1910	中村 彝	蔬 菜	c.1931	"	断 層 面	1937	"
少女	1914	"	法観寺塔婆	1932	"	空 港	1937	"
田中館博士の肖像	1916	"	犬	1950	"	少年道化	1929	三岸好太郎
エロシェンコ氏の像	1920	"	鵜	1952	"	オーケストラ	1933	"
頭蓋骨を持てる自画像	1923	"	鏡を持つ女	1928	児島善三郎	雲の上を飛ぶ蝶	1934	"
向日葵	1923	"	無衣の女	1932	"	海と射光	1934	"
ラッパを持てる少年	1923	小出 橋重	アルプスへの道	1951	"	川沿いの家	1954	鳥海 青児
横たわる裸女	1928	"	雪柳と海芋に波斯の壺	1956	"	伊太利人の石運び	1958	"
前向きの裸女	1930	"	熱 海	1960	"	沖 繩 の 壁	1959	"
海	1930	"	少 年 像	1942	中川 一政	か た ち	1954	山口 長男
雪の遊園地	1952	小糸源太郎	福 浦	1968	"	Confusion and order	1964	猪熊弦一郎
田園調布	1958	"	マジョリカ壺と薔薇	1969	"	季	1964	岡田 謙三
遠 雷	1961	"	観 音	1921	古賀 春江	曲 馬	1935	海老原 喜之助
			素朴な月夜	1929	"	船を造る人	1954	"
						燃 え る	1957	"
						蝶	1959	"
						雨 の 日	1963	"
						青 の 跡	1959	斎藤 義重
						作 品 R	1960	"

黒地に白	1965	吉原 治良	白 狐	1914	下村 観山	京名所八題	1915	前田 青邨
風の人	1968	村井 正誠	弱 法師	1915	"	洞窟の頼朝	1929	"
眼のある風景	1938	巖 光	二 日月	1907	川合 玉堂	耳庵老像	1953	"
馬	1938	"	行 く 春	1916	"	出を待つ	1955	"
鳥	1940	"	峰 の 夕	1935	"	湯 女	1918	土田 麦僊
梢のある自画像	1944	"	朝 も や	1938	"	舞妓林泉	1924	"
自画像	1944	"	彩 雨	1940	"	明粧	1930	"
壺と鳩	1940	山口 薫	月 天 心	1954	"	平 牀	1933	"
ノートルダム	1954	"	砧	1902	菱田 春草	二月の頃	1911	村上 華岳
矢羽根飛ぶ	1959	"	落 葉	1909	"	日高河清姫図	1919	"
涅槃	1961	香月 泰男	黒 き 猫	1910	"	裸 婦	1920	"
朕	1970	"	四季山水	1910	"	太子樹下禪那	1937	"
作品	1962	オノサト トシノブ	母子	1934	上村 松園	夏の山	1937	"
母子像	1959	麻生 三郎	夕暮	1941	"	秋 柳 図	1938	"
燃える人	1963	"	晩秋	1943	"	牡 丹	1939	"
フェスティヴァル・ド・トゥキョウ	1969	菅井 汲	荒磯	1926	平福 百穂	秋 の 山	1939	"
日本画			堅田の一休	1929	"	城 門	1955	奥村 土牛
青緑山水図	1912	富岡 鉄斎	苧 草	1931	"	鳴 室	1959	"
夏景山水図(山荘風雨)	c. 1912	"	日照雨	1931	西村 五雲	茶 桜 島	1963	"
掃蕩俗塵図	1917	"	秋 茄 子	1932	"	雨 の 海 月	1965	"
小點大胆図	1920	"	ためさるる日	1918	楠木 清方	山 球 揚 る	1952	小野 竹喬
孫真人山居図	1920	"	三遊亭門朝像	1930	"	気 孫	1958	"
東坡三義図	1921	"	一 葉	1940	"	雪 晴 れ	1951	"
教祖渡海図	1921	"	夏 座 敷	1952	"	虫 魚 画 卷	1956	"
武陵桃源図	1921	"	風 神 雷 神	1917	富田 溪仙	新 雪	1931	小茂田青樹
思邈僊窠図	1923	"	蘭 亭 曲 水	1926	"	雨 水	1948	福田平八郎
水墨清趣図	1923	"	近 江 八 景	1912	今村 紫紅	新 雨	1953	"
アレタ立に	1924	"	熱 国 の 卷	1914	"	水 濤	1958	"
斑 猫	1924	"	南 風	1915	"	上 の 花	1948	山口 蓬春
鯖	1925	"	桃 源	1916	"	秋 碗 と 果 実	1949	"
宿 鴨 宿 鴉	1926	"	伊香保の沼	1925	松岡 映丘	暁 霽 像	1961	"
夏 鹿	1936	"	右大臣実朝	1932	"	朝 鮮 牛 図	1921	速水 御舟
水 魅 戯	1923	小川 芋銭	西遊記画冊	1950	小杉 放庵	京 の 家	1923	"
夕 風	1924	"	玄 猿	1933	橋本 閑雪	奈 良 の 家	1926	"
太古香	1930	"	阿 弥 陀 堂	1915	小林 古径	鯉 魚	1926	"
海鳥秋来	1932	"	出 湯	1918	"	赤 松	1927	"
因指見月	1937	"	鶴と七面鳥	1928	"	刈 田	1929	"
流 灯 路	1909	横山 大観	髪 子	1931	"	指 銀 河 祭 り	1950	徳岡 神泉
山 路	1911	"	茄 果	1942	"	聞 香 壽	1956	"
瀟湘八景	1912	"	無 花	1954	"	北 焼 山 水	1960	"
柳 蔭 図	1913	"	五合庵の春	1920	安田 靱彦	夕 星 五 位	1922	伊東 深水
生々流転	1923	"	日 食	1925	"	熱 国 水 蓮	1946	"
瀟湘八景	1927	"	黄瀬川の陣	1940	"	壁	1950	"
飛 泉	1928	"	王 昭 君	—41	"		1955	山本 丘人
夜 桜	1929	"	大 観 先 生	1947	"		1961	"
大原御幸	1908	下村 観山	草 の 実	1959	"		1958	上村 松篁
			金 閣 炎 上	1930	川端 竜子		1960	"
			夢	1950	"		1955	岩橋 英遠
				1951	"			

美術展覧会(9月)

蝕道	1959	岩橋 英遠
白夜	1950	東山 魁夷
孔雀	1965	"
穹窿	1956	杉山 寧
沼穹	1964	"
月と犀	1956	高山 辰雄
冬	1964	"
彫刻	1953	加山 又造
老猿	1937	"
大葉子	1893	高村 光雲
籠(たかおがみ)	1908	山崎 朝雲
ゆあみ	1911	"
旅人	1907	新海竹太郎
鳥有先生	1914	米原 雲海
転生	1919	平櫛 田中
鶴鷺(天心先生像)	1920	"
坑夫	1942	"
文覚	1907	荻原 守衛
北條虎吉胸像	1908	"
戸張孤雁像	1909	"
女	1909	"
ながれ	1910	"
足芸	1911	建畠 大夢
唱える女	1914	戸張 孤雁
虚無	1914	"
シュザンヌ	1920	"
ブロード	1909	藤川 勇造
兎	c.1909	"
裸婦坐像	1910	"
手	1916	高村光太郎
鯰	1918	"
鯰	1925	"
鯰	1926	"
墓守	"	"
俊寛(頭部試作)	1910	朝倉 文夫
島崎藤村先生像	1930	石井 鶴三
憩える女	1951	"
平櫛氏像	1919	中原悌二郎
若きカフカス人	1919	"
白葉	1931	佐藤 朝山
鷹	1931	"
女の顔	1929	木内 克
トルソ	1953	"
女	1956	"

花園に遊ぶ天女	1930	橋本 平八
幼児表情	1931	"
少年トルソ	1951	新海 竹藏
立像	c.1924	清水多嘉示
男の坐像	c.1930	"
浴	1958	山本 豊市
エチュード	1959	"
古在由直先生像	1927	高田 博厚
フーロン夫人像	1931	"
アランの肖像	c.1933	"
鳥を抱く女	1962	本郷 新
ギリシャ人の首	1938	菊池 一雄
坐る	1960	柳原 義達
犬の唄	1961	"
のどちんことはなのあな	1965	堀内 正和
円筒の二等分	1969	"
萩原朔太郎	1955	舟越 保武
H嬢	1955	"
原の城	1964	"
群馬の人	1952	佐藤 忠良
やせた女	1953	"
作品	1954	植木 茂
勝利者の椅子	1964	向井 良吉
漂流	1960	豊福 知徳
祈り	1954	木村賢太郎
工芸		
氷花磁瑞華彫紋花瓶	1927	板谷 波山
葆光彩磁花卉文花瓶(蓋 北原千鹿作)	1935	"
茶碗“赤不動”	1949	川喜田 半泥子
茶碗“雅茶子”	1949	"
信楽水盤	1949	北大路 魯山人
織部組板盤	1949	"
色絵筋文中皿	1950	"
色絵金彩椿文鉢	1955	"
白磁八角蓋付壺	1932	富本 憲吉
赤地金銀彩羊歯文共蓋壺	1958	"
鉄葉笹絵喜字鉢	1935	河井寛次郎
白地草花絵扁壺	1939	"
黒釉魚文大皿	c.1958	石黒 宗麿
藍彩壺	1968	"

志野砧花入	1958	荒川 豊蔵
絵志野茶碗	1959	"
瀬戸黒茶碗	1961	"
柿釉鉄絵丸紋大鉢	1962	浜田 庄司
黒釉錆流掛大鉢	1962	"
備前長方台鉢	1951	金重 陶陽
碧玉釉“包”花瓶	1970	楠部 弥弼
備前窯変水盤	1962	藤原 啓
玄窯“叢”花瓶	1955	清水六兵衛
鉄釉あやめ文大皿	1965	田村 耕一
信楽土管	1966	八木 一夫
黒陶“盲亀”	1966	"
織部縄文深鉢	1963	加藤 嶺男
窯変米色瓷博山炉	1971	"
柿釉壺	1957	清水 卯一
鉄釉鉢セット(大鉢1点、小鉢5点)	1960	"
みみずく香炉	1952	香取 秀真
黄銅壺	1941	北原 千鹿
鼎に依る花入	1955	高村 豊周
青銅壺“豊”	1971	西 大由
蒔醬草花文八角噴籠	1956	磯井 如真
蒔絵鸞文飾篋	1961	松田 権六
乾漆朱丸文盛器	1957	増村 益城
乾漆流水文盛器	1962	"
櫛拭漆大円盆	1961	川北 浩一
拭漆文櫛木飾棚	1956	黒田 辰秋
花生“溶ける”クリスタル花瓶	1970	岩田 藤七
麻地型絵染花鳥文草衣	1964	各務 鉦三
信州紬地型絵染着物“風”	1959	芹沢 銑介
麗光縮緬地友禅訪問着“梅林”	1954	稲垣稔次郎
紬織着物“鈴虫”	1957	森口 華弘
	1959	志村ふくみ
陳列換え		
日本画 9月6~9月24		
青緑山水図	富岡 鉄斎	
夏景山水図	"	
斑猫	竹内 栖鳳	
宿鴨宿鴨	"	

夏夕水 鹿風戲 竹小川 内栖芋 鳳銭
 流魅 燈 横山 大観
 山生々 流 泉 村観 山堂
 飛弱 法 師 下川合 玉
 二彩 日 月 雨 心 春 草
 月天 雨 心 春 草
 砧落荒 日照る 葉磯 平福百 穂雲方
 日めさる 葉磯 平福百 穂雲方
 一蘭亭 曲水 富田溪 仙紅
 近江八景 沼 松岡映 丘雪
 伊香保の 猿鳥 小安田 竜子
 玄鶴と七面 陣君 川端青 邨
 黄瀬川昭 朝像 土田麦 岳
 王夢 窟の 頼老 女 岳
 洞窟の 頼老 女 岳
 耳庵を 待つ 女 岳
 湯高河清 姫 図 岳
 秋柳 丹 中村 岳 陵
 牡雪晴 霽 速水 御 舟
 雪晴 霽 速水 御 舟
 朝鮮 牛 伊東 深 水
 銀河祭り 富岡 鉄 斎
 9月26~10月15
 掃蕩俗塵 図 竹内 栖 鳳
 武陵桃源 図 小川 芋 銭
 アレタ立 香 横山 大 観
 太古秋 来 横山 大 観
 海島 図 横山 大 観
 瀟湘八景(1912 年) 横山 大 観
 大原御 幸 下川合 玉 堂
 行く 春 心 雨 山 堂
 彩天 雨 山 堂
 四季山水 菱田 春 草

堅田の一休 秋茄子 三遊亭円朝 風神雷 南風源 桃 右大臣実朝 西遊記画冊 阿弥陀湯 出合庵の春 日 大観先生像 大金閣炎上 京名所八題 明 牀 平 二月の頃 裸 樹下禪那 虫魚図巻 茶碗と果実 京の家・奈良の家 供身像 指 10月17~11月5
 青緑山水図 孫真人山居図 水墨清趣図 斑猫 鯖(但し10月29 日まで) 宿鴨宿鴉 水魅戯 海島秋来 因指見月 瀟湘八景(1927 年) 夜桜 狐 白の夕 峰もや 朝 黒き 猫 刈草 三遊亭円朝 夏座敷 蘭亭曲水 熱国の巻 平福百 穂雲方 富田溪 仙紅

西遊記画冊 小杉放 庵 髮 瀬川の陣 安田 端 龍 子 王昭君 実つ 川端 青 草のを 泉 土田 麦 出妓林 牀 村上 華 舞 山 図 村 上 平 柳 図 秋 山 秋 巻 小茂田 青 虫魚画 実 速水 御 茶碗と果 霽 碗 京の家・奈良の家 魚 洋 画 10月17~11月5
 花魁 高橋 由 一 (1878年) 五姓田 義 操 芝居 浅井 忠 収 穫 原田 直次郎 靴屋の阿爺 原田 直次郎 9月6~10月8
 麗子微笑 岸田 劉 麗子住吉詣之立 生 像 9月22~10月1
 信仰の悲しみ 関根 正 二 9月6~9月24
 10月17~11月5
 切通しの写生 岸田 劉 生 10月17~11月5
 ルクサンブール 佐伯 祐 三 公園 9月26~11月5
 窓外の化粧 古賀 春 江 中西新太郎展 7-14 日動サロン 池田満寿夫版画展 8-13 池袋・ 西武 笹鹿彪油絵個展'72 8-13 小田 急 3回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 10-10月22 神戸須磨離宮公園 出品目録
 コウ線 伊藤 隆 道 光る箱 井上 武 吉 都市論のための 井上 武 吉 拡大定規 THE OUTER SPACE TEST BOX

美術展覧会(9月)

空間への二つの 弧	江 口 週	24の部分からなる 円筒体	河 口 龍 夫	高岸昇個展 17-24 紀伊国屋画廊
弧への回帰	"	15の部分からなる 円筒体	"	中谷貞彦個展 18-22 銀座サエグ 画廊
空間への弓状の かたち	"	20の部分からなる 六面体	"	福田三郎遺作展 18-23 下村画廊
無 題	小清水 漸	14の部分からなる 円筒体	"	国枝芳夫個展 18-23 銀座アート ギャラリー
表面から表面へ	"	24の部分からなる 円筒体	"	香月泰男ギリシャ水彩展 18-23 みゆき画廊
"	"	作品 1967 #14	宮 脇 愛 子	佐藤美智子個展 18-23 ギャラリー ー・オカベ
アトリネミ	高 橋 清	作品 1968 #37 -(72)C・D	"	二元会選抜展 18-23 柳屋画廊
起 源 No. 2	"	作 品 1970	"	平田勝規展 18-28 日本橋画廊
ひ と No. 4	"	作 品 1972	"	小原稔個展 18-29 日本橋画廊
ひ と No. 6	"	SANS TITRE untitled	湯 原 和 夫	春日光義展 18-29 大阪フォルム 画廊東京店
ひ と No. 8	"	UN ARC DÉS- AGRÉABLE	"	武林敬吉展 18-30 彩壺堂サロン
水と光の為にプロ ジェクト	"	UN ARC AVEC QUATRE CYL- INDRE	"	岩田専太郎女性風俗画展 19-24 三越本店
ラプタ No. 2	多 田 美 波	LES CYL IND- RE COUPÉ	"	宇治山哲平展 19-10月1 東京セ ントラル美術館、一方堂画廊
エビスサイクル No. 2	"	ARC ARC HI- TECTONIQUE	"	須田国太郎展 20-10月19 梅田近 代美術館
スペースアイ	"	海 辺 の 女	淀 井 敏 夫	18回一陽展 22-10月10 都美術館 会員出品目録
昆 虫	土 谷 武	古 い 道	"	絵 画
作 品 70-3	"	ア ラ ブ の 夜	"	石 廊 崎 浅 井 一 介
鉄 と 石	"	左側の黄色い水	若 林 廬	潮 岬 "
歩 く 鉄	"	左側の黄色い水	"	作 品 A 安 藤 節 雄
作 品 1972	"	佐藤亘宏個展 11-16 一方堂画廊		作 品 B "
ハーモニー I	富 樫 一	徳永考衡個展 11-16 銀座アート ギャラリー		お な が 江 川 光 信
ハーモニー II	"	本日勇市個展 11-16 あかね画廊		バリ島回想 A 堀 内 千 里
ハーモニー III	"	春日部洋展 11-22 ギャラリー・ ためなが		バリ島回想 B "
貯蔵していくこ と	村 岡 三 郎	4 回第三文明展 12-17 三越ギャ ラリー・アネックス		佐 渡(姫崎) 萩 原 光 観
生態(ハエ)とその 運動量	"	24回清水六兵衛新作展 12-17 三 越本店		箱 根(芦の湖) "
1m立方体	保 田 春 彦	'72オール・フランス画壇新人展 12-17 高島屋		禁 断 の 実 栗 原 和 美
36cm立方体 I	"	深沢孝哉油絵展 12-17 銀座・三 越		ア ク ロ ポ リ ス 五十嵐 二 郎
36cm立方体 II	"	前田舜敏作品展 12-24 東京セン トラルサロン		SPIRIT 1 井 黒 四 郎
発 掘 I	"	4 回第三文明展 12-17 三越ギャ ラリー・アネックス		SPIRIT 2 "
発 掘 II	"	72オール・フランス画壇新人展 12-17 高島屋		門 今 村 春 吉
ななめの円筒を ななめに通りぬ けるもうひとつ ななめの円筒	堀 内 正 和	唐招提寺トルソーと小原豊雲花展 15-27 日本橋・東急		窓 生きるよろこび 片 柳 忠 男
作 品 A-450	向 井 良 吉	モーリス・ブリアンション展 15- 10月2 吉井画廊		生きるよろこび B "
道 標	柳 原 義 達			空の乱舞 A 小 出 泰 弘
う ず く ま る	一 色 邦 彦			空の乱舞 B "
ひ び き	"			望 郷 国 本 克 己
業 (ごう)	"			郷 愁 "
念	"			ローマへの道 (アッピアの街 道)
これを女と名づ けよう	掛 井 五 郎			勝 一 晃
つくられる“あ”	"			
つくられる“い”	"			
つくられる“う”	"			
石 と 光	河 口 龍 夫			
18の部分からなる 六面体	"			

廃墟 他人の空シリーズ (隠されたガンガゼ)	勝一晃	中秋の月	小野 怵郎	選ばれた木偶	上野 富藏
落葉とピエロ	北山 泰斗	朝市(夏)	大石 可久也	木偶の散歩	〃
そよ風	角 美貴子	朝市(冬)	〃	ガメランの饗宴	山谷 鉄一
ブレーボーリング A	〃	若き日	岡本 耕典	菩提樹の下で	〃
〃 B	熊田 藤作	漁村の語り	〃	都市にのびる	八重垣 逸郎
夏の思い出	〃	北陸海景	大羽 梧郎	あくたれっ子	〃
秋の思い出	神門 四郎	御前崎	〃	ヨメガサ	山田 首
雪庭冬囲碁	〃	奈良の森	越智 映介	岩 場	〃
雪庭讃歌	葛西 康	松 函館港	〃	サウンド A	山田 治
初冬残月	〃	香港島風景	荻原 宗晃	サウンド B	〃
冬霧の源流	絹笠 省三	金山・銀山 A	〃	石仏(インドネシア) A	柳原 謙三
壺と裸女群像	〃	金山・銀山 B	大塚 伊次	石仏(インドネシア) B	〃
裸女群像	〃	伊豆の海	鈴木 信太郎	旅に出る若者たち	与儀 達治
海と建物	米良 道博	伊豆伊東風景	〃	彫刻	〃
母子像	〃	観覧車	沢田 正太郎	無馬 題	中村 輝
たんぽぽと女	棟方 寅雄	長崎の丘	〃	つけ打ち	〃
ギター弾き	松下 明治	青い光の中で A	鈴木 力	窯ぐれのひと	植木 力
朝のコーヒー	〃	青い光の中で B	〃	バレリーナ	〃
肉	村上 英男	モデル台の裸女	斎藤 満夜	浴 後	〃
ピエロのいる風景	〃	裸女と石膏像	〃	街角(A)	郷 悦三
ねこと女(青い椅子)	峯岸 義太	武蔵野慕情	指田 由米	街角(B)	〃
ねこと女(橋)	〃	通げた駱駝のモンスタージュ 1	佐野 儀雄	坐像(A)	石黒 功
偽りの青空一大きなリンゴ	宮本 清	通げた駱駝のモンスタージュ 2	〃	坐像(B)	〃
偽りの青空ヴァーナス	〃	富 士	鈴木 国威	あおむくかお	加藤 博二
裸婦習作	森 秀雄	朝 顔	〃	母子の像	〃
瀬戸内海伯方島遠望	〃	月光大寺	島本 芳伸	女の胸像	〃
瀬戸内海南浦の朝	宮川 慶輔	霧中大寺	〃	飾りのある偶像	金田 忠
潮 Aの1	野間 仁根	庭の草花	高岡 徳太郎	ひねれた偶像	〃
潮 Aの2	〃	庭のあじさい	〃	惑星-3-	小池 郁男
星の詩-72	野間 佳子	アテネの農家	田辺 栄次郎	四重奏	宮川 和博
ウェブ72-A	〃	シェーナナ寸景	〃	流出	密波羅 伸三
ウェブ72-B	野間 伝治	メクネス	田所 満雄	肖像(Women)	丸山 映
倅	中村 秀雄	機関車	鶴田 猛	ウイミン(Women)	〃
夢	〃	駅長さん	〃	立 A	六崎 敏光
羽衣 A	中村 亮一郎	白い一陽	月見里 シゲル	立 B	〃
羽衣 B	〃	赤い一陽	〃	立 C	〃
裸女 A	中村 島マミ	扇子を持つ座像	丹治 伊三郎	立 D	〃
裸女 B	〃	晴 日	〃	鼎	〃
海の灯台	中島 蓉子	イナリ堂 1	対島 久世喜	祭 72	三輪 乙彦
町の灯台	〃	イナリ堂 2	〃	立像(A)	根本 勲
翔る女神	中沢 蓉子	かたち(白)	棚瀬 修次	立像(B)	〃
立つ女神	〃	かたち(黄)	〃	秋 空	大野 春代
	荻野 康児	教会の雪	天王寺谷 卓三	乙女の首	〃
	〃	窓	〃	分身	榊山 勝
	小川 哲郎	シクシク	上田 春雄	噴水のためのモニュメント(その一)	関口 昌孝
	〃	ゲラゲラ	〃		

美術展覧会(9月)

噴水のためのモ
ニュメント(そ
の二) " (そ
の三) " (そ
の四)
とじこめられた
たましい V
とじこめられた
たましい VI
とらわれ
セルモネタの夢
モンテベルデの
娘達 (A)
モンテベルデの
娘達 (B)
モンテベルデの
娘達 (C)
三角三ヶ
34回一水会展 22-10月10 都美術
館
会員出品目録
白い道(スペイ
ン) 中谷龍一
客を待つ馬車
バレダンサー 安藤軍治
花と蔵王と 菅野矢一
残照 菅三浦俊輔
吹雪 中畑艸人
北国首夏 深沢紅子
夏ゆく 尾崎正章
商船高校一年生
No. 2
商船高校一年生
No. 1
クリケットの悩
み 田中春弥
林泉 名取明德
老漁夫とこども 筒井広道
漆畑の家 木下義謙
晴嵐 寺井力三郎
五枚修羅 山田弘道
出発 浮田克躬
アルハンブラ展 小松崎邦雄
望 広岡善次郎
バルト海の集落 近北村島巖
花のマリア 藤吉志郎
浜業 生妹想
卒 追 曉日
早 夏

知床春氷
小川の蓮
睡アトリエにて
雪の小樽港
上都高地市
冬港暮色
漁溪流の朝
溪二流の人
新早春十勝
浴岳衣
マリー・アント
ワネットの家
流
谷の海
塩谷の丘の町
石狩湾の丘の町
オン・フルール
モレー風景
扇ガ原湖
風蓮湖
二月堂
唐招提寺仏像
トレドのカテド
ラル
トレド風景(サ
ンマルタン)
大淀(最上川)
早春
五月の御嶽山麓
那須高原の秋
溪谷像
H婦人像
北本先生像
ば旭虹
ビニール袋
ファンタジー
浅間山残雪
静室内静物
妻の像
森坐像
天使祝詞
早場新緑
トレドの土産店
鷺見川
金藤正一
伊野田福三
飯田武雄
一木テ祐郎
滝川義夫
根岸正毅
山田鎮雄
津井一善
荒中竹義
小菊地秀一
松田忠一
片山芳樹
真下慶治
野村光司
山田菊枝
木下孝則
鈴木良三
鈴橋庸男
高野三三
高小敬好
仲田辰彦
木村一
池辺寿々子
木下坂乾
田坂進
越後島

信濃の民家
朝市の女(輪島)
北アルプスの麓
焼かれたる阿蘇
の根子岳
高遠の人峠
木曾の峠
ダチウラ咲く伊
豆
フィレンツェの
眺め
黄緑衣
緑衣
ペケレット湖畔
桜編み島の
街待草春
佳鏡の
鏡の
ルクサンブール
公園
パリ、モンマル
トルの午後
吾妻山の見える
家
高遠にて
霊山秋景
美矢子像
黒のガウン
舞台裏のロビン
フッド
セーヌ河畔
牡丹
初空
壺の花
婦人像
ゆかたの婦人像
炎天下に立つ乙
女
若い人
ある夏の川
千曲の感触
淡い陽の感
梅
聖塔のある牧場
月見草
ラ・クメール
潮騒
ビレウス港
白い椿とS子像
福田新
田誠
崎広助
中村琢二
富進
金丸直衛
安宅雄
日塔笑子
坂元一男
元川嘉津美
源川登美
林村三冬
松井重三
岩館知義
松本久男
故酒井精一
阿部七郎
木下米子
菅沼金六
山岡正大
中矢野三蔵
児島三子
神田周和
関沢茂
中野敏子
平泉内文
谷賀俊文
古賀勇雄
平野豊司
丸肥辰夫
土木辰矩
山吉永功
五味悌四郎

早春の風景 オンフル 碧玉の雪 黄田カ S氏 稗ス もたち 赤春山 薄函 オー シー 雨 新夏 千石 白夏 道三 商海 文壽 ひと フの 遺窓 魚旅 二本 H バル 雪飛 “人 帰昼 高	水登り窯の衣霜の像のこど 家望朝月景 がるの頃夜井狩山 天の井山 大の山 中老 田街 楽 き河 の街 わ屋 愁松 子嬢 殿山 藤物 路 き景	辺場衣霜の像のこど 家望朝月景 がるの頃夜井狩山 天の井山 大の山 中老 田街 楽 き河 の街 わ屋 愁松 子嬢 殿山 藤物 路 き景	武六一 胡正 安雅 正行 順清 唯純 雅憲 虎睦 三郎 司子 久満 生直 野郎 功泰 輝二 清雄 生子 子八 久利 明太 郎子 昇子 三千	口井 辺松 村川 本栲 田倉 山山 野田 谷川 木 柳見 原沢 滝登 美谷 沢川 山原 井 尾木 村橋 伯川 川木 西屋 智田 藤	山坂 渡兼 岩笹 坂山 森柏 本峨 嶺生 奥池 小鈴 杉 小浅 砂越 大三 与鍋 小小 杉塩 増森 上高 野高 佐佐 淀林 市々 今土 越成 伊	大海か 段丘 山里 夏の 村路 家窓 開水 丘勇 霧多 海峽 屋上 群石 妙流 水滯 踏岩 谷地 窓ノ ートル ダム 寺崎 花の 遺跡 鏡の 北信 恵那 新雪 都トレ コセ ウ静 かの 洞爺 湖と 山は ぜか 秋天 裏洗 郊秋 美高 し	王れ の待 ひと 急を 秋の 浜町 展望 影仏 山ま ち船 切切 石朝 の寺 崎花 の遺 跡鏡 の北 信恵 那新 雪都 トレ コセ ウ静 かの 洞爺 湖と 山は ぜか 秋天 裏洗 郊秋 美高 し	崎べい 村春 きと 人々 辺扉 門の 秋の 浜町 展望 影仏 山ま ち船 切切 石朝 の寺 崎花 の遺 跡鏡 の北 信恵 那新 雪都 トレ コセ ウ静 かの 洞爺 湖と 山は ぜか 秋天 裏洗 郊秋 美高 し	鈴木 米滝 岡浅 岡久 山天 奥今 宇真 池中 川遊 相西 高栗 菊加 白久 田辻 堤藤 樹越 鈴荻 井伴 島松 田三 中高 野小 外小 岡友 石	木田川 見野 田保 田海 山井 野柄 田西 島馬 川出 橋本 地藤 石富 中 浪井 智木 原戸 野田 村中 角村 見北 栗浦 牧田 部山	益勇 昭一 嘉信 辰嘉 敦藤 行修 正楠 勇昭 外康 一洋 五俊 邦祥 三利 成一 宗繁 孝三 敏德 秀太 嘉寿 茂耿 太照 精郎 英志 治彦	躬次 一勇 正子 男郎 子一 輝一 誠巳 治美 二倍 夫郎 二郎 雄夫 三枝 子夫 喜夫 茂男 一郎 夫三 夫郎 男雄 郎照 精郎 英志 治彦	夕律 花海 八旧 今運 紅衣 天初 秋雪 湖遺 山の 婦若 人た ちグ ロキ シニア と裸 婦赤 い椅 子の 上の ユキ コ雪 の二 月堂 古城 へ通 ずる 道(ア ッジ ン)海 残山 人形 七面 徒雪 の山 と貨 物列車 八ッ 岳千 疊閣 子供 都ト レド 和服 の飛 驒郷 山像 址村 花の トレ ド眺 望州 木曾 のこ しな 海	萩子 道店 社浜 色女 進城 川風 ヤ北 蹟店 芸大 道芸 と子 の上 のユ キコ 雪の 二月 堂古 城へ 通ず る道 (ア ッジ ン)女 雪寺 屋鳥 渉列 山岳 千疊 閣の 絵馬 子供 都ト レド 和服 の飛 驒郷 山像 址村 花の トレ ド眺 望州 木曾 のこ しな 海	長谷宮 西青 佐山 和千 高齋 別前 栗端 阪小 荒森 下田 破東 村坂 上井 堀岡 高北 河高 常柴 吉齋 川塩 篠深 森小 山日	場合 本沢 野藤 中田 頭島 藤車 田林 名本 勝哲 直之 介森 下田 破東 村坂 上井 堀岡 高北 河高 常柴 吉齋 川塩 篠深 森小 山日	三浩 正今 馬左 進郎 雄夫 仁大 資夫 男清 則夫 文雄 章明 保か 子信 義一 登郎 治郎 祐三 郎保 治一 巳一 登男 のぞ み生 義忠 吉太 郎	夫典 義夷 奈進 郎雄 夫仁 大資 夫男 清則 夫文 雄章 明保 か子 信義 一登 郎治 郎祐 三郎 保治 一巳 一登 男の ぞみ 生義 忠吉 太郎
---	--	---	---	---	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--

能登の山太鼓 Ⅱ	寺戸恒晴	スペイン風景 A	佐々木一郎	女神生誕より 「祝舞」	山東洋
古い物語 A	坂井範一	"	"	"	"
" B	"	B	"	「祝福」	"
古い巴里 A	風間完	ローブの群像	松田稷	平面上の形 1	椿義則
" B	"	大岡川	柴田善登	" 2	"
山湖夏日	石川滋彦	西平沼風景	"	速い青	佐野ぬい
角と丸の出窓の家	小松益喜	船首像とモーガン号	安保健二	遠い青	"
アルカン・ドンキホーテ	角浩	船首像とバルクルーサ号	"	漁協前の留守家族	紺野五郎
秋の馬	"	親子	荒井茂雄	いのり(赤)	太田久
裸婦 A	西田勝	ミミヅク	"	" (青)	"
" C	"	REU BÉZOUT	服部和益	風 B	近藤茂
" B	"	ラ・セース(裸婦三態)	"	" A	"
青い扉と自転車のある風景	赤穴宏	モンマルトル風景	"	赤い四角のための情景	橋本武
白い卓上の静物	"	花火	斎藤正夫	暗い青い円	"
作品 A	行木正義	バ・ド・トロア	"	青い色の構図	糸田芳雄
" B	"	閃光	"	青い残影	"
姉妹	鈴木新夫	閃光	"	THE FOUND- ER '72-R	鶴見雅夫
働く人	"	那須 2	中村貞夫	"	"
雨	内田武夫	" 1	"	'72-Z	"
Land Scene	"	" 3	"	私の好きな青い かたち A	鎌田正蔵
赤い堰	西村元三朗	女の部屋(R夫人の肖像)	谷上信博	" B	"
青い門	"	オブジェのある海辺	岡田正二	" C	"
平面 B	瀬島正好	港の露店	"	盛装No. 2—退 屈な時間—	丹羽和子
" A	"	真夏の間	"	" 1—た おやかな女—	"
風	荻太郎	漁村 A	竹本三郎	" 3—優 雅な屍衣—	"
白い風景	"	" B	筒井明	黒の中の赤と青 の紐	高津鉄朗
自然文化公園計画案	福島誠	オンナトヘヤ ネコトマド	"	黄檗山万福寺の 赤い木魚のある 庭	"
東京下町地区住 居地移転計画案	"	廃船のある風景	相原求一朗	対 比	"
取残された家	大国章夫	白い建物と舟 船のある風景	"	彫刻	"
忘れられた家	"	厩	室田豊四郎	座像	芥川永
閉された家	"	馬と女	"	「とうほん」	阿部米蔵
還らぬ日々	大住閑子	馬と男と女	"	たね	五十嵐芳三
薔薇苑	脇田和	倭人瓶投げ	"	芽	"
輪花	"	少年騎馬図	"	立像	石場清四郎
室内 A	小磯良平	作品 B	小林義範	業(ごう)	一色邦彦
" B	"	" A	"	道化者と舟	伊東繁(傀)
浜地藏	小関利雄	セブピヤの祭日	加藤金一郎	海の唄	"
高原地藏	"	驟雨	"	立像	伊藤礼太郎
女のいる風景 (時計)	石阪春生	シャンボール サン・ジミニ ヤーノ	"	Lament	岩野勇三
"	"	海	富岡惣一郎	ますい	"
(椅子)	伊藤継郎	原始林	"	ラ・クーブル— ある神話より	岡本庄三
花と鳥	"	壁(白)	山内秀臣		
幼児と古墳	"	"(黒)	"		
ピカドールと牛 (I)	丸山正三				
"	"				
(II)	"				

美術展覧会(9・10月)

相対する二つの
 正三角錐—S2 小 田 襄
 ベテスダの池に 掛 井 五 郎
 て
 土 の 女 “
 焰 と 土 加 藤 昭 男
 それでも芽が出 “
 るか
 い か る が 菊 池 一 雄
 漂 流 郡 司 和 男
 転 “
 砕かれた魂 小 坂 圭 二
 オナリ・ひさ 寒 川 典 美
 ご・渡る 佐 藤 忠 良
 若い女・夏 “
 帽子・夏 佐 藤 祐 司
 証 人 (1) “
 “ (2) “
 夕刻の標 城 田 孝一郎
 翁 仲 菅 原 安 男
 奈良の男 “
 OBLIQUE 澄 川 喜 一
 P I T “
 MASK ENCA- “
 SED “
 男のトルソ 高 田 博 厚
 人 No. 13 高 橋 清
 天 放 高 橋 米
 も の[物] 瀧 徹
 K 嬢 武 次 郎
 俳人石川桂郎像 竹 田 京 一
 立つ女 “
 イバダンの母親 田 畑 一 作
 ガーナの男 “
 石 人 田 村 興 造
 旗 土 谷 武
 鏡 “
 ふたつのかたち 富 松 孝 侑
 罔 像 女 1 内 藤 亮 雄
 “ 2 “
 化石から 中 井 延 也
 顔 1 中 島 幹 夫
 “ II “
 芒 長 沢 市 郎
 吉井忠さん 西 常 雄
 遺された記録 浜 岡 登 美子
 '72(壁シリーズ)
 比田天来翁像 早 川 巍一郎
 鳥 (1) 番 浦 有 兩
 “ (2) “
 Rolla 舟 越 保 武
 「男と女」1972 細 川 宗 英

道 元 細 川 宗 英
 家 族 細 谷 泰 茲
 太陽の賛歌 本 郷 新
 馬 頭 本 田 明 二
 仔 馬 “
 T.H氏の舟出 本 間 紀 男
 遊びの間 麦 倉 忠 彦
 朝の挨拶 “
 雉を持つ兄弟 村 田 勝四郎
 ソンミの慟哭 山 内 壮 夫
 裸 婦 山 本 恪 二
 夜の紋 山 本 常 一
 布勢の青年 吉 田 大 象
 秋岬道人会津八 吉 田 芳 夫
 一 渡 辺 隆 根
 黒の海
 スペース・デザイン
 原型(宇宙のた
 めの建築群よ
 り) 池 辺 陽
 ケースメント
 プリントカーデ
 ンA春の風、B
 旅、C五月晴 池 辺 昌 子
 海の見えるス
 テージ 白 石 勝 彦
 「ね る」 垂 見 健 三
 か た ち 藤 本 経 子
 二見利節展 23—30 日動サロン
 赤の会6回展 25—30 丸ノ内サエ
 グサ画廊
 秋山静版画展 25—30 養清堂画廊
 早川義孝・石井敏・氏家次郎・斎藤
 良夫展 25—30 昭和画廊
 行友巖個展 25—30 銀彩堂画廊
 塚田猛昭個展 25—10月1 シロタ
 画廊
 田村孝之介人形展 25—10月5 日
 動画廊
 杉本鷹造作油絵展 25—10月7 現
 代画廊
 堀田操・藤林毅三展 25—10月7
 日本画廊
 岩崎鐸作品展 26—10月1 池袋・
 三越
 新協美術展 26—10月1 上野の森
 美術館
 鱧利彦作品展 26—10月1 高島屋
 岡田守巨日本画展 26—10月1 銀
 座・三越
 雑賀紀光油絵近作展 26—10月2
 中央美術画廊

山本貞個展 26—10月2 紀伊国屋
 画廊
 小原義也個展 26—10月7 ギャラ
 リー・オカベ
 児玉幸雄・西村龍介2人展 26—10
 月8 東京セントラルサロン
 奥龍之介・新井秀一郎・蛭沢尚新作
 油絵展 28—10月3 銀座・松坂
 屋
 浜田信三個展 28—10月4 第七画
 廊
 小山洋個展 29—10月4 日本橋・
 東急
 日仏画壇展 29—10月4 銀座・松
 屋
 3回現彫展 30—10月14 現代彫刻
 センター(岩野勇三、神戸武志、
 加藤昭男、桑原巨守、四田昌二、
 長江録弥、橋本堅太郎)

10 月

建築とともにある彫刻展 1—30
 日本建築センター
 佐伯義郎個展 2—7 スルガ台画
 廊
 渡辺章人展 2—7 昭和画廊
 6回集団・版展 2—7 中央公論
 画廊
 小山退助個展 2—7 柳屋画廊
 青山光佑展 2—8 シロタ画廊
 高山登展 2—8 田村画廊
 10回記号派展 2—8 ミヤマ画廊
 加藤哲個展 2—8 あかね画廊
 木村茂版画展 2—13 大阪フォー
 ム画廊東京店
 石本正人物画展 2—14 彩壺堂
 サロン
 佐藤亜土個展 2—14 プリント
 アートセンター
 杉浦勝人作品展 2—14 彩壺堂地
 階
 永瀬義郎黄金の裸女展 3—13 愛
 宕山画廊
 三尾公三展 3—15 東京セントラ

ル美術館
 鞍掛徳麿個展 4—10 紀伊国屋画廊
 池田満寿夫版画展 6—11 日本橋・東急
 岩野勇三彫刻展 6—11 銀座・松屋
 玉ノ内満雄油絵個展 6—11 小田急
 多比羅栄一油彩展 8—13 あかね画廊
 勝呂忠油絵展 9—14 養清堂画廊
 菊地辰幸個展 9—14 ギャラリーキクチ
 8回白士会展 9—14 上野の森美術館
 現代水墨派展 9—14 上野の森美術館
 徳本立憲個展 9—14 柳屋画廊
 宗像逸郎展 9—14 大倉画廊
 滝田依子展 9—14 下村画廊
 大西清自展 9—21 南画廊
 工藤和男個展 10—18 椿近代画廊
 大森運夫展 11—17 梅田画廊三番街店
 国松登個展 11—18 日動サロン
 高島達四郎展 11—21 日動画廊
 宮下登喜雄版画展 11—21 ギャラリー・オカベ
 林鶴雄滞欧作品展 12—17 大丸
 青山亘幹個展 12—18 紀伊国屋画廊
 ニコラ・ド・スタール展 12—20 自由が丘画廊
 40回独立美術展 12—30 都美術館
 会員出品目録
 鳥獣の戯画 今井信吾
 ドクターV・Pの午后 林敬二
 窓 斎藤研
 来々々 松山幾三郎
 休日 沢村美佐子
 映像のアクション 〃
 無題 江田豊
 五月の丘 青柳澄佳
 五月の丘 青柳澄佳

トルソー 桜井浜江
 夜景 〃
 amour I 森通
 笑う小女 (A) 湯沢正臣
 〃 (B) 〃
 五月月 高須鞆子
 九月月 〃
 雁 藤岡一
 文珠 山中馨
 去来 〃
 スペインの午後 来栖重郎
 鳥 A 高森明
 〃 B 〃
 NELLA・CAMERA 絹谷幸二
 VENEZIA 〃
 窓の街 堀之内一誠
 窓辺 〃
 小供達 田中行一
 壁ぎわ 〃
 野の牛 下川都一郎
 野の牛 〃
 風の日の湖水 (支笏湖) 鈴木保徳
 崖下の騎士 〃
 桃 (A) 小島善太郎
 〃 (B) 〃
 棚 小原稔
 白杵大白首 小原雄二
 白杵三体仏 〃
 サンクルー (パリ郊外) 高島達四郎
 ニース夜景 〃
 秋山 小林和作
 母仔 狭間二郎
 赤と白 〃
 開花 今井憲一
 断面 〃
 セントラル・パーク・サウス (ニューヨーク) 大久保泰
 雨後のスカイ・ライン (ニューヨーク) 〃
 花と港街 山田栄二
 旅愁 〃
 ニースの港 松島正幸
 ノートルダム・ド・パリ 〃
 祈 緑川広太郎
 野 岡村芳男

北見の丘 岡村芳男
 朱音 松樹路人
 ドラムカン 〃
 バリの警察 土井俊泰
 モンマルトル 〃
 或る晴れた日 芝田米三
 或る姉妹 〃
 内海を望む丘 中津瀬忠彦
 芦の湖 小林数
 鶺鴒風景 〃
 帰磯 水野恭子
 帰磯 〃
 本とシャベル 鳥居敏文
 私 の 詩 集 菊地精二
 演奏者 〃
 モヒカさん 〃
 うづくまる 中間冊夫
 婦人像 林武
 花 〃
 那智の火祭 野口弥太郎
 花見町 島村三七雄
 弾琴 中村節也
 古都 〃
 リズム 大内のぶ子
 西遊記 入江一子
 飛ぶ鳥 織田彩子
 豚コレラ 松崎真一
 黒穂 〃
 溪谷 清水鍊徳
 岩山(妙義山) 〃
 赤い鳥 高間惣七
 赤い鳥 B 〃
 暁雲白馬 鈴木亜夫
 みどりの庭 〃
 沖き 縄 鳥海青児
 波止 〃
 向浜 斎藤長三
 裸婦 斎藤求
 アトリエにて 〃
 山麓の村 矢崎牧広
 伊豆の漁村 〃
 サントリーニ島 中村善種
 メノルカ島 〃
 ボンペイ 山本正
 サンマルコ広場 〃
 光を求むる人々 (来迎) 横地康国
 光を賛える人々 〃
 Street 1 広瀬義男

美術展覧会(10月)

Street 2 広瀬義男
 化粧粧 池島勘治郎
 幻夢 " "
 白いき 白野文敏
 黒いき " "
 白の戒壇 李田たけを
 構成 坂本善三
 II 森兵五
 I " "
 槃 松島鈴子
 薩 " "
 コンポジション 赤星孝
 同心円 吉田西緒
 史 宮崎精一
 My Space 三浦洋一
 かに達が… 松藤真澄
 ある集団 " "
 寓話 (1) 広瀬通秀
 " (2) " "
 静物 桜井寛
 " " "
 一人一人のプレ イ 竹内晟
 コマーシャル・ガールの肖像 " "
 壁画の前に立つ女 " "
 " " "
 日本の祭 1 江添栄一郎
 " 2 " "
 ラヴェンナ回想 斎田武夫
 赤の宴 山田貞実
 青の宴 " "
 野外サーカス 久保一雄
 サーカス " "
 オリーブと街 芝田耕
 グラナダ " "
 はにわ (一) 荒木絢子
 " (二) " "
 郷 山道栄助
 峻 " "
 月と沼と亀 妹尾正彦
 黄色の絨氈 " "
 ノエルと花火 鳩川誠一
 紅葉した樹 志村計介
 箱根 " "
 柳川・国道橋 大坪権治
 " " "
 月 " "
 笠岳の秋 妹尾正雄
 夏の八丈島 " "
 花焰曼荼羅 井上寛信

二つの水車 霧笛台 (A)
 霧笛台 (B) " "
 黄色い花 赤星信子
 黄色い庭 " "
 トレド 仲村一男
 チンチョン " "
 古代の詩 (B) 高崎文夫
 古代の詩 (A) " "
 俺 栃内忠男
 四季 " "
 市 米原二郎
 待合所 " "
 遠い道 (I) 古賀猛
 遠い道 (II) " "
 寄る男と女 河尻隆次
 鏡の中の女たち " "
 退屈な風景 松本英一郎
 退屈な風景 " "
 ひがさ 針生鎮郎
 リボン " "
 フラのモニュメント (I) 寺島穰
 フラのモニュメント (II) " "
 最後の晚餐 2 山田文子
 最後の晚餐 1 " "
 冥 (1) 今村幸生
 冥 (2) " "
 晩 森崎幸
 秋 " "
 夏の海辺 鈴木正教
 ヤムナの岸 (インド) 白鳥三郎
 六月のデリー " "
 (インド) " "
 群像 砂田友治
 " " "
 ドンキホーテ夢 安田謙
 見る " "
 ドンキホーテ祈る " "
 森 堀口千鶴雄
 山 " "
 グランプラス広場 (B) 西山藤次郎
 グランプラス広場 (A) " "
 森の中 (2) 富士本昇
 森の中 (3) " "
 アイガー北壁 浅羽保治
 古都若草山焼き " "

道のある風景 斎藤紅一
 牛舎のある風景 " "
 26回二紀会展 12-30 都美術館
 会員出品目録
 絵画
 アルルの骨董市 児玉幸雄
 道具市 " "
 座す 中西勝
 黒い聖母子 " "
 鉄橋の風景 山本文彦
 燭 三輪勇之助
 手品 吉田富士夫
 蛸壺 " "
 白い列 佐々木孔
 教会とおまわりさん 西村功
 朝のプラットホーム " "
 ロバと少女 金田辰弘
 ロバにのる人 " "
 夜の家族 大久保実雄
 サーカスの人たち(72) " "
 野仏一 82 山口操助
 野仏一 61 " "
 女 鈴木博
 猫と少女 " "
 よくできたなア 黒沢三郎
 おもたいね " "
 埋葬 宮嶋美明
 遠い道 " "
 白浜 大石俊彦
 雨後の港 " "
 国境の町バンチ 坂本益夫
 ミラー " "
 ベネチヤ風景 " "
 今井の露地(檀原) 大兼実
 しってる子 佐野繁次郎
 LA FORTUNE 星崎孝之助
 若草山 土岐国彦
 斑鳩 " "
 遊覧船発着所 (アムステルダム) 島岡実
 金曜 午後5時 津田周平
 30分 " "
 ムルシヤの夫人 藪野正雄
 神の丘 二 " "
 女優 宮本三郎
 VENUS ANA-DYOMENE (三部作の内其二) " "

山 水 峯 岸 義 一
日向雨の山水 〃
化粧 粧 田 村 孝之介
ヨ ッ ト 成 井 弘
シーボニヤヨッ 〃
トクラブ
オンフルール風景 近 藤 嘉 男
リスボン風景 〃
日 か げ 秋 保 正 三
休 日 〃
FRANCE 燦 宮 永 岳 彦
JUGOSLAVIA 〃
宴 北 村 脩
人々と建物 (A) 〃
〃 (B) 〃
城のある街 吉 野 純
城のある風景 〃
サラサ売りの少女 須 摩 とおる
重なる (一) 小笠原 誠 次
重なる (二) 〃
王 城 小 川 智
古 城 〃
パッション 鳥 居 雅 隆
ノクターン 〃
Lα°の世界 高 瀬 善 明
過 負 荷 I 乾 龍 平
過 負 荷 II 〃
野尻湖の妙高山 山 本 直 治
夕日と灯台 〃
大地の果て 加 藤 敏 子
素朴なるたたかい 牧 ハルナ
オタル 小 島 真佐吉
サッポロ・厚別 〃
訪れた人 小 西 保 文
「忘れものです」 〃
一 隅 池 田 三 郎
二 人 〃
華 (はな) 久 野 修 男
麗 (れい) 〃
座せる女(遺作) 中 川 紀 元
裸 婦(〃) 〃
読書の秋(〃) 〃
栗色の帽子(〃) 〃
キャフェ(〃) 〃
白い衿の婦人 (〃) 〃
立てる女(〃) 〃
街 (〃) 〃
化粧する女(〃) 〃

隅 田 川(遺作)
中国美人(〃)
ホトケの座(〃)
窓辺消閑(〃)
根室の牧場 中 野 安次郎
支 笏 湖 〃
インターバル 小 島 謙
サーカスの園 〃
幻の日(北フィ 濱 田 信
ンランド) 青 木 寿
誘 暗 い 壁 市 野 長之助
黄 色 の 壁 〃
構 図 ・ 円 築 山 節 生
構 図 ・ 角 〃
夏の日の午後 白 銀 功
収 穫 〃
縞 馬 A 森 英
縞 馬 B 〃
彫 刻
割れ目から円柱 山 崎 脩
がのぞいた円柱 坂 上 政 克
F I 隆 業
地球は青い 弘
土 小 島 薫
見ている人・自 北 川 〃
然 繁 榮 ・ 72 松 村 外次郎
し ゃ も し 〃
髪を梳く女 上 田 暁 一
ゆ び な 滝 川 美
お ん な 〃
馬 の 母 子 斎 藤 聖 香
裸 婦 菅 沼 五 郎
PELECYPODA 山 崎 誠
全治三週間面会 邑 田 五 郎
謝絶 長谷川 八 十
立 像 〃
赤 い 顔 村 上 丙
創 生 堀 義 雄
大神の鈴 木 津 一 夫
積重ねた形態 八 柳 恭 次
五 輪(ゴリン) 〃
五 輪(ごりん) 〃
作 品 8 山 根 顕 一
坐 す 矢 形 勇
と げ 〃
ドッキング(脱 水 野 欣三郎
落身心) 細 野 稔 人
立 像 〃
ゆ り 子 〃

中 川 紀 元
〃
〃
〃
中 野 安次郎
〃
小 島 謙
〃
濱 田 信
青 木 寿
市 野 長之助
〃
築 山 節 生
〃
白 銀 功
〃
森 英
〃
山 崎 脩
坂 上 政 克
長 野 隆 業
小 島 弘
北 川 薫
〃
松 村 外次郎
〃
上 田 暁 一
滝 川 美
〃
斎 藤 聖 香
菅 沼 五 郎
山 崎 誠
邑 田 五 郎
長谷川 八 十
〃
村 上 丙
堀 義 雄
木 津 一 夫
八 柳 恭 次
〃
山 根 顕 一
矢 形 勇
〃
水 野 欣三郎
細 野 稔 人
〃

どんきほーて 堀 口 泰 造
さんちよばんさ 〃
野 の は な 桑 原 巨 守
黒いリング 新 国 孝 雄
渦潮立方墳象 滝 瀬 弘
LAND SCAPE 米 林 雄 一
No. 2
木 偶 久保田 忠 和
は ね る 板 橋 一 歩
大 休 止 丹 羽 康 晴
16 真 鍋 忠
偶 八 柳 雅 一
36回自由美術展 12-30 都美術館
仮 面 浜 田 紀 子
休 日 〃
たそがれの野 東 宮 不二夫
北北西の空 〃
風 景 浜 田 弘 康
〃 〃
こわれた時計 有 村 真 鉄
女 友 達 田 所 幸 一
処 理 場 入 口 青 木 正 春
形 (2) 久 田 弘
形 (1) 〃
電 車 鬼 頭 曄
胸像を作る人 水 出 陽 平
スタミナは財産 〃
幸 丸 辰 門
〃 〃
海 花 品 沢 木 鈴 江
作 池 田 和 美
「斗争の記録」 〃
726
「斗争の記録」 〃
727
地 中 海 II 溝 田 コトエ
地 中 海 III 〃
二 人 老 人 谷 本 重 義
二 立 つ 女 人 草 薙 隆
変 装 1 杉 原 清 司
誕 生 間 〃
柄 的 人 福 田 篤
気泡の生成 II 〃
遁 走 I 〃
遁 走 II 〃
輪 廻-7271 ニシオ トミジ
輪 廻-7262 〃
三 人 の 男 清 野 満 敏
幻 影 〃
張 注 河 内 登 国
〃

美術展覧会(10月)

誕生 その1
出口 口
解体された静物
静物
作品 I
作品 II
像 B
二つの像
白日夢
ひもとく
円卓の対話(A)
彩色失う里
彩色失う浜
採血
ベースにて
作品 B
作品 A
往還 III
往還 I
忘れられた大地
A 忘れられた大地
B 静物
" "
象 (II)
象 (I)
ぐる
日曜日には女を
殺せ
同志
雲に問う
" "
迫り来る不安
B
迫り来る不安
ポート・レート
火口
吐露
風
72年の自画像
時問
不権衡一III
不作品 III
不作品 II
不作品
" "
室内 1
室内 2
認証式
シビリアン・コ
ントロール

海見久子
大成瓢吉
赤木幸輝
" "
日名子 金一郎
" "
比田井 希仁
" "
八幡 健二
" "
川上 十郎
横尾 茂
" "
大野 修
" "
井上 照子
" "
奈良 柱
" "
一木 平蔵
" "
森田 亘
" "
岩崎 垢仁彦
" "
上原 二郎
" "
宇都宮 マリ
" "
小山 勇
" "
森 健
" "
団 勇
" "
斎藤 勤也
" "
岡橋 繁次
佐々木 美枝子
" "
田賀 亮三
" "
関 正和
" "
井上 長三郎
" "

さらう
あそい
九呂 72-8
九呂 72-5
座
影
エ レ ジ ー
黒と白のバリ
エーション
変身
黄木のかたらい
III-Q
黄木のかたらい
III-S
モニューマン
「群」
" "
と I
建物風景
心像 われ人
捕う
黙言
作作品 I
作作品 II
作作品 III
夜 (2)
夜 (3)
無為の時
ビリヤードのあ
るカフェ
庄 A
庄 B
休日
ある記憶
二人で
疑惑の季節
トロイの馬
Imagine-1
モデル
記憶者
二人をとりまく
もの
誰がわたしだ
と
いうことを知
っているのか?
部 品
卓
子供と評価
相模原の歌
1972年9月
3人の男の像

細井千鶴子
" "
青木 澄江
" "
丸山 武男
" "
笠松 昭吾
藤沢 匠
" "
広畑 美代子
" "
神田 千里
" "
福寿 一三
吉見 敏治
岡宋 英子
" "
岡島 弘国
" "
石川 嘉一
前田 良亮
" "
古田 千鶴子
" "
調 惣男
浜松 一誓
河合 良浩
" "
大室 博子
大成 節子
大村 山良
磯野 新次郎
藤波 ちげん
茨田 純司
兵藤 寛
" "
" "
公文 淳子
" "
柿手 春三
板津 包信
奥田 紘
" "
井上 美彦
" "

横たわる (B)
はたらく人 3
作 品
白 い 柳
ひ と・N
片目のジャック
家系図 72-3
" "
72-2
ドラマ (A)
夕日に向けた頸
漂泊地
対話
" "
にんげん
見えない見張人
ぶらんこ
展る肖像
ある肖像
鮭
" "
室内
玩具片 C
卓上異変
聖者の誘惑
GREY
朱い椅子と裸婦
はりつけ
アニマルの季節
手は隠す
会議のあと
憂鬱な肖像
からたち (1)
からたち (3)
灰色の空間
橙色の空間
枯木と花窓
夕焼の風景
原風景
山羊の島
作 品
トルソー
殻
へばりついてる
日本
知りすぎた男
マダム
重い役
のり(東)
花鳥
葬

三田耕之
川村晃夫
林田セツ子
武田仁守
磯部克己
青山嘉靖
" "
" "
山崎 芳直
橋本 久枝
" "
毛内 義衛
" "
仙頭 鋭夫
長谷部 昇
市川 秀光
上野 省策
" "
西 さだ子
" "
桜井 直子
" "
西 八郎
" "
伊藤 朝彦
" "
白水 興承
" "
大塚 博三
藤林 叡
" "
佐藤 昭平
" "
藤沢 喬
" "
森本 仁平
" "
長谷川 匠
" "
金子 寛
" "
寄重 弘光
佐々木 正芳
" "
増田 暢士
市村 力
西垣 清
川上 茂昭
吉田 耳浪

ば い ぶ る
白 い 家
像 II
海浜地方にて
赤 い 風 景
虚 装
う ろ No. 2
かみつかれた男
(B)
月 夜 の 宴
これもからっぽ
だ
猫 と 女 B
茶 色 の 椅 子
少 年
沈 黙
土 駝
駱 駝
回 転 盤
知 ら せ ない
まだある仕事
Complex: 1
空 か ら
雲 の 穴
おさげのおんな
の子
作 品
ひかりごけ(沈
黙)
白いカーテン
2つのバラのあ
る風景
日 記 C
黒 い 魚
止 っ た 雲
一匹おおかみ
ルポ・博多清川
町2
テ ス ト
発 掘
もの言わぬ人々
(A)
荒 野 I
自 画 像
海 の 掟
作 品
こ の 地
生 き る と は
mexico-ハミル
テベックの女
陽 気 な 娘
ある夏の浅像

森 良 平
伊 藤 和 子
脇 正 人
岡 本 実
大久保 四郎太
斎 藤 岩 男
広 瀬 一 二
小 作 青 史
平 澤 熊 一
浦久保 義 信
藤 井 喜久雄
岩 井 紀 子
竹 生 節 男
吉 野 誠
山 田 千 秋
清 水 勇
窪 田 且 佳
はらた・はじむ
"
中 野 良 信
江 原 和 足
"
大 和 良 輔
平 出 速 雄
石 田 貞 雄
佐 藤 孝
太 田 幸 雄
吉 沢 信 昌
中 村 春 来
"
池 内 茂 吉
豊 島 綱 明
竹 中 俊 一
斎 藤 二 郎
桑 島 定 男
森 田 広
サイトー・
トシオ
箱 田 龍 輔
小 山 寿 夫
富 山 妙 子
"
大 沢 啓 三
安 藤 勲
"

自 由
凝 視 (D)
鳥は何処へ……
昆 虫 記
兵 士 月
赤 い 月
最後の風景 (A)
最後の風景 (B)
牧神と魔鳥と羊
たち
彫 刻
つぶれる つぶ
れない
楯とその周辺
気 体
チェインソーに
よる形
白 い 橋
和
黄 金 餓 鬼
存 在
憂 窓
サバンナの少年
(アフリカ)
市場で(東アフ
リカ)
い き も の
漂 着
難 民
若 い 女 A
若 い 女 B
弾 く
PRIMAVERA
星 と 月 と
堀 の 内 外
M - 77
空 (くう)
プリミティブア
ンドモダン
子 供 の 四 季
一 番
ノロノロ三等兵
阿 彌 陀 三 尊
坐 像 <春>
坐 像 <秋>
Y の 像
W の 像
AURORE
ELLE
座 像
K 婦 人 像
間 奏
トルソー(塵)

原 田 拓
"
高 木 勲
"
鵜 飼 光 男
松 野 庸 子
山 本 鉄 男
"
山 下 弘 喜
松 本 光 司
中 島 一 雄
安 丸 信 行
北 村 隆 博
井 上 玲 子
富 樫 一
島 田 忠 恵
高 橋 昭五郎
"
鈴 木 徹
"
高 野 寛
米 坂 ヒデノリ
新 田 実
西 谷 富士雄
"
佐 野 文 夫
峯 孝 夫
板 津 邦 夫
池 田 宗 弘
中 谷 唯 一
吉 村 主 税
"
伊 藤 釣
千 葉 精 一
田 島 義 朗
垣 内 治 雄
"
大 村 清 隆
"
井 上 信 道
"
佐 山 道 知
"
赤 萩 賢 司
青 木 誠 一

裸 婦 立 像 堀 田 清
裸 婦 座 像 "
もし・もし…1 堀 尾 紀 之
フランスの中世美術展 12—11月30
国立西洋美術館
五十嵐二郎英国風景展 13—18 小
田 急
巨匠フルテルの全貌 14—11月13
鎌倉近代美術館
秋山泰計可変多面体造形展 16—21
みゆき画廊
河合彌個展 16—21 昭和画廊
小館善四郎展 16—21 ステージョ
ンギャラリー
松本竣介展 16—28 南天子画廊
矢柳剛個展 16—28 ギャラリーブ
リントアート
星守雄・橋本博英・中村清治3人展
16—28 彩壺堂サロン
高島常雄作品展 16—28 彩壺堂
東宮不二夫・有村真鉄・長谷川匠展
16—28 日本画廊
3回後藤清一・小鹿尚久彫刻展 17
—22 兜屋画廊
久保繁造油絵展 17—28 愛宕山画
廊
画家のあゆみ展 17—29 東京セン
トラル美術館
ヨーロッパの日本作家 17—11月26
京都国立近代美術館
30回パンリアル展 18—27 京都市
美術館
岩館知義展 19—25 日動サロン
五元美術展 20—24 上野の森美術
館
路谷虹児新作展 20—25 小田急
岡本省吾銅版画展 23—28 パビエ
画廊
重村三雄個展 23—28 楡の木画廊
鈴木芳子個展 23—28 室町画廊
三宅すゞ展 23—28 昭和画廊
赤岩賢三個展 23—28 義清堂画廊
ロマン派1回展 23—28 銀座アー
トギャラリー
永松操個展 23—29 日比谷やまが
た画廊
柳田昌和展 23—29 シロタ画廊
3回フランス美術の栄光展 23—11
月4 日動画廊
川合修二作陶展 24—29 高島屋

美術展覧会(10・11月)

藤本能道作品展 24-29 三越本店
 矢崎虎夫彫刻展 24-29 三越ギャラリー・アネックス
 米倉兎星彩画展 24-29 三越本店
 吉川三伸個展 24-29 ギャラリー・ミミ
 豊田一男個展 24-11月4 飯田画廊
 中間冊夫個展 24-11月5 東京セントラルサロン
 エミリオ・グレコ展 25-11月14 大阪現代彫刻センター
 ファニー展 26-11月7 渋谷・西武
 6回小野寺玄作陶展 27-11月1 銀座・松屋
 祭々会彫刻展 27-11月1 東急本店(池田佳穂、小柳津三郎、関長造、田中太郎、寺内幸雄、半藤政衛、松原松造、松村秀太郎、村田徳次郎)
 小原稔個展 27-11月7 日本橋画廊
 横山大観展 27-11月8 京成
 松本英一郎個展 28-11月3 紀伊国屋画廊
 関雪素描名作展 29-11月26 京都・ノアノア
 井上俊郎個展 30-11月4 サエグサ画廊銀座店
 大西弘之個展 30-11月4 柳屋画廊
 古島実彫刻展 30-11月4 とぎわ画廊
 荻山義昭展 30-11月4 昭和画廊
 秀島任油絵個展 30-11月4 大倉画廊
 長宗希佳油絵個展 30-11月4 フォルム画廊
 鈴木俊行展 30-11月5 シロタ画廊
 古茂田守介遺作素描展 30-11月15 自由が丘画廊
 香取正彦作品展 31-11月5 三越本店
 木沢定一個展 31-11月5 高島屋
 平野敬吉木彫展 31-11月5 高島屋

2回和田新油絵展 31-11月6
 ギャラリー・アルカンシェル
 豊秋半次四十年の歩み展 31-11月12 東京セントラル美術館

11 月

田代順七展 1-5 銀彩堂画廊
 4回日展 1-12月6 都美術館
 会員・受賞者目録
 絵画

恍雨森母生夢秋粧花煌朝暁青虹樹夢二掌檻五華孤昇聖秋富神喜囁雪一雨浄深刈古湿	(コウ)の窓子きる果秋霖の聖堂炎実つ立富の前で漢敵朝華禽つ士妃春光一本の木の池秋田再び夏の	船永山中能田渡村加黒浦山川三麻西佐山白堂大杉佐小濱梶野岩望池川小森猪山山濱川	水山崎尾島辺山藤光田本崎谷田山藤口鳥本原栗田原田月田崎野田原口本末	徳十隆英和な信晨茂正知春十辨英太吉映元忠元圀台緋九正春遙小竹沙大華倉末	雄志夫武明喜怪明樹克彦次雄清郎雪次作人夫潮児浦巳江邨虎喬伊華楊丘觀
---------------------------------------	---	--	-----------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

抱古城のほとり 静嘆二聲響蒼坐白曆白晶柳林緑樹オ正潮 飛宵凜北京校寥ヒ岬翳翳郷彩風南 玄和十カー一黒給紅残曉沢緑南	月 人 雪 森 韻 図間詩 座院風 鳥月 浜舞倉 森 遊 天 水の噴具の川峡の真像光渡里く のふる吹く	木長澤立三山岩加高東杉下久保倉小大遠羽山晶渡秋高米水勝谷東高福中河浜尾松大堂石松宇池高篠望棚鈴正川加	村繩野石谷岸沢藤山山保田倉川塚藤根崎山辺葉橋陀田野越本野合田山浦野本川本田田木崎月田木井崎	広士文春青重東辰魁立桑万忠錦幸長澄慶圭韶達蒼健昇	吉郎臣美子純夫一雄夷寧昭魁寿夫明珠象明成雄生爽寛泉哲一光甚雄穹二児幟満藤三郎阿岐羅義榮彦夫男夫生柏行彦夫
--	--	--	---	--------------------------	--

遠いヒマラヤ 霜マンゴーの女 叢道曙 オモロ(沖繩)秋郷に 洛東仲 望外犀 森朝 かいづかいぶき パリーの街角 洋画 埴輪と木の実 天使園暮色 軍子立姿 舞門のある運河 水門がひるが 風景イル・ド・フ ランス バルト海の島に パテ ロッキの散歩 回迎風影開朝 運河の午後 ガードの待つ 出城と大原女 梅婦ニースの 静夜の歌 佳出漁(瀬戸内 港)像群像 座雄め煌 灯劇団美術展 雪景展望	山奥三穂嶋曲村海西丹野田矢大立 井本時寺日國内浮円渡上山森奥簡越中益梅河柳野田秋尾川清櫻菊西塗 田田輪田谷子松老名野羽村代野宮石 上山地辺島田山井芳一英五達淑健春清正一啓慶健義祥一郎 申元晁和自光乙正新尚一正鐵俊秀 和雄彦一之郎孝躬二晋司人勇一博明郎吾郎海郎郎弥弘章巳一治藏一郎 吾宋勢正然男彦夫川子生子山興春	宮後紀行よ村畔晴秋樹草憩月薇光花 の漁晩野夕 宵午「蹟」北湖秋連嶺辺山日春(志摩) 丹女窓物衣子音夜て家像雨泳族 爽雪午緑イス津壳「阿初紫ドミック陽天彩雲島松族花 の	新松篠葛常三奥土佐小長小耳大久大新辻鬼鈴江有高河柳堀幸田大藤川舟丸阪鶴溝村大山奈中田安緒山中田田佐中渡 延木崎西重上瀬林寺山野保澤道頭木藤馬橋井瀬田嶋中津井口木山倉江田島口岡谷代宅方田村崎竹村辺 輝重輝四知英豊健敬卯三郎作次海鍋三斗男一雄治雄吉雄子男重一暢甫二藏一彦夫一七雄平一策男助徳二三 雄雄夫雄昶治三夫吉昇三郎蔵繁永郎馬平枝男一雄治雄吉雄子男重一暢甫二藏一彦夫一七雄平一策男助徳二三	鳩裸浜漁雪春書(東大寺大湯屋)赤い分の頃N君像人村湖朝像 たのサリ一の奏者の来干す ホルン奏者の来干す 棟梁の春山 早山雪 青わめ磯丘赤姉セ踊人形西洋サンマルコ文島 静座爆夏入り貝と海森野トメランコリ奥菖鳩魔精白ろオリブの丘日 秋	聚婦 松村広箇斎刑田松西庄辻福納辻胡桃伊山笹倉深竹小平大朝西笹安森藤菅石秋角高北日浅山江大石高辻鶴桐 桜村広箇斎刑田松西庄辻福納辻胡桃伊山笹倉深竹小平大朝西笹安森藤菅石秋角高北日浅山江大石高辻鶴桐	田岡瀬井藤部中永村司村田富藤 本鹿員谷沢松川通藏奈山岡藤田本谷本元宮村原井下藤沼河橋飼井 精平広政実敏愿榮八新源 日子辰博武敏文真了信東邦秀松一光忠静彦道利幸春 一藏功道一人太郎定吉郎生進朗人正良彪徹基讓史男秋雄一一哉茂良敏雄子卓榮巖晃男平哲巖男雄平雄雄
--	---	--	---	--	--	---

群夏三冬離若平並夏雪若朝フ管海勢蒼棒琉十九古寸目想夏佐寒孫霞若華譜漁野あ越幕クエン池山莊山飯	月堂佛像河黒族安堀割海寺葉	游日佛河黒族安堀割海寺葉	野飯松真岡坂伊渡西橋新南高井高田菅大岩岡杉三樽寺古柴不荒小田馬安江根柏高由吉村伊足	村田田下崎本藤辺尾原保光手田原野田下田村宅松坂川田破谷堀中潤藤崎岸木木里田上藤代	光弥忠慶勇幹清武善健兵次善也通誠輝一士四郎惇郎利雄弘作章之進実聖治友敬子呂明慶太郎郎	司生一治次男永夫積三郎善也通誠輝一士四郎惇郎利雄弘作章之進実聖治友敬子呂明慶太郎郎	朝爽は涼青庄秋黙砂薰少し屈む女存蔭鏡女(いこい)子慮女つを吹く女うり望流年つ天実う像るいれ女伏婦翔和	雁の詩の女風女つ子慮女うり望流年つ天実う像るいれ女伏婦翔和	高分水宮伊野々中高鈴進斎堀原中宮山浜南片安得恵立吉平真橋佐斎川神雨大草山石橋横古久太坂松山中吉長矢柚館	橋部船本藤村村藤木藤藤田野地畑田山達能藤川田原海本藤藤崎野宮村野本塚木山川田田手田本村野川野月野	剛治洲庸亀男田夫弘松郎二郎昂彦一郎作郎一朗一明雄明朗郎重徳照衛子夫三二雄郎夫治通平讓郎輔平彦昂三芳青	順六光五一一青鎮基武吉進新八素寅阿三庄義貫節健義鎮孝徳次義高普義敬政睿民輝堅太文武俣良喜三真喜康判弘	立いのソ語ら1風示観掘婦乙女風朝説幻る偏華韻師海りれ光達女河るる婦(かたまり)の仔音仔ぶ和い使風	女女のソ語ら1風示観掘婦乙女風朝説幻る偏華韻師海りれ光達女河るる婦(かたまり)の仔音仔ぶ和い使風	小中辻石伊古三圓木中北圓清松北古畫藤田長尾森西蛭長中柴今横佐北矩富黒和大山木安三渡宮武石石長堤熊坂	邦博志武芳晟耿元延治勝多尚西忠天録喜代円勇二孝晋篤国豊大正幸直嘉金稚周高辰康塊達幸坦	夫直郎至雄高郎規幸清禧三示之望雄弘光昭弥治象三郎三也男忠介樹信成樹治剛力彦繁郎義徹児豊清夫記男郎道
--	---------------	--------------	---	--	--	---	--	-------------------------------	---	--	--	--	--	--	---	--	---

謙	原之宮	道	壺（ゴ ール デン モス ク）	地陶壺	嵌	朱
郎	吾	光	あすか	銅壺	燦	燦
眉	大	瑛		蒼	花	花
山	覺	容		律	碧	碧
郎	年	韻		作	品	品
三	良	容		釉	七	七
陶	舜	番		白	十	十
洋	五	積		龍	「平壺」	「平壺」
吉	十	瓶		龍	花器集	花器集
三	泰	夜		白	銀	銀
壺	翠	壺		加	賀	賀
也	達	の		「銀河」	象	象
州	介	壺		壺	（薰風）	（薰風）
由	大	入		班	銅	銅
雄	不	命		紫	の	の
佳	三	芽		鉄	お	お
山	嘉	ら		白		
々	青			あ		
雄	武			晨		
門	右			韻		
恒	翠			妬		
明	嘉			クリ		
三	鑽			羽		
利	久			透		
斎	竹			方		
三	隆			青		
機	直			彫		
雄	政			模		
朗	晴			幻		
男	春			う		
康	富			青		
周	重			斑		
郎	友			古		
芳	滋			巖		
生	景			末		
汀	白			「漆」		
子	久			無		
乙	月			蒼		
一	吾			宵		
郎	太			人		
之	康			波		
郎	美			彩		
祥	晃			潮		
夫	益			合		
二	欣			飛		
珉	尚			華		
造	匡			語		
博				り		

張明木成永東加本小松小鶴市德春皆井橫村辻大佐山番山楠山清般高帖皆佐小龜寺染山三宮丸宮井森山	間石母竹澤藤間川風川卷橋田井川波山田	麻朴正登永竹	庶景一男信齋鈔華波一鳳郎雄吉雄藏志夢生典喬正二吾華弑郎衛弘郎行華夫光舟作助年夫壽堂衛男光世
---	--------------------	--------	---

渡 鳥 と 芭 蕉
 翔 染 パネル「暁」
 双 口 瓶
 双 立
 創 生
 乾漆 あかと き
 風
 ひかりの中に
 六 つ の 花
 紙 塑 人 形 四 人
 転 生
 碧 明 釉 花 瓶
 「波 速」
 モ ス ク ワ 聖
 ヴァ シ リ ー 寺 院
 「礁 翳」 漆 屏 風
 木 芸 快 雄 パネ
 ル
 荘 玄
 人間 連 作 の 十 五
 「人 知 ら ず」
 蝶 の 宴
 寂 夜
 金 彩 雷 神
 双 象
 手 織 錦 壁 掛
 ナ ナ ス 群 華
 釉 裏 紅 魚 文
 牛
 秋 映
 青 い 裾 野
 天 宙 の 記
 天 空 え の 招 待
 染 彩 共 鳴
 噴 煙 の 島
 階 段 の 譜 二 曲 屏
 風
 石 佛 欲
 十 一 月 の 日
 朧 銀 滄 浪 の 壺
 煌
 眞 畫 の 杜
 紫 紅 窯 壺
 鍔 銅 花 生 (嚴 厲)
 「三 人 姉 妹」 彫 金
 壺
 白 磁 花 鉢
 彩 光 釉 扁 壺
 芽 甕

枝子來吉吉夫太邦淳功司尚芳四郎道男雄藏行二雄德智昇朋平一起郎光有宣夫央
 小繁秀湊泰広正静武弘敏行房弘征一秀禮高錦信宗義孫夜大静金正與泰鐵喜秀正秀芳美正青眞正
 紫本垣藤子之瀬脇宮堀藤村持嶺野脇井村辺島山野内本本堀本川波崎藤野山里水藏野井原地藏谷本口川端木長
 羽松中遠仏市山雨内佐杉倉長上山浅西渡能浦矢木橋岡赤杉長谷難岸佐星遠花清浅森永安得佐城彼寺小広東榎尾勝

う
穿ぐ
我
女
耀立
愛郷
るな
夏像
げ婦
ン
遠氣
驚風
点像
立斗
王身
潮考
芸
り夢
碧
Work72—10—2
来耀
房象
泳
「澄」
平流
翔

舞
シュ
鷺無
女
「チ」
九偈
黒佇
永望
高な
立裸
花裸
念ジ
悠大
親潮
視婦
雲激
不女
眺う
思
工
ひま
対話
海
ボア・デ・ボア
Work72—10—2
濤
如深
法華
躍
72—10
風地
底寒

州の
遠の
き知
くおん
婦立
か
一パ
人
動明
ず
工
まわ
話の
ボア・デ・ボア
Work72—10—2
来耀
房象
泳
「澄」
平流
翔

美術展覧会(11月)

流れ、揺れ集合
する線
爽 心
禱 伊 東 慶
遙 川 原 和 夫
も え る 角 野 岩 次
九 月 遠 藤 兆 映
カトマンズの朝 伊 藤 裕 司
阿弥陀ヶ峯秘布 三 橋 国 民
陽 の 芯 中 堂 憲 一
順 流 赤 堀 郁 夫
或る物体 中 村 光 哉
江 碧 鳥 逾 白 鈴 木 貫 爾
和紙作品開 加 納 俊 治
連作「生命」よ 西 村 忠 夫
煌 大 西 忠 夫
連作「豊和」 青 木 稔 雄
律 加 藤 巖
鳴 想 今 井 政 之
花 園 讀 歌 山 下 恒 雄
方 盤 西 川 實
神 像 宮 田 宏 平
或るページ 川 井 小由女
潮 騷 河 合 誓 德
蠟型鑄銅饗宴 須 賀 正 佐
生 越 智 健 三
蠟型鑄造田園 須 賀 松 園
跪座する壺 藤 平 伸
飛 天 齋 藤 悦 子
色絵「撥乱の卓」 河 本 五 郎
伸 安 田 全 宏
銀 華 加 藤 卓 男
アントニ・クラーベ展 2—21 銀
座・松坂屋
日本の四季展 3—12月20 山種美
術館
開館記念・栃木県的美術展 3—1
月21 栃木県立美術館
白根光夫個展 6—8 丸の内サエ
グサ画廊
田辺武彫刻展 6—11 ときわ画廊
真島健三個展 6—11 日本画廊
藤井二郎個展 6—14 フジカワ画
廊
麻生三郎個展 6—18 サエグサ画
廊銀座店
山口牧生個展 6—25 第七画廊
荒川豊蔵作品展 7—12 三越本店
鈴木徹日本画新作展 7—12 兜屋
画廊

山田新一滞欧作品油絵個展 7—12
高島屋
中村研一遺作展 8—26 福岡県文
化会館美術館
8回等迦会展 10—15 東急日動画
廊
小松崎邦雄展 10—18 日動画廊
芦田芳男個展 11—18 ギャラリー
・オカベ
桑原巨守彫刻展 11—21 現代彫刻
センター
巽都夫個展 12—18 銀座ヤマト画
廊
黒田悠子個展 13—18 みゆき画廊
高島泰蔵石彫展 13—18 ときわ画
廊
宮崎喜三個展 13—18 地球堂ギャ
ラリー
16回知求会展 13—19 銀座アート
ギャラリー
西嶋俊親個展 13—22 彩壺堂地階
分室
山下菊二展 13—25 日本画廊
平川敏夫個展 13—25 彩壺堂
三木富雄展 13—25 南画廊
ヴォーラルコレクション展 13—12
月10 梅田近代美術館
近藤悠三作陶五十年近作展 14—19
高島屋
宮本三郎舞妓展 14—19 三越本店
能見三次新作展 14—19 兜屋画廊
太平洋美術展 14—20 上野の森美
術館
清野恒個展 14—25 ギャラリー・
オカベ
ミロとカルダー 15—30 フジアー
トギャラリー
東京国際版画ビエンナーレ展 16—
12月20 国立近代美術館
出品目録
アルゼンチン
○フェルナンデス, アルビノ
アメリカ 1 1972 木 版
" 2 1972 " "
○マック・エンティール, エデュア
ルド
ヴァリエーション 1971 セリグラフ
ン 1

ヴァリエーション 2 1972 セリグラフ
○オルランディ, アリシア
詩人ハーバー
ト・リード卿の 1972 アクアティ
ン
肖像
友人ペコ・ソブ
リノの肖像 1972 "
○セオアネ, ルイス
緑の大地の少女 1971 木 版
名もない人 1971 "
オーストラリア
○バルデシン, ジョージ
空の光 1971 エッチン
グ, アクア
ティント
演 技 1971 "
○ショマリー, アルバー
ソフ 1971 セリグラフ
狐のような女 1972 "
オーストリア
○アッターゼー, クリスチャン・ル
ードヴィグ
陰毛のカラー 1971 セリグラフ
舟遊びには肉を 1972 "
○コーリグ, コルネーリウス
空気袋に包まれ
たホルスト・ゲ
レルスドルファ
ー氏 1972 セリグラフ
" 1972 "
○コーラプ, カール
凝結乳 1972 セリグラフ
食器棚 1972 "
ベルギー
○ベルジョンス, ガブリエル
貝 1972 凹 版
四つの貝 1972 "
○フーンラート, リュック
無題 1 1971 リトグラフ
" 2 1971 "
○マルシュール, ギュスターヴ
無邪気な子供 I 1972 エッチン
グ, メゾ
ティント
見出された楽
園! 1972 "
ボリヴィア
○ポルトガル, ペドロ
村の誕生 1971 銅 版
—72
世界の進歩 1972 "
ブラジル
○ボノミ, マリア
AN-AM 1970 木 版
—71

ASTROANIM 1970 木 版
—71—
○ローボ, ロットス
リトグラフ 1 1972 リトグラフ
" 2 1972 "
○クワドロス, アンナ・レティシア
版画 No. 5/72 1972 ドライポ
イント
" No. 7/72 1972 "
カナダ
○ラクロワ, リシャール
クリスタル IV 1971 セリグラフ
" VI 1971 "
○バシュター, シャルル
市街電車 1972 リトグラフ
堆 積 1972 "
チリー
○フォンテシージャ, エルネスト
最初のテロリス 1971 メゾティ
ント
アメリカ—1971 1971 "
年
○ミジャール, ペドロ
構 造 1972 木 版
音 1972 "
コロンビア
○アルカンタラ, ペドロ
ジョージ・ジャクソンに捧ぐ
戦士の肖像 1972 リトグラフ
No. 2
" 1972 "
No. 3
○ローダ, フアン・アントニオ
笑 い 1 1972 リトグラフ
" 6 1972 "
キューバ
○アルテミオ, ロベルト
…そして巨人の
歩みはとまるこ 1972 リトグラフ
となく…
…故国の貧しい
人たちと共に… 1972 "
○コンティスオ, ホセ
リトグラフ I 1972 リトグラフ
" II 1972 "
チェコスロヴァキア
○ガジョビチ, ウラジミール
唯一の課題—空
間に正確に位置 1971 リトグラフ
する
自由道徳に関す
る厳密な考察 1971 "
I
○レッセル, ミラン

状 況 2016 1972 リトグラフ
月 着 陸 船 1972 "
デンマーク
○ヤコブセン, エイギル
赤いマスク 1971 リトグラフ
緑のマスク 1971 "
○ヤコブセン, ロバート
作 品 1 1971 セリグラフ
" 2 1971 "
フィンランド
○コスケラ, マッチ
テーマ 0 II a 1972 セリグラフ
テーマ 0 II b 1972 "
○トイッカネン, フランス
眠 る 1971 メゾティ
ン
休 息 1971 "
フランス
○アッセ, ジュスヴィエーヴ
平 和 1972 ドライポ
イント
開 く II 1972 "
○バルバリゴ, アイダ
ライオンの顔を
している… I 1972 エッチン
グ
" … II 1972 "
○ルートル, マルク=アントワース
アルゴンスの春 1972 凹 版
馬上試合の時代 1972 "
○マッシオ, ロムロ
顔 1972 セリグラフ
ポ ジ シ ョ ン 1972 "
○ミュージック, ゾラン
われわれが最後
ではない 1 1970 エッチン
グ
" 2 1970 "
○シモン, マリア
箱 1 1972 アクアティ
ント
" 2 1972 "
西ドイツ
○エビッヒ, エゴン
配 列 青 1970 リトグラフ
配列 青—黄— 1971 "
ローズ
○グリースハーバー, ハップ
オリンピア III 1971 木 版
無 題 1972 "
○ビーネ, オットー
蝶 — 青 1971 セリグラフ
" — 銀 1971 "

○ディ・リクスドルファー
絵入りカレン 1971 木 版
ダー
○ロート, ディーター
デュエット 1971 凹 版
ダブル・クアル
テット 1971 リトグラフ
イギリス
○コーエン, バーナード
3 — 71 1971 リトグラフ
5 — 71 1971 "
○ハミルトン, リチャード
フランシス・ベ
ーコンによる芸 1971 セリグラフ
術家の肖像
ディーターのた
めの小さな美し 1971 コロタイプ
い糞
○ホイランド, ジョン
25. 12. 71 1971 セリグラフ
○ジャックリン, ビル
物 体 1971 エッチン
グ
落穂拾い 1971 "
○ライリー, ブリジット
彩色したグレー
I 1972 セリグラフ
" II 1972 "
○セルフ, コリン
1000の物体への
プレリユード 1971 銅 版
1
" 1971 "
ハンガリー
○クント, エルネー
農夫サンゴに捧
ぐ、戦死した夫
を偲んでうたう 1971 木 版
女の嘆き
クロッカスを持
つ少女 1971 "
○ザラ, ティボル
開 花 1972 リトグラフ
春 1972 併用技法
インド
○バナルジー, ビマル
緑のないニュー
ヨーク、建物と
その暗い影ばか
り 1972 エッチ
ン
グ、セリ
グ
ラフ
カンディンス
キーに捧ぐ 1972 "
○レディ, クリシュナ
坐る人物 1971 凹 版
倒れる人物 1972 "

美術展覧会(11月)

インドネシア
○ピロウス、アブドル・ジャリル
好意の手紙 1971 凹版
顔 Ⅲ 1971 〃
イラン
○シャヤンス、マリー
バルダル・アバ
スの突堤 1970 凸版、エッ
チング
山羊と獅子 1970 〃
アイルランド
○ディラーニー、エドワード
プロジェクト 1972 セリグラフ
69
〃 1972 〃
74
○マッデン、エン
け し 1971 セリグラフ
銀と黒 1971 〃
イスラエル
○ベン＝シャウル、ダヴィッド
静物 No. 2 1972 リトグラフ
〃 No. 3 1972 〃
○ベゼム、ナフタリ
ろうそくによる
祝福 1971 セリグラフ
サボテンの生垣
の上の羽の生え
たはしご 1971 〃
○シャビット、アミハイ
作品 1 1972 セリグラフ
〃 2 1972 〃
イタリア
○ドラツィオ、ピエロ
GRIS-GRIS 1971 アクアティ
ント、エッ
チング
イオニア 1972 アクアティ
ント
○マストロヤンニ、ウンベルト
U. F. O 1972 アクアティ
ント、エッ
チング
紹 1972 〃
○ペリルリ、アキルレ
戯れる女のポジ
ション 1972 エッチン
グ、アクア
ティント
全体的窓 1972 〃
○サントマーソ、ジュセッペ
赤い道 1970 アクアティ
ント
野原の関係 1970 アクアティ
ント、凸版
○サントロ、バスクワーレ
生態学 1972 木版

風景の課題 1972 木版
○ヴェロネージ、ルイジ
空間 R 1971 木版
変化する 1972 リノカット
日本
○青山光佑
絵画思考実験
Ⅰ 1972 セリグラフ
Ⅱ 〃 1972 〃
○榎倉康二
二つのしみ 1972 セリグラフ
○福田繁雄
フレンチホルン
ー1 平版
〃 〃
ー2 〃
○原健
No Focus 72-
23,24 1972 平版
No Focus 72-
25,26 1972 〃
○日和崎尊夫
海淵の薔薇 1972 木版
KALPA の夜 1972 〃
○飯塚八朗
円の位置 1972 セリグラフ
楕円の位置 1972 〃
○上矢津
黒い辞書—
CLOSE 1972 セリグラフ
END 〃 ー 1972 〃
○黒崎彰
赤い罌 1 1972 木版、セリ
グラフ
〃 2 1972 〃
○中林忠良
剥離される風景
Ⅲ 1972 凹版、雲母
刷
Ⅳ 〃 1972 凹版、平版、
雲母刷
○二村裕子
Zone <72-9>
Ⅱ 1972 セリグラフ
○野田哲也
日記：1972年5
月31日 (a) 1972 平版
〃 (b) 1972 〃
○野中ユリ
デッサン 1972 併用技法
○小田襄
銀世界—城 1972 併用技法
銀世界—夢 1972 〃

○佐藤亜土
M & F—D 1972 セリグラフ
M & F—G 1972 〃
○島州一
27のキャベツ 1972 セリグラフ
○下谷千尋
PRINTED RO-
CK (毎日デイ
リー・ニュース、
1971年4月12
日)
○高橋秀
Germe (胚芽) 1972 併用技法
Fontana (泉) 1972 〃
○高松次郎
THE STORY 1972 平版
○竹田和子
Never never
land XVIII 1972 メゾティン
ト
Never never
land XIX 1972 メゾティン
ト、ドライ
ポイント
○田村文雄
夕闇の倦怠—赤 1972 リトグラフ
夕闇の倦怠—青 1972 〃
○魚住五百誓
雙夢 1972 メゾティン
ト
遊 1972 メゾティン
ト、ルー
レット
○若江漢字
絵ノ具 1972 平版、セリ
グラフ
自立 1972 〃
○脇田愛二郎
Continuation
(連続)—16—X 1972 セリグラフ
Continuation
(連続)—9 E 1972 〃
○吉田克朗
作品“32”A—B 1972 セリグラフ
○吉原英雄
Mirror of the
Mirror J 1972 リトグラフ
Mirror of the
Mirror K 1972 〃
大韓民国
○金相游
出口なし 12 1972 アクアティ
ント
出口なし 13 1972 〃
○金昌烈
水滴 (A) 1972 エッチング
〃 (B) 1972 〃

○郭 徳俊
位 相 1972 (A) 1972 セリグラフ
位 相 1972 (B) 1972 " マレーシア
○ユソフ, アハマッド・カリッド
アラビア文字 1971 セリグラフ
アラビア文字 1972 エッチング
メキシコ
○ロベス・ロサ, ルイス
躍 動 する 色 1972 凸版, メゾ
ティント
太 陽 の 山 1972 "
○ショランダー, ワルデマル
習作 I "1972" 1972 リトグラフ
習作 II "1972" 1972 "
○トレド, フランシスコ
蟹 1970 "
二組のカップル 1970 木 版
オランダ
○カセ, ディック
風 景 I 1972 ドライポイ
ント
" II 1972 "
○フロル, エドワルト
A p t 1971 エッチング
10. 30 1972 エッチング
○クラフト, イヴォンス
S II No. 21 b 1971 セリグラフ
S II No. 23 1971 "
○オースターケルク, コー
ヴェルコール 1972 エッチング
III
閉ざされた形 1972 "
○レインホルド, ノノ
アムステルダム 1971 凹 版
の倉庫
ファサード 1971 "
○フィッサーカレル N.
16のブロック 1972 木 版
分けられた方形 1972 "
ニュー・ジーランド
○クリーヴィン, バリー
平行棒によりか
かる頭のない少 1971 エッチング
女
ダンピヤーの箱 1971 "
○ウィリアムズ, マーヴィン
愛 撫 1972 セリグラフ
芸術的植物 1972 "
ノールウェー
○ボットネン, トローン

ウルベルのための
の風景 I : 空 1972 エッチング
と山
ウルベルのための
の風景 III : 水 1972 "
○フィンヌル, スヴァイ
グラフィック・ 1972 エッチング
コンサート III
" V 1972 "
パキスタン
○アハマッド・カーン, アハメッド
まじない No.12 1972 凸 版
" No.13 1972 "
フィリピン
○ロドリゲス, マヌエル P.
冬の処女 1971 凹 版
いかさま中絶医 1972 "
○サモンテ, ロドルフォ S.
開き窓 No.1 1972 セリグラフ
" No.2 1972 "
ポーランド
○ラーホビーチ, アンドジェイ
同一の確認 A 1971 セリグラフ
" B 1971 "
○ミヤノフスキ, ルツィヤン
霧の中の足跡 1971 リトグラフ
1
" 1971 "
2
○モゼレフスキ, マチエイ
われらの夢を守
れ 1972 リトグラフ
翼を切らないで 1972 "
○スタルチュフスキ, アントニ
6・12・2/bl 1971 リノカット
III/2 F/g 1971 "
○トレリンスキ, イエジ
大地へ、そして
大空へ 1971 リトグラフ
巻き込まれた矛
盾 1971 "
ポルトガル
○ホウルテス, ヴィクトール
Stable 1 1971 木 版
Stable 2 1972 "
○テイシェイラ=ロベス, ジル
天 竺 葵 1971 エッチング
相 関 1972 "
ブエルト・リコ
○エルナンデス・クルス, ルイス
薄 明 り 1971 セリグラフ
白と栗色のコン
ポジション 1972 "

○オマール, ロレンソ
形 態 I 1971 セリグラフ
" II 1971 "
ルーマニア
○マシキエヴィチ, ホルテンシア
さ な ぎ 1972 凹 版
形 態 発 生 1972 "
○ミコシュ, フレッド
夜 明 け 1971 凹 版
解 化 1971 "
スウェーデン
○ブネル, スヴェン
C.E.の二度目の 1971 エッチ
訪問 グ, アクア
ティント
壁のない部屋 1971 "
○ハーツ, フェーリックス
1944年6月ノルマンディー・シ
リーズより
Dデー、聖母教 1970 リトグラフ
会にて
平和な聖母教会 1971 "
スイス
○ミラ, ルネ
門 No. V 1971 セリグラフ
門 No. VI 1971 "
○シュールトヘス, イェルク
把 握 1971 エッチング
明 白 な 道 1971 "
○イェルサン, アルベール E.
三 つ 一 組 1971 凹 版
メリザンド 1972 "
台 湾
○シャイ, リーファ
よき時代の到来 1972 セリグラフ
1
" 1972 "
3
○楊 英風
兄 弟 1972 凸 版
姉 妹 1972 "
タ イ
○コーサンワッ, バンチョンダ
反 射 1972 セリグラフ
転 換 No.III 1972 "
○ローチャルエーン, ブラワッ
爪の変形 I 1972 リトグラフ
" II 1972 "
トルコ
○アスレエル, ムスタファ
あなたがいたら
すべて満ちたり
て、すべて美し
い 1971 エッチング

美術展覧会(11・12月)

母 1971 エッチング
ソヴィエト
○ノジャ、ジナーラ
「グルジアめぐり」シリーズより
セバネチア伐採労働者 1970 リノカット
山国セバネチアで 1970 〃
○オリベット、マレット
湖 1970 リトグラフ
コムソモール突撃地設営 1970 〃
○ワリュペーネ、シグテ
「リトアニア民話」シリーズより
その 1 1970 リノカット
その 2 1970 〃
○ボロンコフ、ニコライ
公園で 1971 リトグラフ
ボール遊び 1971 〃
○ザハロフ、グーリー
「モスクワ」シリーズより
モスクワ発電所の煙 1970 エッチング
消えゆく星—ヤウザ門 1971 〃
アメリカ
○アントン・シアリン、ギャロー
無題 T-71-144 1971 リトグラフ
無題 T-72-121 1972 〃
○チャイルズ、バーナード
ハワイの民話より、ふくろうの王様プエオ・アールー 1971 凹版
段階 1972 〃
○マーゴ、ボーリス
道 1971 セロカット
彼方で共に 1972 〃
○ニーヴェルソン、ルイーズ
空の庭 1971 凹版
夜の樹 1972 〃
○ペーテルディ、ガボーア
赤い太陽、青い潮 1971 併用技法
暗い太陽、赤い月 1971 〃
○ソネンバーク、ジャック
ディメンション VI C 1972 凸版
VI F 1972 〃
ウルグアイ
○カルディージョ、リメール・アン

ヘル
もう一つの掠奪 1971 エッチング、アクアティント
ノッカラー 1971 〃
○フラスコニ、アントニオ
法と秩序—ジョージ・ジャクソン 1971 木版
法と秩序—ケント 1971 〃
ヴェネズエラ
○パラシオス、アリリオ
ペーコン研究 No. 1 1972 凹版
印象 No. 1 1972 〃
ユーゴスラヴィア
○ベルニーク、ヤネズ
連作 87,878, 1971 セリグラフ
8789 —72
○ツェリッチ、ストヤン
崩壊 1971 アクアティント、エッチング
生と死の一日 1972 〃
○デベンヤーク、リコ
魔法の次元 No. CXXVII 1971 アクアティント
魔法の次元 No. CCIX 1972 〃
○スーテイ、ミロ斯拉ヴ
カラー・ボール 1971 セリグラフ
ブラック・ボール 1971 〃
—72
○ヴェリチコヴィッチ、ウラディミール
箱—五つの状態 1972 セリグラフ
箱の誕生 1972 〃
焰1人展 17—22 東急日動画廊
堀口泰造個展 17—28 日本橋画廊
3回増田誠展 17—29 小田急
葦名芳夫個展 18—23 銀彩堂画廊
井上公三個展 20—25 ギャラリームカイ
八木伸子展 20—25 楡の木画廊
斎藤三郎展 20—27 日動サロン
寺田政明画集出版記念展 20—12月2 愛宕山画廊
フォルム8人展 20—12月2 フォルム画廊(綱谷義郎、小貫政之助、斎藤真一、糸田芳雄、宮城音蔵、川口精六、本田克巳、西村功)
岡田又三郎油絵展 21—26 三越本店

店
橋本明治壁画展 21—26 三越本店
平野敬吉木彫展 21—26 高島屋
豊田嘉生油絵展 21—26 三越ギャラリー・アネックス
牛島憲之二十年対比展 21—12月3 東京セントラル美術館
吉本弘作品展 21—12月3 東京セントラルサロン
3回日動展 22—12月2 日動画廊
三輪勇之助油絵展 24—29 東急本店
双杉会14回展 24—30 兼素洞
3回六彫展 25—12月6 現代彫刻センター(高田博厚、舟越保武、菊地一雄、佐藤忠良、本郷新、柳原義達)
川上尉平油絵近作展 27—12月2 昭和画廊
中村光蔵個展 27—12月3 あかね画廊
ポリアコフ展 27—12月4 自由が丘画廊
篠田守男彫刻展 27—12月9 南天子画廊
難波田史男展 27—12月16 東邦画廊
木内廣新作油絵展 28—12月2 兜屋画廊
奥村土牛新作展 28—12月3 三越本店
都竹伸政油絵展 28—12月3 銀座・三越
篠田桃紅展 28—12月3 高島屋
中村直人個展 30—12月5 渋谷・西武
バリの印象三浦巖水彩画展 30—12月5 上野・松坂屋
大歳克衛展 30—12月9 日本橋画廊

12 月

塗師祥一郎油絵個展 1—6 小田急
びしょっぶ英郎油絵個展 1—6 小田急
小野木学個展 1—23 第七画廊

伊藤正義新作展 4—9 西美会俱
部
馬越陽子展 4—9 ギャラリーム
カイ
芝田米三個展 4—16 銀座サエグ
サ画廊
山内豊喜油絵展 5—10 三越ギャ
ラリーアネックス
熊谷九寿近作個展 5—11 高島屋
西野久子個展 5—11 中央美術画
廊
伊藤久久個展 5—12 日動サロン
井上三綱展 5—17 東京セントラ
ル美術館
塚本茂禰近作展 5—17 東京セ
ントラルサロン
志邨武久個展 7—12 渋谷・西武
長宗希佳展 7—16 三軒画廊
3回日本自然派美術会展 8—13
小田急
日本表現派協会展 8—13 上野の
森美術館
ジェームズ・アンソール展 9—1
月28 京都国立近代美術館
岡田徹個展 10—16 銀座アートギ
ャラリー
勤労者美術展 10—24 都美術館
36回大潮会展 10—26 都美術館
氏家秀之進個展 11—16 丸善画廊
佐々木豊個展 11—17 あかね画廊
12回彫刻会展 11—18 三越本店
1回新象展 11—23 ギャラリー・
ためなが
服部保個展 12—17 高島屋
山口長男個展 12—23 南画廊
4回彫刻6人展 13—23 日本橋画
廊(桜井祐一、廣瀬和子、中村直
人、松村外次郎、峰孝、淀井敏
夫)
鈴木延雄油絵個展 15—20 小田急
和気史郎個展 15—21 池袋・西武
福田豊四郎展 15—23 南天字画廊
小野州一展 15—25 吉井画廊新館
河北浩展 18—23 昭和画廊
里中英人作陶展 18—24 京二画廊
小山田チカエ展 25—27 スルガ台
画廊

＜古 美 術＞

1 月

特別陳列「キリシタン関係遺品」 46
年12月14—2月27 東京国立博物
館
アイヌの文様 2—2月13 サント
リー美術館
徳川歴代將軍甲冑と名刀展 2—16
トキハ文化ホール
修学院離宮展 2—12 西武池袋店
特別陳列「奈良時代の写経」 4—30
京都国立博物館
特別陳列「鞍馬寺の彫刻」 4—5月
7 京都国立博物館
特別陳列「唐三彩」 4—5月7 京
都国立博物館
雪国の民具 4—2月11 大阪市立
博物館
新春特別展並びに第1回重刀新指定
展 4—2月20 刀剣博物館
能阿弥500年忌とシルクロード展
4—3月28 正木美術館
白梅忌展 4—3月20 逸翁美術館
在外浮世絵名作展 4—16 松坂屋
銀座店
浮世絵肉筆にみる「美人画の系譜」
展 4—19 京王新宿店
東洋の古代美術 5—30 大和文華
館
司馬江漢・田善を中心とした「日本
の銅版画展」 5—2月20 神戸
市立南蛮美術館
高野山名品展 5—30 椿山荘美術
館
特別陳列「国宝・重文50選展」 6—
2月13 大阪市立美術館
李朝三島の茶陶・古代中国の武器帶
鉤・春秋戦国時代の青銅器 7—
3月31 寧楽美術館
市制50周年記念「尾張平野のあけほ
の展」 8—19 名鉄丸栄
肉筆浮世絵秀作展 11—16 松坂屋
上野店
いろはかるたといろいろ展 11—3
月13 滴翠美術館

2 月

郷土の名刀展 12—16 静岡・松菱
百貨店
みちのくの秘宝「出羽三山秘宝」 14
—26 そごう神戸店
在外浮世絵名作展 18—23 松坂屋
静岡店
在外浮世絵名作展 25—30 福岡・
岩田屋
札幌オリンピック冬季大会芸術行事
「浮世絵名作展」—200年の流れ—
25—2月13 北海道立美術館
特別陳列「修理完成記念 鞍馬寺経
塚遺宝」 1—5月7 京都国立
博物館
特別陳列「平安前期の書」 1—3月
5 京都国立博物館
鎌倉の水墨画—画僧祥啓の周辺—
1—2月27 神奈川県立博物館
熱海美術館名品展 1—25 椿山荘
美術館
中国の陶磁 2—3月26 大和文華
館
みちのくの秘宝「ミイラムと出羽三
山秘宝展」 4—16 天満屋 福山
店
地獄と極楽「みちのくの神秘・恐山
展」 4—16 藤井大丸
肥前のあけぼの展 5—27 長崎県
立美術館
在外浮世絵名作展 15—20 松坂屋
名古屋店
房総のあけぼの展 18—23 そごう
千葉店
寛文美人 19—3月19 サントリー
美術館
情怨の絵師・溪斎英泉の浮世絵展
19—3月26 滴翠美術館
在外浮世絵名作展 22—27 松坂屋
大阪店
日蓮上人ゆかりの霊宝展 22—3月
5 三越新宿店
郷土の美とその伝統「茨城の文化財
特別展」 26—3月26 茨城県立
美術館

3 月

梅沢記念館名品展 1—28 椿山荘美術館
 みちのくの秘宝「ミイラ仏と出羽三山秘宝展」 3—14 久留米・井筒屋
 日本刀展 7—25 神戸市立南蛮美術館
 沖縄の歴史展 7—12 三越本店
 日本の刀剣と美術 10—13 福岡・玉屋
 中国の陶磁器・宋・明を中心に 15—4月23 白鶴美術館
 日本の名刀展 15—20 小倉・玉屋
 泉涌寺展 16—28 大丸東京店
 茶道美展 17—22 東急本店
 桃山の名・名作展 17—29 そごう神戸店
 ポストン美術館東洋美術名品展 18—4月16 東京国立博物館
 沖縄の歴史展 18—4月16 大阪市立博物館
 出羽三山の秘宝展 18—26 松坂屋上野店
 桃山画壇の鬼才「海北友松展」 19—4月9 京都市立美術館
 青磁展 25—5月31 藤田美術館
 春季特別展 28—5月21 刀剣博物館
 目でみる社会科第1回「ふるさと百話展」 28—4月6 松坂屋静岡店
 中国の明・清時代の版画 30—4月30 大和文華館

4 月

南蛮美術展 1—23 神戸市立南蛮美術館
 房総人展 1—5月10 千葉県立上総博物館
 長崎を中心にした黄檗画像展 1—10 長崎市立博物館
 近世屏風画名品展 1—6月25 大倉集古館
 茶箱・蒔絵と懐石用道具展 1—7

月16 滴翠美術館
 請来絵画と古陶展 1—9月26 正木美術館
 藤田美術館茶席飾展 1—5月29 椿山荘美術館
 焼物香合名品展 2—23 兵庫県陶芸館
 特別陳列「新指定重要文化財」 4—16 東京国立博物館
 京都御所名宝展 7—30 石川県美術館
 新平家物語展 7—12 山梨県・岡島
 上野の森美術館開館記念展「桃山・江戸・明治300年の美術」 8—5月7 上野の森美術館
 久能山東照宮の秘宝「徳川十五代の将軍展」 8—5月7 岡山城天主閣
 日本名刀展 12—16 高島屋大阪店
 大福岡展 12—18 福岡スポーツセンター
 常盤山文庫「墨の美展」 13—18 大丸東京店
 よろいとかぶと 15—5月14 奈良県文化会館
 信濃が誇る名刀展 15—5月7 長野県信濃美術館
 沖縄の歴史展 19—23 オリエンタル中村
 阿弥陀仏彫像展 22—5月21 奈良国立博物館
 特別陳列「近代名家模写」 22—5月28 東京国立博物館
 防長の名刀展 23—5月14 山口県立山口博物館
 織と染—日本の染織と備後の染織 23—5月7 福山市立福山城博物館
 新平家物語古美術展 25—5月7 高島屋日本橋店
 古墳時代から江戸時代まで「甲冑の歴史展」 25—30 阪急梅田店
 特別陳列「沖縄の染織」 26—5月28 東京国立博物館
 四国八十八ヶ所展 27—5月10 高知県立郷土文化会館
 能装束展・江戸時代の名品 28—5月28 京都府立総合資料館
 ポストン美術館東洋美術名品展 28

—5月28 東京国立博物館
 奴国展 28—5月3 福岡市・岩田屋
 第54回特別展「和泉の文化財」 29—5月31 大阪市立博物館
 徳川家名宝展 29—6月28 日光東照宮宝物館

5 月

特別陳列「平安後期の書」 1—28 京都国立博物館
 特別陳列「阿須賀神社伝来古神宝」 1—6月25 京都国立博物館
 近代中国の画家 1—28 大阪市立美術館
 紅毛美術名品展 1—25 神戸市立南蛮美術館
 中国の陶磁・漢から明 1—31 白鶴美術館
 茶道美術 1—6月18 逸翁美術館
 日本民芸特選展 1—6月30 日本工芸館
 明清名画展 2—14 本間美術館
 特別陳列「写楽」 3—6月4 東京国立博物館
 名品展 3—6月18 大和文華館
 沖縄の歴史展 3—8 小倉市・玉屋
 常盤山文庫「墨の美展」 4—9 大丸大阪店
 50年前の沖縄・写真でみる失われた文化財 11—31 サントリー美術館
 旧嵯峨御所大覚寺障壁画展 12—24 そごう神戸店
 四国八十八ヶ所展 13—28 香川県文化会館
 沖縄の歴史展 13—18 三越松山店
 武蔵と澤庵展 15—31 本間美術館
 県内茶道具名品展 17—6月4 山形県美術博物館
 新平家物語展 19—24 天満屋広島店
 大楠公父子展 20—25 三越神戸店
 新平家物語古美術展 23—6月4 高島屋大阪店
 長谷川等伯展 27—6月25 石川県美術館

大楠公父子展 30—6月4 三越札幌店

6 月

特別陳列「東福寺所伝宋拓碑文」 1—7月23 京都国立博物館

金銅仏展 1—7月5 五島美術館
四国八十八ヶ所展 1—18 愛媛県立美術館

田の神像展 2—14 京都市・藤井大丸

信濃善光寺宝物展 2—14 そごう大阪店

木曾路展 2—7 京王新宿店

越後(小千谷)ちぢみ展 3—7月2 サントリー美術館

小袖と人形 10—7月9 大阪市立博物館

印籠と根付 10—7月9 大阪市立美術館

仏教美術シリーズ「金銅仏展」 10—7月5 五島美術館

特別陳列「正倉院宝物模造」 13—7月23 東京国立博物館

み仏との出会い「礼拝供養と仏壇仏具展」 15—20 大丸大阪店

太宰府天満宮展 18—23 福岡県・鶴屋

日本の陶磁 21—8月20 大和文華館

新平家物語展 27—7月2 今井函館店

四国八十八ヶ所展 24—7月9 徳島県郷土文化会館

歌仙名品展 26—28 東京美術倶楽部本館

政財界有名人愛蔵茶道具展と大茶会 22—27 大丸大阪店

7 月

特別陳列「明兆の絵画」 1—30 京都国立博物館

黄檗画像と沈南蘋風花鳥画 1—25 神戸市立南蛮美術館

高野山宝物展 1—30 椿山荘美術館

第55回特別展「飛鳥・天平の遺宝」

16—8月31 大阪市立博物館
特別陳列「仏教版画」 18—8月20 奈良国立博物館

赤絵と染付展 25—9月10 逸翁美術館

大乘寺展・その歴史と文化財 29—9月10 石川県美術館

8 月

特別陳列「南禅寺の扁面貼交屏風」 1—9月3 京都国立博物館

陶芸東西交流展 1—9月24 出光美術館

第4回日本名刀展 1—20 本間美術館

特別陳列「北斎」 2—9月3 東京国立博物館

増上寺宝物展 2—29 椿山荘美術館

新平家物語展 4—9 天満屋岡山店

酒井忠勝庄内入国350年記念「酒井左衛門丞展」 6—30 致道博物館

メトロポリタン美術館展 10—10月1 京都国立博物館

第16回剣美術展「備前名刀展」 11—16 名古屋・名鉄

伝統から未来へ「瀬戸のやきもの展」 11—16 京王

特別陳列「館所蔵貴重図書」 12—9月24 東京国立博物館

旅(庄内) 12—9月17 サントリー美術館

信濃善光寺展 17—22 そごう東京展

香川の古写経展 9—10月15 香川県文化会館

伊丹市立博物館開館記念展 20—9月21 伊丹市立博物館

富岡鉄斎展 23—10月1 大和文華館

優品展 31—10月15 五島美術館

9 月

英泉浮世絵展・江戸女百景 8—20

小田急新宿店

特別陳列「美濃のやきもの・志野・織部」 12—11月30 京都国立博物館

サントリー美術館名品展 13—10月10 仙台市博物館

福島県仏像彫刻展 15—10月22 福島県文化センター

トルソーと花展 15—27 東急日本橋店

古九谷名品展 16—10月26 石川県美術館

郷土文化芸能シリーズ第8回「なごやのまつり展」 20—10月10 名古屋城天守閣

染付の道・東と西を結ぶ文化 26—11月19 サントリー美術館

10 月

私たちの考古学「森の宮遺跡展」 1—20 大阪市立博物館

南蛮紅毛美術展 1—11月25 神戸市立南蛮美術館

鳥取県立博物館開館記念「郷土美術名作展」 1—22 鳥取県立博物館

石動山の歴史と文化 1—11月30 石川県立郷土資料館

茶陶・瀬戸と唐津展 1—11月29 藤田美術館

茶道美術展 1—48年3月27 正木美術館

仙厓展 1—22 出光美術館

北陸・東海地方国焼展 1—12月17 滴翠美術館

茶掛けと国焼茶陶 1—11月12 逸翁美術館

中国古代青銅器 1—11月26 白鶴美術館

名刀展 3—11月19 刀剣博物館

名品展 4—12月10 大和文華館

祇園八幡宮宝物展 5—15 大分市・トキワ文化ホール

巨匠広重展 6—18 そごう神戸店

美術にみる中国と日本展 7—11月12 大阪市立美術館

平家納経と厳島の遺宝 7—11月15 京都国立博物館

古美術展覧会(10~12月)

加賀百万石前田家名宝展 8—29
島根県立博物館
名古屋城を中心とする桃山時代城郭
障屏画展 8—11月5 大阪城天
守閣
大和と主要遺跡展 8—11月16 榎
原公苑考古博物館
東京美術倶楽部特別展 8—12 東
京美術倶楽部本館
東京国立博物館創立百年記念「琳派」
10—12月3 東京国立博物館
徳川美術館名宝展 10—24 愛媛県
立美術館
BSN新潟美術館十周年記念「一休
和尚展」 10—29 BSN新潟美
術館
桃山の巨匠「永徳・等伯・友松展」
17—11月7 徳川美術館
岡山県の絵画・古代から近世まで
17—11月5 岡山県立博物館
中国の陶芸展 19—11月26 五島美
術館
正倉院展 22—11月5 奈良国立博
物館
家康と勝成 22—11月12 福山市立
福山城博物館
観音信仰展 22—11月10 元興寺極
楽坊総合収蔵庫
弘法大師展 24—11月26 京都府立
総合資料館
鎌倉の墨跡 24—11月12 鎌倉国宝
館
第5回日本刀展 25—30 山形美術
博物館
第56回特別展「親鸞聖人生誕八百年
記念・真宗文化」 28—11月26
大阪市立博物館

社寺の秘刀展 28—11月12 福井県
立岡島美術記念館
松本市民祭「お城まつり」 28—11月
6 松本城・日本民俗資料館
高崎市文化財展 28—30 高崎市中
央公民館
熱田神宮文化史展「熱田と中世」 28
—11月26 熱田神宮宝物館
中国の工芸展 28—12月21 出光美
術館
飛鳥展 28—11月28 小田急新宿店
清朝の陶磁展 28—11月26 梅沢記
念館
復帰記念「日本古美術展」 29—11月
26 沖縄県立博物館
近江の道—覇者の道と商人の道 31
—11月26 滋賀県立近江風土記丘
資料館

11 月

特別陳列「楽面と行道面」 1—30
京都国立博物館
中世の陶器 1—30 神奈川県立博
物館
はんこむかしむかし展 1—30 千
葉県立上総博物館
桃山・江戸初期備前名作陶展 1—
30 兵庫県陶芸館
弥生文化と銅鐸展 1—12 豊田市
教育委員会
多度神社宝物展 3—24 桑名市立
文化美術館
長浜の文化財展 3—5 長浜市立
長浜公民館
先史時代の文化展 3—23 滋賀県

立琵琶湖文化館
香炉展 3—26 根津美術館
茶の湯名宝展 3—15 名古屋市・
名鉄
岐阜県の歴史展 3—8 岐阜市・
丸物
安宅コレクション・中国陶磁名品展
7—19 三越大阪店
四国遍路と善通寺秘宝展 10—15
西武池袋店
国宝三十三間堂展 10—28 東急日
本橋店
栃木県的美術展 11—48年1月21
栃木県立美術館
特別陳列「日本絵画の名品」 15—12
月17 京都国立博物館
特別陳列「鎌倉・室町時代の墨跡」
15—12月17 京都国立博物館
特別陳列「高台寺蒔絵」 15—12月24
京都国立博物館
特別陳列「桃山時代の小袖と胴服」
15—12月24 京都国立博物館
サントリー'73展 28—48年1月28
サントリー美術館

12 月

江戸美術展 1—20 大阪市立博物
館
芝居錦絵展「太閤記」 1—24 逸翁
美術館
陽明文庫名宝展 1—24 椿山荘美
術館
永楽焼歴代展 19—48年1月14 京
都府立総合資料館

「物故者」 ページ (59～92 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.59-92)

Cut for protection of the personal information

美術文献目録 (昭和47年)

凡 例

- ここに採録した文献は昭和47年中にわが国において発行された定期刊行物、および諸新聞に掲載されたものである。ただし雑誌により年度外が含まれることもある。
- 単行図書の形で刊行されたもののうち多数の論文を集録したものはその内容を定期刊行物中に組み入れた。
- 現代美術文献目録は明治以後の美術に関するものを、外国美術文献は西洋を主として集めたが、東洋やその古美術に関するものも現代に関わりをもつものだけでなく、新聞紙上に載せられた古美術関係記事も「雑録」中に採録した。
- 東洋古美術文献は新聞記事を含まない。
- 建築ならびに工芸の範囲は本文最初の凡例に記した範囲にとどめた。
- 各項目内の配列は特記したほかは、内容別順とした。なお主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。(例えば作家欄において作家名を先に出す等のこと。)
- 雑誌の号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9. 1, 3, 6は昭和47年9月1日、3日、6日の新聞を示す。(5)は昭和47年5月号を示す。

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

現代美術・西洋美術	
総 説	94
絵 画	99
彫 刻	100
工芸・デザイン	100
建 築	103
作 家 (人名別音順)	
日 本	106
外 国	123
美術関係者 (人名別50音順)	127
雑 録	127
時評・海外展他	127
美術市況	128
美術館・文化財保護	129
高松塚古墳・馬王堆古墳・文化交流他	130

古美術随筆	133
随 筆	133
書 評	139
東洋古美術	
総 記	163
絵 画	166
書 蹟	170
彫 刻	171
建築・庭園・石造美術	172
工 芸	174
陶 磁 工	175
金 工	176
漆 工	177
染 織 工	177
玉工・ガラス工・その他	177
考古学関係	177
歴史関係・その他	179

定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術文献

総 説					
シャフツペリの Aesthetics—価値経 験の学としての美学 の基礎付け	窠本 雅之	美 学	90	ミケル・デュフレン ス「再現の美学」(講 演要旨)	佐々木健一 (抄訳) 美 学 91
レシニングとヘンデル のタナトス論	澤柳大五郎	美術史研 究	9	今日における美的な るものの克服の問題	太田 喬夫 " 90
バジュラル研究— 科学的認識と詩的認 識	山縣 熙	美 学	90	現代芸術における主 題の問題(一)	石田 正 " 91
余情の論理	草薙 正夫	"	88	芸術における《制 度》の問題(1)〈みづ ゑ 800 号記念芸術評 論第一席〉	たにあらた みづゑ 812 美術手帖 359
回帰的形成としての 芸術史	木幡 瑞枝	"	90	劇(ドラマ)—読む ことについて〈同上 佳作〉	小林 康夫 " "
始源美術の様式問題 —その自然主義につ いて	鬼丸 吉弘	"	"	なぜ〈表現〉なのか —前提としての〈存 在〉概念の素描〈同 上佳作〉	伏久田喬行 " "
透視画法について(一)	金田 晋	"	91	エムペドクレスの末 裔〈同上佳作〉	花村 誠一 みづゑ 812
画面周縁部における heiter と ernst	島本 融	"	88	十三番目の騎士〈同 上佳作〉	森田 一敏 " "
技術と社会 1—社会的 産物としての技術 の考察	飯岡 正麻	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	3—1	特集・ああ 現代美 術	美術手帖 358
表象の胚芽	宮崎 浩行	"	"	作家の姿勢と存立 の基盤	対談・藤枝 晃雄、李禹 煥
美学会第23回全国大 会報告		美 学	91	唯一者であることを を—現代芸術批判	坂崎 乙郎
芸術と技術	大森 正一			観衆とはなにか— 「ルネ・マグリッ ト」展の場合	多摩美大 T ゼミ
オーデブレヒトの 美的価値体験論	松久 勝利			追いつめられた現代 美術	柳 亮 東京夕刊 8.10 8.11
創作—の系譜に関 する論試論—特に プラトーンとアリ ストテレスを中心 として	藤田 一美			上：人間不在につ いて 下：複製について	みづゑ 814
現代の美術とデザ イン—一つの比較 論	河本 敦夫			1972年を顧みて	
パウル・クレーの 形式言語における 特質	前田富士男			表現の意味	乾 由明
現代美術における オブジェの問題	鈴木 健二			現代美術の停滞	藤枝 晃雄
芸術におけるレア リテートの問題	林 健太郎			現代美術の分極化 と混沌	三木 多聞
石恵愚溪の山水画	太田 孝彦			「現代美術」の一つの 鳥瞰	平野 重光 視 る 63
高松塚古墳の壁画 について—七世紀 中期制作説の提起	上原 和			近代美術の機械性	西脇順三郎 朝日夕刊 6.19
サンクト・フロー リアンの大型聖書 本—12世紀・ザル ツブルクの写本	越 宏一			現代芸術における想 象	坂崎 乙郎 読売夕刊 2.22
レンブラント「マ ノアの供物」の制 作年について	阿天坊 耀			幻想絵画の本流・ ウィーン派〈フット ライト〉	栗津 則雄 芸術新潮 269
				抽象と具象の接点	瀬木 慎一 季刊現代 彫刻 1
				特集・文化叛乱/いま	美術手帖 352
				語りえぬものを言 葉に	多木 浩二
				日常の解体と獲得	堀 浩哉

頭脳戦線へ向かって	金坂 健二			
漫画の世界と幻の都市	重村 力			
表現者の主体と行動	足立 正生			
映画における今日	邦 和彦			
特集・コミュニケーションへ精神の、生活の		美術手帖	360	
松沢有・闇を透徹する共同体	ヨシダ・ヨシエ			
ビオ・エコロジー進航中	末永 蒼生			
脱文化の思想—ダダの回顧を中心に	早崎 守俊	読売夕刊	10.13	
たとえば音の異物性が日常的であるということ—《音響標定No. 4》会話体収録〈表現現場'72〉	藤原 和通 榎倉 康二 高山 登	美術手帖	357	
無名性のかたの無名—なぜくもの>なのか	菅 木志雄	〃	355	
特集・今日のリアリズム〈座談会〉	小島 信夫 中原 佑介 ジョセフ・ラヴ 針生 一郎	芸術新潮	275	
リアリズムの復権—世界美術の新しい動向	村木 明	読売夕刊	2.15	
新しいリアリズムの動き—アメリカの美術	中村 敬治	毎日夕刊	6.9	
ラディカル・リアリズム	〃	京 都	6.25	
激動するスーパー・リアリズム	日向あき子	芸術生活	228	
現実への帰帰	加藤 周一	読売夕刊	8.21 8.22	
上：超リアリズムまたは現実の多義性。下：ジョージ・シーガルまたは現実の核心				
ニューヨークのスーパー・リアリズム	近藤 竜男	毎 日	2.14	
わたしの終末論	坂崎 乙郎	東京夕刊	12.12 12.13	
上：現代芸術に希望なし。下：イメージだけが実体				
芸術表現領域の拡大—ハイパー・リアリズムをめぐる	村木 明	読 売	10.14	
言語と概念芸術	飯村 隆彦	美術手帖	361	
ニューヨークの観念美術	近藤 竜男	毎日夕刊	11.15	
現代美術の谷間（コンセプト・チュアル・アート）	安井 収蔵	素 描	13(1970.6)	
デュシャン透視考	東野 芳明	美術手帖	352~360	

アンソロジー・60年代美術の意識地平	編・赤塚行雄、刀根康高、彦坂尚嘉	美術手帖	350	
批評的思考—その原点				
ある架空法廷記録から	宮川 淳			
「変革期」ということについて	東野 芳明			
実在への復帰	針生 一郎			
芸術論序説	中原 佑介			
表現史へのアプローチ				
戦後思想の価値転換とは何か	吉本 隆明			
芸術写真	多木 浩二			
美術する主体の構え				
芸術は武装放棄せよ	赤瀬川原平			
大衆の逆襲—告発される〈作家的良心〉	木村 恒久			
九州派1963	働 正			
全日本美術家に語る	松本 竣介			
自由—自己権力と国家権力				
生きている画家	松本 竣介			
芸術と自由	滝口 修造			
「模型千円札裁判」上告趣意書	赤瀬川克彦			
美術家という特権的知覚				
座談会・「合理」と「神秘」の間隙	針生 一郎 中西 夏之次郎 高松 三木 富雄			
全体主義 絵画論・断草	立石 紘一			
現代美術の「描く」	中原 佑介			
生活者の位相から				
「ふぬけ」の哲学	中西 夏之			
「丸」と「卵」	オノサト・トシノブ			
若い冒険派は語る〈座談会〉	工藤 哲己 荒川 修作 伊藤 隆康 中西 夏之 赤瀬川原平 江原 順			
生活世界への視点				
考現学とは何か	今 和次郎			
日常性ということ	中原 佑介			
環境の身体性を起点として				

定期刊行物所載文献

生活習慣を断切る体験	今 和次郎			他者の侵入—写真の非創造性について	岡田 隆彦	
都市建築美についての生活学的分類と分析	"			自由主義芸術を超える—ハンス・ハーケのこと	エドワード・フライ	
建築の複合と対立	ロバート・ヴェンチューリ			<写真とアート>—私の場合		
特集・新しい批評のために／60年代の地平から		美術手帖	350	理論もへちまもございせん—<描く>才能に恵まれただけで	辰己 四朗	
批評的言語について	菅谷規矩雄			イメージの覚え書き、あるいは創造力の媒介として	池田満寿夫	
私にとって<批評>とは何か	諸 作家			“僕の存在そのものがメディアであり表現のすべてである”	森山 大道	
戦後美術批評の成立と展開<座談会>	東野 芳明 中原 佑介 針生 一郎 彦坂 尚嘉			<なにがカメラに写るか>—とりあえずそのことが問題	榎倉 康二	
'71 美術批評への視点<今月の焦点>	彦坂 尚嘉	美術手帖	350	写真を<もの>にするために—現実と写真の隔り	河口 龍夫	
問われる批評の主体性<〃>	野村 太郎	"	353	“嗚呼、すれちがい大悲劇、—美術家ゆえにカメラを回して…”	柏原えつとむ	
<虚無への意志>の欠落をみる—再論「批評の貧困と評論の氾濫」<〃>	石子 順造	"	354	写真的リアリズムの欲望<シャープ・フォーカス・リアリズム>展を見て	大石 尚	
批評は概念ではないはずだ（菅谷規矩雄氏の「批評的言語について」に一言）<〃>	岡田 隆彦	"	355	写真家へのアジテーション	黒沼 康一	
減退する批評<〃>	藤枝 晃雄	"	356	美術と写真—その歴史的展開とこれからのゆくえ	アーネスト・サトウ（訳・松岡和子）	
批評の危機とアイロニー<〃>	ジョセフ・ラヴ	"	357	特集・フィルムとビデオ		美術手帖 361
物質批評の可能性<〃>	松岡 正剛	"	358	認識から表現へ—時間と空間の関係構造とは？	辻 勝之	
制作の論理と批評の論理<〃>	平野 重光	"	361	以心伝心みえない言語—ビデオを採る		
今日の映像・同時性の神話	東野 芳明	朝日夕刊	10.24	アメリカのビデオ・フリークたち		
映像はきれいでよいのか	鈴木志郎康	朝 日	9.1	コンピュータート：構成主義の発展	ジャック G・デヨング 訳・橋本創造	アイデア 112
特集・写真と記録—イメージ操作の構造		美術手帖	357	特集・デューラーとドイツ・ルネッサンス		三 彩 287
記録という幻影—ドキュメントからモニュメントへ	中平 卓馬			デューラー時代のドイツ美術	前川 誠郎	
封じられた擬似現実	抑本 尚規					
広告のゼロ度の探求—アメリカ広告の印象批評	長沼行太郎					
シャッター・チャンスの官僚性について	赤瀬川原平					
特集・<真なるもの>の神話—写真と芸術		美術手帖	356			
“歴史”はもはや商品である—バースベクティフ喪失時代の映像	内村 剛介					

デューラーと近代日本美術—「デューラーとドイツ・ルネッサンス展」に寄せて 堀米 庸三 芸術新潮 270

イギリス・ロマン派とラファエロ前派 由良 君美 みづゑ 810

特集・装飾美術の原点

<I>

レインボー マニフェストⅡ 鵜 嘸

エロスと宇宙の間 飯田 善国

小さな水溜りの中の大きな世界 多田 美波

ブラックと私 山口 長男

創造の原点を示すタントラ 前田 常作

瞳の中の私 宮脇 愛子

発想の薄い味 流 政之

日常に点在する原点 伊藤 隆康

変形と流動に魅せられて 川島 猛

<II>

見えかくれする原点を求めて 瀬木 慎一

イタリアの伝統的な体質・未来派<フットライト> 八木 一夫 芸術新潮 270

未来派運動 野上 素一 視 る 59

未来派絵画断章 乾 由明 " 60

特集・鉄十字への反逆 ディックスとグロース みづゑ 811

1. 1930—海水浴場の様板戯 木村 恒久

2. 我が諷刺画考 平賀 敬

ジョン・ラファージと日本 村形 明子 季刊芸術 21

青木繁とわが国浪漫主義の晩果 土方 定一 絵 101

『白樺』と近代美術 高階 秀爾 季刊芸術 21, 22

続・日本近代美術史ノート 3, 4

天心と現代<現代美術論> 乾 由明 アート 20の1

美術的風土と京都<〃> 井島 勉 " 20の3

年表：現代美術の50年 1916—1968 編・赤塚行雄、刀根康尚、彦坂尚嘉 美術手帖 354 355

戦後日本美術の展開—具象表現の変貌 三木 多聞 日本美術 83

戦後日本美術に関する私感

特集・戦後日本美術の展開

戦後日本美術に関する私感

戦後日本の社会と美術

戦後前衛所縁の荒事十八番

現代美術の東と西

33. 現代の人間像4

34. 現実と幻想1

35. " 2

36. " 3

近代日本の美術<文献紹介>

特集・ミュンヘン・オリンピック「東西美術」展

1. 「世界文化と近代美術」展を見て

2. ミュンヘン芸術オリンピック開かる

3. ヨーロッパ陶芸と東洋陶磁との出会い

シンポジウム・芸術における対話—日本と西洋—

絹の美と反抗の美—日本美の二極性<リポート>

特集・今日の書

書は現代の芸術たりうるか

特集・交錯する人工と自然—<パントル・ド・ラ・レアリテ>の画家たち

1. 遠近法・静物画・鏡 トロンブ・ルイユについて

2. トロンブ・ルイユとレアリテ

「七つの大罪」今昔

メタモルフォーゼ頌

1. 中世の<かたち>—寓意から象徴へ、象徴から寓意へ

「見ること」と「見られること」

小池 賢博 現代の眼 207

美術グラフィック 21—5

小池 賢博

菊地 明子

ヨシダ・ヨシエ 美術手帖 350

三宅正太郎

萌 春 206

" 207

" 208

" 209

土屋 悦郎 現代の眼 216

芸術新潮 274

山田智三郎

千足 伸行

由水 常雄

高階 秀爾 遠山 一行 山崎 正和 伊藤ていじ (司会) 山田智三郎 季刊芸術 23

笠原 伸夫 読 売 6.24

日本美術 85

安井 収蔵

みづゑ 807

澁澤 龍彦

アンリ・カディウ、訳 小川栄二

坂崎 乙郎 芸術生活 280

中山 公男 美術手帖 353

" 芸術新潮 265—276

定期刊行物所載文献

大発明物語	中原 佑介	美術手帖	356~361	2.古今にせもの物語			
パタフィジック入門	ブラスタ・チハーコバー	芸術生活	279	3.世界展作美術史			
SERIAL—ESSAY 発見				特集・統撰作考	芸術生活	280	
1. キッチン、生活様式の文法	石子 順造	S D	88	1. 贋作者誕生	西東 登		
2. 異説起源論者の系譜—日本はいかにして発見されたか	竹田 健	〃	89	2. 永仁の謎	大西 信行		
3. 白紙に至るまで〈反発見〉の視座としてのことば	鶴岡 善人	〃	90	3. 贋作のすすめ	かもよしひさ		
4. 馬は影である	岡田 隆彦	〃	91	4. 再録・書画骨董偽物がたり	佐々木三味		
5. 孤独なる群衆の服装と歩行	市川 雅	〃	92	特集・美人考		〃	270
6. マドレーヌと新大陸	種村 季弘	〃	93	1. 美人画論	秋山 清		
7. 科学はひとつか…	中原 佑介	〃	94	2. 妖たる魂しずめ	馬場あき子		
8. 非在の視点が開示するもの	藤井 博巳	〃	95	3. 戦後に美女ありや	石堂 淑朗		
9. 蝶の点と線	太田 邦夫	〃	96	4. イコンとしての美女	石子 順造		
10. 不確かな世界へのまなざし	森山 大道	〃	97	特集・道具考		〃	272
11. 物質文化から霊的文化へ	松本 俊夫	〃	98	1. 道具・聖性への熱望	吉田 光邦		
12. 池田善次郎に桜花が散る	栗津 潔	〃	99	2. 刃物論・切断の祭祀	竹内 健		
特集・神話と芸術		芸術生活	271	3. 聖具論・象徴と無用性	村岡 空		
1. 青木繁の神話世界	谷川 健一			4. 機巧論・無限への工夫	綿谷 雪		
2. 現代日本画家の神話意識	吉村 貞司			特集・遊戯考		〃	278
特集・ダンディズム		〃	273	1. 賭博の形而上学	竹内 健		
1. 誰にも似ないように	稲垣 足穂			2. 失われた性の遊戯空間	安田 武		
2. 正統的ダンディの系譜	生田 耕作			3. ことばの淫者たち	鍵谷 幸信		
3. 時代錯誤への情熱	磯田 光一			4. 日本の遊戯具	関 忠夫		
4. 黄昏の発明	加藤 郁乎			特集・看板考		〃	277
特集・夭折と芸術		〃	274	1. 俗悪の看板あるいは看板男について	石子 順造		
1. 自我信奉者の背理、原口統三	宮内 豊			2. 家蔵看板図譜	杉浦 丘園		
2. 未完の夭折か早熟の天才か、村山槐多	山本 太郎			3. 世界の看板	川喜多煉七郎		
3. 「乳房喪失」の愛と死・中城ふみ子	岩田 正			4. 看板の造型とサイン	柳生 悦子		
4. 球体の息子たち	高橋 睦郎			異形への変身・戦国甲冑における奇想造形		〃	280
特集・贋作考	編集・瀬木慎一	芸術生活	279	特集・名人とその世界		〃	276
1. シロウト鑑定のすすめ				1. 名人とエロチンズム	加堂 秀三		
				2. 名人伝説	竹内 節夫		
				日本空想博物館(1)~(6)	粕 三平	美術手帖	356~361
				アメリカに関する五題	S D	92	
				1. ドロップ・シティの生成	山口 宏		
				2. 芸術と技術と批評と観念<アート・アンド・テラプ	ジョセフ・ラブ		

テクノロジー展> ロスアンゼルス より				
3.映像と言葉と一 記憶による二つ の作品について	飯村 隆彦			
4.ソーホーの日本 の芸術家たち	トーマス・ ハル			
5.方法の消耗一概 念芸術以後	藤枝 晃雄			
迷宮の中の虚構(ク ノッソス宮殿)<真 贋107>	友部 直	芸術新潮	275	
現代スウェーデンの 夢と現実―「現代ス ウェーデン美術展」 を見て	浅野 徹	視 る	61	
スウェーデン美術に ついて	川口 凱正	" "	" "	
最近のマヤ文化研究 開かれた神秘のとび ら―マヤの魅力をさ ぐる	増田 義郎	朝日夕刊	8.9	
神々の愛でし都	栗田 勇		8.2	
25.輝やく眼球の 塔・サグラダ・ ファミリア		芸術生活	270	
26.自然の体現者・ ガウディ		" "	271	
27.イスラムの聖 性モスク		" "	272	
28.増殖する内部 空間・イスフ ァハーン		" "	273	
29.世界秩序のシ ンボル・イス ラム宮殿		" "	274	
30.薔薇の都・シ ラーズ		" "	275	
31.唐草模様の宇 宙バグダード		" "	276	
32.風土の偶像・イ ブン・トウル ーン・モスク		" "	277	
33.神秘の韋・イス タンブール		" "	278	
34.微光の幽幻・ビ ザンチンのモ スク		" "	279	
35.目に見えぬ都 市イスラムの心		" "	280	

絵 画

ギリシャ壺絵・アテ ナ<美の美>	村田数之亮	日 経	10.20	
ネレヰのフレス コ・サイクル	高橋 栄一	美術史研 究	9	
サンクト・フローリ アンの大型聖書本に ついて・国直記・サ ルツブルクの一作品	越 宏一	美術史	83	

ウィーン幻想絵画展		美術手帳	356	
幻想の誕生	栗津 則雄			
ウィーン派にみる 幻想の風化	栗田 亮			
特集・タントラの発 見		芸術新潮	267	
タントラ・アート と現代美術	大島 辰雄			
タントラ・アートの 世界	真鍋 俊照			
ソビエト絵画の表現 の自由	安井 収蔵	" "	268	
ソビエト現代美術の 画家達	安井 収蔵	絵	95	
密陀絵	川原 正二	美術グラ フ	21-6	
日本版画の古典と流 れ	小野 忠重	読売夕刊	12.11	
石版画印刷術	田村 文雄	絵	102	
特集・現代絵画に とって写真とは何か 日本画の再確認の ために	桑原 住雄	三 彩	289	
歴史画のこと・近代 日本画にみる	佐々木直比 古	日本美術	84	
文人画の今日の問題 田能村竹田・小川 幸銭・楠瓊州をめ ぐって<討論会> 1・2	鈴木 進 水谷 慶 佐々木剛三 田村 祥蔵	三 彩	285, 286	
美人画はどうなるか (下)	久富 貢	東京夕刊	6.15	
特集・菱田春草のリ アリズム「落葉」の 問題	吉村 貞司	三 彩	292	
「方寸」とパンの会	野田宇太郎	" "	288	
特集・萬鉄五郎・大 正洋画壇の二人(萬 鉄五郎と岸田劉生の 場合)	東 珠樹	" "	284	
フジタよ あなた は…太平洋戦争記録 画からの考察	菊畑茂久馬	美術手帖	353	
日本の人脈・洋画 66~80	田中 稔	読 売	46.12.29 47. 1.18	
ジョン・ラファージ と日本	村形 明子	季刊芸術	21	
フレスコ画と水墨画 ―東西美術の接点	川原 正二	美術グラ フ	21-2	
芸術における影響と 伝統・ゴッホと黒田 清輝の軌跡	高階 秀爾	読 売	11.4	
特集・「替女日記」と 素朴画		芸術新潮	272	
1.素朴画・欧米と 日本	西尾 幹二			
2.素朴派・凍った 眼	堀米 庸三			
3.衝撃を受けた池 田君の絵	梅原 猛			

定期刊行物所載文献

4. 食人鬼	宗 左近			
5. 横井弘三の焼絵	飯沢 匡			
日本素朴派誕生	安井 収蔵	芸術生活	272	
画家と言葉と1~6	土方 定一	素描	6, 7, 9, 11, 16, 19	
あなたが石膏デッサンに求めるもの	寺田 春弐	アトリエ	539	
あなたにもできる構図の活かし方	西村 愿定	"	540	
人物・動物・クロッキー描法			541	
油絵制作のためのスケッチ描法		"	542	
静物画のいろいろな描き方		"	543	
淡彩スケッチの描き方	木内 廣	"	544	
ガラス絵の描き方	佐田 勝	"	545	
墨彩画の描き方	峰岸魏山人	"	546	
風景画のテクニック		"	547	
人物画のテクニック	鈴木 新夫	"	548	
動物の描き方	動物の科学研究会編	"	549	
基礎デザインの学び方	田中 正明	別冊アトリエ	110	
漫画の描き方		"	111	
透視図の描き方	渡辺 貴夫	"	112	
レンダリングの表現		"	113	
彫 刻				
現代彫刻の動向	伊藤 政文	国際文化	217	
特集・場所と彫刻		S D	98	
彫刻は都市に住めるか	中原 佑介			
都市空間と彫刻の蘇生	岡田 隆彦			
大地の肉体感覚を 抱えさせる三田村 峻右の環境造形	有馬 宏明			
資料①須磨離宮公 園現代彫刻展受賞 作品一覧 ②あの 作品はいまどこに あるか				
根づいた野外彫刻	小川 正隆	朝 日	9.19	
日本の近代彫刻・ロ ダンをめぐる	佐々木静一	現代の眼	215	
ローマの巨匠たち	平野 千里	季刊現代彫刻	1	
信濃の彫刻家たち	永井 信一	点 描	9	
アルカイック時代 におけるアッテック 彫刻についての一考察	馬場 京子	京都市美術館年報	昭和45年度(47年3月)	
<美の美> ルドビジの王座	富永 惣一	日 経	12.2	

ゲムマ・アウグス テア<古代カメ オ>	三輪 福松	日 経	8.25	
ローマの母狼	"	"	2.4	
アステカの若衆像	E・コロナ・ サンチェス	"	8.4	
世界の映像				
④⑩ ドン・キホーテと セルバンテス	横堀 洋一	点 描	2	
④⑪ ユゴーとパスツ ール	"	"	3	
④⑫ フローベルとモー パッサン	"	"	4	
④⑬ バルザックとシャ トーブリアン	"	"	7	
④⑭ コントとモンテー ニュ	"	"	8	
④⑮ ルクレルク将軍と ジョックル元帥	"	"	9	
④⑯ シペリウスとヌル ミ	"	"	10	
④⑰ アレキサンダー二 世とアンネルヘイ ム元帥	"	"	11	
④⑱ ブーシュキンとマ ヤコフスキー	"	"	12	

工芸・デザイン

人間疎外とデザイン 1 デザインにおけ る人間性回復のた めの試論	大木 武男	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	3—1	
比較デザイン論・生 理学的アプローチ	白石 和也	"	"	
デザインにおける創 造性の研究(2)	佐口 七朗 清水 国夫 広末 勝巳	"	"	
デザインに精神を一 道具と人の調和を取 戻そう	(米)	朝 日	11. 14	
近代日本の工芸概観	内山 武夫	視 る	57	
特集・現代の陶芸一 現代陶芸の軌跡	吉田 耕三	三 彩	284	
現代工芸の課題	"	読売夕刊	4. 11	
工芸における現代に ついて	乾 由明	現代の眼	215	
技巧に走る現代工芸 今日のIDの問題 アンリ・ヴィエノ氏 に聞く	小川 正隆	朝 日	4. 25	
特集・イタリア現代 デザインの志向する もの	中原佑介他	S D	93	
特集・道具と環境	GKインダ ストリアル 研究所	"	97	
特集・道具考	吉田光邦他	芸術生活	272	
抽出及びその発展形 体として筆筒につい ての史的考察	後藤偉沙雄	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	3—1	

異形への変身・戦国 甲冑における奇想造 形	柳生 悦子	芸術生活	280
人形・秘められた歴 史①～⑥	斎藤 悦子	"	275～280
特集・看板考	石子順造他	"	277
「トンチンカン人形」 長崎観光みやげ・久 保田馨の生涯	轟 竜造	芸術生活	269
企業の存在理由—オ リベッティの〈心と 形〉に何を学ぶべき か	杉村 勝男	S D	88
デザイナーと企業— プロデュースのため のデザイナーからデ ザイナーのためのプ ロデュースへ	有馬 宏明	" "	" "
広告には共感がある 「演出」感じさせない 表現	梶 祐輔	朝日夕刊	8.18
応用面広がるモアレ 等高線法		朝 日	11.16
デザインストラク チュアの発見—上 木をサーヴェイする	アトリエが らん	S D	91
MULTYという名 の椅子		読売夕刊	12.14
漢字をデフォルメし た感字	伊藤 勝一	朝 日	9.5
本をデザインする	栗屋 充	東京夕刊	3.4
一点製作の本造り	柄折久美子	"	6.1
製本芸術	"	朝 日	9.27
輝けるガラクタ包装 紙—日本デザインの 神髄ここに	西尾 忠久	日 経	7.22
古九谷の原点求めて	三上 次男	読 売	1.9
日本磁器創業のナゾ —有田・天狗谷古窯 跡の発掘	源 弘道	朝日夕刊	6.5
ビクトリア・アルバ ート博物館所蔵漆芸 品—ファン・ディー メンの箱	西田 宏子	ミュージ アム	258
ヨーロッパ陶芸と東 洋陶磁との出会い	由水 常雄	芸術新潮	274
加納夏雄細工所の刀 装生産	長谷川 栄	ミュージ アム	255
山中漆器 漆地挽物 師・筑城良太郎	木村 弘道	金沢美術 工芸大学 報	16
九州のクラフト展望 1	辻 公也	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	3—1
益子焼—花開く百二 十年の歴史		東 京	10.6
手仕事<沖繩の土と 心・4>	水尾比呂志	東京夕刊	5.13
つづれ織の新しい息 吹		朝月夕刊	7.8
太陽のデザイン	泉 真也	朝 日	1.4

「琉球紅型」と私	鎌倉芳太郎	読売夕刊	5.20
民芸を語る	湯浅八郎他	京都新聞	5.18
陶板	青井 東平	素 描	17
中国青磁・ドラゴ ン・ボウル<美の 美>	スザンヌ・ G・パレン スタイン	日 経	9.8
新中国出土文物			
1.飛燕を踏む奔馬 <美の美>	故宮博物院 執筆組	"	10.27
2.金線象嵌の博山炉 <美の美>	"	"	11.4
3.唐三彩・楽人を載 せた駱駝<美の 美>	"	"	11.17
4.刻花金碗<美の 美>	"	"	11.24
中国青磁・八角長 頸瓶<美の美>	藤岡 了一	"	11.10
元時代・青花釉裏紅 大壺<美の美>	林屋 晴三	"	8.11
ドン・ウェラー		アイデア	110
真実の広告メッセー ジとクルト・ハイマ ン		"	"
フランク・ピアンカ ラナのアド・ワーク		"	"
イラストレーション を越えて<プレイボ ーイ誌の美術>	アーサー・ ボール	"	"
ジョン・ガリナーと 広告デザインの真の 刷新		"	"
ブラザ・ディックで 開かれたマサチュー セッツ工科大学のグ ラフィック・デザイ ン	大智 浩	"	"
ロナルド・G・カラ ハがとらえた美意識 を無視したアーチス トたち	福田 繁雄	"	"
タイポグラフィアー、 三浦滉平	柳町 恒彦	"	"
亀倉雄策の20年の軌 跡		"	"
情報の芸術家—亀 倉展	原 弘	"	"
大きなデザイナー	宮山 峻	"	"
来日したハーブ・ル バーリンと5つの質 問と答		"	"
D・チェスナットの イラストレーション		"	111
ジャック・フォスタ ー		"	"
大日本印刷の<im- age in print>	原 弘	"	"
水井康雄の人と作品	大智 浩	"	"
エミール・ガルガー ノ		"	"

定期刊行物所載文献

スカーリ・マッケー ブ・スロープス社	アイデア	111	チェコ美術デザイナー —F・ペロフラー ヴェック教授の創作	ボフミー ル・カフカ	アイデア	113
アイデアのエレメン ト	福田 繁雄		特集・ヘンリオン・ アソシエーツのコー ポレート・アイデン ティティ			114
XV ヒューマン・ レターズ		" "	ヘンリオン・D・ Aの作品について	中井 幸一		
XVI メタモルフォ ーゼ		" 112	国際企業用のデザ イン・システム— ロンドン・ヘンリ オン・D・A			
XVII からくりの ためのイラスト レーション		" 114	ドイツの奇才—オス ターワルダー夫妻の イラストレーション		" "	
XVIII 影		" 115	夫妻のデザインに ついて	クラウス・ カルレ		
特集・ジム・ミホ/ トモコ・ミホ	帆足 実生	" 111	ドイツの地雷也— 一触即発のグロテ スク	草森 紳一		
ミホ夫妻について	片桐 利弘	" "	DPZのグラフィッ ク活動	福田 繁雄	" "	
ミホ/ダイナミッ ク・インテンシテ イ	トム・マン	" "	“マイ・ベスト・ワ ーク” ニューヨーク で81人自選秀作展		" "	
アーデッシャー・モ ハシス	日向あき子	" "	ロバート・P・ガー ミンの環境づくり	今竹 翠	" "	
今竹七郎の<虚像と 実像>誌上展	植村鷹千代	" "	ハンス・ハデレック のアサンプラージュ とコラージュ		" "	
古き良き時代を思わ せるイラストレータ ー—バリー・ゼイド		" 112	日本のデザイナーの 質問に答える—来日 した異才—ミルトン・ グレイザー		" "	
ブエノスアイレスの 生まれ変わる視覚環 境	大智 浩	" "	N・Y・近代美術館の 横尾忠則展	ミルトン・ グレイザー	" "	
ジャンカルロ・マル キとペルー・ジャ製菓 工業	(石原)	" "	宮本夫妻の「H&K」 展	有馬 宏明	" "	
バザルリの作品	植村鷹千代	" "	ポップとキッチュー ー—ポップ・カルチャー 論	日向あき子	" "	
スイスの民衆芸術	日向あき子	" "	特集・カナダのスイ ス派 G<ゴットシ ョーク>+A<アッ シュ>デザイン・ス タジオ	今竹 翠	" 115	
時代の証人の「発見」 をテーマに'71年度 ADC	瀬木 慎一 向 秀男	" "	情念のイラストレー ター—フランソワ・ コロス	F・コロス	" "	
むずかしい公害など の社会問題：第7回 日本パッケージデザ イン協会誌上展	秋月 繁	" "	第5回ブルノ・グラ フィック・デザイ ン・ビエンナーレ			
カラフルな粟辻博の テキスタイルデザイ ン		" "	文芸作品とイラスト レーションの関係	大智 浩	" "	
新しい環境を求めて	福田 繁雄	" "	レーモン・バジェス エール・フランスの ために16枚の絵画詩 の制作	ジョルジ ユ・マルテ イナ	" "	
カゴメ環境デザイン	田島 征哉	" "	S・デ・ジョン、リ トグラフ印刷会社の “友情の本”		" "	
桑山弥三郎の<書体 デザイン>	原 弘	" "				
不況下のニューヨー クで人気を集めてい るリチャード・ヘス		" 113				
ヘスとの対話	帆足 実生					
好奇心のきわ立つ て強い男・ヘス	稲垣行一郎					
グラフィック・デザ イン・ドイッチュラ ント '69/70 コンテ ストについて		" "				
フランク・ボゾのイ ラストレーション		" "				
フランティセック・ ペロフラーヴェック 教授とその作品	大智 浩	" "				

作家の進歩—タイポグラフィック・デザインから絵画へ	マルセル・ジャクノ	アイデア	115
ミュンヘン・オリンピックのアート・ボスター	日向あき子	"	"
新制作SDグループ展“無駄”	池部 陽	"	"
グラフィック・イメージ誌上展	瀬木 慎一	"	"
3人展—矢吹申彦、山下秀男、新井苑子	永井 一正	"	"
伊藤勝一の「漢字の感字」	梶 祐輔	"	"
U・G・サトーの<異説生物図鑑>“私の進化論”展	原 弘	"	"
青木清のネットィング・イラストレーション	岡 秀行	"	"
松本清勝の「私のみた日本の造型」	"	"	"
平松尚樹のピクチャーブック“メンズ・ワールド”	"	"	"
上条喬久のTシャツ・デザイン	福田 繁雄	"	"

建 築

いま建築に何が問われているか		S D	88
これは<意味の奪回>だろうか	多木 浩一		
身体による実践へ	藤井正一郎		
死への分裂を超えて	香山 寿夫		
曖昧さの領域の中に建築の拠点性を	渡辺 武信		
続・いま建築に何が問われているか		"	90
建築に？	藤井 博巳		
どの領域か	榎 文彦		
でもやっぱり建築を	伊藤 滋		
空間嗜食者	林 泰義		
象説：いま建築に何が問われているか		"	91
竹山実の脳象図			
続々・いま建築に何が問われているか		"	99
上からみるな！	山田 脩二		
建築家のいない国	菊竹清訓他		
空間変容術	渡辺 豊和	"	90
特集・情報空間・模型的思考	磯崎 新	建築文化	310
反建築的ノートそのⅠ、Ⅱ、Ⅲ	"	"	306, 308, 314

<かたち>への道程	瀬尾 文彰	建築文化	
1. 建築計画再考			311
2. OBJECT論			312
建築の工業化をめぐる	J・ブルーベ 黒川 紀章 進来 廉	新 建 築	47—2
人工環境論 その1, その2	乾 正雄	"	47—9 47—10
特集・世界の都市再開発		"	304
環境デザインの新しい科学をめざして1,2	フィリップ・シー ル 稲葉武司	建築文化	307, 308
環境時代の建築		朝日夕刊	11. 17
きつねと曼珠沙華	中島 竜彦	新 建 築	47—6
「空間」から「場所」へ	藤井正一郎	朝日夕刊	10. 2
アメリカの新空間「モール」	三沢 浩	"	12. 7
都市と建築に独自性を	内井 昭蔵	新 建 築	47—11
公性と私性あるいは構想力と想像力の狭間で	小能林宏城	"	47—1
コミュニティ・バンクへの道		"	47—4
理念	川添 登		
機能と空間	菊竹 清訓		
雲システム	"	"	47—12
地域社会の建築家	武 基雄	"	47—10
閉鎖都市構造の限界	阿部 允	毎日夕刊	6. 12
続・レクリエーション空間資源論	三村 浩史	新 建 築	47—5
第二期超高層ビル・その意味		朝日夕刊	5. 9
ジョゴラの方法	香山 寿夫	S D	89
ジョゴラ論	ロバート・スターン	"	"
都市と建築の映像	ロマルド・ジョゴラ	"	"
ルイス・カーンについて	"	"	"
建築の肉体化への道程	岡田 新一	"	88
恐怖の都市空間・大阪のビル火災惨事	西山 卯三	読 売	5. 17
安全と環境	小木曾定彰	新 建 築	47—7
都市の危険空間の点検(地下街中間報告)	住田 昌二	"	47—9
カプセルへの挑戦	黒川紀章建築都市設計事務所	"	47—6
メスの建築思想の復権へ	長谷川 堯	"	"
内面指向の建築	阪田 誠造	"	47—7
色彩論争		朝 日	7. 18
脱建築への試み・MUP計画の展開		建築文化	305

定期刊行物所載文献

ヴィジブル・インテリア	岡田 隆彦	S	D	90	改修すむ赤坂離宮	村松貞次郎	東京夕刊	4.4	
インテリア空間の居心地悪さ	有馬 宏明	"	"	"	自然を生きる日本の民家	J・ブザー・マサビュオ	芸術生活	280	
天窓による採光と空間		読	売	7.13	近代建築の目撃者Ⅰ—1、2堀口捨己	聞き手 佐々木 宏	新 建 築	47—2,3	
特集・場所と彫刻「彫刻」文献参照	中原 佑介 岡田 隆彦 有馬 宏明	S	D	98	Ⅲ—1、藤島 亥治郎	"	"	47—12	
子供の遊びと遊び場を考える		"			日本建築家協会第2回大会報告	(沖種郎)	建築文化	305	
露の中の竜・児童公園論	草森 紳一			88	海外建築情報	岡田新一編	S	D	92~99
遊戯的空間論	刀根 康尚	"		90	タンザニア共和国TANU堂本部ビル等に関する国際コンペ入選案速報		建築文化	306	
大人の魂胆・子供の狡智	草森 紳一	"		92	海上都市1976計画		"	305	
ある基地	白岩登三郎	"		94	ハワイ海上都市計画の背景と課題	寺崎 恒正 菊竹 清訓 原田 二井			
腐った砂桶	草森 紳一	"		98	ミュンヘン・オリンピック・レポート—開発の中の環境計画	M・シュバイデル、沢田誠二訳編	"	307	
建築と新しい宗教	近藤 正一	新 建 築		47—3	特集・設計組織の国際化への道程		S	D	98
建築業とやくざ・その歴史的解明	菊岡 俱也	建築文化		314	アメリカでなぜアメリカか	高瀬 隼彦 芦原 信孝 守屋 秀夫			
人間の家		S	D	88~98	フィレンツェ大学国際競技設計・その意味と一等入選作品	U・グレゴッティ他 松井宏方訳	"	92	
1建設の時。2だれのために建設したらよいのか。3いかに建設したらよいのか。4棟梁5どのくらいの存続期間のために建設したらよいのか。6建設者たち。7指令者。	フランソワ・ビエール フウ、ル・コルビュ エ 池田・西沢訳				都市回生への戦略—ロンドン再開発とブルームズベリー地区	水谷 顕介	"	"	
住宅論・個々集合のための空間論	篠原 一男	新 建 築		47—2	シュタイナーの建築・ゲーテアスム		読	売	3.29
人間にとって住宅とは何か	池辺 陽	朝日夕刊		4.7	ブラジルアサマ	榎 文彦	朝日夕刊		4.27
住宅デザインの課題	西山 卯三	新 建 築		47—8	ライトの建築と自然観	谷川 正己	毎日夕刊		5.12
臨海公園住宅の提案	高層住宅研究会(仮称)	"		47—2	残る洋館・埋れた建築家・英人ハンスルの業績発掘	坂本勝比古	日 経		6.22
プレハブ住宅の課題(座談会)	清家 英男 杉山 清訓 菊竹 三浦 三浦 忠夫 飯塚五郎蔵 司会・馬場 璋造	"		47—12	ロンドン再開発の高層アパート・17世紀の伝統と現代建築の調和		読	売	11.1
反技術の拠点としての住宅を	村松貞次郎	"		47—8	Paolo Rianiの「構想方法論」とその作品		建築文化		308
反住器	毛綱モン太	建築文化		313	特集・ガエ・アウレンティの仕事	有馬宏明訳	S	D	95
パリのノートル・ダムの偽りの部分<真贋106>	飯田喜四郎	芸術新潮		274	不思議な「不在の建築」の魔力・米国日産本社ビル		読売夕刊		7.5
表現主義芸術運動におけるユートピア建築思想の生成	土肥 美夫	美 学		88	単純さが生む美しさ・キールのシンボル塔(日本人のデザイン)		朝日夕刊		9.1
「雲文」とロンドン建築装飾	佐々木剛三	美術史研究		9	建築の色・これから	海上 雅臣	新 建 築		47—12
会津さざえ堂の源流・バロックと建築	小林 文次	朝日夕刊		11.20	国立京都国際会館の増築<点描>		朝日夕刊		5.4
皇居造営機構と技術者構成・明治以後の皇居造営について	小野木重勝	日本建築学会論文報告集		195					

大谷教授の「川崎市 河原町計画」	朝日夕刊	8.4	中銀カプセル・タワ ービル	上田憲二朗	建築文化	308
栃木県立美術館	〃	12.12	資生堂本社ビル	長嶺 寿彦	〃	〃
日蓮正宗大石寺「正 本堂」完成	〃	10.20	秋田相互銀行保戸野 支店	宮脇 檀	〃	〃
芦屋市民会館ルナホ ール	読 売	1.20	滋賀県文化公園	中島 竜彦	〃	〃
南平台のルーマニア 大使館	〃	3.15	空の矩形・海の階段 (住宅建築)	篠原 一男	〃	309
江東信用組合江戸川 支店	〃	5.3	東精エンジニアリン グ・サービス本社	黒川 哲郎	〃	〃
調布市の新市庁舎	〃	5.24	清澄寺祖師堂設計に 当たり感じたこと	内井 昭蔵	〃	〃
埼玉県立博物館	〃	6.15	新阪和ビルとNビルの 二つを見て	近藤 正一	〃	〃
大石寺正本堂	伊藤ていじ	10.15	遠野市民センター・ モウリプラザ・調布 市庁舎	浦林 亮次	〃	311
群馬県民会館他	岡田 隆彦	S D 88	旭川になぜ広場がで きたか	上田 篤	〃	〃
新IBMビル	三上 祐三	〃 91	大阪府臨海スポーツ センター・国際聖マ リア学院・加藤学園 の初等部計画案・代 官山集合住居計画第 二期工事	榎 文彦	〃	312
もうひとつの木の空 間	須山 義幸	〃 94	京都市立美術館収蔵 庫	川崎 清	〃	〃
生活空間のモノグラ フ研究	上田 篤	S D	大同生命本社ビル		〃	313
1.高知——市		94	人間——空間系の研 究・建築計画におけ る行動科学の新展開	早稲田大学 池原研究室 他	〃	〃
2.旭川——街路		95	野中保育園	仙田 満	〃	〃
3.余野——運動場		96	大地保育と園舎	塩川 寿平	〃	〃
4.小田原——城山		97	海浜ニュータウン検 見川地区センター計 画案	大高 正人	〃	314
5.東宇治——バイ パス		98	特集・公営集合住宅 の新しい動き		〃	〃
6.小豆島——栈敷		99	長寿園・基町高層 住宅団地、川崎市 河原町高層住宅			
聖パウロ修道院・学 園	安東 勝男	建築文化 303	ハウジングの戦後 史的視点から	前田 尚美		
多摩川堤の家	内井 昭蔵	〃 〃	二つの高層住宅を 見て	佐藤 伸利		
最高裁判所実施計画 案	岡田 新一	〃 〃	建築と環境<ルポ>		新 建 築	47-1
「埼玉県立博物館」に て	添田 浩	〃 〃	三愛ドリーム・セ ンター	Dam Dan		
摂津市総合福祉会館	上田 篤 中崎 竜彦	〃 〃	紀伊国屋ビル	村田 靖夫		
上越市立総合博物館 設計メモ	菅原 道雄	〃 305	ソニー・ビル	仁科 和久 清瀬 壮一		
銚子市青少年文化会 館	大坂 忠司	〃 〃	埼玉会館	神谷 武夫		
直方体の森	篠原 一男	〃 〃	山梨文化会館	大行 征 高田 弘		
スノー・シェルター 開発レポート	竹ノ谷光美	〃 306	霞が関ビル	松山 厳		
札幌オリンピック村 施設群	太田 実	〃 〃	代官山集合住居	市川・平井 ・斎藤		
アイ・ビー・エム本 社ビル	三栖 邦博	〃 〃	阪急三番街	森本 正一		
自然との対話・青少 年野外活動センター 設計の記録と総括		〃 307	金沢区総合庁舎	塩田・三浦 柴田		
青少年野外活動セ ンターの計画	太田 隆信					
大同生命ビル・大阪 国際ビルにおけるア プローチ	竹中工務店	〃 〃				
大岡山の家	小川 耕一	〃 308				
神宮前の家	光藤 俊夫	〃 〃				

定期刊行物所載文献

〈座談会〉	芦原 義信	青木繁とわが国浪漫主義の晩果	土方 定一	絵	101
	榎 文彦	青木繁の見果てぬ夢	高橋 巖	芸術新潮	270
群馬県民会館	吉阪 隆正	青木繁の神話世界〈特集・神話と芸術〉	谷川 健一	芸術生活	271
	神代雄一郎	思想者・青木繁の遺言〈特集・青木繁〉	村上 一郎	三 彩	286
埼玉県立博物館	司会・馬場璋造	けしけし祭りに寄せてー青木繁伝説	河北 倫明	東京夕刊	3.18
	岡田 新一	青木繁「わだつみのいるこの宮」〈美の美〉	〃	日 経	6.16
埼玉県立博物館	林 昌二	青木大乗「赤絵鉢と果実」	植村鷹千代	点 描	3
	村松貞次郎	陶芸6年一元映画プロデューサー・青木正吉さん	朝 日	3.24	
埼玉県立博物館	藤井正一郎	知られざるヨーロッパの青山熊治上・下	木村 重圭	日本美術	91.92
	北山孝二郎	赤堀信平〈アトリエ管見〉	〃	87	
摂津市総合福祉会館	中島 竜彦	昭和に描く平安朝の絵	縣 治郎	日 経	3.20
	磯崎 新	今、私の掌の中にあるこの一本のチビた小刀は…〈び・い・ぶ・る 文房具〉	秋岡 芳文	芸術新潮	271
大分県医師会新館	村松貞次郎	作家とモデル〈交遊抄〉	秋野 卓美	日 経	2.15
	北村 隆夫	仏を讀える水墨画家一橋月明	(V)	ア ー ト	20の1
アイ・ピー・エム本社ビルをみて	林 昌二	朝井閑右衛門〈画室訪問〉	藤本 韶三	三 彩	284
	太田 隆信	地下小劇場〈び・い・ぶ・る アンダー・グラウンド〉	朝倉 撰	芸術新潮	268
特集・青少年野外活動センター	小川 淳	朝倉撰の意欲みなぎるさし絵展の「絵巻物」〈点描〉	〃	朝日夕刊	9.9
	神代雄一郎	寺のある階段〈び・い・ぶ・る 階段〉	麻生 三郎	芸術新潮	272
若人の新しいコミュニケーション空間・三つのユースホステル	光吉 健次	「赤い空」から「燃える人」へ〈特集・私の戦後美術〉	〃	現代の眼	207
	永島 藤昭	麻田脩二・原人間のエネルギーの発露	河北 倫明	芸術生活	272
福岡相互銀行本店をみて	磯崎 新	染色との出会い	麻田 脩二	〃	〃
	篠原一男	麻田鷹司〈画室訪問〉	藤本 韶三	三 彩	295
設計要旨	原 広司	麻田鷹司氏	〃	日 経	10.20
	菅原 道雄	麻田辨次氏〈作家訪問〉	山田 龍平	ア ー ト	20の1
新建築住宅設計競技1972年入選発表	鶴田 日夫	麻田辨次「静物」	東 珠樹	点 描	12
	高松 正吉	浮世絵と現代版画〈美心暗疑〉	浅野 竹二	京 都	8.18
審査講評	城生 邦彦	景色や人情の美しさに心をうたれる〈び・い・ぶ・る わたしの選んだ日本三景〉	芦原 義信	芸術新潮	269
	近藤 正一				
審査員と入選者による座談会	松枝 広太郎				
	伊達 美徳				
栗津邸	岡田 新一				
	香山 寿夫				
岡崎市立図書館・岡崎市美術館	太田 隆信				
	伊藤ていじ				
吉祥寺駅北口再開発と公社ビル街としての建築	榎 文彦				
	藤井正一郎				
日本歯科大学新潟歯学部	村松貞次郎				
	猪狩 達夫				
大阪府臨海スポーツセンター	〃				
	〃				
国際聖マリア学院・大阪府臨海スポーツセンターを見て	〃				
	〃				
栗津邸	〃				
	〃				
川崎市河原町高層住宅2号棟	〃				
	〃				
大同生命ビル	〃				
	〃				

作 家 (日本)

(ア)

人気のなかったレジェの再認識〈フットライト〉	嚙 嚙	芸術新潮	268
レインボー マニフェストⅡ〈特集・装飾美術の原点〉	〃	〃	269
嚙嚙〈現代版画の12人・6〉	中原 佑介	中央公論	6

主体性のための部分 ＜私にとって部分と はアンケート＞	東 孝光	美術手帖	360
八十日間日本一周旅 日記	飛鳥 童	芸術生活	277
ヒマラヤ高地写生行 ＜さむほおる＞	足立真一郎	絵	95
跡見泰を回顧して ＜忘れられた鉾脈・ 11＞	跡見 輝弥	美術グラ フ	21-6
「和紙三昧」を出版し た安部栄四郎さん ＜インタビュー＞		朝 日	4.24
網谷義郎＜ひと＞	(済)	毎日夕刊	7.21
焼き物狂同士＜交遊 抄＞	荒川 豊蔵	日 経	1.10
本は毎日ふえる＜近 況＞	有島 生馬	朝 日	2.7
虚実皮膜の闇の幻想 ＜ほんとの出会い＞	栗津 潔	毎 日	9.18
「自分の本」執筆＜近 況＞	〃	朝 日	11.27
龍子先生七周忌にあ たって	安西 啓明	日本美術	85
日本画の先生＜随 筆＞	〃	〃	89
対談・安藤洋画自由 研究所回顧	岡田 徹 安藤 邦衛	素 描	17(1971. 4)
(イ)			
エロスと宇宙の間 ＜特集・装飾美術の 原点＞	飯田 善国	芸術新潮	269
アイダホのキーンホ ルツ	〃	〃	276
クロマトポイエマ制 作記	〃	芸術生活	274
「ドクメンタ」になに をみた	〃	美術手帖	361
悔恨の形式としての 芸術	〃	みづゑ	804
エドワード・キーン ホルツ＜オブセッシ ヴ・イメージ・10＞	〃	〃	814
宇宙に問いかける彫 刻家一飯田善国氏	(米)	朝 日	5.30
彫刻と方向喪失（飯 田善国「見えない彫 刻」＜標的＞		朝日夕刊	8.26
オホーツクの画家・ 居串佳一の芸術	小林 歌子	三 彩	285
衝撃を受けた池田君 の絵（池田一憲）	梅原 猛	芸術新潮	272
浅間山に行方する	池田 竜雄	〃	274
ねじれの美学＜特集 ・もう一つの浮世絵 の美＞	池田満寿夫	〃	267
イメージの覚え書き あるいは創造力の媒 介として＜写真とア ート・私の場合＞	〃	美術手帖	356

池田満寿夫＜現代版 画の12人・3＞	中原 佑介	中央公論	3
アメリカの田舎で考 えたこと	池田満寿夫	読売夕刊	11.1
池田宗弘君の仕事 ＜新人作家紹介＞	峯 孝	美術グラ フ	21-4
忘れられない旅の味	池田 遙郎	ア ー ト	20の1
池田遙郎氏＜作家訪 問＞	山田 龍平	〃	20の3
旅で食べた忘れられ ない味＜スケッチと 随筆＞	池田 遙郎	日本美術	83
下鴨画家村時代のこ となど＜追悼・徳岡 神泉画伯＞	〃	〃	87
広重の世界＜水に思 う＞	〃	京都夕刊	2.7
石井柏亭初期のバト ロン・芝川照吉・渡 辺隼（六郎）6、7 8、9、10	佐々木静一	絵	95,96,97 98,99
学生と習作にうち込 んだ三週間＜び・い ・ぶ・る 最後の授 業＞	石井 鶴三	芸術新潮	267
石岡英子の多様な チャレンジ		読 売	8.23
エロス復権＜美心暗 疑＞	石原 薫	京 都	3.17
日本画・考＜ 〃 〃＞	石本 正	〃	4.14
欧米生活の印象	泉 茂	視 る	66
カンピュースの瓶	井垣 春雄	萌 春	209
磯崎新が建てたギャ ラリーのある銀行 ＜フットライト＞	貝島 明夫	芸術新潮	267
歌翁碑のこと	磯崎 新	〃	269
磯崎新はどこへ行 く？		S D	93
反“人間主義”の 視距離	多木 浩二		
政治的言語とマニ エラ	磯崎 新		
建築の“自律性”を 探る磯崎新氏	(浅)	朝 日	6.27
アイデンティティ紋 ＜び・い・ぶ・る 紋章＞	磯辺 行久	芸術新潮	275
人間の可能性は“感 性”しかない＜美心 暗疑＞	井田 照一	京 都	10.27
社会の精神構造を支 配した家紋＜び・い ・ぶ・る 紋章＞	井上 武吉	芸術新潮	274
出水徹の最近作をめ ぐって＜新人作家紹 介＞	藤山 恭一	美術グラ	21-8
伊丹米夫＜制作日 誌＞		日本美術	89
伊東深水氏追悼	藤本 韶三	三 彩	289
追悼・伊東深水画伯		日本美術	86

定期刊行物所載文献

此君汀主人を悼む	中村 溪男			道くび・い・ぶ・る 最後の授業>	上村 松篁	芸術新潮	267
消えゆく美人風俗 画	鈴木 進			上村松篁「椿」	竹田道太郎	点 描	4
追憶—深水さんと 私	内山 雨海			レジェへの誤解	上原 二郎	美術グラ フ	21—5
特集・深水回顧		美術グラ フ	21—10	バルト海の島で クラフトを大衆の中 へ<美心暗疑>	浮田 克躬	絵	99
恩師を偲ぶ	浜田 台児			内田祥三先生を悼む	内田 邦夫	京 都	1.21
素顔の深水先生	渡辺 幸雄			力強さの形くび・い ・ぶ・る 紋章>	藤島玄治郎	朝 日	12.17
深水画伯をいたむ	鈴木 進	東京夕刊	5.9	水滴にされている徳 利くび・い・ぶ・る 文房具>	内田 武夫	芸術新潮	274
美人画—時代の死 (伊東深水を悼む)	久富 貢	読売夕刊	5.10	宇田荻郎作「水神貴 船奥宮」<新収作品 より>	内山 雨海	〃	270
伊東深水の死<文化 往来>		日 経	5.12	制作雑感	内山 武夫	視 る	63
アングリー・バッジ 生みの親伊東保治 <ひと>		毎日夕刊	3.3	宇治山哲平の芸術— 30年の軌跡をたどる 個展	内山 懋	日本美術	83
仙人掌随想	伊藤 應久	絵	98	陶器と花<美心暗 疑>	加藤 貞雄	毎日夕刊	9.20
前衛・考<美心暗 疑>	伊藤久三郎	京 都	7.21	焼岳に魅せられて <さむほおる>	宇野 三吾	京 都	9.8
惑字—伊藤勝一		朝 日	9.5	忘れ得ぬ二人の画家 —梅原龍三郎、藤島 武二	梅津 五郎	絵	99
日常に点在する原点 <特集・装飾美術の 原点>	伊藤 隆康	芸術新潮	269	市谷加賀町訪問(上) 梅原龍三郎さんのこ と	岡部千葉男	日本美術	83
出会い	伊藤 廉	素 描	5(1969. 2)	梅原芸術を着る	滝井 孝作	東京夕刊	1.12
薩摩治郎八氏のこと <随筆>	伊原宇三郎	日本美術	86	ほんもののアンダー ・グラウンド劇<く び・い・ぶ・る アン ダー・グラウンド>		毎 日	4.21
伊原宇三郎の「椅子 に凭れる」	三宅正太郎	S D	94	漆原美代子	芸術新潮		268
狗巻賢二<現代版画 の12人・12>	中原 佑介	中央公論	12	(工)			
深夜族<くび・い・ぶ ・る アンダー・グ ラウンド>	今井 俊満	芸術新潮	268	自動車に美学を	栄久庵憲司	朝日夕刊	12.1
原色・自然の源泉 <特集・日本美術の 原色>	〃	〃	271	「なにがカメラに写 るか」—とりあえず そのことが問題<写 真とアート・私の場 合>	榎倉 康二	美術手帖	356
入江波光のことども	仙波 健	三 彩	293	特集・海老原喜之助 のロマネスク巡礼		芸術新潮	266
戦火のインドを行く	岩崎 巴人	芸術新潮	266	1. フランスのフレ スコ壁画	海老原盛樹		
灼きつけられたカオ ス<随筆>	〃	三 彩	288	2. 死をも辞さぬ旅	前田 常作		
戦下インドを横断す る	〃	点 描	6	3. ロマネスク壁画	辻 佐保子		
戦局のインド横断	〃	日本美術	83	(オ)			
インドの日本寺に大 壁画を描く<ぶろふ いる>	〃	東 京	7.7	ミストラルという名 の季節風	大久保 泰	絵	105
遠野の造型・岩間正 男参画遠野市民セン ター		芸術年活	269	大久保泰<風信>		東京夕刊	2.2
岩間正男<ディアロ ーグ・30>	聞き手 針生 一郎	みづゑ	811	中川紀元をいたむ	大久保 泰	〃	2.12
(ウ)				「バラドンとユトリ ロ個展」を見る	〃	毎 日	5.15
母よ…上村松園<告 白的芸術家論>	秦 恒平	芸術生活	278	実作登場の波紋	〃	東京夕刊	10.19
上村松園<続女人の 書・2>	前田 詠子	日本美術 工芸	411				

美術の夢を追う銀行マン<あのころ>	大久 保泰 朝 日	12.3	徳岡神泉兄の死を悼む<特集・鳥海青児、徳岡神泉の死>	小野 竹喬 芸術新潮	272
大沢昌助<素描Ⅱ>	(淡) 三 彩	292	華岳画を見る一村上華岳の芸術<特集・村上華岳>	" 三 彩	288
社会へ眼をくちよつと言>	大谷 幸一 美術グラ	21-8	不滅の光を放つ<追悼・徳岡神泉画伯>		日本美術 87
ブリュージュ	大津 鎮雄 絵	98	小野竹喬氏「春」によせて	竹田道太郎 点 描	5
大野修一いたましい人間の姿<新人作家紹介>	松尾 修二 美術グラ	21-7	線と円と技巧<交遊抄>	小野 竹喬 日 経	2.3
雑言<さむほおる>	大森 啓助 絵	96	画壇一この不思議な世界<美心暗疑>	" 京 都	4.7
“捧げ銃!”レオ・ラルギエーのセザンヌ回想より	" "	98	小野具定<人と作品・14一画室を訪ねて>	田中 皓一 萌 春	210
ゴーギャンは殺された?	" "	105	ヨーコのすべて		美術手帖 350
アトリエ余聞	大山 忠作 日本美術	90	小野洋子一価値を転換し、既成概念からの脱却を	飯村 隆彦	
帰巢本能がとりわけ強い一岡鹿之助氏<ひとこと>		日 経 1.23	「部屋と順路について」	小野 洋子	
名曲に学ぶ絵の心一岡鹿之助さん		日経夕刊 11.28	自転車学入門	小野木 学 芸術新潮	272
岡田三郎助の「山湖の秋」	三宅正太郎 S D	88	ヨロイ作り日本一甲冑師小野田光彦さん<春のひろば>		読 売 3.26
錦絵新聞に見る西南戦争や毒婦物	岡田 信造 日 経	6.12	奥村土牛<素描Ⅰ>	(淡) 三 彩	282
対談・安藤洋画自由研究所回顧	岡田 徹 素 描	17(1971.4)	緒方洪章の世界	安井 収蔵 "	295
小人の絵の個展を開いた岡村紀子さん	安藤 邦衛 毎 日	2.1	荻原碌山論1~6	高井 蒼風 萌 春	211~216
私の見たインド	岡本 太郎 芸術新潮	268	岩田専太郎・挿絵の年輪	尾崎 秀樹 芸術生活	280
清盛自殺論一平家の美学<特集・平家納経の美>	" "	275	新しいものを求めて一尾花永里子<おしゃべりさろん>		京 都 2.9
続・清盛自殺論一平家の美学<々>	" "	276	織田広喜<この人と語る>	(山崎) 日本美術	92
岡本太郎<風信>		東京夕刊 4.7	名も知らぬ土地で一滞欧日記より<作家の記録>	織田 広喜 美術ジャーナル	復刊 2
親善のジャンボ壁画一岡本画伯の大作メキシコ飾る		読売夕刊 4.18	織田広喜のふみあと	八十島 稔 "	"
技術より芸術で一岡本太郎さん<未来への証言・22都市>		京 都 6.18	東洋の国・日本<さむほおる>	越智 雄二 絵	99
岡本太郎氏が日本人論を前に自叙伝<メモらんだむ>		朝日夕刊 6.20	恩地孝四郎<近代日本美術家の文献紹介・15>	恩地三保子 現代の眼	208
ホラ穴に住んでみようよ<私のにっぽん改造論・3>	岡本 太郎 "	8.4		(力)	
CMでも“天才”発揮の画家一クロード・岡本<ひと>		毎日夕刊 6.28	“嗚呼、すれちがい大悲劇、一美術家ゆえにカメラを回して<写真とアート・私の場合>	柏原えつと 美術手帖	356
思い出すまま一干甕画伯の屏風	斎藤 煙村 日本美術	83	梶喜一<アトリエ訪問>		日本美術 83
常照皇寺<特集・「桜」を描いた日本の千年>	小倉 遊亀 芸術新潮	268	“タンザニア 焼”の窯元	梶浦日出子 日 経	12.6
小田まゆみの世界	辻 邦生 芸術生活	277	梶原緋佐子さん<実践的養生訓>		京 都 11.2
かわいく、すがすがしい生徒<び・い・ぶる 最後の授業>	小野 竹喬 芸術新潮	267	対談・サンサシオンを語る	風野 信雄 素 描	10(1969.12)

定期刊行物所載文献

早春のフランスと秋の北海道<び・い・ぶ・る 今年の旅>	片岡 球子	芸術新潮	276	賀川忠一その作品の展開について<明日に期待する・9>	植村鷹千代	美術グラフィック	21-1
堅山南風<巨匠を訪ねて>	山崎 一芳	日本美術	83	良き師、良き先輩、良き友人<あの頃>	角 浩	絵	96
堅山南風「白日夢」	竹田道太郎	点 描	2	ホワイト・ハウスからの手紙<び・い・ぶ・る 忘れえぬ手紙>	〃	芸術新潮	273
黒い象徴一香月泰男のシベリア・シリーズ	三宅正太郎	ア ー ト	20の 2	宗達「白鷺と鹿」、速水御舟「親子牛」<諸家の愛蔵画 3>	金島 桂華	ア ー ト	20の 1
画家のことは 1~12	香月 泰男	芸術新潮	266~276	音楽に深い造詣<追悼・徳岡神泉画伯>	〃	日本美術	87
香月泰男のスケッチ	桑原 住雄	三 彩	292	審査の限界<美心暗疑>	〃	京 都	4.21
カナリアへの旅一ひょっと考えた人間の一生	香月 泰男	朝日夕刊	12.8	金山平三 34~38	飛松 實	絵	95~99
白山、北海道オホーツク海沿岸、上空からの東京の夜景<び・い・ぶ・る わたしの選んだ日本三景>	勝本富士雄	芸術新潮	269	金山平三の「蘇州の石炭運び」	三宅正太郎	S D	92
風流な大<交遊抄>	桂 ゆき	日 経	2.4	狩野芳崖「悲母観音像」の原画・新出について	竹内 尚次	萌 春	207
「橄欖と壁窟」、「小沢昭一雑談大会」<対談書評>	桂 ゆき 金子 光晴	毎 日	8.9	対談・鎭木清方先生を憶う<追悼>	鈴木 進 藤本 韶三	三 彩	286
「戦国明暗二人妃」、「露伴と遊び」<〃>	〃	〃	8.20	清方先生	岩田 藤七	萌 春	208,209
師を語る(岸田劉生)<画家が語る画家>	加賀孝一郎	美術ジャーナル	復刊 2	町絵師魂を貫いた生涯一鎭木清方の死に想う	菊地芳一郎	美術グラフィック	21-4
大王崎	加賀美 勲	素 描	2(1968.8)	鎭木清方さんを悼む	小川 正隆	朝 日	3.3
新発見の温日舘の葡萄図	加瀬 藤園	芸術新潮	267	鎭木清方の死<大波小波>	(寒梅)	東京夕刊	〃
加藤栄三さんの死	藤本 韶三	〃	271	清方画伯を悼む	鈴木 進	読売夕刊	〃
加藤栄三画伯を悼む	鈴木 進	三 彩	289	鎭木清方<天声人語>	朝 日	3.4	〃
加藤栄三さんを悼む	藤本 韶三	〃	〃	鎭木清方の人と作品	久富 貢	東京夕刊	〃
加藤晨明<人と作品 17・画室を訪ねて>	田中 皓一	萌 春	215	鎭木清方先生をしのぶ	中村 溪男	京都夕刊	〃
加藤助八<自作を語る>	〃	絵	99	下保昭氏<作家訪問>	山田 龍平	ア ー ト	20の 2
大陶壁ビル登場一加藤唐九郎「うずしお」<手帳>	〃	読売夕刊	5.27	失われた沖繩文化財の写真展をひらく鎌倉芳太郎	〃	東京夕刊	5.5
ビルをすっぽりと織部焼で飾る一加藤唐九郎さんの超大作	〃	毎日夕刊	5.26	琉球紅型と私	鎌倉芳太郎	読売夕刊	5.20
商業映画とアートフィルム<美心暗疑>	加藤 泰	京 都	9.1	中川紀元君の事、画家の事、シンガポール・乳房の事	神原 泰	絵	99
あるいは本の失踪としての箱一加納光於・大岡信共作「アラットの船あるいは空の密」	宮川 淳	美術手帖	353	「シンガポール・乳房」について	〃	三 彩	287
加納光於<現代版画の12人・10>	岡田 隆彦	中央公論	10	アクションの時代と横山潤之助君	〃	美術グラフィック	21-9
金と銀<特集・日本美術の原色>	加山 又造	芸術新潮	271	益子で陶芸をはじめた神崎正樹さん<やっています>	〃	美術ジャーナル	復刊 2
加山又造<画室訪問>	藤本 韶三	三 彩	282	イラン・遊牧民と共同生活一亀井造酒さん<脱日本私の旅>	〃	京 都	5.20
加山又造<この人と語る>	(山崎)	日本美術	92	真冬の富士、夏の立山弥陀ヶ原、秋の志賀高原大沼<び・い・ぶ・る わたしの選んだ日本三景>	亀倉 雄策	芸術新潮	269
随想・宗達光琳<特集・宗達と光琳>	加山 又造	みづゑ	812				

アイヌの文化を誇り
もって表現—亀田マ
ユミさん

毎 日 4.4

川合玉堂という人
〈随筆〉

入江 相政 日本美術 88

変形と流動に魅せら
れて〈特集・装飾美
術の原点〉

川島 猛 芸術新潮 269

画家への夢と紋章帳
〈び・い・ぶ・る
紋章〉

川島 猛 芸術新潮 274

川村陽谷の水墨画

三宅正太郎 三 彩 293

陽谷画伯を憶う

田中 一松 " "

川村陽谷略伝

小酒井武平 " "

情念の画家—川端龍
子の芸術

桑原 住雄 " 285

龍子先生七周忌にあ
たって

安西 啓明 日本美術 85

龍子・回顧—その作
品と生涯

菊地芳一郎 美術グラ
フ 21—4

アーティスト・アパ
ートの住心地

川端 実 芸術新潮 266

写真を“もの”にす
るために—現実と写
真の隔り〈写真とア
ート・私の場合〉

河口 龍夫 美術手帖 356

“観念アート”はア
ート？〈美心暗疑〉

" 京 都 7.28

河鍋曉斎の絵日記

会田 富康 萌 春 216

形骸化する？南画
〈美心暗疑〉

河野 秋邨 京 都 5.5

宇宙人のような地球
人—河原温

佐原 次郎 芸術新潮 266

三景双案〈び・い・
ぶ・る わたしの選
んだ日本三景〉

河本 五郎 " 269

(キ)

菊川多賀〈人と作品
15・画室を訪ねて〉

田中 皓一 萌 春 212

建築に家紋を入れる
〈び・い・ぶ・る
紋章〉

菊竹 清訓 芸術新潮 275

色彩と環境の調和説
く—建築家の菊竹氏

読売夕刊 11.20

菊池晃〈好日好題〉

日本美術 84

フジタよ、あなたは
…太平洋戦争記録
画からの考察

菊畑茂久馬 美術手帖 353

晩年の岸田劉生と

前田 麦二 絵 97

鱧われ(小出権重と
岸田劉生)

匠 秀夫 素描 10(1969.
12)

岸田劉生〈画家が語
る画家〉

美術ジャ
ーナル 復刊 2

我が師劉生

横堀角次郎

師を語る

加賀孝一郎

知られざる北大路魯
山人の作品〈フット
ライト〉

白崎 秀雄 芸術新潮 266

秘書としてみた晩年
の魯山人

平野 正章 日 経 3.10

洋画への雑言

北川 民次 絵 99

瀬戸の道(北川民次)
正、続

神谷 幸之 " 104, 106

端溪の硯〈び・い・
ぶ・る 文房具〉

北川 民次 芸術新潮 270

北川民次〈風信〉

東京夕刊 1.26

井之頭彫刻園と北村
西望翁

米倉 守 季刊現代
彫刻 1

春を待つ武蔵野〈さ
むはおる〉

北村 巖 絵 97

鬼頭鍋三郎氏「舞妓」

植村鷹千代 点 描 9

木内克〈画室訪問〉

藤本 韶三 三 彩 285

ブルデルの作品から
〈特集・アントワー
ヌ・ブルデル〉

木内 克 " 296

木内克の記録映画完
成

朝日夕刊 5.23

彫刻家・木内克さん
の制作ぶりや日常が
映画に

" 6.1

映画になる「木内克
とその作品」〈レン
ーパー〉

読 売 6.18

焼物道楽

木下 義謙 芸術新潮 266

垂直の時間(木田金
次郎)〈標的〉

(回廊) 朝日夕刊 7.14

絵を描く楽しさを

木水 育男 毎 日 8.24

地下に潜る〈び・い
・ぶ・る アンダー
・グラウンド〉

木村賢太郎 芸術新潮 268

喫茶店にあった自作
道具箱〈び・い・ぶ
・る 文房具〉

" " 274

木村光佑のクールな
エロス世界

木村 光佑 " 270

木村光佑〈創造前
線〉

三木 多聞 芸術生活 273

フォルマ・ビバに参
加して—国際彫刻シ
ンポジウム

木村 光佑 朝日夕刊 9.18

1972年夏フォルマ・
ビバ—国際彫刻シ
ンポジウムに参加して
(上)

" 読 売 10.21

木村光佑第1回ノル
ウェー国際版画ビエ
ンナーレでグランプリ

" 毎日夕刊 12.13

“写真の偉大なる真
理”をピンハネして
きたのは誰なんだ

木村 恒久 美術手帖 352

1930—海水浴場の様
板戯〈特集・鉄十字
への反逆〉

" みづゑ 811

夜間恐怖症〈び・い
・ぶ・る ながい冬
の夜〉

木村 直道 芸術新潮 266

原始彫刻模写十年

" " 270

小石哀歌

京極 怜子 芸術生活 277

儀間比呂志〈週間個
人〉

毎 日 5.15

日本美術の可能性	Q	生	美術ジャーナル	復刊 1					
		(ク)							
ときに思う「知る」と「わかる」のわかるまで	楠部 彌弼	毎日夕刊	1.12		この薬草図鑑に美あり	小磯 良平	日 経	5.20	
どこへ行く? 日展工芸<美心暗疑>	〃	京 都	2.4		美術を買う<美心暗疑>	小糸 啓介	京 都	3.10	
工藤哲巳<ディアローグ・30>	聞き手 針生 一郎	みづゑ	814		小出橋重と宇野浩二の「枯木のある風景」	匠 秀夫	本の手帖	1	
国吉康雄に魅せられて	小沢 善雄	芸術新潮	268		縛われ(小出橋重と岸田劉生)	匠 秀夫	素 描	10(1969.12)	
国吉康雄の一枚の絵 ゆっくり一生がかりで大きな実を結ぶよう<び・い・ぶ・る 最後の授業>	〃	〃	272		小林清子・若い世代のもだえと哀歌	小川 正隆	芸術生活	270	
熊岡善彦の「少女果実を捧ぐ」	三宅正太郎	S D	89		腐蝕する日常	小林 清子	〃	〃	
熊谷守一と萬鐵五郎 1~4	池辺 一郎	美術グラフィ	21-4,6,7,10		最後の絵師(小林清親)	〃	朝 日	10.7	
熊谷守一の眼	弦田平八郎	素 描	16(1971.1)		静岡県在住の小林清親	吉田 漱	浮世絵芸術	32	
守一翁と初対面<近況>	神保光太郎	朝 日	11.6		ボールペン愛用<び・い・ぶ・る 文房具>	小林 和作	芸術新潮	271	
スーパーマン・久里洋二<大波小波>	(砂利罵詈)	東京夕刊	3.22		徳島の二美人<隨筆>	〃	日本美術	86	
久里洋二<週間個人>	〃	毎 日	3.27		書のことと山頭火のこと<〃>	〃	〃	88	
赤字をものともせず久里氏が月刊個人誌	〃	朝日夕刊	9.28		山頭火と小林和作<〃>	吉田 正明	〃	89	
強まる「移動人間」の性格―黒川紀章氏<ひとこと>	〃	日 経	1.18		再び山頭火のことと絵のこと―吉田正明氏の好意に答えて<〃>	小林 和作	〃	90	
黒川紀章<風信>	〃	東京夕刊	4.26		里見勝蔵・小林和作<往復書簡>	〃	美術グラフィ	21-7	
黒川紀章氏とアフリカの出会い<メモらんだむ>	〃	朝日夕刊	5.1		人間・芸術・読書	里見 勝蔵	〃	〃	
“脱借景”の公共空間利用―黒川紀章<未来への証言・22都市>	〃	京 都	6.18		里見君への答信	小林 和作	〃	〃	
黒崎彰<画壇新風・明日をめざす作家たち>	(藤)	ア ー ト	20の 3		藤島武二先生の回想	小堀 四郎	絵	104	
版画ブーム<美心暗疑>	黒崎 彰	京 都	8.11		梅原竜三郎先生と土田麦隠先生の手紙<び・い・ぶ・る・忘れえぬ手紙>	小松 均	芸術新潮	273	
芸術における影響と伝統―ゴッホと黒田清輝の軌跡	高階 秀爾	読 売	11.4		特別な小品<あの頃>	小森 邦夫	絵	98	
新宮殿と民芸精神<美心暗疑>	黒田 辰秋	京 都	1.28		小山敦三氏蔵 漢の磚、大同の大仏、ゴッホのエッチング<諸家の愛蔵品 4>	(K・T)	ア ー ト	20の 2	
孤独の旅	桑野 博利	〃	3.17		小山敦三「花」	植村鷹千代	点 描	7	
	(ケ)				陶芸家の興奮(小山富士夫)	杉村 勇造	芸術新潮	274	
剣持勇の言葉<風知草>	(草)	読 売	1.5		川端康成の死と古賀春江	岡部千葉男	日本美術	87	
	(コ)				古賀忠雄<巨匠を訪ねて>	〃	〃	86	
新制作の仲間<交遊抄>	小磯 良平	日 経	1.13		リンカーン・センターに古橋氏の作品(古橋矢須秀)	〃	読 売	9.23	
					孤独な水彩画(古茂田次男)	洲之内 徹	芸術新潮	267	
					奇遇(児島善三郎)	神谷 幸之	絵	99	
					ホイットニ・ミュージアムでの「ローゼンクイスト回顧展」	近藤 竜男	毎日夕刊	6.1	

ニューヨークの観念美術	近藤 竜男	毎日夕刊	11.15
ニューヨークのスーパー・リアリズム	〃	毎 日	2.14
近藤千尋<この人>		京 都	4.4
高松塚古墳の壁画模写に意欲を燃やす—近藤千尋<ぶろふいる>		東 京	4.12
漫画集団四十年	近藤日出造	読売夕刊	6.10
阿弥陀経<私の教典>	近藤 弘明	読 売	2.10
鳩と残雪<制作日誌>	郷倉 和子	日本美術	83
郷倉千靱<巨匠を訪ねて>	(山崎)	〃	84
郷倉千靱「静物」	永井 信一	点 描	6
もてなかったお話<さむほおる>	後藤よ志子	絵	98
(サ)			
斎鹿逸郎<鉦脈>		美術ジャーナル	復刊2
雑篇	斎鹿 逸郎		
覚え書き—斎鹿逸郎	平井 亮一		
斎鹿という人<今月の表紙>		〃	〃
斎藤カオルのエロス世界	桑原 住雄	芸術生活	276
「替女・盲目の旅芸人」を書いた斎藤真一さん<インタビュー>		朝 日	6.12
斎藤義重<ディアローグ・25>	聞き手 針生 一郎	みづゑ	806
三枝雲岱の画業と生涯	冠 豊一	萌 春	212,215
私の遍歴<あの頃>	坂本 益夫	絵	99
ゆとりのある室内空間・酒見恒平さん宅<こんにちわ>		京 都	2.26
柳原紫峰—自然の中の画家<作家論>	源城 政好	三 彩	289
たゞで見られる大美術展	佐久間阿佐緒	芸術新潮	270
私の描く「おちかさん」	佐熊敬一郎	〃	271
せんかたなく降りた階段<び・い・ぶ・る 階段>	佐熊桂一郎	〃	272
もう一つのドイツ—不毛の中から	佐々木四郎	視 る	56
藤島武二<画家が語る画家>	佐田 勝	美術ジャーナル	復刊1
須田先生のこと(須田国太郎)	佐藤 真一	絵	98
佐藤多持—清純と自由を求める画家	三宅正太郎	萌 春	213
彫刻家佐藤忠良の素描<素描Ⅲ>	(淡)	三 彩	265

佐藤 忠良<画室訪問>	藤本 韶三	三 彩	293
佐藤 昌美<制作日誌>		日本美術	91
あやつり人形<び・い・ぶ・る 忘れえぬ手紙>	里見 勝蔵	芸術新潮	273
お前の真の敵は誰か	〃	日本美術	84
里見勝蔵・小林和作<往復書簡>		美術グラフィ	21—7
人間・芸術・読書 里見君への答信	里見 勝蔵 小林 和作		
(シ)			
世界を放浪、20年ぶりに帰国して個展を開く—鎮目守治		毎日夕刊	11.7
デザインはスポンサー・アート?<美心暗疑>	柴田 猷一	京 都	12.1
島州—<現代版画の12人・5>	東野 芳明	中央公論	5
ダダイスト新吉の書画展	島崎 菊助	芸術新潮	267
中村彝先生のはがき<び・い・ぶ・る 忘れえぬ手紙>	清水多嘉示	〃	273
清水多嘉示<画室訪問>	藤本 韶三	三 彩	292
清水多嘉示氏にきく<特集・アントワヌ・ブルデル>	(編集部)	〃	296
清水六代(清水六兵衛)	谷川 徹三	ア ー ト	20の1
伝統文化に戻ってみる時—清水六兵衛氏<ひとこと>		日 経	1.9
まぼろしの着物?<美心暗疑>	志村ふくみ	京 都	2.18
下谷千尋<現代版画の12人・2>	東野 芳明	中央公論	2
ふるさとの一<び・い・ぶ・る 今年の旅>	下田 義寛	芸術新潮	276
下田義寛<人と作品13・画室を訪ねて>	田中 皓一	萌 春	209
夢を売る男	下村良之介	芸術新潮	267
画商ざらい<美心暗疑>	〃	京 都	3.3
修業時代<さむほおる>	正田 壤	絵	97
浪人生活で地獄を見た<わたしのドラマ>	東海林さだお	読 売	8.27
集団における“絶体者”の死—具体美術協会の解散	白髪 一雄	美術手帖	356
坂本繁二郎先生の手紙<び・い・ぶ・る 忘れえぬ手紙>	地主 悌助	芸術新潮	273

(ス)				自分の手で建てた個人美術館—全和風さん	毎日夕刊	1.27
刺繍肖像に魅せられて	菅原 健三	日 経	1.15	できたぞ美術館 (全和風)	京 都	5.5
杉浦康平・武満徹<現代版画の12人・11>	東野 芳明	中央公論	11	10年がかり、京都に手づくりの美術館を建てた画家—全和風<ひと>	(済) 毎日夕刊	5.26
古銅印<び・い・ぶ・る 文房具>	杉本 健吉	芸術新潮	270	(ソ)		
ドキュメンタリー絵画	ヘンリー・杉本	絵	98	中村彝の未完の肖像画	曾宮 一念	芸術新潮 275
清流での行水	鈴木 国稔	素描	2 (1968.8)	「白樺の杖」を出版する盲目の曾宮一念さん<インタビュー>	朝 日	7.10
ローマ紀行	鈴木三五郎	〃	4 (1968.12)	(タ)		
「すっかりだめな僕たち」展—タイトルに代えて	鈴木 重夫 八田 淳	美術手帖	352	虚の構造・大蘇芳年<告白的芸術家論>	宗谷 真爾	芸術生活 275
鈴木 博<自作を語る>		絵	98	高田 博厚<画室訪問>	藤本 韶三	三 彩 286
習性としての絵画—模写を考える<個展から>	鈴木 慶則	美術手帖	358	彫刻家高田博厚の素描<素描Ⅳ>	(横) 〃	〃
画道五十年<さむほおる>	鈴木 良三	絵	99	高田博厚<風信>		東京夕刊 4.6
須田先生のこと (須田国太郎)	佐藤 真一	〃	98	美しき顔・川端さんのデスマスク	高田 博厚	〃 4.27
学生に残した言葉<び・い・ぶ・る 最後の授業>	須藤 雅路	芸術新潮	267	宮沢賢治像できる (高田博厚)<点描>		朝日夕刊 5.12
ペン画の沖縄展を開いた画家—隅山きよみさん		毎 日	5.2	フランス—陽光へのあこがれ<世界音楽の旅>	高田 博厚	京 都 9.15
文人陶工—初蘇代山 (諏訪蘇山)	(藤)	ア ー ト	20の1	昼は彫刻、夜は執筆活躍する高田博厚氏 芸術院賞を受けた高田誠氏<訪問>		朝日夕刊 12・28
明治という時代—初代の歩み (諏訪蘇山)	吉田 光邦	〃	〃	ダダイスト新吉の書画展 (高橋新吉)	島崎 薊助	芸術新潮 267
(セ)				高橋秀<ディアローグ・26>	聞き手 針生 一郎	みづゑ 807
二つの讃美歌<わが愛するうた>	清家 清	読売夕刊	8.26	高橋忠弥の「風景」	安井 収蔵	S D 91
清家清<風信>		東京夕刊	11.13	高橋由一の石版画	陰里 鉄郎	素描 11 (1970.3)
すぎた日	関 主税	ア ー ト	20の3	オカリーナ作りの名手・高橋美則さん<やっています>	(H) 美術ジャーナル	復刊 1
特集・関根伸夫のモニュメント—空想	安斎 重男	S D	95	光琳私論<特集・真贋を超えた琳派展の問題作>	高松 次郎	芸術新潮 273
わかりきったことながら<海外情報>	関根 伸夫	美術手帖	353	高松次郎<現代版画の12人・9>	東野 芳明	中央公論 9
火山を相手にプランを練る<今月の焦点>	〃	〃	357	東京国際ビエンナーレで国際大賞を受けた高松次郎氏	(米) 朝 日	12.19
関根伸夫<ディアローグ・31>	聞き手 針生 一郎	みづゑ	812	高村光太郎の木彫	原田 実	素描 18 (1971.6)
志木市庁舎前庭のモニュメント (関根伸夫)		読 売	6.29	光太郎・智恵子の思い出<東西南北>	(南) 京 都	4.25
蔵書票<び・い・ぶる 紋章>	関野準一郎	芸術新潮	275	高村光太郎とセミ	東 正佳	毎 日 8.7
冬の夜と冬の旅<びい・ぶ・る ながい 冬の夜>	仙田 満	〃	266	光太郎 神話<風知草>	(赤) 読 売	9.17

高村豊周氏の死をめぐって	草野 心平	日本美術	87	光を造形する—新宮殿シャンドリアから灯ろうまで	多田 美波	日 経	3.8
高村豊周氏を悼みて	菊地芳一郎	美術グラフィ	21—9	日本芸術大賞を受賞—多田美波さん	(米)	朝 日	4.11
高村豊周氏の辞世の歌	草野 心平	東京夕刊	6.21	アメリカに寄贈された橋天敬の障壁画	三宅正太郎	日本美術	82
高山辰雄「源氏物語」挿絵	吉村 貞司	芸術新潮	274	異才の画人・橋天敬	(中野中)	〃	86
装飾性という言葉の意味<特集・「琳派展」感想>	高山 辰雄	〃	276	橋画伯の屏風画「風神雷神」<西高東低>		毎 日	7.13
圧縮する空間—「村」思考から<個展から>	高山 登	美術手帖	361	理論もへちまもございませぬ—“描く”才能に恵まれただけで<写真とアート・私の場合>	辰巳 四郎	美術手帖	356
鷹山字一の「あさあけの歌」	三宅正太郎	S D	91	埴輪の旅(谷内六郎)		朝 日	3.8
対山と松庵(日根対山、武井松庵)	冠 豊一	萌 春	214	龍あるいは失われゆく時の結晶<個展から>	谷川 晃一	美術手帖	361
夢二資料の発見		毎 日	3.24	小泉八雲の家紋<びい・ぶ・る 紋章>	谷口 吉郎	芸術新潮	274
夢二滞欧作(素描)の発見		読 売	8.29	「花の書」の仲間<交遊抄>	〃	日 経	7.17
竹山博<人と作品16・画室を訪ねて>	田中 皓一	〃	〃	谷中安規<美術メモ>	(淡)	三 彩	287
阿蘇山<びい・ぶ・る 今年の旅>	田崎 広助	芸術新潮	276	観光ブームでもみくちゃんに—“かっぱた織”、人間国宝・王置びんさん		朝 日	9.4
田崎広助「桜島」	東 珠樹	点 描	11	アルジェリアの大学を丹下氏が設計(丹下健三)		朝日夕刊	6.29
田島なす美<制作日誌>		日本美術	91	丹下氏、イタリアで保養センター設計		〃	8.29
日本人の知恵と技術の結晶である紋<びい・ぶ・る 紋章>	田中 一光	芸術新潮	275	動画家・檀塚哉の情熱	清水 哲男	芸術生活	277
危ういかなヨーロッパ美術界「第36回ヴェネチア・ビエンナーレ展」	田中 信太郎	美術手帖	358		(チ)		
スティンド・グラス<さむほおる>	田中 忠雄	絵	97	鳥海青児君を悼む	野口弥太郎	絵	101
マクロな視点で—目の山陽新幹線開通に思う<文化ざろん>	〃	京都夕刊	2.12	鳥海青児・徳岡神泉の死	栗津 則雄	芸術新潮	272
インディオに情熱燃やす田畑弘さん		東京夕刊	7.26	特集・鳥海青児、徳岡神泉の死		〃	〃
田村一男<画室訪問>	藤本 韶三	三 彩	296	鳥海さんと古美術	白畑 よし		
石版画印刷術	田村 文雄	絵	102	鳥海青児と闘牛	小川 国夫		
田村文雄の世界—混沌とした生の目まい	清水 昶	芸術生活	721	鳥海青児追悼号		三彩増刊	294
特集・第4回「日本芸術大賞」多田美波の作品		芸術新潮	268	鳥海芸術を・ひとつの視角から	土方 定一		
多田美波	土方 定一			鳥海青児を憶う	林 武		
多田美波と建築と	林 昌二			鳥海青児さんの思い出	小山富士夫		
小さな水溜りの中の大きな世界<特集・装飾美術の原点>	多田 美波	〃	269	人間鳥海青児先生	三木 淳		
第4回「日本芸術大賞」を受賞する造形家多田美波さん<人間登場>	(酒井記者)	読 売	3.3	師鳥海青児のやさしさ	青木 達弥		
				座談会・鳥海青児を語る	原 精一 佐々木 静一 鈴木 進三 藤本 韶三		
				鳥海青児文抄			

鳥海青児年譜	佐々木静一 編		
追悼・鳥海青児画伯 一がむしゃらなまでの 情熱	野口弥太郎	日本美術	87
追憶・鳥海青児	"	朝日夕刊	6.19
北海道当別男子修道 院からの眺望、東北 出羽三山、九州五島 列島福江島<び・い ぶ・る わたしの選 んだ日本三景>	近岡善次郎	芸術新潮	269
(ツ)			
司修の幻想的エロス 世界	吉村 昭	芸術生活	272
あやかしの人形館・ 岩下コレクション	司 修	"	273
塚原哲夫<人と作品 11・画室を訪ねて>	田中 皓一	萌 春	207
芸術とは<美心暗 疑>	辻 晋堂	京 都	11.4
窯まつり(辻清明、 辻協、魯山人)	福田 浩	芸術新潮	271
辻司<自作を語る>		絵	97
机辺漫語<び・い・ ぶ・る 文房具>	津田 青楓	芸術新潮	270
散歩楽しむ92歳<近 況>	"	朝 日	12.4
見えるものと見えな いもの	津田 秀穂	芸術新潮	276
女流<美心暗疑>	坪井明日香	京 都	12.15
画料一円五十銭の頃	坪内節太郎	芸術新潮	274
蜘蛛が迷わせたわが 家への道	鶴岡 政男	"	272
(テ)			
埋もれた戦争画家 (寺崎武男)	ブラスタ・ チハーコバ	芸術新潮	273
作家と意欲	寺崎 浩	東京夕刊	2.15
(ト)			
東郷青児「橋」	東 珠樹	点 描	10
東郷青児さん<元氣 です>		読 売	3.26
鳥海青児・徳岡神泉 の死	栗津 則雄	芸術新潮	272
徳岡神泉兄の死を悼 む<特集・鳥海青児 徳岡神泉の死>	小野 竹喬	芸術新潮	272
追悼・徳岡神泉画伯		日本美術	87
きびしい画心に暖 かな情	山田 龍平		
不滅の光を放つ	小野 竹喬		
音楽に深い造詣	金島 桂華		
下鴨画家村時代の ことなど	池田 遙邨		
神泉画伯をいたむ	河北 倫明	"	88

徳岡神泉さんを悼む	井島 勉	朝 日	6.10
徳岡神泉氏をいたむ	"	東京夕刊	"
日本人の自然観を凝 縮—徳岡神泉画伯を いたむ	小倉 忠夫	読売夕刊	"
神泉さんをいたむ	河北 倫明	京 都	"
徳岡神泉画伯をおも う	亀田 正雄 記者	毎日夕刊	6.12
常盤大空<人と作品 12・画室を訪ねて>	田中 皓一	萌 春	208
ニュールンベルグ彫 刻シンポジウムに 参加して	富樫 一	絵	96
新発見・鉄斎の二十 幅<フットライト>	鈴木 進	芸術新潮	275
鉄斎研究 1	小高根太郎	鉄斎研究 所	1969.12
" 2		"	1970.6
" 3		"	" .12
" 4 (年譜所 載)		"	1971.6
" 5 (")		"	" .11
" 6 (")		"	1972.2
" 7 (")		"	" .5
" 8 (")		"	" .8
" 9 (")		"	" .11
富岡鉄斎の健康法	横田 正弘	京都夕刊	9.2
仙境大杉谷峡谷と絶 景大台林道<び・い ぶ・る 今年の旅>	富岡惣一郎	芸術新潮	276
富永太郎のこと<随 筆>	吉田 秀和	三 彩	295
富本憲吉作品集<座 右の書>	水原秋桜子	日 経	2.6
器の型をもつ詩—富 本憲吉の「窯辺雑記」 <わが愛するうた>	丸岡 秀子	読売夕刊	8.5
一点制作の本造り	栃折久美子	東京夕刊	6.1
製本芸術—栃折久美 子		朝 日	9.27
降ってわいた叙熱の 報	利根山光人	芸術新潮	269
メキシコの村々のシ ンボル<び・い・ぶ る 紋章>	"	"	274
宗達・光琳のみ<特 集・「琳派展」感想>	"	"	276
メキシコと私 上、 中、下	"	読売夕刊	3.23, 24, 25
開かれた神秘のとび ら—マヤの魅力をさ ぐる (古代マヤ文明 展)	"	朝日夕刊	8.2
TOM'S FINGERS TRAVEL ON THE BOX	戸村 浩		
1.立方体の箱		美術手帖	356
2.サウンド・ボッ クス		"	357

3. スモーク・リング・ボックス	美術手帖	358
4. 歪んだ箱	〃	359
5. 箱の中の正十二面体	〃	360
6. 立方体の分割	〃	361
感動を求めて	豊秋 半次	京 都 4.1
フォンタナの想い出 一回顧展を見て	豊福 知徳	芸術新潮 271
豊福知徳<ディア ログ・32>	聞き手 針生 一郎	みづゑ 812
若き日のバリー・林武 先生を識る頃<あの 頃>	鳥居 敏文	絵 97
鳥居作品の“強さ” (鳥居敏文)<再見と 発見>	野長瀬正夫	美術グラ フ 21-4
法然院懐絵	堂本 印象	ア ー ト 20の2
堂本印象「家隣り」	竹田道太郎	点 描 1
作家はなぜ外国へ行 く?<美心暗疑>	堂本 尚郎	京 都 11.17
北京の古文化への執 念一土門拳氏		朝 日 10.31

(ナ)

古本落れでぎず<近 況>	中 一弥	朝 日 8.14
画文一致・中川一政	瀧井 孝作	三 彩 284
足柄海館訪問(中)、 (下)一川一政さん のこと	〃	東京夕刊 1.13, 14
箱根スカイライン	中川 一政	朝日夕刊 5.20
中川紀元君の事、画 家の事、シンガポー ル・乳房の事	神原 泰	絵 99
中川紀元をいたむ	大久保 泰	東京夕刊 2.12
タイで焼いた弥生式 土器	中里太郎右 衛門	芸術新潮 266
中沢弘光「踊りの前」	三宅正太郎	S D 98
国境を溶かし都市を 舐め—もうひとりの 60年代児・中島由夫	ヨシダ・ヨ シエ	美術手帖 358
対談・サンサシオン を語る	風野 信雄 中野安治郎	素 描 10(1969. 12)
中西新太郎の絵—鳥 と向日葵のメルヘン	匠 秀夫	三 彩 295
安井賞受賞の中西勝 氏<訪問>	三浦 小春	東京夕刊 3.22
世界の辺地めぐりで 知った人間の幸福	中西 勝	日 経 7.6
変身と不惑<「現代 の陶芸」展を見て・ その1>	中村 錦平	現代の眼 206
伊豆の安良里、南信 州の高遠瀬戸内港 山から行く鞍の港 <び・い・ぶ・る わたしの選んだ日本 三景>	中村 琢二	芸術新潮 269

中村 琢二<巨匠 訪 問>	(中野)	日本美術 91
中村彝先生と友人 <あの頃>	本郷 惇	絵 95
中村彝の未完の肖像 画	曾宮 一念	芸術新潮 275
発見された中村彝の 未完成作品		毎日夕刊 9.18
中村彝随想	鈴木 秀枝	〃 9.25
酔画酔境・仲睦まじ い鴛鴦の図・中村直 人の巻	桑原宗一郎	芸術生活 270
中村宏覚え書Ⅰ・Ⅱ	織田 達郎	三 彩 284, 285
中村正義<この人と 語る>		日本美術 90
不在化する人間のため に<作家の記録>	中本 達也	美術ジャ ーナル 復刊 1
“幻の名画”を追っ て十年—ムリリヨ 「帯の聖母」<真贋 103>	中山 正美	芸術新潮 271
クキタツとウコギ <ふるさとの料理>	長沢 節	読 売 6.25
旅行と旅行のあいだ でつくる	長沢 英俊	美術手帖 358
永井功<鉅脈>		美術ジャ ーナル 復刊 1
永井功氏作品	岩瀬 敏彦	
私は私の詩をうた いたい	永井 功	
永井功紹介記事を書 いた岩瀬さんの気が かり<今月の表紙>	(羽生)	〃 〃
穴ぎらい<び・い・ ぶ・る アンダー・ グラウンド>	永田 力	芸術新潮 268
生かしておきたい家 紋<び・い・ぶ・る 紋章>	〃	〃 275
発想の薄味<特集・ 装飾美術の原点>	流 政之	〃 269
黄色いポスト	〃	〃 275
こんな事を思うの事	梶原 健三	絵 103
失われる前に「葛飾 三十六景」(成田駿 太郎さん)		東 京 7.22
「葛飾三十六景」	成田駿太郎	日 経 8.1
松本竣介回想	難波田龍起	美術グラ フ 21-11
難波田龍起<風信>		東京夕刊 9.16

(ニ)

続・練馬のアトリエ 村	西尾 善積	絵 99
親心<さむほおる>	西山 真一	〃 95
テレビと美術番組— 西山英雄氏の“日本 画”講座をふりか えって	大矢 鞆音 萌	春 214

二村裕子<現代版 画の12人・7>	岡田 隆彦	中央公論	7	旅と酒	服部正一郎	美術ジャ ーナル	復刊1
(ノ)				羽根万象<人と作品 10・画室を訪ねて>	田中 皓一	萌 春	206
鳥海青児君を悼む	野口弥太郎	絵	101	スペインの新春	浜田 信	東京夕刊	1.19
野口弥太郎<素描 Ⅶ>	(淡)	三 彩	289	二つの太陽	"	"	8.17
追憶・鳥海青児	野口弥太郎	朝日夕刊	6.19	志賀さんのヨーロッ パの旅<特集・志賀 直哉をめぐる美>	浜田 庄司	芸術新潮	266
野田九浦一武蔵野市 へ作品贈る		毎 日	1.21	「初年兵 哀歌」<特 集・私の戦後美術>	浜田 知明	現代の眼	207
野田哲也<現代版 画の12人・1>	岡田 隆彦	中央公論	1	浜田知明<ディアロ ーグ・29>	聞き手 針生 一郎	みづゑ	810
野田弘志の「ペア」	安井 収蔵	S D	90	浜田知明作「初年兵 哀歌(銃架のかげ)」 <新収作品より>	小倉 忠夫	視 る	66
茶漬<び・い・ぶ・ る ながい冬の夜>	野見山暁治	芸術新潮	266	ひっそりと黙して銅 版画に刻む悲惨一浜 田知明氏<私にとっ ての「8・15」の意 味>	田中 幸人	毎日夕刊	8.17
やあ、キミの設計だ な	"	"	267	若き日のバリー林武 先生を識る頃<あの 頃>	鳥居 敏文	絵	97
<視点>	"			鳥海青児を憶う<鳥 海青児追悼号>	林 武	三彩増刊	294
無形の包装紙		毎日夕刊	1.22	絵を描く時の夫は神 の姿一林武画伯夫人 幹子さん語る<トッ ブレディ訪問>		日本美術	84
腹が立つ横文字		"	2.5	父の遺志をついだ 「憂国」一林武氏<訪 問>		東京夕刊	1.29
えたいのしれぬ値 段		"	2.19	「国語の建設」の林武 さん<書いた人>	(丈)	読 売	2.4
アイマイモコ		"	2.26	陶芸グランプリ受賞 と文化外交の貧弱さ	林 康夫	芸術新潮	275
画家志望・今昔		"	3.4	沖縄美術界の現状一 美術館は一つもない	早川 勝己	京 都	5.19
マンションとバリ		"	3.11	未知の画家・速水御 舟<告白的 芸術家 論>	武智 鉄二	芸術生活	296
悲しき風景		"	3.18	結城栄三と原健につ いて	三木 多聞	"	271
自動車のマナー		"	3.24	メディアとしてのプ リント	原 健	"	"
フォービズム		"	11.8	原精一<素描Ⅱ>	(淡)	三 彩	284
(ハ)				特集・原広司がやっ てくる		S D	96
ある机の伝記	萩原 英雄	芸術新潮	273	海の博物館	本田 暁		
道祖神を訪ねて<び ・い・ぶ・る 今年 の旅>	"	"	276	病める地球、もう 重体!	原 広司		
祖父の彫った落款 <び・い・ぶ・る 文房具>	橋本 明治	"	271	原広司による空間 概念論のための草 稿	"		
橋本明治<巨匠を訪 ねて>	山崎 一芳	日本美術	82	「海の博物館」で情念 の建築観を結晶させ た原広司氏		朝 日	10.3
橋本明治一“よい仕 事を”が抱負<訪 問>	寺田 記者	東京夕刊	1.11	オフ・デザインの “城”をつくった原 弘<ひと>		毎日夕刊	3.28
橋本明治の壁画「竜」 完成		"	11.22	今日と明日の共存す る所	原 良次	絵	103
竜の壁画奇縁譚	橋本 明治	日 経	11.23				
メダイユ・ド・ヴェ ルメイユ金賞<び・ い・ぶ・る 紋章>	長谷川 潔	芸術新潮	275				
キリスト像になった 亡き長谷川路可画伯 <点描>		朝日夕刊	7.6				
蓮田脩吾郎<この人 と語る>	山崎 一芳	日本美術	89				
裁かれる肉体のラジ カリズム	働 正	美術手帖	352				
真ッ心まで緑でぬら した少年時代<作家 の記録>	服部正一郎	美術ジャ ーナル	復刊1				

馬場不二	明石 朴景 萌 春	211
	(ヒ)	
東山魁夷の歩いた道		三彩増刊 283
魁夷先生の「道」	水上 勉	
魁夷芸術への仮説	桑原 住雄	
私の歩いた道	東山 魁夷	
あとがき	藤本 韶三	
東山魁夷年譜		
瞑想の画家・東山魁夷の世界	三宅正太郎	日本美術 83
“破綻なき”画家 東山魁夷	坂崎 乙郎	美術手帖 350
魁夷画の原力	谷 信一	萌 春 206
不朽の竊木芸術	東山 魁夷	毎日夕刊 3.3
中国への土産品に日本画(東山魁夷)		朝日夕刊 9.26
ゲーテの「旅人の夜の歌」＜わが愛するうた＞	〃	読売夕刊 9.30
春草追憶＜フラッシュ＞	寺田 透	みづゑ 812
春草—菱田春草その人と芸術		点 描 10
八月に思ったこと	日野耕之祐	絵 102
欧州紀行断片	兵藤 和男	美術ジャーナル 復刊 1
なかば痛みの念で＜作家の記録＞	〃	〃 復刊 2
いまは、ひるがえる旗(兵藤和男)	中島可一郎	〃 〃
宗達と現代＜特集・「琳派展」感想＞	平川 敏夫	芸術新潮 276
我が諷刺画考＜特集・鉄十字への反逆＞	平賀 敬	みづゑ 811
平櫛芸術の理想	本間 正義	季刊現代彫刻 1
絵がない！赤不動	平野 杏子	芸術新潮 272
ムラノ島の工房主	〃	〃 275
ある出会い(平野充)	池田 明子	〃 266
彩色について	平野 敏吉	季刊現代彫刻 1
自然の木もある新アトリエ	平山 郁夫	芸術新潮 275
遊牧の民＜中東をゆく＞	〃	朝日夕刊 1.31
ベトラの遺跡＜〃＞	〃	〃 2.1
シュメールの夢＜〃＞	〃	〃 2.4
高松塚古墳の壁画を模写する—平山郁夫＜ひと＞		朝 日 10.6
高松塚壁画の模写に当って	平山 郁夫	朝日夕刊 10.9
空の多足類＜研究ノート＞	広井 力	〃 1.28

明治の風刺画家—ジョルジュ・ビゴー	福永 重樹 三 彩	296
	(フ)	
福沢一郎の素描＜素描X＞	(淡)	〃 295
福沢一郎の「魚とネオンサイン」	三宅正太郎 S D	97
私の絵日記	福田 新生	美術グラフィック
4.不快なディスプレイ		21—1
5. セントラル・ヒーティング万々才		21—2
6. 色が多すぎる		21—4
7. 花菖蒲		21—5
8. 望郷		21—6
9. 風景の略奪		21—7
10. お犬さま		21—8
11. 復くちくなんねえ		21—9
12. 画家のコンサルタント		21—10
13. 政治と芸術家		21—11
南窓雑記2(森田恒友、福田豊四郎)	藤本 韶三 三 彩	295
福田豊四郎後期の画業	武埴林太郎	秋田大学教育学部研究紀要 22
福地靖のエロス世界	岡田 隆彦	芸術生活 279
藤田吉香の素描＜素描V＞	(淡)	〃 287
藤田吉香の芸術空間	川原 正二	美術グラフィック 21—9
レアリティ十年	藤本東一良	絵 105
スウェーデンの生活とデザイン＜特集・現代スウェーデン美術展＞	藤森 健次	現代の眼 209
遊放乱語	二見 利節	絵 103
特別な小品(藤島武二)＜あの頃＞	小森 邦夫	〃 98
藤島武二先生回想	小堀 四郎	〃 104
忘れ得ぬ二人の画家—梅原龍三郎、藤島武二	岡部千葉男	日本美術 83
藤島武二＜画家が語る画家＞	佐田 勝	美術ジャーナル 復刊 1
師 藤島武二	若松光一郎	〃 〃
酔眼朦朧として降りる階段＜び・い・ぶ・る 階段＞	藤原 啓	芸術新潮 272
闇に一重の＜び・い・ぶ・る ながい冬の夜＞	藤松 博	〃 266
実技教師に疲れて	吹田 文明	〃 〃
蒔絵文箱＜び・い・ぶ・る 文房具＞	〃	〃 271

定期刊行物所載文献

版画家か雑器屋か	深沢 幸雄	芸術新潮	269	「変革と情報」、「マヤコフスキーとロシア・アヴァンギャルド演劇」＜対談書評＞	真鍋 博 大庭みな子	毎 日	1.9
アジャンターの壁画をみる	布施 伸介	素 描	13(1970.6)				
布施信太郎の「修道」	三宅正太郎	S D	95				
中原悌二郎賞に舟越保武氏		朝日夕刊	9.28	「燃えさかる火のそばで—シートン伝」、「おんなの戦後史」＜〃〃＞	〃	〃	1.23
中原悌二郎賞の舟越保武氏＜訪問＞		東京夕刊	10.12				
ナイフ＜び・い・ぶ・る 文房具＞	舟越 保武	芸術新潮	271	役所の地下に処理場を—真鍋博氏＜私の提案＞		東 京	4.24
不破章さん＜親子三人＞		朝 日	9.17	本の装丁開眼＜交遊抄＞	町 春草	日 経	2.29
(木)				寒牡丹＜制作日誌＞	松尾 敏夫	日本美術	83
イタリアの国際絵本展でグラフィック賞を受けた一堀文子＜ひと＞		朝 日	4.21	フランス美術の栄光展を見終って	松島 正幸	絵	106
堀泰明＜画壇新風—明日を目ざす作家たち＞	(藤)	ア ー ト	20の3	中国の漆と私—松田権六氏に聞く上、下	堀 利貞	毎日夕刊	11.6,7
坐忘録	堀内 正和	美術手帖	350	“創造に過保護は禁物”、松任谷さん		読 売	6.18
堀内正和＜ディアローグ・27＞	聞き手 針生 一郎	みづゑ	808	松任谷 国子、千鶴＜ひと＞	(安)	毎日夕刊	6.19
木の味	堀川 恭	素 描	9(1969.10)	膨った仏像3,000体	松久 朋琳	日 経	1.22
胸像物語	本郷 新	絵	101	松村定育のエロス世界	柏谷 栄市	芸術生活	280
中村彝先生と友人＜あの頃＞	本郷 惇	〃	95	映像に魅かれる作家＜美心暗疑＞	松本 正司	京 都	8.25
(マ)				松本竣介回想	難波田龍起	美術グラ フ	21—11
「中絶」の建築に反省—新しい「モノ」の手ごたえを取戻せ	前川 国男	毎日夕刊	1.10	遺稿・芸術家の良心	松本 竣介	〃	〃
前田寛治の素描の魅力	原田 実	三 彩	293	白黒撮影しカラー化—松本俊夫の実験映画		読 売	6.21
前田との交友(前田寛治)＜近代思想と近代美術・その1＞	福本 和夫	美術グラ フ	21—10	講談社出版文化賞を受けた漫画家—松本零士さん＜人間登場＞		〃	4.11
死をも辞さぬ旅＜特集・海老原喜之助のロマネスク巡礼＞	前田 常作	芸術新潮	266	「原爆の図」第13部から第14部へ＜作意を訊く＞	丸木 俊	美術グラ フ	21—10
創造の原点を示すタントラ＜特集・装飾美術の原点＞	〃	〃	269	反戦の筆、朝鮮人被爆者へ—丸木画家夫妻の第14部「カラス」		毎 日	6.16
観無量寿経＜私の教典＞	〃	読 売	10.27	原爆の図「からす」のこと	丸木 俊	読 売	7.28
晩年の岸田劉生と	前田 麦二	絵	97	すさまじいイメージ—丸木位里・俊「原爆の図・朝鮮人被爆者」		朝日夕刊	7.29
牧進の作品	寺田 千壘	三 彩	286	朝鮮人犠牲者を描く「原爆の図」第14部		日 経	7.30
南米づく建築家の楨文彦氏		朝日夕刊	2.21	「幽霊」の丸木俊さん＜書いた人＞	(雅)	読 売	8.4
「壁のない学園」で状況建築の理論を実証した楨文彦氏		朝 日	11.21	丸木夫妻の結論＜一点鐘＞	(紙魚)	東京夕刊	8.11
正井和行—純粋で端正な視線＜作家論＞	田中日佐夫	三 彩	284	朝鮮人被爆者を扱う新しい「原爆の図」＜メモらんだむ＞		朝日夕刊	9.18
対談・裸のバリを描きまくる	増田 誠 南 美穂子	日本美術	91	(ミ)			
生け花—自然派	真鍋 博	京 都	1.10	生活環境と共にかわる	三尾 公三	京 都	3.26

三岸好太郎の芸術— 野性、孤独のロマン チスト	匠 秀夫 絵	99	ラバウルで穴倉生活 一年半<び・い・ ぶ・る アンダー・ グラウンド>	向井 良吉 芸術新潮	268
三岸好太郎と北海道 雑感(三岸好太郎な ど)	小林 歌子 三 彩	289	家紋「抱芭蕉」<び・ い・ぶ・る 紋章>	棟方 志功	274
三岸好太郎君の想い 出	匠 秀夫 素描	2 (1968. 8)	対談・生命の源泉イ ンドを行く	草野 心平 中央公論	5
三岸好太郎・青春の 仮構の造形<フラッ シュ>	青井 東平	3 (1968. 10)	狂おしく舞う郷愁— 棟方志功<わたしの ドラマ>	棟方 志功 (西島雄造 記者)	読 売 1.23
三岸好太郎の芸術と 現代—三岸好太郎展 におもう	原田 実 みづゑ	811	特集・村上華岳の芸 術	三 彩	288
三岸好太郎の世界	匠 秀夫 東京夕刊	5.24	華岳私観—東洋画 の精神的系譜	鈴木 進	
1. 漂う北方の憂愁 「大通公園」	本郷 新	5.22	華岳画を見る—村 上華岳の芸術	小野 竹喬	
2. 近代感覚の凝結 「蝶と裸婦」	有馬 稲子	5.23	やきものの縁<交遊 抄>	村田 博 日 経	2.11
3. 深みと単純化と 「レモンを持て る少女」	久保 守	5.24	村山槐多 1, 2, 3, 4, 5	草野 心平 絵	102, 103, 104, 105, 106
4. 簡略された量感 「マリオネット」	伊藤 廉	5.25	尊い帳面<び・い・ ぶ・る 文房具>	森 一正 芸術新潮	271
5. みごとな抒情性 「オーケストラ」	宮川 寅雄	5.26	森芳雄<画室訪問>	藤本 韶三 三 彩	289
「カルネ・ド・T・ V」<び・い・ぶ・ る ながい冬の夜>	三雲祥之助	芸術新潮	森田曠平<素描VI>	(淡)	288
卒業生への四つのは なむけ女子美術大学 学長三谷十糸子<ひ と>		毎日夕刊	南窓雑記 2 (森田恒 友、福田豊四郎)	藤本 韶三	295
スウェーデン現代美 術の背景<特集・現 代スウェーデン美術 展>	三田村峻右	現代の眼	日本一の大黒さま	森野 円象 日 経	1.1
宿	三輪 晃勢 アート	20の3	望月春江<巨匠を訪 ねて>		日本美術 87
水井康雄のひとと作品	大智 浩 アイデア	111	愛しい原色<特集・ 日本美術の原色>	元永 定正 芸術新潮	271
堅牢な構成、重厚な 色彩—水谷淳の世界	三宅正太郎	日本美術	(ヤ)		
皆川月華<実践的養 生訓>		京 都	焼きものの師の見た琳 派展<特集・「琳派 展」感想>	八木 一夫	276
窯印<び・い・ぶ・ る 紋章>	みのわ 淳	芸術新潮	現代の陶芸<フラッ シュ>	”	みづゑ 804
宮下登喜雄のエロス 世界	塚谷 晃弘	芸術生活	オブジェ焼とチャワ ン屋<美心暗疑>	”	京 都 2.11
瞳の中の私<特集・ 装飾美術の原点>	宮脇 愛子	芸術新潮	八木一夫さん宅<こ んにちわ>	”	12.2
イタリアのバルマ <び・い・ぶ・る 今年の旅>	”	276	八島正明の作品・光 と影の心象追求	安井 収蔵 芸術生活	269
対談・愛美社のころ	宮脇 晴 素 描	21(1972. 9)	私の「影」意識	八島 正明	”
(ム)	山田陸三郎		「すっかりだめな僕 たち」展—タイトル に代えて	鈴木 重夫 美術手帖	352
信濃路の春、山の辺 の道、洛北大原<び・ い・ぶ・る わたし の選んだ日本三景>	向井 潤吉	芸術新潮	ダリ会見記	安田 謙 京 都	7.21
「京の町家」読後感	”	日 経	藍の美について<特 集・日本美術の原 色>	柳 悦孝 芸術生活	271
		4.7	夜明けまで工房で過 す<び・い・ぶ・る ながい冬の夜>	柳原 睦夫 芸術新潮	266
			戦後の私の彫刻観 <特集・私の戦後美 術>	柳原 義達 現代の眼	207
			船キチの船便り	柳原 良平 日 経	2.9

定期刊行物所載文献

長谷川さんの美術館 開館にあたって	山尾 薫明	絵	105	サクラとぼくの危険 な関係<特集・「桜」 を描いた日本の千 年>	横尾 忠則	芸術新潮	268
山崎寛太郎<巨匠を 訪ねて>		日本美術	88	宇宙人・横尾忠則へ 終末の開業宣言	東野 芳明 横尾 忠則	芸術生活 "	271 "
ビデオの可能性に企 業ポリシーを	山口 勝弘	美術手帖	360	創造前線1~4	"	読 売	2.1, 8, 15, 22
山口華 楊<画室訪 問>	藤本 韶三	三 彩	287	写生旅行続ける<近 況>	"	朝 日	2.7
山口華 楊<巨匠を訪 ねて>	山崎 一芳	日本美術	83	本当の椅子・ウソの 椅子<風知草>	(ら)	読 売	5.23
山口華 楊<画家訪 問>	(竜平)	京 都	1.14	百人一首・僧正 遍 昭・天女の幻想<わ が愛するうた>	横尾 忠則	読売夕刊	9.22
ブラックと私<特 集・装飾美術の原 点>	山口 長男	芸術新潮	269	「ぼかし」から近づい て「通り抜けた」い ま	"	日 経	11.4
階段は建築家の命と りになりかねない <び・い・ぶ・る 階段>	山口 文象	"	272	わが師劉生<画家語 る画家>	横堀角次郎	美術ジャ ーナル	復刊 2
写生行	山口 吉旺	ア ー ト	20の2	横山潤之助<画人再 評価>	朝日 晃 神原 泰	美術グラ フ	21—9
漢和辞典の楽しみ	山下 菊二	芸術新潮	267	高岡時代の横山大観 <未発表作品を中心 に>	中村 溪男	三 彩	289
山下菊二の世界<明 日に期待する・10>	木島 始	美術グラ フ	21—8	横山大観の芸術と自 然象徴主義・再評価 したい日本美術の伝 統と特質	橘 天敬	日本美術	85
情念の凍結・山下清 澄のエロス	竹内 健	芸術生活	270	小説・生々流転一横 山大観の生涯	近藤啓太郎	中央公論	1~5
雑感	山下 充	絵	96	横山松三郎の洋画	渋谷 四郎	萌 春	210
聖像画家イリナ・山 下りん女史について	外山卯三郎	"	104	横山松三郎再考	"	"	213
山田申吾「緑風」に よせて	竹田道太郎	点 描	8	魚魚展	横山 隆一	毎 日	5.23
山茶花会<交遊抄>	山田 申吾	日 経	4.28	吉田克朗<現代版画 の12人・4>	岡田 隆彦	中央公論	4
山田新一<この人と 語る>	(中野)	日本美術	92	沖 縄 の あ か と り <び・い・ぶ・る 文 房具>	吉田 穂高	芸術新潮	270
対談・愛美社のころ	宮脇 晴 山田睦三郎	素 描	21(1972. 9)	吉田穂高のエロス世 界	中井 英夫	芸術生活	275
誠実な巨匠・山本丘 人<特集・山本丘人 の芸術>	三宅正太郎	ア ー ト	20の2	模索するニューギニ アの原始美術	吉田 穂高	朝日夕刊	9.4
丘人芸術の内景	桑原 住雄	三 彩	287	豪州の日本版画熱	"	東 京	9.26
山本丘人	細野 正信	萌 春	211	山頭火ブームに見る 現代文明の病根の深 さ	吉田 正明	日本美術	92
山本春拳の回想	仙波 健	三 彩	282	「動物マンガ百科」で 第一回日本漫画家協 会賞を受賞したヨシ トミ ヤスオさん	(武)	京 都	4.1
暖炉の傍<び・い・ ぶ・る ながい冬の 夜>	山本 正	芸術新潮	266	眼の欲情・吉原英雄 のエロス	岡田 隆彦	芸術生活	269
一人一人を見つめて <び・い・ぶ・る 最後の授業>	山本 豊市	"	267	吉原治良を悼む一 「自身の表現」貫く ソーン・エ・シルエッ ト	乾 由明	毎日夕刊	2.21
(ユ)				萬鐵五郎の足跡	吉本 弘	素 描	7 (1969. 6)
結城栄三と原健につ いて	三木 多聞	芸術生活	271	飄逸と苦渋一萬鐵五 郎の世界	三宅正太郎	ア ー ト	20の1
カラクリの日常	結城 栄三	"	"	熊谷守一と萬鐵五郎 1~4	宮川 寅雄	芸術生活	271
せちがらくなった北 欧一柚木伸一さんの 便り		朝 日	2.17		池辺 一郎	美術グラ フ	21—4, 6, 7, 10
(ヨ)							
横井弘三の焼絵	飯沢 匡	芸術新潮	272				

萬鐵五郎<画人再評価>
大正期の証言者・萬鐵五郎

原田 実 美術グラフィック 21-5
匠 秀夫 みづゑ 806

(ワ)

若江漢字<現代版画の12人・8>

中原 佑介 中央公論 8

師・藤島武二<画家が語る画家>

若松光一郎 美術ジャーナル 復刊 1

井上靖・脇田和詩画集「北国」<随筆>

串田 孫一 三 彩 295

真逆さまに落ちた階段<び・い・ぶ・る 階段>

渡辺 学 芸術新潮 272

ジャパン・パンチとチャールズ・ワーグマンー諷刺とボンチ絵

横田 洋一 三 彩 295

画伯たち(伊藤慶之助、上野山清貴、栗原信、中村研一、宮本三郎など)

寺崎 浩 絵 98

新人に期待しようー昭和会と版画グランプリ

三宅正太郎 〃 102

弥次馬的随想(木内克、小泉清、原精一)

小貫 章 〃 106

また楽しからずや(山楽、東山魁夷、鉄斎)

多田 裕計 芸術新潮 271

ニューヨークの日本人芸術家・逞しく生きる愛すべき人たち(草間弥生、中川直人、川端実、篠原有司男、森本洋充、桑山タダスキー、磯辺行久など)

トーマス・ハール 芸術生活 272

私の好きな作家たち

1. 尊敬と期待をする作家(木沢定一、堀田清治、桜井浜江、近藤吾朗、大町礼)

田近 憲三 日本美術 86

2. 私の期待する作家たち(片岡球

植村鷹千代 〃 〃

子、小野具定、福王寺法林、堀文子、山口長男、塙賢三、小野州一、北山泰斗、森秀雄、小田襄、保田春彦、瓦林睦夫、半田富久、最上寿之)

3. 素朴派の新人を中心に(中西勝、後藤よ志子、井上悟、斎藤真一、村上肥出夫、小松崎邦夫、辻司、能登房之)

安井 収蔵 〃 87

4. 私の時代を劃した作家たち(河

北村 由雄 〃 〃

原温、池田満寿夫、磯辺行久、工藤哲己、流政之、小島広志、多田美波、柳原睦夫)

5. 思いだすまま好きな作家を(笹島喜平、朝井閑右衛門、小林巢居人、小山敏三、岡田謙三、高間惣七、岩田藤七、津田青楓)

三宅正太郎 日本美術 87

座談会・とにかく馬鹿まじめにやろうー真実一路、自分の画を求めて

大内田茂士 阪倉 宜暢 〃 86
笹岡 了一
西尾 善積
日野耕之祐

特集・発言'72ー創造の原点(宇佐美圭司、磯辺行久、近藤龍男、高山登、村岡三郎、鈴木慶則、大西清自、河口龍夫、木村光佑、榎倉康二、柏原えつとむ、中里斉、青山光佑、田中信太郎、狗巻賢二、松沢宥)

針生 一郎 みづゑ 804

「ヨーロッパの日本作家」展出品作家アンケート(吾妻兼治郎、宇津宮功、大谷文男、小倉浩二、高野稔、木村忠太、佐藤亜土、佐藤敬、菅井汲、高橋秀、田中阿喜良、田淵安一、千葉勝、豊福知徳、中井克巳、長岡国、長谷川潔、浜口陽三、平賀敬、松谷武則、水井康雄、南桂子、宮本浩二、山県寿夫)

視 る 65

末刊のフォト・エッセー「ニューヨークの日本人アーティスト」

読 売 8.2

美術界で活躍するニューヨークの日本人ー彫刻に、絵画に

毎日夕刊 1.31

作家(外国)

特集 ガエ・アウレンティの仕事

訳・有馬宏明 S D 95

アンソールの仮面劇<フラッシュ>

窪田 般彌 みづゑ 813

アンソールのなかの海

陰里 鉄郎 視 る 67

アンソールのことば

〃 〃

告白的芸術家論・アンソール・ルソーに関するムツ語録

畑 正憲 芸術生活 279

ジョン・イブスラギー彫像と自己の発掘作業<オブセッシング・イメージ4>

富岡多恵子 みづゑ 808

定期刊行物所載文献

ヴィンターズ・ベル ガー＜オブセッシヴ ・イメージ9＞	野村 太郎	みづゑ	813	＜裸＞と＜着衣＞の あいだ（ゴヤ）	田中 英道	美術手帖	353
優しさとの触れあい ートム・ウエッセル マン会見記	大石 尚	美術手帖	375	感性の倫理・ゴヤ ＜神々の愛でし都・ 24＞	栗田 勇	芸術生活	269
ウーヅラ＜オブセッ シヴ・イメージ3＞	野村 太郎	みづゑ	807	告白的芸術家論・ゴ ヤにおける俗と掟	三神 真彦	〃	〃
ピカソ、エルンスト の贋作を描いた画家 オスカー・ドミン ゲス＜真贋104＞	江原 順	芸術新聞	272	ビデオでコミュニケ ー！	マイク・ゴ ールドバー グ	美術手帖	353
カスターニョ「三位 一体と聖ヒエロニム ス」＜美の美＞	三輪 福松	日 経	5.30	コロ「真珠の女」 ＜美の美＞	小磯 良平	日 経	2.10
遊ぶことこそ人生だ ー芸術家廃業のすず めⅡ	アラン・カ ブロー	美術手帖	358	この目で日本をみて 1.美術工芸家の生 存	クワベナ・ サルボン	毎 日	8.25
エドワード・キーン ホルツ＜オブセッシ ヴ・イメージ10＞	飯田 善国	みづゑ	814	ニキ・ド・サンファ ール「万有の母」館 の女主人＜オヴセッ シヴ・イメージ6＞	野村 太郎	みづゑ	810
特集 ルーカス・ク ラナッハーヤヌス 的二面性の画家	千足 伸行	〃	〃	シケイロスと現代美 術批判＜フラッシ ュ＞	岡本 太郎	〃	811
ルーカス・クラナッ ハ「アダムとイブ」 ＜美の美＞	山田智三郎	〃	4.7	シケイロスの目に映 った日本文化	（米） 朝 日	7.4	
ルーカス・クラナッ ハ「二羽の連雀」 ＜ 〃 ＞	坂崎 乙郎	〃	5.19	シケイロスとの古都 の旅	米倉 守 絵	103	
ルーカス・クラナッ ハ「エバ」（部分） ＜ 〃 ＞	富永 惣一	日 経	6.23	メキシコのエネルギ ー・シケイロスの芸 術	東 珠樹 点 描	8	
ルーカス・クラナッ ハ「馬上の槍試合」 ＜ 〃 ＞	久保貞次郎	〃	7.14	メキシコの旅から （上）画家のシケイ ロス氏	杉山 喬	朝日夕刊	4.3,4
クラウヴェの「吟遊 詩人」	神吉 敬三	芸術新潮	271	（下）大学の庭	丸木 俊	美術グラ フ	21-8
アンソニー・グリー ン＜オブセッシヴ ・イメージ7＞	野村 太郎	みづゑ	811	シケイロスのこと ＜リアリズムへの視 角＞		読売夕刊	6.15
ハンス・バルドゥン グ・グリーン「ムキ ウス・スカエウオー ラ」＜美の美＞	高階 秀爾	日 経	5.26	来日したシケイロス ＜手帳＞	三好豊一郎	芸術生活	275
クールベ 画家のア トリエ（部分）＜美 の美＞	今泉 篤男	〃	3.10	シャガールの石版画 「ダフニスとクロエ」 ・閑雅なエロティシ ズム	呉 茂一	〃	〃
エル・グレコ「橄欖 山の祈り」＜ 〃 ＞	神吉 敬三	〃	9.29	「ダフニスとクロエ」 をめぐって・その時 代と背景	種村 季弘	〃	278
グレコの「足」論争		朝 日	12.19	イヨルク・シュマイ サーのエロス世界	野村 太郎	みづゑ	806
官能のグレコ（エミ リオ）頌	長谷 泰	芸術生活	276	ベルナルト・シュル ツェ＜オヴセッシヴ ・イメージ2＞	ジョセフ・ ラヴ	美術手帖	354
ディックスとグロッ ス（特集・鉄十字へ の反逆）				多すぎる足跡ージ スパー・ジョーンズ の近代版画	斎藤 稔	日 経	7.21
1.1930ー海水浴場 の様板戯	木村 恒久	みづゑ	811	ハンス・レオンハル ト・ジョイフェライ ン「キリストの笈打 ち」＜美の美＞	辻 茂	芸術新潮	266
2.我が諷刺画考	平賀 敬	〃	〃	ルーヴルの「田園の 合奏」はジョルジョ ネカ＜真贋・98＞	東 珠樹 点 描	7	
ニセ扱いされた名画 ーゲインズバラ「貴 族一家」・再発見		朝 日	7.21	イタリア美術紀行ー ヴェネツィアのジョ ルジョーネ	ロマルド・ ジョゴラ	S D	89
ゴッガンは殺され た？	大森 啓助	絵	105	都市と建築の映像ー 部分像のリアリズム （建築文献参照）	松沢 宥	美術手帖	360
特集 ゴヤ・ゴヤと 近代精神＜時代を透 視する画家＞	金子 司郎	三 彩	282	GEORGE&GILBERT G&G 氏との一昼夜			

スルパランの静物画	遠藤 恒雄	愛知県立芸大紀要	2	ランダウエアー祭壇の画家「トウ・ヒヤー夫妻」＜美の美＞	高橋 巖 日 経	4.21
ランボーとスワンベルクの詩画集「イリュミナシオン」	出口 裕弘	みづゑ	813	ドガの彫刻をめぐる	三木 多聞 絵	102
パリのコレクターの思い出(セザンヌ収集家)	富永 惣一	絵	103	ピカソ、エルンストの贋作を描いた画家オスカー・ドミンゲス＜真贋104＞	江原 順 芸術新潮	272
「捧げ銃」レオ・ラルギエーのセザンヌ回想より	大森 啓助	〃	98	アンドレ・ドランの「上半身裸像」	北島 織衛 求 美	10
ゾンネンシュターンの死亡騒動	青木 外司	芸術新潮	268	音とイメージ・ハウペンシュトック・ラマティの銅版画集「星座」	栗津 則雄 みづゑ	808
特集・ダリの「ソロモンの雅歌」		〃	269	バザルリの作品	植村鷹千代 アイデア	112
1. ダリの「ソロモンの雅歌」	岡谷 公二			ソムチャイ・ハダキコソールさん＜十字架＞	毎日夕刊	6.17
2. スペインの随想ダリと文化風土	増田 義郎			「バラドンとユトリロ展」を見る	大久保 泰 毎 日	5.15
ダリの「シュールレアリスム回想」	東野 芳明	〃	276	母性愛に生きたバラドン	〃	5.16
ダリ会見記	安田 謙	京 都	7.21	あなたもお答えねがいませーハンス・ハーフの＜質問表＞	飯村 隆彦 美術手帖	361
ダビンチの思考＜開発の論理＞を考える・2＞	会田 周平	毎日夕刊	8.25	ピカソ＜アヴィニヨンの女たち＞再考(1)	八重樫春樹 国立西洋美術館年報	6
ヴェネツィアの画家チチアーノ	東 珠樹	点 描	8	ピカソと新しい世代ピカソ90歳によせて	村木 明 みづゑ	804
チントレットの「天国」	〃	〃	9	ピカソ、エルンストの贋作を描いた画家オスカー・ドミンゲス＜真贋104＞	江原 順 芸術新潮	272
ディックスとグロッス(特集・鉄十字への反逆)		みづゑ	811	明治の諷刺画家ージョルジュ・ビゴー	福永 重樹 三 彩	296
1. 1930—海水浴場の様板戯	木村 恒久			ジョルジュ・ビゴー＜リアリズムへの視角＞	須山 計一 美術グラフィ	21—10
2. 我が諷刺画考	平賀 敬			ジョルジュ・ビゴーと諷刺	酒井 忠康 みづゑ	812
ティントレット「水浴のセザンナ」(部分)＜美の美＞	中山 公男	日 経	1.28	ビリービンの民話挿絵・絵に拠る抵抗	内村 剛介 芸術生活	272
特集・デューラーとその時代精緻なる知的宇宙空間		みづゑ	808	ハンス・ビッテン「悲しみの聖母」(部分)＜美の美＞	マルチン・ラウムシュッセル	日 経 6.30
不安なルターの家たち	田中 英道			フォンタナの思い出ー回顧展を見て	豊福 知徳 芸術新潮	271
デューラーと木版画	黒崎 彰			レオノール・フィニ特集	芸術生活	279
デューラーの素描にあらわれた古典古代の伝統	下村 耕史	九州産業大学芸術学部研究報告	3—1	レオノール・フィニにおける女の性	大原 富枝	
デューラーのイタリア体験 上・中	勝 国興	人 文 学	122,123	レオノール・フィニース フィンクス・女の謎	巖谷 国土	
アルブレヒト・デューラー「十字架のキリスト」＜美の美＞	嘉門 安雄	日 経	4.28	レオノール・フィニとの対話	栗田 亮	
アルブレヒト・デューラー「神殿の中の12歳のキリスト」＜美の美＞	前川 誠郎	〃	6.3	死とエロスの戯れ(レオノール・フィニのサテュルコン)	種村 季弘 芸術生活	269
アルブレヒト・デューラー「エジプトへの逃避」＜〃＞	三輪 福松	〃	7.7	フジタよあなたは…太平洋戦争記録画からの考察	菊畑茂久馬 美術手帖	353
デューラーの名画切手	山下 武夫	萌 春	214			
デュシャン透視考 1～5	東野 芳明	美術手帖	352,355, 357,359, 360			

定期刊行物所載文献

フジタのサイン—戦争画時代を回想して	夏堀 金弘	絵	96
新観光地「シャベル・フジタ」		東京	9.12
「スフィンクスは美の規範」来日のエルンスト・フックス氏は語る		読 売	4.13
フックスの浴室	栗田 亮	芸術新潮	272
エーリッヒ・ブラウアー—牧歌的幻想の画家	〃	芸術生活	273
ブラック「絵を描く女」<美の美>	寺田 竹雄	日 経	2.11
ピエロ・デラ・フランチェスカ「橋桁を礼拝するシベの女王」<美の美>	摩寿意善郎	〃	2.18
ピエロ・デラ・フランチェスカの<管打ち>	長谷川三郎	国立西洋美術館年報	6
ブリュッゲルの複眼	田中 英道	美術手帖	353
ブリュッゲルの眼	森 洋子	〃	352
ペーテル・ブリュッゲルの版画—混沌を見据える静かな眼	渡辺 広士	芸術生活	273
「大きな魚は小さな魚を食う」によるペーテル・ブリュッゲルとの三日間	酒井 忠康	視 る	64
ペーテル・ブリュッゲルの「節制」のイコノグラフィについて(2)	森 洋子	美術史	83
ブリュッゲルの版画の世界	〃	三 彩	285
ブリュッゲル「農婦の頭部」<美の美>	嘉門 安雄	日 経	2.14
二人の若手研究者に否定された八十余点のブリュッゲル<真贋100>	森 洋子	芸術新潮	268
銅版画集「ヨブ記」29号室のウィリアム・ブレイク	酒井 忠康	みづゑ	807
カルチュ・ブレッソン写真展によせて	浜岡 昇	視 る	57
詩の心をうたう—カルティエ・ブレッソン写真展	上野 照夫	〃	58
文化財としてのブレッソンの写真	池田 弘	〃	〃
ブロンツィーノ—ビーナスとキュービッドの寓喩<美の美>	前川 誠郎	日 経	2.25
アンジェロ・ブロンツィーノ「牧人たちの礼拝」(部分)<美の美>	坂本 満	〃	12.8
特集 フランシス・ペイコン 実在的不条理の肖像		みづゑ	810
夜の訪問者 フランシス・ペイコン	酒井 忠康		

氏の告白

前衛芸術家の廃業宣言・バーナー・ベネット創作5年で	瀬木 慎一	読 売	4.22
ゲオルク・ベンツ「聖ヨセフ」<美の美>	土方 定一	日 経	5.12
イタリア美術紀行—ボツチチェリとリッピ	東 珠樹	点 描	3
フェルナンド・ボテロ<オブセッシング・イメージ8>	日向あき子	みづゑ	812
ハンス・ホルバイン「シャルル・ド・ソリエの肖像」<美の美>	宮本 三郎	日 経	5.4
イタリア美術紀行—カルミネ寺のマサッチオ	東 珠樹	点 描	5
マサッチオ「楽園追放」(部分)<美の美>	高階 秀爾	日 経	8.18
マチス「オダリスク」<美の美>	柳 亮	〃	3.23
マネ「ミシェル・レビ夫人の肖像」<美の美>	中山 公男	〃	5.25
世界の現代彫刻家—ヘンリー・ムーアとマリノ・マリニ	三木 多聞	季刊現代彫 刻	1
ミケランジェロ「ピエタ」<美の美>	富永 惣一	日 経	1.21
ヘンリー・ミラーの水彩画	久保貞次郎	芸術生活	276
「幻の名画」を追って—十年—ムリリョ「帯の聖母」<真贋103>	中山 正美	芸術新潮	271
ジェームス・メイソン作「垂直の彫刻」	鈴木 健二	視 る	67
機械の好きなメクセル	松本 武	芸術新潮	270
モジリアニ(祝出真治所蔵)		朝 日	8.18
「バラドンとユトリロ展」を見る	大久保 泰	毎 日	5.15
ジョン・ラファージと日本	村形 明子	季刊芸術	21
ジョルジュ・ドウ・ラ・トゥール「悔恨するマドレーヌ」<美の美>	田中 英道	日 経	3.3
ジョルジュ・ド・ラ・トゥール「聖誕図」<美の美>	〃	〃	10.13
高松のイサム家(イサム・ノグチ)	桑原 住雄	芸術新潮	270
イタリア美術紀行—ボツチチェリとリッピ	東 珠樹	点 描	3
ロイ・リヒテンシュタイン—パラドックスの絵画又は批評的絵画を批評する	飯田 善国	季刊芸術	22
ティルマン・リーメンシュナイダー「十字架のキリスト」<美の美>	堀米 庸三	日 経	6.9

アンリ・ルソー「夢」 ＜美の美＞	岡 鹿之助	日 経	1.14
ルドンの花のこなど	谷川 徹三	絵	103
オディロン・ルドン と想像力絵画の諸問 題(1)	村上 暁子	美術史	84
ボルドー美術館名作 展のルドンについて	匠 秀夫	素描	19(1971. 9)
ルノワール「母親と 娘たち」＜美の美＞	高階 秀爾	日 経	1.3
ルーベンス「カロー の勝利の山車」＜美 の美＞	黒江 光彦	〃	5.31
レジエへの誤解 リアリズムへの視角	上原 二郎	美術グラ フ	21—5
特集 フェルナン・ レジエ 色彩と形体 のダイナミズム		みづゑ	806
機械文明のヘラク レス	八重樫春樹		
「絵画の機能」より	沢・進来廉		
人気のなかったレジ エの再認識＜フット ライト＞	顰 嘔	芸術新潮	268
アントン・レームデ ンの銅版画—変相の トポグラフィ—	池内 紀	みづゑ	810
ワシントンで開かれ た「ロダンの真贋 展」＜真贋105＞	瀬木 慎一	芸術新潮	273
ロルジュの裏方を勤 める	柴沼 栄至	〃	〃
ジャパン・パンチと チャールズ・ワーグ マン—諷刺とボンチ 絵	横田 洋一	三 彩	295
ジャン・アントワー ヌ・ワトー「パリス の審判」＜美の美＞	坂本 満	日 経	7.28
文化使節として来日 したソ連の芸術家 ユーリー・ワシーリ エフさん＜人間登 場＞	(江本嘉伸 記者)	読 売	8.2
ワロキエの《オズヴ ィエットの城砦》—凄 愴な風景	三宅正太郎	S D	90

美術関係者

禅画を愛して50年— 淡川康一さん		京都夕刊	9.18
網干善教＜ぶろふい る＞		東 京	4.4
師會津八一のこと	小杉 一雄	毎日夕刊	9.8
ある学者商人(石黒 孝次郎)＜憂楽帳＞		〃	11.30
京都市美術館長にな った井島勉教授		京 都	4.4
井島勉氏へ贈る退官 記念論文集「芸術的 世界論理」を刊行		〃	6.27
岡倉天心＜日本の巨 匠 4＞	乾 由明	日本美術 工芸	403

岡倉天心の虚像＜フ ラッシュ＞	佐々木静一	みづゑ	806
大橋嘉一＜ぶろふい る＞		東 京	5.13
甲斐浩＜ひと＞	(弘)	毎日夕刊	12.7
ギャラリー“東洋人” 開店	亀井 文夫	読売夕刊	8.31
小林勇＜私の履歴 書＞		日 経	2.23
小堀鐸二氏＜シンク タンク＞	(影)	京 都	6.19
「古筆」をまとめた 小松茂美さん＜イン タビュー＞		朝 日	10.23
今文化庁長官最後の “独演”		〃	7.1
「文化国家」に労し た四年—初代文化庁 長官をやめて	今 日出海	芸術新潮	274
沢木四方吉なき後 は…	沢井 清	〃	273
高松塚古墳(カラー)	末永 雅雄	日 経	4 14
率直な批評家(高橋 新吉)	手塚 富雄	〃	5.24
高橋誠一郎さん＜人 間登場＞	(酒井堅次)	読 売	2.4
高橋誠一郎＜ひと＞	(川)	朝 日	12.22
伊達宗泰＜ぶろふい る＞		東 京	4.4
「銅鐸は生きている」 の徳力彦之助さん ＜著者と一時間＞		京 都	10.9
評論家・富永惣一氏 古希記念に「画展」 ＜メモらんだむ＞		朝日夕刊	7.7
越前焼を研究する長 尾善晶さん＜町の研 究家＞		京 都	1.10
ヒッピーの草分けサ ダキチ・ハルトマン		読売夕刊	1.5
松下降章さん＜暮ら しのなかで＞		京 都	4.24
宮川寅雄先生＜交遊 抄＞	林 寿郎	日 経	12.6
鷗外の焼き芋来歴	野田宇太郎	読売夕刊	2.22
柳沢孝さん＜人間登 場＞	高橋 一男	読 売	10.8

吉川逸治教授略歴・ 主要論文		名古屋大 学文学部 研究論集	57
雑 録			
《時評・海外展》			
芸術'72回顧		朝 日	12.28
美術・商業と観念 両極分化			
美術 この一年	F	京 都	11.19
72年の足跡 その3・美術		〃	12.27

定期刊行物所載文献

激動と混迷の文化界		毎日夕刊	12.21
1972年の回顧	植村鷹千代	絵	106
美術季評	岡田 隆彦	季刊芸術	20
	宮川 淳	"	21
	藤枝 晃雄	"	22
	東野 芳明	"	23
諸芸術の交流について	渡辺 央充	国際文化	219
ケルンの国際家具見本市に出品して	藤原 健嗣	読 売	3.9
「日本展」(ジャパン・アート・フェスティバル)に人影なく芸術>	小川 正隆	朝 日	3.28
ミラノーバ通信(上・下)	"	朝日夕刊	7.20, 21
第5回「ドクメンタ」展	"	"	7.31
「ローゼンクイスト回顧展」	近藤 竜男	毎日夕刊	6.1
ポーランド通信・クラクフ国際版画ビエンナーレ展(上・下)	小川 正隆	朝日夕刊	8.10, 11
デザインの見たミューンヘン五輪	植村鷹千代	東京夕刊	8.19
ミューンヘン五輪芸術展(上・下)	荒川 浩和	読売夕刊	9.6, 7
国際舞台での日本陶器・国際シンポジウムに参加して	永竹 威	朝日夕刊	10.3
《ワイセツ・著作権裁判》			
＜今月の焦点＞			
森山＜ワイセツ＞裁判・裁かれる肉体のラジカリズム	働 正	美術手帖	352
同・期せずして“60年代美術”回顧に	"	"	358
写真著作権問題	塩原 経史 柳本 尚規	"	353
白川・アマノ裁判・写真の“見る権利”を構築せよ	木村 恒久	"	356
同・著作権から遙か離れて	柳本 尚規	"	358
同・単純な解釈に還せ	冬野 木枯	"	360
《芸術院賞》			
芸術院賞＜憂楽帖＞		毎日夕刊	2.29
芸術院の悪徳＜憂楽帖＞	(収)	"	6.7
芸術院のあり方と会員送出はいかにすべきか(アンケート)		日本美術	87, 88
	小野 竹喬 持田 大久保作次郎	点 描	1
	"	"	"

院賞問題＜対談＞	持田 多嘉示 清水六兵衛 清水六兵衛 持田 藤七 岩田 土牛 持田 土牛 奥村 土牛 持田 土牛 鬼頭鍋三郎	点 描	1
	"	"	"
	"	"	"
	"	"	3
	"	"	"
決定迫られる院賞問題	(M)	"	4
院賞	"	"	"
	耳野卯三郎 持田 桂華	"	"
院賞問題＜対談＞	金島 桂華 持田 政広 沢田 青児 東郷 青児	"	"
	"	"	"
芸術院会員相互の声	"	"	9
工芸会員送出問題	日野耕之祐	"	11
洋画	植村鷹千代	"	"
日本画	竹田道太郎	"	"
《美術団体》			
解散した具体美術協会	木村 重信	読 売	4.11
"	白髪 一雄	美術手帖	356
日宣美解体三年、そして今	瀬木 慎一	芸術生活	278
「新日展事務所建設に当って」	山崎覚太郎	点 描	9
《美術市況》			
画商功罪？＜美心暗疑6＞	山田 哲夫	京 都	2.25
ブームに乗って卒業制作展盛況	"	読 売	3.2
絵の値上がり＜憂楽帳＞	(収)	毎日夕刊	3.14
そんなに働けない・若手芸術家休筆宣言続出＜レシーバー＞	"	読 売	5.28
美術商は頭を冷やせ＜憂楽帳＞	(収)	毎日夕刊	7.5
絵画ブームの問題点	(北)	日 経	8.11
美術投資家＜憂楽帳＞	(収)	毎日夕刊	8.17
異常なブーム「絵画投機」	"	読売夕刊	10.17
絵の価値の変化＜文化往来＞	"	日 経	11.24
21億円の絵・国際美術市場最近の動向	脇村義太郎	絵	95
特集・芸術公害・美術の場合	"	芸術生活	269
1. 展覧会	宗 左近		
2. 絵画の値段	寺井 耕治		
3. 批評ジャーナリズム	石子 順造		
斜視的オクション見聞記(特別レポート)	宗 左近	"	270

不愉快な美術投資家たち	安井 収蔵	素描	21(1972.9)
繁栄する美術市場の裏がわ	"	芸術新潮	266
値段から見た「画家が死んだとき」	朝日 晃	"	270
こけし収集家の狂奔ぶり	橋本 正明	"	271
輸入美術四百億円の質と量	瀬木 慎一	"	"
ロンドン美術市場での日本商人行状記	"	"	272
銀行と手を組んだ画商	安井 収蔵	芸術新潮	294
特集・公開オークションの落札値段	佐々木静一	"	276
小特集・この異常な美術ブームに思う	諸 家	日本美術	91
" 統	"	"	92
初の公開オークション開く＜今月の焦点＞	牛久保公典	美術手帖	352
《美術館・文化財保護》			
開館20年を迎えて一新春対談	小林 行雄 河北 倫明	現代の眼	206
特集・博物館	"	"	212
博物館・美術館・その回顧と展望	星野 直隆		
美術館の出現とその基礎	樋口 秀雄		
美術館とは	倉田 公裕		
開館20年記念	"	"	213
国立近代美術館創設当時の思い出	今泉 篤男		
東京国立近代美術館年表			
創設のころ	風間 勇美		
開館20年記念「現代の眼」展 特集その1	"	"	214
この20年を越えるもの	岡田 譲		
日本画の近代化	久富 貢		
近代洋画百年の歩みから	原田 実		
東京近美に独自性はあるか	(呑み具)	芸術生活	278
東京国立博物館の百年	原田 実	読売夕刊	5.23
百年前の東京国立博物館	樋口 秀雄 椎名 仙草	芸術新潮	267
" (その2 何が展観されたか)	樋口 秀雄	"	268
創立百年の東博＜文化往来＞	"	日 経	11.17
新しい都美術館・構想への提言＜今日の焦点＞	久保貞次郎	美術手帖	357

現代美術館の使命・東京都美術館の改築をめぐって		朝日夕刊	4.26
東京都美術館改築問題	安井 収蔵	素描	4 (1968.12)
都美術館「変身」の課題	(村瀬記者)	読売夕刊	8.25
笠間芸術村の日動美術館	長谷川 仁	"	9.25
笠間日動美術館	井上房一郎 山尾 薫明 長谷川 仁	絵	105
自画像とパレットの美術館(笠間美術館)	桑原 住雄	"	102
ミュージアム・オブモット・アート開設	レス・レヴィン	美術手帖	358
重文建築活用の歴史資料館・福岡市立歴史資料館＜点描＞		朝日夕刊	12.7
「家具の歴史館」誕生		読売夕刊	11.24
民族博物館への道	宮本 常一	芸術生活	271
沖縄の竜宮城・海洋博と海中建築	田村 純	読売夕刊	8.18
美術館拝見			
1. 堂本美術館	(文)	ア ー ト	20-1
2. 大和文華館	(藤)	"	20-2
3. 逸翁美術館	(〃)	"	20-3
メトロポリタン美術館物語 1~4	(丈)	読 売	7.12~16
メトロポリタン美術館騒動	瀬木 慎一	芸術新潮	276
世界美術館めぐり	植村鷹千代		
2. メキシコ近代美術館		点 描	2
3. ガン美術館他			3
4. ウフィッツィ美術館		"	4
5. ブラッド美術館		"	5
ヨーロッパの新しい美術館	朝日 晃	読 売	10.17
欧米美術館駆け歩る記	匠 秀夫	絵	103
博物館の変身	倉田 公裕	読 売	8.22
保存と公開＜標的＞	(瞳)	朝日夕刊	9.27
クラシック美術館の悩み＜美心暗疑＞	松下 隆章	京 都	10.20
近代美術館と現代美術館＜美心暗疑＞	小倉 忠夫	"	9.29
生きた美術館づくり＜美心暗疑＞	村松 寛	"	10.13
美術館と政治的中立＜愛染帳＞	(収)	毎日夕刊	10.12
美術館・その貸しギャラリー化＜美心暗疑＞	藤田 猛	京 都	9.22
地方美術館の明日	村木 明	読売夕刊	11.11
成果上げる地方文化活動一水戸・浜松		読 売	3.16

定期刊行物所載文献

パリに「日本文化センター」を	京 都	12.26	広報紙と文化財<標的>	(煙)	朝日夕刊	2.3
東京国立文化財研究所の20年と文化財保護	岩崎 友吉	読売夕刊	11.18	狂気と文化財<文化往来>	日 経	5.29
奈良国立文化財研究所の20年	(井岡記者)	読 売	11.11	美術品の海外流出と保護	浜田 隆	読売夕刊 6.13
国文学研究資料館設立の意味	市古 貞次	"	7.8	文化人と行政	今 日出海	" 8.1
美術品の収蔵方法<文化往来>	日 経	8.29	国で買上げた十一面観音をめぐって	細見 良	芸術新潮	275
古建築修復と宮大工技術継承へ根本案を	伊藤 延男	読 売	8.17	《高松塚古墳・馬王堆古墳・文化交流他》		
わが分身仏像たち	西村 公朝	日 経	11.7	大藪遺跡の発掘調査順調に進む	京 都	8.5
「如来形立像」に手足をつける	中川 公明	芸術新潮	270	大藪遺跡一棒ぐい列を発掘	"	8.7
文化財「滅亡」の記録		読売夕刊	7.7	一族の墓<遺跡のめざめ>	"	11.10
旧新潟税関庁の修理終わる	伊原 恵司	月刊文化財	102	黄泉の国< " >	"	11.12
旧近衛師団司令部庁舎の保存決定す	橋本 文雄	"	110	府下最大の古墳群	京都夕刊	7.1
改修すすむ赤坂離宮脱皮する文化財保存運動	村松貞次郎	東京夕刊	4.4	弥生期の石ぼこ・奈良で発掘	京 都	8.25
「難波の宮」保存に情熱	大村 利一	日 経	2.27	倭の五王の時代と画文世獣鏡	澄田 正一	毎日夕刊 9.8
文化財破壊<標的>	(煙)	朝日夕刊	5.18	銅鐸と銅鼓の関連追究一北ベトナム学術調査	京 都	5.9
自然破壊に悪質な天竜寺・苔寺など		京都夕刊	10.25	飛鳥の遺跡を語る上・下	岸 俊男 森 浩一 伊達 宗泰	京 都 3.28,29
大丈夫ですか・無形文化財の保存<追跡>		読 売	9.19	余録		毎 日 3.28
埋蔵文化財の破壊者たち	荻 喬	芸術生活	272	天声人語		朝 日 "
環境への墓碑	(松)	毎日夕刊	4.20	凡語		京 都 "
消える名画<憂楽帳>	(収)	"	4.11	感動・万葉の世界	吉田 光邦 小林 行雄	京都夕刊 3.29
高い文化と伝統の島<文化往来>	日 経	5.15	高松塚古墳を発掘して	網干 善教	東 京	3.30
陵墓発掘と文化<天眼>	山崎 正和	京 都	4.3	法隆寺の壁画と別系統の画工か(談)	米沢 嘉圃	読 売 "
芸術の伝統は消えたか・芸術への国家援助をめぐって	飯村 隆彦	読売夕刊	11 13	飛鳥壁画の星座	純田 忠亮	" "
開発と保存・イタリアの都市改造	大村 美国	朝日夕刊	5.22	高松塚古墳の装飾壁画発見	未永 雅雄	" "
修復されたフィレンツェ	杉下竜一郎	芸術新潮	271	金堂以上の価値	鈴木 治	" "
特集・もう手遅れ「イタリアの古都」	西川 幸治	"	272	朝鮮との文化交流の深さみる	井上 秀雄	" "
ヴェニス危機<ワールド・トピックス>	井関 正昭	みづゑ	806	壁画古墳・農民が最初に発見		毎 日 3.31
受難のピエタ	小川 照	芸術新潮	271	飛鳥のカプセル上・中・下		" 3.29~3.31
受難マリア<今日の問題>		朝日夕刊	5.23	飛鳥の壁画古墳(上)	金 達寿	東京夕刊 3.31
文化財保護法の改正文化財保護法の改正を急げ	小林 行雄	"	7.26	" (下)	"	" 4.1
		朝日夕刊	8.23	飛鳥古墳葬者は朝鮮貴人だ(松本清張氏の推理)		" "
				幻想さそう壁画古墳	司馬遼太郎	朝日夕刊 "
				高松塚古墳壁画のナゾ当時の国際関係	西嶋 定生	読 売 "
				被葬者を推理する	直木孝次郎	" 4.2
				美術史からみた価値	源 豊宗	" 4.5

古代の星の思想 渡来文化の渦潮	吉田 光邦 上田 正昭	読 売 〃	4.6 4.8	唐と高句麗—高松塚 古墳の背景	井上 光貞	毎日夕刊	4.19
王手山古墳発見		朝 日 京 都 京 都 毎 日	4.3 〃 〃 〃	朝鮮の四神塚古墳に いて	有光 教一	京 都	〃
飛鳥文化の再発見 壁画の顔料分析に成 功	上田 正昭	朝日夕刊	4.3	高松塚壁画の性格づ け	斎藤 忠	毎日夕刊	4.20
明日香の古墳		読 売	4.3	古墳壁画の保存法		〃	4.22
飛鳥人のナゾ上・中 ・下		日 経	4.3	壁画古墳・飛鳥のカ プセル(上)		毎 日	4.29
掘出された万葉1.2 よみがえった壁画		東 京	4.1~4	再説・高松塚古墳壁 画の意義(1)~(4)	水野 祐		4.25, 26, 27, 5.3, 2
1.麗人		毎 日	4.3, 4	日本文化の原点・古 代日本人の世界観	大林 太良	東京夕刊	5.4
2.高麗尺		朝 日	3.29	〃・日本人の性 格はなぜ多様か	江上 波夫	〃	5.2
3.星		〃	3.30	〃・古代美術と 連合文化	長広 敏雄	東京夕刊	5.9
4.四神		〃	4.1	高松塚壁画古墳シン ポジウム			
5.密封		〃	4.5	日中の学术交流		朝 日	5.4
壁画古墳のナゾ(上)	上田 正昭 網干 善教	京 都	4.1	日朝の学术交流		〃	5.7
〃 (中)	諸 家	〃	4.4	高松塚古墳の時代と 背景	門脇 禎二	〃	5.12
〃 (下)	森 浩一	〃	4.5	韓国・北朝鮮との学 問交流の必要性	田村 圓澄	朝 日	6.1
高松塚古墳壁画の系 統	小林 行雄	東京夕刊	〃	高松塚古墳の波紋 〈現代のことば〉	上田 正昭	京都夕刊	6.2
どうする飛鳥人の遺 産(現地調査団にき く)		〃	4.6	謎が謎を呼ぶ魅力 (高松塚)	松本 清張	日 経	6.30
飛鳥のいぶき上・緊 密な文化交流下)下・ 壁画の作者は		日 経	4.4, 6	高松塚古墳と「帰化 人」公開シンポジウ ムから		読 売	7.6
高松塚古墳壁画座談 会	松下 隆章 岩崎 友吉	日 経	4.1	日朝の考古学・その 接点をさぐる(中)		京 都	7.6
壁画の年代<サイド ・ライト>		読売夕刊	4.8	案じられる高松塚壁 画	上原 和	東京夕刊	7.11
壁画、顔料は8種類	上村六郎(談)	京 都	4.8	「高松塚壁画は大和 絵の源流」	松本隆章(談)	京 都	7.13
高松塚古墳・古代文 化の原点に光<座談 会>	上山 泰平 林屋辰三郎 樋口 隆康	読 売	4.9	朝鮮古代文化と日本 上・下	西嶋 定生	東京夕刊	7.18, 19
壁画古墳の保全に万 全を		読 売	4.9	時をさかのぼる・歴 史科学への招待—高 松塚		朝 日	7.20
高松塚古墳とエトル スク	角田 明	毎 日	4.9	高松塚古墳の壁画・ 共同体の世界イメー ジ	栗田 勇	朝日夕刊	7.25
おんなの服飾史		読 売	4.10, 15, 27,	高松塚古墳被葬者の 背景	梅原 猛	毎日夕刊	8.3
文化遺産と現代		朝日夕刊	4.10, 11	高松塚古墳の保存 上・下	岩崎 友吉 秋山 光邦	朝日夕刊	9.18, 19
高松塚古墳について ・望まれる総合的研 究	井上 光貞	日 経	4.11	再び開く高松塚 高松塚古墳総合学術 調査に望むこと	吉田 隆章	京 都	9.27 9.28
高松塚古墳の星宿	広瀬 秀雄	京 都	〃	百済・新羅の壁画古 墳 上・下	網干 善教	毎日夕刊	10.2, 3
高松塚古墳(カラー)		京 都	〃	古代日本と朝鮮文化 〈対談〉	井上 光貞 金 錫亨	京 都	10.6
朝鮮文化と古代日本 上・中・下	鄭 貴文 上田 正昭	京 都	4.12, 13, 15	「高松塚」共同調査 シンポジウム	池田 源太 秋山 光和 金 錫享 金 朱他	読 売	〃
高句麗文化の影響 (韓国の専門家はこ う推定する)		毎 日	4.14	東アジア文化の中の 高松塚		日 経	〃
高松塚調査団を指揮 して	末永 雅雄	朝日夕刊	4.15				
飛鳥壁画の色彩		京 都	〃				
古代史と天皇陵	森 浩一	京都夕刊	〃				
高松塚古墳・未発見 の星座	野尻 抱影	朝日夕刊	〃				
壁画古墳の幻想	中西 進	読売夕刊	4.18				
高松塚古墳を推理す る	松本 清張	朝日夕刊	4.19				

定期刊行物所載文献

壁画が結ぶ高句麗と日本<対談>	朱有光 栄憲教一	京 都	10.7	彩色帛の名称は檜か一馬王堆漢墓・内棺の飾り旗	横山 貞裕 読 売	9.5
高松塚古墳総合学術調査の成果	(西村記者)	〃	〃	長沙古墳の楽器	押田 良久 朝日夕刊	9.7
高句麗古墳壁画の展示物を見て	有光 教一	朝日夕刊	10.9	古墳壁画の再検討—高松塚の位置づけを	森 浩一 〃	12.20
高句麗壁画古墳記録映画を見て	網干 善教	京 都	10.11	中国文化の奥深さ—発掘された二千年前の死体	関野 雄 京 都	8.2
高松塚学術調査を終って	松下 隆章	東京夕刊	10.13	古代中国の驚異—漢の古墳発掘	長広 敏雄 毎日夕刊	8.3
高松塚壁画模写を前に思う	平山 郁夫	読 売	10.19	前漢人の遺体発見に思う	鈴木 尚 読売夕刊	8.4
日朝文化について<対談>	李 基白 上田 正昭	京 都	10.14	古墳の遺体 (蔵六人)	京都夕刊	8.19
高松塚の世界	梅原 猛	〃	10.24	紀元前の女性のおしゃれ	藤堂 明保 京 都	8.20
古代史の中の朝鮮と日本<対談>	金 錫亨 金本 清張	中央公論	12	馬王堆の発掘と中国考古学会	宮川 寅雄 〃	8.19
韓国の考古学界	金 元龍	読 売	7.22	儒教以前の中国の発見—長沙古墳におも	陳 舜臣 〃	8.16
韓国南部古墳から「舞踊図壁画」		毎 日	12.10	中国における最近の発掘	樋口 隆康 東京夕刊	8.8
韓国の遺跡をたずねて	国分 直一	毎日夕刊	5.22	中国文革中の発掘成果	杉村 勇造 毎日夕刊	4.6
古代朝鮮と日本仏教—日韓研究ゼミに参加して	田村 圓澄	毎日夕刊	8.8	古墳から「文華の精神」を掘る	麻生 良方 日 経	4.28
朝鮮の二つの世界“最古”の印刷物	鈴木 敏夫	朝日夕刊	12.6	三角縁神獣鏡のナゾ—新発見の「景初三年鏡」を追う	岡本 健一 毎日夕刊	9.11
百済の滅亡と扶余の平済塔	青柳 緑	毎日夕刊	9.8	中国古代の紀年鏡—島根の発見		京 都 8.26
中国絵画と日本	鈴木 敬	読売夕刊	1.19	湖北省で旧石器を発見		〃 6.5
中国の屋根の反り上・下	加藤 周一	毎日夕刊	1.12,13	ボロボドールと日本—クリーンヒットの修復費援助	千原大五郎 毎日夕刊	3.3
馬王堆1号漢墓の被葬者	横山 貞裕	読 売	9.26	ボロボドールの仏たち	竹中 信常 読 売	3.26
二千年前の女体—馬王堆漢墓の主人上・下	中島 健蔵	東京夕刊	9.5,6	東アジア世界と日本	西嶋 定生 〃	9.26,28
長沙古墳群の頂点・馬王堆墓	町田 章	毎 日	8.11	14.江戸時代の文化		
長沙古墳カラー写真を見て	小林 行雄	京都夕刊	8.11	16.エピソード		
長沙古墳の語るもの<座談会>	江上 波夫 関野 雄	東 京	8.11	海外との文化交流の問題点 (ポストン美術館「東洋美術名品展」をみて)	鈴木 進 東京夕刊	5.10
長沙古墳の記録映画を見て	米沢 嘉圃 白石 凡	朝日夕刊	8.26	遣唐使の道—東アジア考古学の成果より	岡崎 敬 朝日夕刊	2.1
長沙古墳のカラー写真入手<デスク日記>	中島 博	朝 日	8.27	「末法」と「終末」の間—地獄の思想にも東と西の差	クルト・ブラッシュ 日 経	12.25
記録映画「よみがえる長沙漢墓」—医者の目でみて	渡辺 淳一	東京夕刊	9.14	特集・ヨーロッパとは何か1<座談会>	小堀桂一郎 平川 祐弘 朝吹登水子 高階 秀爾 司会江藤淳	季刊芸術 20
記録映画「よみがえる長沙漢墓」を見て	森 豊	毎日夕刊	9.19	饑礼から見た日本とヨーロッパ		
二千年前の中国—長沙馬王堆古墳の奇蹟	貝塚 茂樹	中央公論	10	芸術に国境なし<文化往来>		日 経 5.23
長沙王墓にまつわる伝説	〃	朝日夕刊	8.7	日本文化研究国際会議について	桑原 武夫 朝日夕刊	11.13
長沙馬王堆漢墓の木棺の彩色は油絵か	上村 六郎	毎日夕刊	10.26			

美術における日本とは(日中文化研究国際会議から)	乾 由明	読 売	11.27
外国人の日本研究<現代のことば>	佐和 隆研	京都夕刊	12.15
《古美術随筆》			
特集「梅」を描いた日本の千年		芸術新潮	268
1. 梅の美学	戸井田道三		
2. 常照皇寺	小倉 遊亀		
3. サクラとぼく横尾忠則の危険な関係	横尾 忠則		
4. 桜	久松 潜一		
5. 東慶寺の桜	瀬戸内晴美		
日本美的再発見 1~10	安岡章太郎	〃	266~274
近江山河抄 1~5	白州 正子	〃	272~276
御伽草子を歩く「あんつぐ」骨董買い美学 1~12	岡部伊都子	〃	266~275
ナポレオン三世・帝制時代末期の花瓶	安東 次男	〃	266~276
李朝初期の白磁丸壺	朝吹登水子	芸術生活	269
ベルシア大皿	〃	〃	270
本多平八郎姿絵屏風	〃	〃	271
「弥次郎」能	杉本 苑子	〃	272
牡丹巴紋沈金御供飯	〃	〃	273
色絵花鳥文深鉢	〃	〃	274
ヴェネツィア・グラス	田中美代子	〃	275
赤絵アムフォーラ	〃	〃	276
青磁鳳凰耳花生	〃	〃	277
二代専好立花園屏風	芝木 好子	〃	278
人形「静」	〃	〃	279
吉祥天女・浄瑠璃寺	〃	〃	280
浮世絵の再評価	矢野 文夫	ア ー ト	20-2
現代の江戸化と浮世絵	村木 明	読売夕刊	1.13
浮世絵ブームの実態「ぼかし」から近づいて「通り抜けた」いま	佐伯 彰一	日 経	11.4
写楽への新しい接近	楠崎 宗重	〃	〃
ナゾの写楽像	楠崎 宗重	芸術生活	271
写楽の謎解き	近藤 喜博	東京夕刊	1.22
蘭医フェイルケの「富士の図」	楠崎 宗重	読 売	1.8
紋章について想うこと<び・い・ぶ・る紋章>	片桐 一男	京 都	6.14
仏涅槃図<美の美>	亀村 平蔵	芸術新潮	274
小鳥と遊ぶ童<〃>	松下 隆章	日 経	3.17
仏像と花<〃>	景山 春樹	〃	3.24
渡岸寺十一面観音像<〃>	森本 孝順	〃	9.14
平家納経薬王品見返し絵	井上 靖	〃	9.22
	松下 隆章	日 経	10.6

《随筆・新聞・雑誌》			
複製技術の意味<標的>	(鳴竜)	朝日夕刊	2.2
近世社寺の歴史<近況>	伊藤ていじ	朝 日	3.6
近沢可也・色彩論争	〃	〃	7.18
川添登<私のにっぽん改造論>	〃	朝日夕刊	8.14
造らない建築家<標的>	(回廊)	〃	9.8
美術家の天国ソ連	小川 正隆	朝 日	10.24
二兎追いかける<近況>	中原 佑介	〃	11.6
美術の断層・ソ連東欧の旅から			
(1)ソビエト・リアリズム	小川 正隆	〃	11.6
(2)クワリニクスの自画像	〃	〃	11.7
(3)アフトラグランド	〃	〃	11.8
(4)インサイト・アート	〃	〃	11.9
(5)オブジェクトUSA	〃	〃	11.10
なるとする<私録語録>	井島 勉	京 都	1.10
冬のバリとフランドルの古都	植村鷹千代	〃	1.16
窓<現代のことば>	上田 篤	〃	3.30
エロス表現の行く手<美心暗疑>	上野 照夫	〃	3.31
体験的情報公害論<現代のことば>	佐和 隆研	京都夕刊	5.1
沖縄美術界の現状	早川 勝己	京 都	5.19
庭<現代のことば>	上田 篤	〃	〃
日本画・再考	河北 倫明	〃	6.16
評論家は寄生虫?	井島 勉	〃	6.23
評論の姿勢	乾 由明	〃	6.30
美術ジャーナリスト	橋本 喜三	〃	7.7
絵画建築<色いろいろ・29>	〃	〃	7.22
一貫製作・否定論	佐藤 雅彦	〃	8.4
お話の絵	中村 二柄	京都夕刊	12.13
27年目の告発一私のなかの国家と天皇	坂崎 乙郎	京 都	8.8
産業と美術<現代のことば>	井島 勉	京都夕刊	11.20
<風信>	東野 芳明	〃	5.19
〃	針生 一郎	〃	8.17
芸術五輪に参加して	斎藤 正治	〃	9.9
人間と建築一<見なれた風景 1>	前田 正英	東京新聞	11.4
事務所一<見なれた風景 3>	七字 祐介	〃	11.18
<風信>	水尾比呂志	東京夕刊	12.27
東洋美術の心	池田 大作	日 経	1.4
絵の下の力持ち	星谷 善男	〃	1.18

定期刊行物所載文献

ヤアアアの仲<交遊抄>	宮尾しげを	日	経	3.13	創作者の孤独	池辺晋一郎	読	売	3.2
古墳にかけた青春<私の学生時代>	網干 善敬	"	"	5.8	ロンドンの共同アトリエー「SPACE」	栗田 亮	"	"	3.28
友というもの<交遊抄>	佐和 隆研	"	"	5.12	絵画とインテリア<風知草>	(道)	"	"	4.9
明治・大正絵はがき世相史	喜多川周之	"	"	6.5	芸術家の自殺	栗田 勇	読売夕刊		5.26
錦絵新聞に見る西南戦争や毒婦物	岡田 信造	"	"	6.12	素朴絵画論<風知草>	(Q)	読	売	8.2
黒楽三味	高橋 一夫	"	"	7.4	ロワールのシャトー物語(上・中・下)	中山 公男	"	"	10.12, 14, 15
世間は狭い<交遊抄>	満岡 忠成	"	"	8.10	韓国美術・散見<美術三十六峰>	藤 慶三	ア	ー	ト 20—3
日本人の美意識<文化往来>	"	"	"	11.2	画家と画商	(南)	"	"	20—1
山種賞の面目躍如<〃>	"	"	"	12.29	ルオーの教訓	"	"	"	"
豪華本の隆盛<〃>	"	"	"	12.31	美術館ブーム	(東)	"	"	"
東洋陶磁の至宝に賭ける	坂本 五郎	"	"	12.31	東京へ集結した仏たち	(北)	"	"	"
思い出すことども・9 ダダイスムの発生<この人と>	内藤 濯 松岡 英夫	毎	日	1.13	あるコレクターの提案	(西)	"	"	20—2
キッシュ<茶の間>	山内 義雄	毎日夕刊		2.4	異端がもてる時代?	(南)	"	"	"
アンコール遺跡<憂楽帳>	(大)	"	"	2.26	こっけいなボルノ論争	(東)	"	"	"
私の運動不足解消法	嘉門 安雄	毎	日	5.1	サギの案内状	(東)	"	"	20—3
目ききの目<憂楽帳>	(収)	毎日夕刊		5.24	展覧会の過剰入場者	(南)	"	"	"
田舎道の洋書店で<ほんとの出会い>	三上 次男	毎	日	7.10	孤島ふうらい私記(1, 2, 3)	酒井 忠康	絵		94~96
魔術<視点>	奥田 直栄	毎日夕刊		9.29	画家とコレクター	佐々木静一	"	"	95~90
地球儀のデザイン<〃>	樋口 敬二	"	"	10.4	石井柏亨初期のパトロン・芝川照吉渡辺隼(六郎)6~10				
つくらない芸術家<〃>	乾 由明	"	"	10.7	アメリカを覗いてみて	田中 穰	"	"	102
古い街の新しいデザイン<〃>	"	"	"	10.14	日本の近代美術史と共に歩んだ四十五年	日動出版編集部	"	"	96
完成と未完成<〃>	"	"	"	10.21	四十五年の歩み	日動画廊史編集部	"	"	100
複製と複数芸術<〃>	"	"	"	10.28	四十五周年を祝して	"	"	"	"
文化勲章の芸術家<〃>	"	"	"	11.4	長谷川君へ	岸 信介			
美術の秋<〃>	"	"	"	11.11	日動画廊と私	堀田 庄三			
ある画家の死<〃>	"	"	"	11.18	数寄屋橋界隈回想	脇村義太郎			
企業文化<〃>	"	"	"	11.25	あの頃	古垣 鉄郎			
スーパー・リアリズム<〃>	"	"	"	12.2	私と酒と日動画廊	石田 博英			
展覧会にて<〃>	永井 路子	"	"	12.8	お祝の言葉	今里 広記			
美術の理解<〃>	乾 由明	"	"	12.9	四十五年回顧	今泉 篤男			
伝統の継承<風知草>	(甲)	読	売	1.20	画廊の年輪	木内 克			
沖縄文化財撮影のころ	鎌倉芳太郎	"	"	1.21	ヴァットーと画商ジュルサンのことなど	土方 定一			
都市計画<東風西風>	北沢 方邦	読売夕刊		3.1	思い出	桑原 幹根			
					日動画廊四十五周年の意義	小山 五郎			
					数寄屋橋界隈	小林 勇			

日動画廊発足のこ ろ	柳 亮			名を刻まれてくび・ い・ぶ・る 文房具>	瀧口 修造	芸術新潮	271
日動画廊の今昔	酒井 億尋			沖縄民芸の昨日・今 日<フットライト>	玉那覇正吉	" "	" "
日動画廊と僕の絵 好き	中島 正樹			失われた漱石の手紙 <くび・い・ぶ・る 忘れえぬ手紙>	瀧口 修造	" "	273
街の美術館	安井 収蔵	絵	100	画家と牧師とさくら んぼ	向井加寿江	" "	" "
四十五周年記念にあ たり	長谷川 仁	" "	" "	去年の“ボンベイ週 間”	青柳 正規	" "	" "
画廊のバイオニア	吉田五十八	" "	101	伍味酉	安井 収蔵	" "	" "
須賀聖堂のアイノコ スタシス	外山卯三郎	" "	103	私と都美術館	近藤啓太郎	" "	" "
額縁印象記	神保 重義	" "	104	ミケランジェロの丘 のヘンリー・ムア展 <フットライト>	小川 熙	" "	" "
ウィーンにいないウ ィーン派の画家	青木 外司	芸術新潮	266	新建築と旧習人	前田 泰次	" "	274
特集・志賀直哉をめ ぐる美		" "	" "	「危険な料理人」	西沢 信彌	" "	275
志賀直哉の美意識	大岡 信			考える芸術パトロン 1. 啓蒙の精神をつ らぬく零三郎		" "	" "
志賀直哉収集の古 陶磁	斎藤菊太郎			2. 赤倉山中に建つ 「芸術と宗教の 社」		" "	276
志賀さんのヨーロ ッパの旅	浜田 庄司			あるコレクターの嘆 き	大川 栄二	" "	" "
志賀直哉と「寧楽」 (川端道喜家にのこ る) 御所つくつく	菅原 明朗	" "	" "	ビグミーの絵	酒井 傳六	" "	" "
ヨーロッパ初の東洋 美術学校	竹本 忠雄	" "	" "	ホーエン・ザルツブ ルグ城の鉄仮面	八幡真佐子	" "	" "
「ドン・キホーテ」 のスペイン製豪華本	岩崎 潔之	" "	267	お客大明神	真下 五一	" "	" "
非合理的家(永松亘 設計)	立原 正秋	" "	268	作品の普遍性とは何 か<芸生時評・美 術>	(呑み具)	芸術生活	269
箸を売る工業デザイ ナー	秋岡 芳夫	" "	" "	国立美術館は誰のも の< " >	(剣)	" "	270
北朝鮮へ石彫を贈る まで	空 充秋	" "	" "	何もしない美術カタ ログの並び大名一積 極的な日本美術の海 外紹介を< " >		" "	271
ルポルタージュ「名 画盗難」	瀬木 慎一	" "	" "	メナム・デルタの遺 跡紀行	松永 伍一	" "	" "
須磨コレクションの “大いなる幻影”<真 贋・101>	神吉 敬三	" "	269	真実ならざる声明書 <芸生時評・美術>	(呑み具)	" "	272
モンゴルの草原にて	西川 幸治	" "	270	現代美術の写真利用 とオリジナル< " >	(剣)	" "	273
机の上くび・い・ぶ ・る 文房具>	宮川 寅雄	" "	" "	危惧される新都美術 館計画< " >	(北)	" "	274
切っても切れない縁	田中日佐夫	" "	" "	もっと個展を論じよ う< " >	(呑み具)	" "	275
古能舞台の発掘	杉野橋太郎	" "	" "	川端康成と古書画趣 味	由良 哲次	" "	" "
特集・川端康成の 「座右宝」		" "	" "	玉石混淆の「新鋭」 展<芸生時評・美 術>	(XYZ)	" "	276
美術商の語る川端 康成	戴本宗四郎 満山 順吉 広田 広熙 長谷川 仁 為永 清司			美術教育の根本的洗 い直しを< " >	(北)	" "	277
「凍雲節雪」と川 端康成	澤野 久雄			国亡びて絵画あり < " >	(剣)	" "	279
回想の“川端美術 館”	石浜 恒夫			熱望される美術振興 財団の設立< " >	(北)	" "	280
川端さんと語った 工芸	前田 泰次						
ストラヴィンスキー 未亡人の情念	ポール・渡 部	" "	271				

定期刊行物所載文献

デザイン界の理不尽な差別意識<芸生時評・デザイン>	(八花卉)	芸術生活	270	蘆刈 I ~ K	加藤 一雄	三 彩	286~296
本はなぜ四角いのか<〃>		〃	271	南窓雑記(一)、(二)	藤本 韶三	〃	292, 295
クラフト運動の危機<〃>	(Z A)	〃	273	温故知新	匠 秀夫	素 描	18(1971. 6)
企業とアートの離婚<〃>	(カウンセラー)	〃	276	イタリア美術紀行	東 珠樹	点 描	2
飽きられたモダン・デザイン	(古尋)	〃	279	古都フィレンツェ		〃	4
都市は看板化しつつある<芸生時評・建築>	(箱男)	〃	269	マリアへのお告げ		〃	4
黒川紀章の明と暗<〃>	(大工)	〃	274	エジプト美術紀行	〃		
説教・絵解<私のための芸能野史・6>	小沢 昭一	〃	〃	エジプトは砂漠のたまもの		〃	10
建物を創らない建築家<芸生時評・建築>	(箱男)	〃	275	ピラミッドと石		〃	〃
タロットの秘密	種村 季弘	〃	〃	貴族と庶民の生活		〃	12
少女コレクション序説	渋谷 竜彦	〃	277	冬の奈良を訪れて	永井 信一	〃	2
開発か保全か、産業か公害か<芸生時評・建築>	(丸)	〃	〃	日本の小金銅仏	〃	〃	3
審査とは評価なりー建築学会賞<〃>	(箱男)	〃	278	二つの清水寺ー田村麻呂伝説と霊水伝説	〃	〃	4
危ぶまれる建築家の存在<〃>		〃	280	「鉦彫り」の仏像ー未完成像か完成像か	〃	〃	5
絵にみる日本人のしぐさ	武智 鉄二	〃	〃	高松塚古墳壁画と百済公州武寧王陵を訪れて	〃	〃	8
メキシコのあれこれ 3~10	新田 陽子	国際文化	211~218	百済古都再訪記	〃		
特集・文人の書		三 彩	282	1. 扶余国立博物館		〃	10
招かれた宴ー「日本の心」展の会場にて	串田 孫一			2. 錦江と扶余の町		〃	11
西安古文物見学記	宮川 寅雄	〃	〃	3. 扶余から公州へ		〃	12
「いる」こと<美術時評>	峯村 敏明	〃	〃	続・美しき旅①~⑩	南 美穂子	日本美術	82~91
「世界は見えていない」<〃>	〃	〃	284	描かれる京洛<京の四委展>	小野 禮子	〃	90
トルコ・ギリシャ紀行 I ~ V	立田 洋司	〃	284~288	新春随想20篇		〃	82
仲介者としての形<美術時評>	峯村 敏明	〃	285	日本人と美	武見 太郎	〃	〃
志賀直哉書画展	阿川 弘之	〃	〃	悪い癖	窪添 孝則	〃	83
超相対主義的見方のすすめ<美術時評>	藤枝 晃雄	〃	286	一枚の自画像	海林幹一郎	〃	84
視覚的な余りに視覚的な物体<〃>	〃	〃	287	吾身を忘れた「瓢々忌」	尾崎 俣士	〃	〃
眼の誤まりについて<〃>	〃	〃	288	桜によせて	目黒 巢雨	〃	〃
概念的な芸術(一)、(二)四<〃>	〃	〃	292, 293, 295	「遠野物語」教策	栗木幸次郎	〃	86
廃都アンコール紀行	松原 濠	〃	295	逆行する文化ー三つの展覧会を開いて思うこと	木村 東介	〃	87
スーパー・リアリズム<美術時評>	藤枝 晃雄	〃	296	俳句と画・よもやまばなし<対談>	山口 誓子	〃	88
				川端康成のコレクション	山本 健吉	〃	〃
				友情と旅ー私の台湾紀行	吉田 正明	〃	〃
				時評	常岡卯三郎	〃	92
					美術ジャーナル	復刊 1	
				「反時代展」展評	馬場 権		
				パン画かき	飯田 久内		
				美術雑誌寸評	南田 勘太		
				美術家考現学	(M・K)	〃	〃
				ジャーナル放談	三浦 三郎	〃	〃
				画商だけが悪いのか	飯田 久内	〃	〃
				新聞批評の重み	坂田 金時	〃	〃
						〃	復刊 2

えのぐや物語<巷談>	向出 茂内	美術ジャーナル	復刊1	"東京ビエンナーレ"が中止になって	峯村 敏明	美術手帖	354
えのぐや物語<〃>	羽生 道昌	"	" 2	具体美術協会の解散<今月の焦点>	乾 由明	"	356
日野市で農業を営む谷長一さん<人/風土>	(H)	"	" 1	Iつらぬいた"精神の自由"			
美術記者の役割	船戸 洪吉	"	" 2	Ⅱ 集団における"絶対者"の死	白髪 一雄		
批評の精神	国行 理果	"	" 1	七人の侍ドイツで街づくり<海外情報>	庄司 達	"	352
批評の錯誤	"	"	" 2	危ういかなヨーロッパ美術界—「第36回ヴェネチア・ビエンナーレ」展<〃>	田中信太郎	"	358
渾沌情況の相犯磁場—「グローバル・アートヴィジョン」の血脈<今月の焦点>	田中 孝道	美術手帖	352	"お国がかり,,でもめしました—「フランス現代美術の十二年」展<〃>	東野 芳明	"	"
身をもってするアングラ批評<〃>	ヨンダ・ヨシエ	"	"	アメリカのビデオ界<〃>	飯村 隆彦	"	360
昭和天保の抜け道なくて…飯沢匡作「天保の戯れ絵」にみる歌川国芳像<〃>	大島 辰雄	"	353	<ドクメンタ>になにをみた	飯田 善国	"	361
まあ、気楽にいこう—第36回ヴェネチア・ビエンナーレ展構想<〃>	東野 芳明	"	354	確かな手ごたえとしての自然—韓国美術家グループの《'71-AG展》を見て<海外情報>	鈴木 慶則	"	353
文化革命の自覚において—『J A A C 1951-70/日宣美20年』に<〃>	木村 恒久	"	355	ビデオ・ブーム、アメリカの状況<〃>	飯村 隆彦	"	354
くすぶる続ける多摩美の塔<〃>	宮川 寅雄	"	"	慶州南山石仏探訪記	永井 信一 萌 春		209
"動く絵"の再発見<〃>	中原 佑介	"	357	曲りくねった遠い道23~31	水沢 澄夫	"	208~216
ハプニングの呪力に託す<〃>	市川 雅	"	358	隠居放言	小高根太郎	"	209
回生の道はあるか—<J A F><〃>	秋野 紅葉	"	359	日本文人画—ニューヨーク展の反響	細野 正信	"	212
<関係>対<部分>?<〃>	峯村 敏明	"	"	現代芸術の問題点—第5回「ドクメンタ」展を取材して	針生 一郎 みづ 糸		813
雑踏のなかで心臓音ドクドク<〃>	今井 祝雄 倉貫 徹 村岡 三郎	"	"	火のパプテスマの既存において<フラッシュ>	織田 達朗	"	807
ビデオの可能性に企業ポリシーを<〃>	山口 勝弘	"	360	現代美術の鳥瞰展<フラッシュ>	乾 由明	"	812
"統覚の失調,,のなかで<〃>	平井 亮一	"	"	ヨーロッパの日本作家展<〃>	中原 佑介	"	814
「造形大」が燃えている<〃>	東京造形大学V D専攻 自主ゼミ運営 委員会書 記局	"	361	Metamofosi dell'Oggetto <ワールド・トビックス>	赤根 和生	"	807
"コンピュータは有能な道具,,<〃>	端山 貢明	"	"	ヴェニス・ビエンナーレ・レポート<〃>	針生 一郎	"	811
地方に咲いた思考共同体<〃>	林 三徒	"	"	世界の文化とモダン・アート展—ミュンヘン・オリンピック展示<〃>	佐々木静一	"	812
技術社会に挑戦の狼煙を(アーバン・オープン・スペース・イン・ヒロシマ<〃>	斎藤 俊徳	"	"	版画とポスターのビエンナーレ<〃>	針生 一郎	"	"
来年の"パリ・ビエンナーレ,,<海外情報>	峯村 敏明	"	"	パリのラ・トゥール展<〃>	田中 英道	"	813
				フランス美術の12年展<〃>	針生 一郎	"	814

海外短信 村木 明 みづゑ 804

カラヴァッジオと
その追従者展
エリッヒ・ヘッケ
ルの回顧展
1492年における発
見の旅展
ウィリアム・ホガ
ースの回顧展
ヨーロッパのグラ
フィック・アート
展
ホアン・ミロの近
作展
ポール・セッフ近
作回顧展

海外短信 " " 806

ティエポロのエッ
チング
ヴァン・ゴッホの
最後の海外展
ジョルジオ・デ・
キリコの回顧展
モンドリアンとヴ
ァントングエルロー
の回顧展
ラディカル・リア
リズムの新しい波
北大路魯山人のセ
ラミック・アート
展
注目される“1960
—70年”展

海外短信 " " 807

ベルギーの象徴主
義者と超現実主義
者展
イギリスのロマン
ティズム芸術展
新企画の“七つの
展覧会”
アンリ・マチスの
彫刻展
ボル・ビュリーの
回顧展
オットー・ディッ
クスの回顧展
17世紀フランドル
派の素描展

海外短信 " " 811

ジョルジュ・ド・
ラ・トゥールの回
顧展
未来派の先駆者ジ
ャコモ・バラの回
顧展
ジョージ・シーガ
ルの近作展
象徴主義・総合主
義世紀末の美術展

“シカゴ・イマジ
スト・アード”展
バーネット・ニュ
ーマンの回顧展
ホイットニーの全
米秀作選抜展の改
組

海外短信 村木 明 みづゑ 812

ヘンリー・ムアの
大回顧展
カスパー・D・
フリードリッヒの
回顧展
ホアン・ミロの回
顧展
クルト・シュヴィ
ッターズの回顧展
ニコラ・ド・スタ
ールの回顧展
西ドイツでプリズ
マ'72年展開催
イスラエルで開か
れたデュシャンの
回顧展
世界を巡回したマ
ン・レイの回顧展

海外短信 " " 813

マントン国際ビエ
ンナーレ展の受賞
者
二つのヨーロッパ
巨匠素描展
バロック時代の
“ヒロインとして
の女性”展
アルベルト・ビー
ルシュタートの回
顧展
アレン・ジョーン
ズの近作展
バーネット・ニュー
ーマンの回顧展
延期されるカーネ
ギー国際美術展

海外短信 " " 814

西ベルリンでター
ナーの回顧展開催
アド・ラインハー
トの回顧展
クルト・シュヴィ
ッターズの回顧展
二つのイギリス前
衛芸術展
クレーン・オルデ
ンバーグのモニュ
メント展
シカゴ・コレクシ
ョンの近代巨匠展
タキスの近代彫刻
展

第8回パリ青年ビ
エンナーレの構想

書 評

よく売れる「京都もの」目立つ豪華美術書の出版		京 都	9.30	ジョーン・サマーソン著・鈴木博之訳「天上の館」SD選書・鹿島研究所出版会	石井 和紘	建築文化	313
「隠された十字架」に反論する(上)、(下)	田村 圓澄	東京夕刊	6.20, 21	明石信道「旧帝国ホテルの実証的研究」東光堂書店	谷川 正己	"	314
田村圓澄氏の反論に「隠された十字架」の法隆寺論をめぐって(上)・(中)・(下)	梅原 猛	"	6.29~7.1	神奈川県立近代美術館編「神奈川県美術風土記一幕末明治初期篇」	小堀桂一郎	三 彩	282
田村圓澄、梅原猛両氏の法隆寺怨霊論争を読んで(上)、(下)	和歌森太郎	"	7.14, 15	土方定一著「岸田劉生」日動出版	高階 秀爾	"	284
上司海雲編・入江泰吉写真「東大寺」	毎 日	6.7	東山魁夷著「画集・窓一馬車よゆっくり走れ」新潮社	藤本 韶三	"	"	"
「新しい芸術に新しい空間を」ピーター・ブレイク、エレン・P・パークレー共同執筆<風知草>	(竹)	"	10.14	東山魁夷画集「美しき峯々の姿」求龍堂	藤本 韶三	"	"
山名文夫・イラストレーション作品集	宮山 峻	アイデア	113	楽しい本「会津八一絵のある葉書」	新庄 嘉章	"	285
草森紳一「日本ナンス画志」大和書房<ブック・レビュー>	本間 健彦	"	114	三木多聞編「近代美術・高村光太郎」	難波田龍起	"	"
平川祐弘「和魂洋才の系譜」河出書房新社<新著縦断>		季刊芸術	21	清水武甲写真集「秩父悲歌」	織田 達朗	"	"
田中英道「ラ・トゥール」造形社<く>		"	23	小野忠重「近代日本の版画」	駒井 哲郎	"	286
H・リード著 増野、多田訳「若い画家への手紙」	中田 耕治	芸術生活	269	ヨエルグ・シュマイサー著「日本瞥見」	田中日佐夫	"	"
草森紳一「日本ナンス画志」	出口 裕弘	"	272	高階秀爾「日本近代美術史論」講談社	藤堂 司郎	"	287
辻邦生著「モネと印象派」	中山 公男	"	278	美術文芸雑誌「方寸」	石井 潤	"	"
泉靖一編「住まいの原型」SD選書・鹿島研究所出版会	鈴木 恂	建築文化	304	織田達朗著「窓と破片」美術出版社	原田 実	"	288
佐々木宏「コミュニティ計画の系譜」SD選書・鹿島研究所出版会	土田 旭	"	305	ジョルジュ・バタイユ著、宮川淳訳「沈黙の絵画」二見書房	里見 達郎	"	289
太田博太郎他編「日本建築史基礎資料集成」中央公論美術出版	大江 宏	"	306	宮川寅雄「近代美術の軌跡」中央公論社	藤堂 司郎	"	"
ヴィンセント・スカリー・Jr.著・長尾重武訳「近代建築」鹿島研究所出版会	石井 和紘	"	307	「高橋由一画集」をみて	芳賀 徹	"	296
セオ・クロスビー著・三沢浩訳「建築：そのンティ・センス」美術出版社	高瀬 忠里	"	310	ヘンリー・ミラー著 飛田茂雄訳「描くことは再び愛すること」竹内書店	吉田 知子	"	"
山口廣著「ドイツ表現派の建築—近代建築の異端と正統」井上書院	渡辺 貞清	"	311	「環境とデザイン」G・エクト著、久保貞訳 鹿島研究所出版会	青柳 幸人	新 建 築	47-1
長谷川堯著「神殿か獄舎か」相模書房	長尾 重武	"	312	佐々木宏「コミュニティ計画の系譜」SD選書・鹿島研究所出版会	服部 峯生	"	47-2
				ビクター・グルーエン著、神谷隆夫訳「都市の生と死—商業機能の復活」商業界	平山 健一	"	47-3
				森田慶一「西洋建築入門」東海大学出版会	向井 正也	"	47-4
				ビンセント・スカリー著、長尾重武訳「近代建築」SD選書鹿島研究所出版会	井上 耕一	"	47-7

西山卯三編、関西グループ著「人間と生活—21世紀の設計(1)」勲草書房	山本 彰二	新 建 築	47—8
山口廣「ドイツ表現派の建築」井上書院	横山 正	〃	47—9
長谷川亮「神殿か獄舎か」相模書房	瀬尾 文彰	〃	47—10
水谷頤介「地域・環境・計画」鹿島研究所出版会	寺門 征男	〃	47—11
亀倉雄策「離陸・着陸」美術出版社	清家 清	〃	47—12
明石信道「旧帝国ホテルの実証的研究」東光堂	天野 太郎	〃	〃
下村寅太郎著「精神史の森の中で」河出書房新社	澤柳大五郎	中央公論	11
末永雅雄・井上光貞編「高松塚古墳と飛鳥」中央公論社	井上 満郎	〃	12
仙石正「新・墨談」	永沢 澄夫	萌 春	207
ポール・トンブソン「ウィリアム・モリスの作品」	羽生 正気	美 学	88
ザイデル、マレイニッセン「ブリュッセル」, クラッセンスルソー「われわれのブリュッセル」, ステカウ「ブリュッセル」	森 洋子	〃	90
H・リード「若い画家への手紙」	酒井 忠康	美術手帖	350
A・ブルトン「野を開く鍵」	中村 宏	〃	352
P・フランカステル「近代芸術と技術」	中原 佑介	〃	353
石子順造「俗悪の思想」	山本 明	〃	〃
高階秀爾「日本近代美術史論」	匠 秀夫	〃	354
ジョルジュ・バタイユ「沈黙と絵画」	田中 英道	〃	355
草森紳一「日本ナンス画志」	辻 惟雄	〃	〃
中原佑介「見ることの神話」	李 禹煥	〃	357
織田達朗「窓と破片」	今泉 省彦	〃	〃
フラー「宇宙船<地球>号」	磯崎 新	〃	〃
日向あき子「原始の心—共有とBe感覚」	加藤 好弘	〃	358
ヨシダ・ヨシエ「戦後前衛所縁荒事十八番」	赤瀬川原平	〃	359
ハロルド・ローゼンバーク「荒野は壺にのみこまれた」	岡田 隆彦	〃	360
C・トムキンズ「花嫁と独身者たち」	東野 芳明	〃	361

中原佑介「人間と物質のあいだ」 藤枝 晃雄 美術手帖 361

展覧会批評 (主要新聞五十音順)

天心と現代日本画展	朝日夕刊	1.10
第3回八樹会展	〃	1.12
片岡球子富嶽36景展	〃	〃
朝鮮の民画	〃	1.17
ゴヤ展によせて	小川 正隆	〃 1.18
出雲大社に大壁画	〃	1.21
萬鉄五郎展	小川 正隆	〃 1.22
山下充展	〃	1.26
島田章三新作個展	〃	〃
麻田浩展	〃	〃
熊谷守一回顧展	〃	1.29
永田力個展	〃	2.2
加藤俊雄個展	〃	〃
加納光於・大岡信「アララットの船・あるいは空の蜜」展	〃	2.4
第7回昭和会展	〃	2.5
ポーランド、ハンガリーの現代版画	小川 正隆	〃 2.9
歌川国芳展	〃	2.12
丸山妙子展、閃光会展、11の主題と変奏展	〃	〃
ピカソ展	〃	2.14
「戦後日本美術の展開」展	〃	2.16
深沢幸雄銅版画展	〃	2.16
斎藤寿一展	〃	〃
藤本よし子エッチング展	〃	〃
ジャン・フサロ展	〃	2.19
結城天童渡吹作品展	〃	〃
4人の道化師展	〃	〃
吉田清志展	〃	2.26
牧進展	〃	〃
ジャスパー・ジョーンズ展	〃	3.2
1972京都ビエンナーレ	小川 正隆	〃 3.3
日本芸術大賞展	〃	3.4
潮展	〃	〃
形真展	〃	〃
木村光佑展	〃	3.8
安井賞展によせて	小川 正隆	〃 3.10
岡本半三展	〃	3.11
エカルディ小品展	〃	〃
描かれた歴史展	〃	3.13
三月会展	〃	3.15
杉全直展	〃	3.17
藤田吉香展	〃	3.18

北大路魯山人展		朝日夕刊	3.21	反骨と熱血の芸術			
泉涌寺展		"	3.22	1. 自画像	朝日夕刊	6.12	
中川一政近作展	小川 正隆	"	3.25	2. 物量感	"	6.13	
香月泰男の世男	"	"	3.29	3. 予言者	"	6.14	
レジェ展	"	"	4.1	4. 民族の心ムキダシ	"	6.17	
ウィーン幻想絵画展 ＜ハウズナー氏に聞く＞		"	4.5	5. 壁画運動	"	6.19	
大沼映夫滞欧作品展		"	4.5	6. 不変のもの	"	6.20	
加藤一展		"	"	シケイロス展に寄せて	岡本 太郎	"	6.24
野口謙蔵遺作展		"	"	16年ぶりのシケイロス	草野 心平	"	6.30
春の院展		"	4.8	イタリア美術展を見て	三木 多聞	"	7.1
ウィーン幻想絵画展	小川 正隆	"	4.12	シケイロス展開催まで＜デスク日記＞	坂崎 太郎 朝 日	7.2	
山本丘人の世界	"	"	4.13	型破りのベネチア・ビエンナーレ展	小川 正隆 朝日夕刊	7.3	
公募展から（版画協会・光風・創元・モダンアート）	"	"	4.18	菱田春草展	"	7.12	
五十年前の沖縄一写真でみる失われた文化財展＜点描＞		"	4.27	大津英敏展、吉岡耕二滞欧展、佐々亮暎展	"	7.14	
前田常作展		"	4.26	国際版画展とムア回顧展	"	7.14	
山本丘人・杉山寧・高山辰雄新作展		"	5.2	ショルジュ・ビゴー展＜点描＞	"	7.12	
春陽会、国画会展	小川 正隆	"	5.4	津田季穂展	"	7.19	
現代イタリア彫刻の全貌展	"	"	"	フランス現代美術12年展、シーガル展	小川 正隆	"	7.21
梅原龍三郎北京作品展	"	"	5.10	小田まゆみ展	朝 日	7.22	
堂本尚郎展、香月泰男展、加藤栄三展		"	5.13	長谷川潔展、佐伯米子展	朝日夕刊	7.22	
ボストン美術館東洋美術名品展に寄せて	小川 正隆	"	5.16	「日本美を描く」展	"	7.26	
三雲祥之助展、農嶺会展		"	5.17	“形状”展（早川良雄）	朝 日	7.28	
パラドンとユトリロ展＜点描＞		"	5.19	北斎「富嶽」展	朝日夕刊	8.7	
ルーマニア現代民俗芸術展＜点描＞		"	5.20	潮音会展	"	8.26	
楠部弥弼新作展、東方美術展		"	"	シェル美術賞展	"	8.30	
「ポスター・ニッポン'55-72」展		"	5.23	樹展	"	"	
飯田善国・クロマトポイエマ展、国領経郎展、木内克展		"	5.24	新樹会展	"	9.2	
新制作日本画春季展		"	5.27	田村文雄版画展	"	"	
凡字会展、旭展		"	"	マリノ・マリニ版画展	"	9.5	
現代ソビエト絵画巨匠展＜点描＞		"	"	メトロポリタン展	"	9.9	
青木繁と三岸好太郎、原精一展、斎藤真一展	小川 正隆	"	5.31	ヴォラール・コレクション展	"	"	
シケイロスの芸術	米倉 守	"	6.7	名作にみる浮世絵師の系譜	"	9.12	
田中修展、菅谷邦敏展、小嶋悠司展		"	"	国際形象展	"	9.13	
女流画家協会展		"	6.10	大沢昌助版画展	"	8.16	
シケイロス展から一		"	"	富岡惣一郎個展	"	"	
		"	"	ピエール・クリスタン展	"	9.16	
		"	"	二科、行動展	"	9.19	
		"	"	マスケリーニ展	"	9.20	
		"	"	クーチュリエ展	"	"	

定期刊行物所載文献

宇治山哲平展	朝日夕刊	9.27	藤本義和石彫個展	(藤)	京	都	1.28
小泉淳展	"	"	清水六兵衛回顧展	"	"	"	"
田村孝之介人形展	"	9.30	京都新作家展の内示展	"	"	"	"
伝統工芸展	"	10.2	番浦史郎展	"	"	"	2.11
アンソールの仮面劇	"	"	あまがつ会人形展	"	"	"	"
土門拳「古寺巡礼」	"	10.3	三年展	"	"	"	"
両角修版画展	"	10.4	榊原紫峰遺作展	(竜平)	"	"	2.18
新制作・一水会・一陽会	"	10.5	第18回日本伝統工芸展	"	"	"	2.25
高橋美則個展、フランス絵画展	"	10.18	近代日本の工芸展	"	"	"	3.3
正倉院展	岡崎 譲治	"	1972京都ビエンナーレ	(藤)	"	"	"
美校50人の作品を追って	"	10.23	第2回京都同時代展	(竜平)	"	"	3.10
琳派展	加山 又造	"	斎藤博個展	"	"	"	"
独立・二紀・自由展	"	10.26	桑野博利・志摩素描展	"	"	"	"
松本竣介展	"	10.27	山田晃個展	"	"	"	"
高島達四郎近作展	"	10.28	安井ゆうじ個展	"	"	"	"
山本豊市近作展	"	"	笹尾周平個展	"	"	"	"
飛鳥展	"	10.31	海北友松展	"	"	"	3.22
厩濃展	"	11.1	ボストン美術館・東洋美術名品展	"	"	"	3.24
山城隆一コラージュ展	"	11.2	京都教育大日本画展	(藤)	"	"	"
吉川勉個展	"	11.4	美術文化展をみて	"	"	"	3.31
クラーベ展、ギヤマン展	"	11.11	木村光佑個展	"	"	"	"
フランス中世美術展	柳 宗玄	"	第12回日本南画院展	(竜平)	"	"	"
岡田又三郎展	"	11.16	海北友松展	山田 竜平	京都夕刊	"	4.6
豊田寿展	"	11.25	新制作京都日本画展	(竜平)	京	都	4.14
司修個展	"	11.28	関西二科展	"	"	"	"
篠田守男個展	"	11.29	パトリアル春季展	"	"	"	4.21
三木富雄個展	"	"	アート・アンド・クラフト展	(藤)	"	"	"
牛島憲之展	"	11.30	近代イタリア美術の巨匠たち展、山田新一展	"	"	"	"
奥村土牛展	"	12.2	「近代イタリア美術の巨匠たち展」にみる	"	"	"	"
篠田桃紅展	"	"	近代イタリア美術の巨匠たち展を迎えて	河北 倫明	"	"	4.27
日展	"	12.4	未来派運動あれこれ	野上 素一	"	"	"
21回未更会展	"	12.9	第24回京展をみて	山田 竜平	"	"	4.28
東独美術展	"	12.11	山鹿清華手織錦展	"	"	"	"
井上三綱展	"	12.13	近代イタリア美術の巨匠たち展	(藤)	"	"	"
五山会展、弥生会展	"	12.16	能装束展	(竜平)	"	"	5.5
荒流会展	"	"	中国拓本展	(藤)	"	"	"
東京国際版画ビエンナーレ展	"	12.18	近藤悠三作品展	(竜平)	"	"	"
山口長男展	"	12.20	奇想の画家・歌川国芳展	(藤)	"	"	5.12
彫刻六人展	"	"	第14回牧人社展	(竜平)	"	"	"
小野州一展	"	12.23	奇想の浮世絵師国芳	"	"	"	5.16, 17
小作青史展	"	"	(上)、(下)	"	"	"	"
極光会展	"	"	"	"	"	"	"
ルノワール展をみて	(藤)	京	都	1.14	"	"	"
印度細密画展	"	"	"	"	"	"	"
鞍馬寺の彫刻、唐三彩(京都国立博物館特別陳列)	"	"	1.28	"	"	"	"

朴土グループ展	(竜平)	京 都	5.19	京都現代美術秀作展	京 都	10.6
第29回東丘社展	"	"	5.20	皆川月華染彩展	"	"
第58回光風会展	山田 竜平	"	5.21	映像表現'72	"	"
京都の地誌・史料展	"	"	5.23	映像表現'72によせて 中原 佑介	"	10.13
第17回青塔社展、新 匠会会員展、高瀬善 明展	(下)	"	5.26	新匠会展	"	"
扇面展、楠部弥弌展	(竜)	"	"	27回行動美術展	"	10.20
佐々木良三展	"	"	"	30回バンリアル展	"	"
全関西行動展、モダ ンアート展	(藤)	"	"	川端弥之助展	"	10.27
田の神どん展	"	"	6.1	ヨーロッパの日本作 家展	"	"
田の神どんのふるさ と	野田 千尋	"	"	現代南画展米国巡回	"	10.31
第8回八甲辰会展、 清水九兵衛展	(下)	"	6.9	森本裕子展	"	11.4
新槐樹社京都展、日 本美術院洋画部の画 家展、春の所蔵名品 展	"	"	"	弘法大師展	"	11.10
ウィーン幻想絵画 展、現代スウェーデ ン美術展	(藤)	"	"	大正期の洋画	"	11.17
第25回晨鳥社展	(竜平)	"	6.10	武藤彰個展	"	11.24
阿須賀神社伝来古神 宝展	"	"	6.16	院展	"	"
新陶人展、秋会日本 画展	(竜)	"	"	二紀・自由美術展	"	"
柳新也展	(藤)	"	"	走泥社展	"	12.8
西山英雄展	(竜平)	"	6.23	アンソール展	"	12.5
新興美術院展、第3 回漆・フォルム展	(竜)	"	"	日展	"	12.22
第20回あすなろ会展	"	"	6.30	ボルドー美術館名作 展によせて	谷川 徹三 東京夕刊	1.8
大熊峻・矢野喜久男 合作展	"	"	"	天心と現代日本画展	寺田 千壱	1.14
庄司達展	(藤)	"	"	熊谷守一展	"	1.28
デュラーとドイ ツ・ルネッサンス展	(藤)	"	7.7	山下充展	"	"
明兆の絵画	(竜平)	"	7.14	刑部人油絵展	"	"
第2回鼎会屏風絵 展、堂本美術館新陳 列	"	"	"	永田力展	"	"
第8回主体美術展、 R・スクェリ版画展	(藤)	"	"	堀口泰造彫刻展	"	2.4
現代美術の鳥瞰展	"	"	8.11	第7回昭和会展	"	"
小豆島彫刻シンポジ ウム'72	"	"	"	田中岑展	"	"
ペーテル・ブリュー ゲル版画展	"	"	9.8	ピカソ展	"	2.12
下村良之介銅版画展	京都夕刊	9.9		フランス近代絵画名 品展	"	"
飯田清毅遺作展	京 都	9.15		キスリングとエコー ル・ド・パリ展	"	"
シエル賞展	"	9.22		ハンガリー、ポーラ ンド現代版画展	"	"
浜田観日本画展	"	"		丸山妙子油絵展	"	"
6回南林社展	"	"		ジャン・フサロ展	"	2.18
15回新象展	"	"		戦後日本美術の展開 展	"	"
須田国太郎展	"	9.29		吉田清志展	"	"
				酒井三良を偲ぶ会展	"	"
				第24回立軌会展	"	2.25
				牧進・春夏秋冬展	"	"
				第4回潮展	"	3.3
				藤本東一展	"	"
				ジャスパー・ジョー ンズ展	"	"
				第15回安井賞展	"	3.9
				西村計雄日本展	"	"
				ウィリアム・ブレー ク展	"	"

定期刊行物所載文献

藤田吉香展	寺田 千壘	東京夕刊	3.17	黒人彫刻の魅力		東京夕刊	6.28
大森朔衛滞欧作品展	"	"	"	ブラック・アフリ カ芸術展をみて	難波田龍起		
ブリュール版画展 から				現代イタリア彫刻の 全貌展	寺田 千壘	"	6.30
マレジャンの魔女	北岡 文雄	"	3.18	佐藤一郎個展	"	"	"
錬金術師	森 洋子	"	3.22	ジャンボ・マダム ブラック・アフリ カ芸術展に	桂 ゆき	"	7.1
キリスト地獄の辺 土に下り給う	山本 太郎	"	3.23	菱田春草展	寺田 千壘	"	7.7
大倉の罪	永瀬 義郎	"	3.24	'72現代ソビエト絵画 展、9回太陽展	"	"	"
大きな魚は小さな 魚を食べる	針生 一郎	"	3.25	大津英敏・吉岡耕二・ 佐々亮暎三人展	寺田 千壘	"	7.14
ペーテル・ブリュ ール版画展を見て	坂崎 乙郎	"	3.23	ドガの彫刻展	"	"	7.21
跡見泰、林俊衛遺作 展	寺田 千壘	"	3.24	長谷川潔作品展	"	"	7.29
竹谷富士雄展	"	"	"	近代巨匠の名作展	"	"	8.18
レジェ展	"	"	3.31	日野耕之祐、新潮会展 高橋惟一、青山義雄、 富岡惣一郎個展	"	"	8.25
中川一政展	"	"	"	アンソール展	坂崎 乙郎	"	8.29
岩松正作品展	"	"	"	26回新樹会展	"	"	9.1
松永敏太郎個展	"	"	"	仮面の世界(アンソ ール展から)1~7	匠 秀夫 東 京		9.4, 5, 8, 9, 10, 11, 12
野口謙蔵遺作展	"	"	4.7	11回国際形象展	"	"	9.8
香月泰男シベリヤ・ シリーズ展	"	"	"	英泉浮世絵展		東 京	9.9
第27回春の院展	"	"	"	英泉浮世絵展	飯沢 匡	東京夕刊	9.13
大沼映夫滞欧作品展	"	"	"	新制作・一水会・一 陽展	柳 亮	"	10.2
ペーテル・ブリュ ール版画展を見て	駒井 哲郎	"	4.8	三尾公三展	"	"	10.6
山本丘人展	寺田 千壘	"	4.14	3回版画グラン・ブ リ展	"	"	10.13
ウィーン幻想絵画展	"	"	"	ブールデル展	"	"	10.20
光風会・創元会・モ ダンアート展評	柳 亮	"	4.15	独立・二紀・自由美 美展	坂崎 乙郎	"	10.24
児島善三郎展	寺田 千壘	"	4.21	フランス中世美術展		東京夕刊	10.27
青木繁展	"	"	4.28	棟方志功新作展		東 京	10.28
春陽・国展・東光展 をみて	植村鷹千代	"	5.6	山本豊市新作品展		東京夕刊	11.2
三岸好太郎の芸術と 現代・三岸好太郎展	匠 秀夫	"	5.24	フランス美術の栄光 展		"	11.10
鈴木政夫作品展	寺田 千壘	"	5.26	日展	柳 亮	"	11.14
民衆主義が真の姿・ デュラーとドイツ ネサンス展	坂崎 乙郎	"	6.8	" (工芸)	吉田 耕三	"	11.15
村上華岳展	寺田 千壘	"	6.9	レアリテ展	寺田 千壘	"	11.17
田中修近作品	"	"	"	吉川勉、豊田寿生展	"	"	11.24
日本的抒情と無情・ 三岸好太郎展をみて	大久保 泰	"	6.10	岡田又三郎展	"	"	"
梅原素描水彩旧作展	寺田 千壘	"	6.16	井上三綱展	"	"	12.8
セザール・バルダッ チャーニ展	"	"	"	熊谷九寿近作展	"	"	"
シケイロス展	"	"	6.28	彫刻6人展	"	"	12.15
近代イタリア美術の 巨匠たち展	"	"	"	近世屏風絵名作展	(田) 日 経		1.12
ブラック・アフリカ 芸術展から(上)	"	"	6.26	肉筆浮世絵秀作展	"	"	"
酋長の尊厳と強さ	"	"	"	在外浮世絵名作展	"	"	"
"(中)	"	"	6.27	熊谷守一展	"	"	1.21
ベテ族のマスク	"	"	"	萬鉄五郎展	"	"	"
"(下)	"	"	6.28	吉本直貴オブジェ展	"	"	1.27
パウレ族の信仰像	"	"	"				

天心と現代日本画展	(田)	日	経	1.28	〃	(6)グリユー ネバルト	田中 英道	日	経	4.8
山下充展	〃	〃	〃	〃	〃	(7)ホルバイ ン	久保貞次郎	〃	〃	4.10
日本の山展	〃	〃	〃	2.4	〃	(8)アルトド ルフア	黒江 光彦	〃	〃	4.11
永田力展	〃	〃	〃	〃	〃	(9)ハンス・ ビットン	三輪 福松	〃	〃	4.12
悠々会展	〃	〃	〃	〃	〃	(10)ペンツ	田中 英道	〃	〃	4.13
キリンタン関係遺品 展	〃	〃	〃	2.10	〃	ドイツ・ルネッサン スの世界<1>〜 <13>		〃	〃	4.8〜22
ピカソ展	〃	〃	〃	〃	〃	児島善三郎展	(田)	〃	〃	4.21
田中稔之展ほか	〃	〃	〃	〃	〃	川端龍子展	〃	〃	〃	4.28
歌川国芳展	〃	〃	〃	2.12	〃	国展	田近 憲三	〃	〃	4.29
ポーランド・ハンガ リー現代版画展	〃	〃	〃	〃	〃	デューラーとドイ ツ・ルネッサン展か ら		〃	〃	
酒井三良を偲ぶ会	〃	〃	〃	2.18	〃	この一点	林 武	日経夕刊	〃	4.24
深沢幸雄銅版画展	〃	〃	〃	〃	〃	〃	向井 潤吉	〃	〃	4.25
フサロ展	〃	〃	〃	〃	〃	〃	東山 魁夷	〃	〃	4.26
日府展、新槐樹社展	田近 憲三	〃	〃	2.25	〃	〃	野口弥太郎	〃	〃	4.27
戦後日本美術の展開 展	(佐)	〃	〃	3.3	〃	〃	橋本 明治	〃	〃	4.28
ウィリテム・プレー ク展	〃	〃	〃	〃	〃	〃	佐藤 達夫	〃	〃	5.8
藤本東一良展	〃	〃	〃	〃	〃	〃	堤 清二	〃	〃	5.9
新世紀展、美術文化 展	田近 憲三	〃	〃	3.10	〃	〃	中曾根康弘	〃	〃	5.10
レジェ展	(田)	〃	〃	3.24	〃	〃	横山 隆一	〃	〃	5.11
描かれた歴史展	〃	〃	〃	〃	〃	〃	永井 路子	〃	〃	5.12
竹谷富士雄展	〃	〃	〃	〃	〃	〃	加山 又造	〃	〃	5.13
白日展、水彩連盟展	田近 憲三	〃	〃	3.25	〃	〃		〃	〃	
示現展、三軌会展	〃	〃	〃	3.27	〃	〃		〃	〃	
香月泰男展	〃	〃	〃	7.31	〃	激動の時代・至高の 芸術・デューラーと ドイツ・ルネッサン 展を語る<座談会>	堀米 庸三 前川 誠郎 平山 郁夫	日	経	4.30
中川一政展	〃	〃	〃	〃	〃	デューラーとドイ ツ・ルネッサン展か ら		〃	〃	
野口謙蔵遺作展	(田)	〃	〃	4.7	〃	リアリズム 1	黒江 光彦	〃	〃	5.1
ピエール・ブラン展	〃	〃	〃	〃	〃	2	田中 英道	〃	〃	5.2
宮本靖夫滯仏作品展	〃	〃	〃	〃	〃	3	小野 忠重	〃	〃	5.3
山本丘人展	〃	〃	〃	4.14	〃	4	佐々木英也	〃	〃	5.4
ペーテル・ブリュー ゲル版画展	〃	〃	〃	〃	〃	5	斎藤 稔	〃	〃	5.5
ウィーン幻想絵画展	〃	〃	〃	〃	〃	6	久保貞次郎	〃	〃	5.6
光風会、日本版画協 会展	田近 憲三	〃	〃	4.17	〃	7	辻 茂	〃	〃	5.7
デューラーとドイ ツ・ルネッサン展 から	〃	〃	〃	〃	〃	8	斎藤 稔	〃	〃	5.8
アルブレヒト・デ ューラー「若い男 の肖像」	前川 誠郎	〃	〃	3.31	〃	春陽展・東光展	田近 憲三	〃	〃	5.4
ルネッサンスの珠 玉	東山 魁夷	〃	〃	〃	〃	梅原龍三郎・北京作 品展	(田)	〃	〃	5.12
巨匠たち(1)デュー ラー	西村規矩夫	〃	〃	4.1	〃	デューラー展の苦勞		〃	〃	5.13
〃 (2)デューラ ー	〃	〃	〃	4.3	〃	日本画院展	田近 憲三	〃	〃	5.19
〃 (3)クラナッ ハ	菅野 陽	〃	〃	4.4	〃	谷中安規展		〃	〃	5.26
〃 (4)シヨイフ エライン	坂崎 乙郎	〃	〃	4.5	〃	デューラーとドイ ツ・ルネッサン展		〃	〃	
〃 (5)シヨンガ ウアー	黒江 光彦	〃	〃	4.6	〃	デューラー「アダ ムとエバ」	山田智三郎	〃	〃	
					〃	ドイツ・ルネッサ ンスと現代との共 鳴	坂崎 乙郎	〃	〃	

定期刊行物所載文献

人間マリア 表情を科学する	田中 澄江 時実 利彦				新制作展	田近 憲三	日 経	9.29
三岸好太郎展		日 経	6.3		一水展、一陽展	"	"	9.30
原精一展		"	"		「染付の道」展		"	10.13
女流画家協会展	田近 憲三	"	6.9		独立展	田近 憲三	"	10.19
主体美術展、新興展	"	"	6.16		二紀展	"	"	10.20
価値ある歌仙絵展 ＜文化往来＞		"	6.20		巨匠ブールデルの全 貌展、ロダン・ブール デル・マイヨール 展、小倉遊亀展		"	10.21
梅原素描淡彩田作展		"	6.23		フランスの中世美術 展		"	10.27
ブラック・アメリカ 展		"	6.23		卒業制作の自画像展 ＜文化往来＞		"	11.3
シケイロス展、近代 イタリア美術の巨匠 たち		"	6.30		横山大観展		"	11.4
十五、六世紀の名画 ＜文化往来＞		"	7.5		クラーベ展、轟会展		"	11.10
菱田春草展		"	7.7		日展（日本画）	田近 憲三	"	11.16
横山大観名作展		"	"		"（洋画）	"	"	11.17
雨晴会展・北辰会 展・嗽会展		"	7.14		宮本三郎舞妓展、10 回レアリテ記念展、 麻生三郎展		"	11.18
デュラーとドイ ツ・ルネッサンス展					日展（彫刻・工芸）	田近 憲三	"	11.21
幻想 (1)	勝 国興	"	7.10		橋本明治壁画展		"	11.22
" (2)	池上 忠治	"	7.11		琳派展		"	11.24
" (3)	鈴木 健二	"	7.12		奥村土牛展、久保守 回顧新作展、牛島憲 之展、清親東京名所 展		"	12.2
" (4)	乾 由明	"	7.13		熊谷九寿近作展、西 村計雄小品展、東京 国際版画ビエンナー レ展		"	12.8
" (5)	八木 浩	"	7.15		未更会展、弥生会展、 玄覧会展		"	12.15
" (6)	坂崎 乙郎	"	7.17		ゴヤ展評判記＜担当 記者座談会＞		毎 日	1.4
独立十人の会展		"	7.21		八樹会展と片岡球子 展		毎日夕刊	1.11
ドガの彫刻展		"	"		日本の山展		"	1.12
長谷川潔作品展、ジ ョルジュ・ピゴール展		"	7.28		天心と現代日本画展		"	"
国立近代美術館新収 蔵品の展示		"	8.4		アイヌの文様展		"	1.14
陶芸の東西交流展		"	8.11		萬鉄五郎遺作展		"	1.17
銀二会		"	"		田淵安一展		"	1.18
近代創作版画展		"	"		島田章三展		"	1.19
伊東深水展		"	8.12		麻田浩、沢村美佐 子、因藤寿個展		"	1.24
葛飾北斎展		"	8.18		洋画家が描いた日本 画展		"	1.25
日本染飾作品展		"	8.23		永田力個展		"	2.1
伊東深水展		"	9.1		堀口泰造新作展		"	2.2
デサント「アート・ トロフィー展」		日経夕刊	9.6		村中秀男フレスコ画 展		"	2.3
古九谷展＜文化往 来＞		日 経	"		第7回昭和会展		"	2.4
田中阿喜良展、潮音 会展、現代アメリカ グラフィックアート 展		"	9.8		斎藤寿一新作展		"	2.14
名作にみる浮世絵師 の系譜		日経夕刊	"		ピカソ展		"	2.15
院展		日 経	9.9		深沢幸雄展		"	2.16
二科、行動展		"	9.11					
出合いを知る「ト ルソーと花展」	小原 豊雲	"	9.20					
アンソール展		"	9.22					

松本奉山水墨画展	毎日夕刊	2.16	第6回女派陶芸展	毎日夕刊	4.8
藤本よし子エッチング展	"	2.17	ブリュッセル版画展	"	4.11
大貫松三展	"	2.18	林秀行陶芸展	"	4.12
酒井三良遺作展	"	"	ウィーン幻想絵画展	"	4.13
四人の道化師展	"	2.19	上野の春の公募展	"	4.15
ジャン・フサロ展	"	2.21	バリ島彫刻展	"	4.18
ジャスパー・ジョーンズ展	"	2.22	勝尾黎彦陶芸個展	"	4.19
森陶生油絵陶芸展、 牧進日本画展、出岡 実洋画展	"	2.23	ニュー・ジェオメト リック・アート・グ ループ展	"	4.26
1972年展（日本洋画 商協同組合）	"	2.24	野田弘志展、宮永岳 彦展	"	4.27
渡辺豊重版画展	"	2.25	バラドンとユトリロ 二人の横顔	安井 収蔵 毎日	4.28
具象表現の変貌展	安井 収蔵	2.29	第5回現代書展	毎日夕刊	5.2
第4回潮展	"	3.1	国画・春陽・東光会	"	5.4
琉球王家秘宝展	"	"	近代イタリア美術の 巨匠たち展	"	5.8
第15回安井賞・選考 経過	"	3.3	日本の祭展	"	5.10
蔭谷虹児さし絵展	毎日	3.4	パロリス国際陶芸ビ エンナーレ	河谷 俊也	5.11
岡本半三展	毎日夕刊	3.7	神原泰個展	"	5.13
西村計雄展	"	3.8	楠部弥弼新作展	"	5.16
ブレイク・エッチン グ展	"	3.9	梅原龍三郎北京シリ ーズ回顧展	"	5.17
吉賀大眉作陶展	"	3.10	堂本尚郎展、加藤助 八展	"	"
住谷正巳彫刻展、粕 谷圭司彫刻展、三浦 重雄彫刻展	"	3.14	三雲祥之助個展	"	5.18
大森運夫展	"	3.15	現代ソビエト巨匠絵 画展	"	5.19
七代目絵馬絵師遺作 展	"	3.16	50年前の沖縄一写真 展	"	5.20
三月会展	"	"	ルーマニア現代民俗 芸術展	"	5.24
フェルナン・レジエ 展	安井 収蔵 毎日夕刊	3.17	横山隆一個展	毎日	"
レジエ展から	"	"	魚魚展	横山 隆一	5.26
(上)朱と緑の女	"	3.22	デスバニア展	毎日夕刊	"
(中)鍵のあるモ ナ・リザ	"	3.23	青木繁展	"	"
(下)青い背景の黒 い曲馬師	"	3.24	ポスター・ニッポン '55-'72展	"	5.27
中川一政展、竹谷富 士雄展	"	3.23	デューラーとドイ ツ・ルネッサンス展	"	5.30
描かれた歴史展	"	3.24	原精一展、淀井敏夫 展、荒尾常蔵作陶展	"	6.2
ポストン美術館東洋 美術名品展	"	3.28	女流画家協会展	"	6.5
岩松正展、柴原雪展	"	3.29	村上華岳展	"	6.6
レジエ展をめぐる	原 弘	3.31	日本の四季展	"	6.7
香月泰男回顧展	"	4.3	松本宏展、鈴木博展	"	6.8
野口謙蔵遺作展	"	4.4	八木一夫陶芸展	加藤 貞雄	6.10
明治の大阪展	"	4.6	萩原英雄のサーカス 展	"	6.12
ビエール・ブラン 展、永井繁男展、駒 込繁芳展、宮本靖夫 展	"	4.7	現代イタリア彫刻の 全貌展	"	6.13

定期刊行物所載文献

安田岩次郎展	毎日夕刊	6.14	北斎特別陳列「富嶽三十六景」	毎日夕刊	9.16
72年新鋭選抜展	"	6.16	春日部洋滯欧作品展	"	9.19
カルダーとアルバー ス展	"	6.27	クリスタン展、クー チュリエ展	"	9.20
第1回全日本染織作 品展	"	6.29	宇治山哲平の芸術 —30年の軌跡をたど る個展	加藤 貞雄	"
シケイロス展 安井 収蔵	"	6.30	メトロポリタン美術 館展	"	9.21
ブラック・アフリカ 芸術展	"	7.3	小泉淳作展'72	"	9.22
石踊 紘一展、湯田 寛・有本亮正二人展	"	7.5	横山潤之助遺作展	"	9.27
菱田春草展	"	7.7	田村孝之介「人形」展	"	"
大津英敏展	"	7.8	独立、二紀、自由美 術展	"	10.18
津田季穂展、カワス ミ・カズオ展	"	7.12	藤沢喬展	"	"
ドガの彫刻展	"	7.18	葛西四雄、山田新一、 丹野眞禎展	"	11.8
正倉院宝物模造特別 陳列	"	7.19	日展	"	11.29
山下菊二・西八郎・ 能仲ヤツヲ・依田邦 子・角谷志保子展	"	7.19	六彫展	"	11.30
長谷川 潔展、田代 光・康端倪兄弟展、 日中現代美術展	"	7.20	篠田守男展、三木富 雄展	"	12.5
ニューヨークの現代 日本美術展	"	7.21	難波田史男展、渡辺 恂三展	"	12.6
三島喜美代展	"	"	アート・ディレクタ ーズ・クラブ展 安井 収蔵	"	12.7
ビゴー展	"	7.27	現代ソビエト絵画展	"	"
「日本美を描く」展	"	7.29	山崎隆夫個展	"	12.8
飛鳥天平の遺宝展	"	7.31	井上三綱展	"	12.9
陶芸の東西交流	"	8.1	芝田米三展	"	12.12
宮永理吉陶芸展	"	8.2	小松崎邦雄展	"	12.13
グラフィックイメー ジ'72	"	8.5	全和鳳展	"	12.14
永井宏遺作展	"	8.9	「グラフィズムの先 駆者たち」展	"	12.19
エルク・シュマイサ ー展	"	8.14	山口長男個展、福田 豊四郎遺作展	"	12.20
網谷義郎個展	"	8.21	現代美術選抜展	"	12.26
新井富美郎個展	"	8.23	ボルドー美術館名作 展	読売夕刊	1.6
樹展、潮音会展	"	9.1	第1回現代有名日本 画家展（光のプレゼ ント推進運動）	"	1.7
小川博史、西村憲定 展	"	"	近世屏風絵名作展、 西山真一展、豊島弘 尚展	村木 明	"
田中阿喜良バリ展	"	9.5	萬鐵五郎展	"	1.11
会津八一展	"	9.7	小林清子展、西真個 展、田淵安一展	"	1.17
清水多嘉示展、江口 週展、マリノ・マリ ーニ版画展、マスケ リーニ展	"	9.8	児島輝郎新作個展、 沢村美佐子個展、橋 本竜美個展	"	1.20
アメリカグラフィック アート展	"	9.9	岩田専太郎小品展	読 売	1.22
二科、院展、行動展 安井 収蔵	"	9.14	島田章三新作個展、 山下充個展、レアリ テ・72洋画展	村木 明 読売夕刊	1.25
名作に見る浮世絵師 の系譜展、英泉浮世 絵展	"	9.16			

アイヌ文様展		読 売	1.26	大町紵個展	(丈)	読売夕刊	4.6
吉田正雄個展、加藤俊雄個展	村木 明	読売夕刊	1.27	ブリューゲル版画展		読 売	4.8
熊谷守一展	"	"	1.29	川端竜子遺作展		読売夕刊	4.10
堀口泰造個展	(丈)	"	2.1	ウィーン幻想絵画展	"	"	4.12
加納光於・大岡信「アララットの船(あるいは)空の蜜」		読 売	2.2	山本丘人展	"	"	4.15
ソビエト芸術写真展		"	2.3	桃山・江戸・明治三百年美術展		読 売	4.19
第7回昭和会展	(丈)	読売夕刊	2.4	浮世絵肉筆名品展		"	4.20
ポーランド・ハンガリー現代版画展		"	2.10	黒崎彰木版画展、野田弘志展、後藤よ志子展	(丈)	読売夕刊	"
歌川国芳展	(丈)	"	2.12	児島善三郎展	"	"	4.22
ピカソ展	"	"	2.14	川端龍子展に寄せて	水原秋桜子	"	4.26
斎藤寿一展、深沢幸雄銅版画展	"	"	2.17	近代名家模写展		読 売	"
1972年展(日本洋画商協同組合)、彩虹会展	"	"	2.19	現代スウェーデン美術展		"	4.27
日蓮上人ゆかりの霊宝展		読 売	2.20	前田常作展	(丈)	読売夕刊	"
牧進屏風絵展		"	"	高山辰雄・山本丘人・杉山寧新作展	"	"	5.4
ジャン・フサロ新作展、吉田清志個展	(丈)	読売夕刊	2.21	青木繁展	"	"	5.6
橋本省彫刻展		読 売	2.22	バラドンとユトリロ展		読 売	5.10
ヨーロッパ版画の巨匠展		"	2.23	神原泰展		"	"
第24回立軌会展	(丈)	読売夕刊	2.25	多田裕計展		"	5.11
森脇生展		読 売	2.26	デューラーとドイツ・ルネッサンス展		"	"
潮展		"	3.4	ボストン美術館東洋美術名品展	(丈)	読売夕刊	5.11
日本芸術大賞展		読売夕刊	"	加藤栄三展		"	5.12
ウィリアム・ブレーク展	(丈)	"	3.6	水田舜人展		読 売	5.13
西村計雄個展		読 売	3.7	梅原龍三郎北京作品展	(丈)	読売夕刊	"
形真展	(丈)	読売夕刊	3.9	ポール・シニャック水彩デッサン展		読 売	5.16
第15回安井賞展		読 売	3.11	フランス国際陶芸ビエンナーレ		読売夕刊	"
前田麦二個展、岡本半三展、ドロッシェしたものカラッと描く展	(丈)	読売夕刊	"	堂本尚郎展	(丈)	"	5.17
三月会展	"	"	3.14	阿弥陀仏彫像展		読 売	5.18
杉全直展	"	"	3.15	写楽役者絵展		"	5.20
北大路魯山人屋	"	"	3.18	木内克新作彫刻展		"	5.21
帖佐美行彫金個展、岩松正油絵個展、栗原喜依子展、境賢三展、竹谷富士雄個展	"	"	3.28	鈴木政夫作品展	(丈)	読売夕刊	5.22
描かれた歴史展		読 売	3.30	小沢良吉豆絵展		読 売	5.24
サクラの浮世絵版画展		"	4.1	現代ソビエト絵画巨匠展		読売夕刊	"
レジエ展	(丈)	読売夕刊	"	「クロマトポイエマ」展		"	5.26
野口謙蔵遺作展、香月泰男シベリヤ・シリーズ展、中川一政展	(丈)	"	4.3	三岸好太郎展	(丈)	"	5.30
				斎藤真一・越後替女日記展		読 売	5.31
				五島美術館優品展		"	6.1
				岩崎鐸自選展、原精一展	(丈)	読売夕刊	6.3
				現代イタリア彫刻の全貌展、近代イタリア美術の巨匠たち展	"	"	6.6

定期刊行物所載文献

日本の四季展			読 売	6.7	メトロポリタン展	村木 明	読 売	7.30
油絵卒業制作の名作展			読売夕刊	"	メトロポリタン展 ＜座談会＞	山崎 正和 高階 秀爾 倉田 文作	" "	" "
福寿開（平橋田中・熊谷守一・武者小路実篤）			読 売	6.8	東西陶芸の交流展		"	8.3
村上華岳展	（丈）		読売夕刊	6.8	グラフィックイメー ジ'72	（丈）	読売夕刊	8.8
春の公募美術展	村木 明		読 売	6.10	近代美術館新収品展 示展		読 売	8.9
八木一夫展			"	6.11	銀二会展		読売夕刊	"
田中修展、安田岩次郎展	村木 明		読売夕刊	6.12	メトロポリタン美術 展から		読 売	
セザールの彫刻展、世界の版画展	"		"	6.17	金銅如来立像	宮 柊二		8.10
ブラック・アフリカ芸術展、南アフリカ版画展	"		読 売	6.21	マイヨール「イル・ド・フランス」	遠山 一行		8.11
土橋醇展	"		"	"	礼拝者像	平山 郁夫		8.12
佐藤朝山の木彫			"	6.22	ピカソ「髪を結う」	宮本 三郎		8.14
五島美術館・金銅佛展			"	6.24	葬祭神官夫妻像	新 規矩男		8.15
川口正治展、有賀潤展	村木 明		読売夕刊	"	北斎展		読 売	"
富永惣一パステル画展			読 売	6.27	近代創作版画展		"	8.17
第9回太陽展	村木 明		読売夕刊	6.28	大沢昌助版画展		読売夕刊	"
大観・観山二人展			読 売	"	春草展		"	8.23
アルパースとカルダー展	村木 明		読売夕刊	6.29	阪本文男個展	（丈）	"	8.26
小林ドンゲ展、佐藤大寛展			"	6.30	伊東深水展		読 売	8.29
門脇俊一障壁画展			読 売	7.1	東京国立博物館収蔵古書・絵図展		"	8.30
中村直人・寺田竹雄二人展	村木 明		読売夕刊	"	潮音会展・樹展	（丈）	読売夕刊	8.31
シケイロス展	"		"	7.3	ボラール・コレク ション展		読 売	8.31
101点のダリ版画展			読 売	7.6	倉橋寛南スペイン個 展		"	9.3
清宮質文版画展、尾崎良二素描展	村木 明		読売夕刊	"	メトロポリタン展を 見て	大岡 信	読売夕刊	9.4
メトロポリタン美術館展			読 売	7.8	ヴォラール・コレク ション展		"	9.5
菱田春草展			読売夕刊	"	近代日本の美術展		読 売	9.6
正倉院宝物模造展			読 売	7.12	現代アメリカ・グラ フィックアート展		"	9.7
第1回晩会展、小野忠重版画展	村木 明		読売夕刊	7.13	清水六兵衛新作展		"	9.9
メトロポリタン美術館物語（1～7）	（丈）		読 売	7.14～20	田中阿喜良展		読売夕刊	"
ドガの彫刻展	（丈）		"	7.19	ノーマン・ロックウ ェル展		読 売	9.10
光雲・光太郎親子の彫刻			読 売	7.20	マリーニ版画展、ボ ンボア展		"	9.13
海野光弘木版画展、小田まゆみ版画展			読売夕刊	"	二科、院展、行動展 ムンク展		読売夕刊	9.14
ベネチア・ビエンナーレ展とドクメンタ展から（上・下）	東野 芳明		"	7.24, 25	「版画にみるムンクとノルデの世界」展		"	"
早川良雄作品展	（丈）		"	7.26	ピエール・クリスタン展、春日部洋展		読売夕刊	9.19
ジョルジュ・ピゴー作品展			読 売	7.27	石崎家 コレクション・富岡鉄斎展		読 売	9.20
長谷川潔銅版画展			読売夕刊	"	マスケリーニ彫刻展		読売夕刊	9.22
現代日本美術展（在ニューヨーク）			"	7.29	野外彫刻展（神戸須摩）		"	9.26
					ジェームズ・アンソール展		読 売	9.27

展覧会名	開催期間	会場	主催	協賛	備考
宇治山哲平展、建昌 覚造自選展	読売夕刊 9.28				岡田又三郎展、牛島 憲之展
田村孝之介、山本貞 個展	(丈) //	10.2			ドピットのタペスト リー展
芸大所蔵品展	読 売 10.4				佐藤照雄個展、司修 個展
渡辺華山の遺墨展	// 10.5				
琳派展	// 10.7				日展を見て (丈) //
高橋秀、三尾公三版 画グラン・プリ展、	読売夕刊 //				篠田桃紅展、中村直 人展
今和次郎民家素描展	// 10.8				日本の版画の歩み展 (芸大)
石本正人物画展	// 10.9				
ルース・ホーラム展	読 売 10.10				米倉齊加年憂気世絵 草紙展
東京国立博物館の百 年(資料展示)	// 10.11				東京国際版画ビエン ナーレ展
京の四季展(山種美 術館)	// 10.12				任直淳展、山内豊喜 展、塚本茂展、井上 三綱展
藤沢典明個展	読売夕刊 10.13				
ロダン・ブールデル ・マイヨール展	// 10.14				渡辺惇三の小宇宙展 (丈) //
琳派展	// 10.19				未更会展、玄覧会展 //
松本竣介展、広瀬功 展	(丈) //	10.21			1回象会展、小松崎 邦雄展 //
国際彫刻シンポジウ ムに参加して上・下	木村 光佑 //	10.21, 22			福田豊四郎遺作展、 山口長男展、 //
祭々会	// 10.23				小野州一展 //
中、近世の東洋画展	// 10.25				中川紀元遺作展 //
フランス中世美術展	読 売 10.26				
「20世紀美術のハイ ライト」展	読売夕刊 //				展覧会批評 (雑誌五十音順)
画家の歩み展、高島 達四郎小品展	// 10.27				東山魁夷新作展に寄 せて 谷川 徹三 アート 20の1
正倉院展	// 10.28				日展小惑 矢野 文夫 //
矢崎虎夫彫刻展、山 城隆一コラージュ展	// //				日展の日本画 藤田 猛 //
レオノーレ・フィニ ー展	// 10.30				第3回日展の日本画 三宅正太郎 //
ブールデル展	// 10.31				日展の洋画 //
豊田一男個展	// //				独立展 //
横山大観展、厩濃展	// //				二紀展 //
東京芸大収蔵品展 (日本画)	読 売 11.2				松尾敏男展 (杏) //
村上豊油絵展	読売夕刊 //				片岡球子富嶽三十六 景展 //
フランス美術の栄光 展	読 売 11.5				正井和行展 //
豊秋半次展 (丈)	読売夕刊 11.7				佐藤昌美個展 //
麻生三郎、吉山勉展	// 11.10				中島憲之・吉田善彦 近代風景二人展 //
池田満寿夫銅版画 展、ポール・ギアマン 個展	(丈) 読 売 11.13				田村一男油絵展 //
轟会	読売夕刊 11.14				刑部人個展 //
宮本三郎舞妓展	// 11.17				土井俊泰作品展 //
国宝三十三間堂展	読 売 11.19				福沢一郎展 //
日本巨匠展	// 11.20				東京の展覧会評 水上 杏平 //
橋本明治壁画展	// 11.22				日展日本画、橙黄 会、華計会、生々 会、芳樹会、日本 画六人展、埋火会、 悠々会、閃光会3

回展、彩昭会、鼎 会展、朱騎会、杜 園会、極光会、七 人(秋元・平野・ 上田・仲村・那須・ 成田・長谷部・依 岡)展、上村淳個 展、森緑翠個展					山尾才、木村光佑、 伊砂利彦、近藤悠 三、高瀬善明				
京都の展覧会評	藤 慶之	ア ー ト	20の 1		第57回展評	矢野 文夫	ア ー ト	20の 3	
黒崎彰、船井裕、 浅野竹二、富樫実、 下村良之介、「現 代の陶芸」展、走 泥社展、「三人の 陶芸」展(坪井明 日香)、麻田脩二、 小野竹喬					沢田政廣水墨展		"	"	
ボストンから“里帰 り”した東洋美術 ＜美術ジャーナル＞	(Y)	"	20の 2		佐藤大寛墨彩画展	(杏)	"	"	
京展の日本画	(藤)	"	"		新平家、中国ブーム をキャッチした博物 館＜美術ジャーナ ル＞	(F)	"	"	
新展覧会評 1		"	"		濱田観日本画展	三宅正太郎	"	"	
展覧会の批評とは	堀内 三郎				第57回二科展	"	"	"	
山本丘人展	(堀)	"	"		行動美術展		"	"	
描かれた歴史—近 代日本画にみる	(N)	"	"		新展覧会評 2		"	"	
香月泰男シベリ ヤ・シリーズ	(O)	"	"		団体公募展	堀内 三郎			
「明治の大阪」展	(日)	"	"		琳派展	(小野)			
「桃山・江戸・明 治300年の美術」	"	"	"		現代の目—近代 日本の美術から	(N)			
斎藤真一越後警女日 記展	(杏)	"	"		浮世絵とその系譜				
パリへ渡る出口(王 仁三郎) 翁の芸術 ＜美術ジャーナル＞	(F)	"	"		清水六兵衛新作展を みて	田近 憲三	ア ー ト	"	
東郷青児展	(杏)	"	"		(皆川)月華さんによ せて	井島 勉	"	"	
中川紀元の世界		"	"		祇園会展	(Y)	"	"	
野村清六水墨展	(杏)	"	"		新井富美郎日本画展	(杏)	"	"	
橋本春光・大阪なん ば高島屋展	猿 仙	"	"		森田英二油絵展	"	"	"	
岩崎巴人個展	(杏)	"	"		佐熊桂一郎個展	"	"	"	
東郷たまみ油絵展	"	"	"		東京の展覧会評	水上 杏平	"	"	
塙賢三展	"	"	"		海老原友忠、成川 雄一、難波田竜起、 神山利夫、大津英 敏、渡辺貞一、後 藤又兵衛、行友巖、 72年新鋭選抜展 (三越)、現水展、 樹展、新樹会展、 国際形象展、華旺 会展、雷会、女を 描く五人展、ヴォ ラール・コレクション 、ジュームズ・ アンソール展、肅 榮宝、濱田観、荻 野次郎、岡村春谿、 陽和会展、妥友会、 錦銀装会、日本画 小品展(一哉堂)、 翠翹会、銀二会展、 紫雲会展				
春の日本画各展	"	"	"		京都の画廊街	藤 慶之	"	"	
院展、日春展、新 制作日本画部東京 展、十五回安井賞 展、加藤栄三展					下谷千尋、庄司達、 下村良之介、柳新 也各個展、矢野喜 久男・大熊峻合作 展、堀泰明・竹内 浩一二人展				
東京の展覧会評	水上 杏平	"	"		立方体から空間へ	吉本 直貴	アイデア	113	
大野忠男個展、斎 藤隆個展、利根山 光人メキシコ・ス ケッチ展、鈴木政 夫作品展、大森朗 衛滞欧作品展、大 貫松三個展、真野 広個展、藤田吉香 展、千家潔個展					吉本直貴の立方体か ら空間へ	福田 繁男	"	"	
京都の画廊街	藤 慶之	"	"		昭和会のことなど	安井 収蔵	絵	96	
					第7回昭和会展報告		"	97	

「三月会展」によせ て	田中 稔	絵	97	焼きものの師の見た 琳派展	八木 一夫		
第7回昭和会展に思 う	野口 達彌	" "	" "	宗達と現代	平川 敏夫		
後期印象派の花・デ ス・パニヤ展		" "	99	アメリカでの「日本 名陶百選展」＜フッ トライト＞	林屋 晴三	芸術新潮	276
第9回太陽展によせ て		" "	101	「現代の陶芸・アメ リカ・カナダ・メキ シコと日本」展より	小倉 忠夫	芸術生活	270
絵について	田村泰次郎			ホルスト・ヤンセン 展・強烈なシニシズ ム	矢川 澄子	" "	" "
藤島の「日の出」 余話	鈴木 松夫						
太陽展を迎えて	三宅正太郎						
太陽展に思う	長谷川 仁	絵	101	清水九兵衛展＜芸生 プリズム＞		" "	" "
笠間・芸術の村作品 発表展	" "	" "	103	カルロス・ゴチャゴ チャ展＜"＞		" "	" "
第3回版画グラン・ プリ展選考報告		" "	104	玩具にみる「遊びの かたち」展＜"＞		" "	" "
第8回昭和会展招待 出品者決定		" "	" "	ウィーン幻想絵画・ 幻想的レアリズムと 想像力	坂崎 乙郎	" "	272
展覧会の鬱々たる波 紋	寺田 千壱	" "	" "	フェルナン・レジェ 展・静の律動	山口 長男	" "	" "
1.メトロポリタン 美術館展の尻尾				ピカソ近作展＜芸生 プリズム＞		" "	" "
2.アンソール展と 好きでないムン ク				堀口泰造彫刻展 ＜"＞		" "	" "
フランス美術の栄光 展によせて	安井 収蔵	" "	105	岩田藤七ガラス茶器 ＜"＞		" "	" "
フランス美術の栄光 展を見終って	松島 正幸	" "	106	田 潤 安一 陶 壁 画 ＜"＞		" "	" "
第3回フランス美術 の栄光展を顧みて	小川 正隆	" "	" "	山岡草の和紙人形 ＜"＞		" "	" "
吉田正雄個展	スタンレイ・ウイリ アム・ヘイ ター	求 美	10	横須賀巧光個展 ＜"＞		" "	" "
宇部・野外彫刻展よ り	弦田平八郎	" "	" "	篠原一男の住宅建築 ＜"＞		" "	" "
20年続いた毎日美術 展の終焉	宗 左近	芸術新潮	209	篠原有司男近作版画	日向あき子	" "	273
ななめから見た「ボ ストン展」	加藤 一雄	" "	" "	北大路魯山人展 ＜"＞		" "	" "
ヴァロリス国際陶芸 展で名誉最高大賞を 得た常滑の作家たち ＜フットライト＞	鈴木 健二	" "	272	西村計雄里帰り日本 展＜"＞		" "	" "
仮面の画家「アンソ ール展」	中原 佑介	" "	273	人形作家合田佐和子 絵画展＜"＞		" "	" "
ヴォラール・コレク ション展を見て＜フ ットライト＞	宗 左近	" "	274	小田ひろみ「やわら かい彫刻」展＜"＞		" "	" "
特集・「琳派展」感想		" "	276	現代スウェーデン美術 展—北欧のポップ・ アート		" "	274
飲みつくせぬ豊饒 な精神	辻 邦生			アウシュビッツがも たらした芸術＜"＞		" "	" "
装飾性という言葉 の意味	高山 辰雄			前田常作展＜"＞		" "	" "
宗達・光琳のみ	利根山光人			日本現代工芸美術展 ＜"＞		" "	" "
中国美術史家の見た 琳派展	ジェームス・ケーヒ ル			写真でみる失われた 沖縄文化財＜"＞		" "	" "
				里帰りした日本の文 化財＜"＞		" "	275

定期刊行物所載文献

村上華岳展<芸生プリズム>	芸術生活	275	三尾公三展<芸生プリズム>	芸術生活	280
鈴木政夫の石彫展<〃>	〃	〃	長嶋伸夫ねこ彫刻展<〃>	〃	〃
ポール・シニャック水彩・素描展<〃>	〃	〃	矢柳剛展<〃>	〃	〃
舞台美術家集団「AKT」の劇的空間展<〃>	〃	〃	秋山泰計展<〃>	〃	〃
シケイロス展—孤高を拒絶する人間愛	井上長三郎	276	柴宮忠徳展<〃>	〃	〃
シケイロスに聞く—壁画こそわが生命	利根山光人	〃	ウーヴェ・ブレーマー展—怪物たちの肖像画家	種村 季弘	〃
マン・レイ展—饒舌の中のベシズム	坂崎 乙郎	〃	「現代の陶芸」展を見て	現代の眼	206
今津誠太郎「セラミック・デザイン展」<芸生プリズム>	〃	〃	その1.変身と不惑	中村 錦平	
セザール彫刻展<〃>	〃	276	その2.現代アメリカの陶芸	乾 由明	
「南アフリカ版画展」<〃>	〃	〃	特集・現代スウェーデン美術展	〃	209
林静一展<〃>	〃	〃	スウェーデン現代美術の背景	三田村峻右	
ブラック・アフリカ芸術展	〃	〃	スウェーデンの生活とデザイン	藤森 健次	
版画に見るムンクとノルデの世界	渡辺 広士	277	スウェーデン—富める国の秘められた狂気	東野 芳明	
津田季穂展<芸生プリズム>	〃	〃	<座談会>スウェーデン美術界の現況—ベアーテ・シードホッフ夫人にきく	〃	210
川島織物タペストリー展<〃>	〃	〃	「近代イタリア美術の巨匠たち」展について	岩崎 吉一	〃
沢野井信夫花壺展<〃>	〃	〃	特集・「近代イタリア美術の巨匠たち」展	〃	211
明治の諷刺画家ジョルジュ・ビゴー展<〃>	〃	〃	イタリアの未来派と近代美術	井関 正昭	
陶磁器東西交流展<〃>	〃	〃	キリコと形而上派	木島 俊介	
ジェームズ・アンソール展—生命ある仮面の悪夢	栗津 則雄	278	未来派と私と日本	神原 泰	
メトロポリタン美術館<芸生プリズム>	〃	〃	特集・開館20年記念「現代の眼—近代日本の美術から」展	〃	214
斎藤悦子木彫・セラミック個展<〃>	〃	〃	第8回東京国際版画ビエンナーレ展について	藤井 久栄	216
清水史朗石彫展<〃>	〃	〃	特集・第8回東京国際版画ビエンナーレ展	〃	217
ヴォラール・コレクション展<〃>	〃	〃	第8回東京国際版画ビエンナーレ展授賞審査の経過	岡本謙次郎	
大沢昌助石版展<〃>	〃	〃	受賞者紹介	藤井 久栄	
トルソーと花展<〃>	〃	279	高松次郎、オットー・ビーネ、原健、リコ・デベンヤーク、ヤネズ・ベルニーク、郭徳浚、カレル・N・フィッサー、上矢津、ジュセッペ・サントマーソ、ルイス・ロベス・		
三栖右嗣展<〃>	〃	〃			
マスケリーニ彫刻展<〃>	〃	〃			
寺田まさ子染色作品展<〃>	〃	〃			
リックカー美術館<〃>	〃	〃			
建畠覚造展<〃>	〃	280			

ロサ、ブリッジ ト・ライリー、 アントニオ・スタ ルチエフスキ ー、ファン・ア ントニオ・ロー ダ、下谷千尋					藤原清平個展、豊 島弘尚個展、武留 井義男個展、コス モ・ファクトリ三 人展、金重晃介作 品展、高見沢文雄 展、小出ヒサヨシ 個展	平井 亮一			
なぜ現代の版画は 多様なのか？	岡田 隆彦				(京阪の美術)藤本 良和個展、黒崎彰 個展、和気史郎・ 吉寺と能面展、西 山喬スケッチ展、 大野俊明・稲木守 二人展、柳原紫峰 一周忌回顧展	田中日佐夫			
半田富久石彫展		建築文化	304						
松村勝男の家具展		"	314						
京都日本画の転換期 ―国展解散から―	田中日佐夫	三	彩	282					
小野竹喬「天皇の世 紀」挿絵原画展	藤本 韶三	"	"		抽象的抒情性―能仲 ヤツラの作品につい て	陰山 恭一	三	彩	286
展覧会短評		"	"						
高木敏行個展、喜 屋武貞男展、名和 義憲個展、高山登 展、下谷千尋展、 山下菊二展	平井 亮一				ピカソ近作展をみて	植村鷹千代	"	"	
金島桂華展、鍋木 清方展、鳥海青児 展、東山魁夷展、 晴秋会、橙黄会、 風々会、稲葉実展、 鈴木信太郎油絵 展、上村淳展、田 村一男油絵展	松原 叔				全栄華東洋画展<美 術メモ>		"	"	
(京都の美術)晨鳥 社グループ<壽> 展、「空」を主題 としての日本画三 人展、小野竹喬新 作展、上村淳展、 磯月明證仏頌展、 黒崎彰版画展、田 中広樹個展	田中日佐夫				三越の特選ギャラリ ー開設<">	(三)	"	"	
展覧会短評		"	284		一九七二・京都ビェ ンナールを見て	中原 佑介	"	"	
荒土会、孔雀会、 双杉会、森緑翠個 展、中神潔個展	松原 叔				現代日本新人作家展	(多)	"	"	
山野卓個展、倉重 光則個展、鶴沢明 人展、原口典之展、 柴田雅子作品展 示、嶋屋征一作品 展	平井 亮一				展覧会短評		"	"	
向井久万展、一現 会、伊谷賢蔵遺作 素描展	田中日佐夫				酒井三良遺作展	多田 信一			
形体の総合への指向 ―レジエ展に寄せて	藤堂 司郎	"	285		十一会春季展、昭 彩会、春鶯会、翠 嶺会、彩虹会、岡 本平三個展、竹山 博個展、藤本東一 良展	松原 叔			
展覧会短評		"	"		「魔胎陣列館」、奥 山登個展、小島日 南恵版画展、今井 治男個展、有馬良 作個展、原口典之 展、鶴沢明人展、 倉重光則展、藤井 博展、木村林吉個 展、中村憲之展	平井 亮一			
八樹会3回展、院 展受賞作家新作 展、藝会14回展、 日展日本画受賞作 家展、日本画七人 展、新作三人展、 田坂乾個展、全栄 華東洋画展、鷲田 新太個展、北村綱 義個展	松原 叔				(京阪の美術)京都 日本画総合展、 1972京都ビエンナ ール、勝山正則版 画展、萌芽会	田中日佐夫			
					国展の落穂をひろう	仙波 建	"		287
					展覧会短評		"	"	
					春の院展、野口謙 蔵遺作展、美禊会、 美楽会、潮会、中 央公論新人展、装 二人展	松原 叔			
					(東京ビエンナール 中止について)	平井 亮一			
					(京阪の美術)焔2 回展、桑野博利 「志摩」素描展、飯 田教子個展、山田 昇個展	田中日佐夫			
					畦地梅太郎版画展 <美術メモ>	(横)	"	"	

定期刊行物所載文献

輝ける美の饗宴—梅
原龍三郎北京作品展
をめぐって 小川 正隆 三 彩 288

創造神ブラーマー伊
藤三喜庵の作品を見
て 藤本 韶三 " "

渡辺文平個展<美術
メモ> 植村鷹千代 " "

展覧会短評 " "

兼素洞開廊展、栗
原喜依子風景展、
鱈利彦個展、松尾
敏男個展、宮永岳
彦展 松原 叔

鈴木明個展、若江
漢字版画展、若江
漢字個展、大阪日
出男個展、大石一
義個展、内田信個
展、大村連個展、
田辺和郎個展、渡
辺豊重個展 平井 亮一

(京阪の美術)新制
作春季京都日本画
展、パソリアル春
季展、霜鳥之彦近
作展 源城 政好

林潤一と館岡豊照の
個展をめぐって 田中日佐夫 " 289

展覧会短評 " "

新制作日本画春季
展、リュミエール
展、友人会、晨嶺
会、春潮会 松原 叔

菅木志雄展、トン
マタダン展、本田
真吾展、松尾一男
展、斎藤隆個展、
鍋木昌弥展、大野
修展 平井 亮一

(京阪の美術)牧人
社展、朴土グルー
プ展、東丘社29回
展、青塔社17回
展、京展、第58回
光風会展、第25回
全関西行動美術
展、モダンアート
京都展 源城 政好

現代作家はなぜ屏風
絵をかくか—第2回
鼎会屏風展 鈴木 進 " 292

清水多嘉示の彫刻—
裸婦展によせて 安井 収蔵 " "

田中阿喜良のこと 寺田 千壘 " "

楠部弥弑先生讃—現
代の名盤展 黒田 領治 " "

小野忠重版画近作展
<美術メモ> (直) " "

長谷川潔作品展
<〃〃> (四) " "

展覧会短評 " "

墨彩展、雨晴会17
回展、黒田頼綱・
久美子二人展、第
3回登龍会 松原 叔

松永敏宏彫刻展、
徐承元作品展、三
好ヒデトン個展、
有田暁子展、糸数
都・中森ひろ子共
同個展、内藤晴久
個展 平井 亮一

(京阪の美術)京都
日本画新人展、新
制作日本画京都研
究展、あすなろ会
展、第2回鼎会、
祇園会展 源城 政好

特集・秋の団体展Ⅰ 三 彩 293

院展をみて 鈴木 進
二科展・行動美術
展 平井 亮一

特集・メトロポリタ
ン美術館展 " "

メトロポリタン美
術館展を見て 吉村 貞司

大沢昌助石版画展
<美術メモ> (直) " "

反時代展<〃〃> (灰) " "

伊東深水展<〃〃> 多田 信一 " "

ヴォーラル・コレク
ション展<〃〃> (横) " "

シエル美術賞展
<〃〃> (田) " "

川村鳴谷の水墨画 三宅正太郎 " "

展覧会短評 " "

潮音会、新樹会展、
銀二会10回展、新
井富美郎個展、武
藤彰個展、小川博
史個展 松原 叔

堀正明個展、太田
正明・新里陽一展、
藤原和通「音響標
定」、中井恒夫展 平井 亮一

(京阪の美術)第11
回京都日本画家山
紫会展、第9回京
都日本画会中堅作家
展、第3回昭和会
展、位双作品展、
下谷千尋個展、藤
本忠彦個展 源城 政好

特集・秋の団体展Ⅱ " 295

新制作協会展をみ
る 原田 実

一水会・一陽展 平井 亮一

マスケリーニ彫刻展
<美術メモ> (直) " "

マリノ・マリーニ新
作版画展<〃〃> (横) " "

清水六兵衛の新作
<美術メモ> 多田 信一 " "

第3回須磨離宮公園
現代彫刻展をみて
<〃〃> 弦田平八郎 " "

展覧会短評 " "

翅会1回展、鱧利彦個展、橋原健三個展、オールフランス画壇新人展	松原 叔		
重松剛毅個展、水本修二展、川俣健次発表展、反時代展	平井 亮一		
(京阪の美術)飯田清毅と京都の女流作家たち展、第16回シェール美術賞展、下村良之介銅版画展	源城 政好		
特集・秋の団体展Ⅲ		三 彩	296
日展の日本画	永井 信一		
独立展をみる	原田 実		
二紀展・自由美術展	平井 亮一		
白聖会	鈴木 進	"	"
宇治山哲平展を見て感じたこと	江川 和彦	"	"
元村平個展<美術メモ>	(SHO)	"	"
重村三雄展<〃>	(灰)	"	"
展覧会短評		"	"
高風会、至風会、香月・中間・森三人展、田村孝之介人形展、高島達四郎小品展、広瀬功個展、瀧田依子個展	松原 叔		
柴田雅子展、原口典之個展、芝高康造個展、柴田静雄個展、篠原吉人個展、望月淑子個展、石井康夫彫刻展、塚田猛昭個展、岡部公英展	平井 亮一		
第3回京都現代美術秀作展、第30回パンリアル展、川端弥之助習作時代展	源城 政好		
美術批評	江上 明 素 描	1(1968. 8)	
庄司達個展、久野真個展、浅野弥衛個展、野水信個展			
展覧会月評		中 美	201
江藤純平個展、鈴木信太郎個展	田近 憲三		
日展、ルオー展、郡山三郎展	結城健之介		
展覧会月評		"	202
末田利一展、現代日本具象画家展	田近 憲三		
萬鐵五郎展、遙会第2回展、彫刻六人展	結城健之介		
展覧会月評		"	203

天心と現代日本画展、熊谷守一展、新鋭九州作家展	結城健之介		
鷺田新太個展	田近 憲三		
展覧会月評	林 紀一郎 中 美		204
歌川國芳展、立軌会展、十一会春季展、堀口泰造彫刻展、田中稔之個展、能仲ヤツヲ展、四人の道化師展、宮木英幸・慧子<構成展>			
展覧会月評	"	"	205
ペーテル・ブリュール版画展、フエルナン・レジエ展、北大路魯山人展、示現会展、白日会展、水彩画連盟展、大町紉個展、瑞賢三個展、丸山妙子個展、小野寺英吾個展、関口茂個展、阿部隆行個展			
展覧会月評	"	"	206
香月泰男 シペリア・シリーズ展、ウィーン幻想絵画展、桃山・江戸・明治300年の美術、山本丘人展、光風会展、創元会展、日本版画協会展、モダンアート展、星方展、千家潔個展、田栗テル個展			
展覧会月評	"	"	207
デューラーとドイッ・ルネッサンス展、バラドンとユトリロ展、スウェーデン現代美術展、青木繁展、国画会展、春陽会展、東光会展、日本画院展、朗日会展、前田常作展、和田徹個展、水谷淳個展、五月会展			
展覧会月評	"	"	208
近代イタリア美術の巨匠たち、シケイロス展、ブラック・アフリカ芸術展、斎藤真一越後磐女日記展、三岸好太郎展、第一美術展、旺玄会展、女流画家協会展、主体美術協会展、新興美術院展、光陽会展、J A N 展、十柯会展、名村定志個展、成松由季子個展、田辺竹次個展、郡山三郎展			

展覧会月評	林 紀一郎	中 美	209
菱田春草展、現代 イタリア彫刻の全 貌展、新象作家協 会展、日本水彩画 会展、現代美術協 会展、新美術協会 展、日展水彩作家 協会展、新構造社 展、朱葉会展、難 波田龍起展、鈴木 博個展、片谷美香 個展			
展覧会月評	"	"	210
メトロポリタン美 術展、ヴォラール コレクション展、 第11回国際形象 展、第57回二科展、 第27回行動美術 展、第57回院展、 田中阿喜良展、現 代肥前陶磁展、11 回律動展			
展覧会月評	"	"	211
現代の眠一近代日 本の美術から、ジ ェームズ・アンソ ール展、第36回新 制作展、第18回一 陽会展、第34回一 水会展、土門拳写 真展「古寺巡礼」、 宇治山哲平展、横 山潤之助遺作展、 3回樹展			
展覧会月評	"	"	212
琳派展、フランス の中世美術展、第 40回独立美術展、 第36回自由美術 展、第26回二紀会 展、矢崎虎夫彫刻 展、三尾公三展、 藤沢典明個展			
第3回日展の洋画	植村鷹千代	点 描	1
第3回日展日本画	竹田道太郎	" "	" "
人間性の本質をえぐ る肖像一ゴヤ展を觀 て	東 珠樹	" "	" "
華麗な色彩の饗宴一 ルノワール展を觀て	"	" "	" "
田村一男個展評・そ の新展開について	植村鷹千代	" "	" "
日本画のバック・ボ ーン「近代の南画」 を見て	永井 信一	" "	" "
日本彫刻美の原型一 平安時代の彫刻展を みて	"	" "	2
春の院展所感	竹田道太郎	" "	6
山本丘人展	"	" "	" "
日春展への注文	"	" "	" "
第58回光風会展の代 表作群<絵画>	植村鷹千代	" "	" "

新作展	竹田道太郎	点 描	7
(故)加藤栄三「日本 の祭」展	"	" "	" "
春陽展の新旧作家一 佳作を中心に	植村鷹千代	" "	" "
歴史画雄感一「描か れた歴史」をみて	永井 信一	" "	" "
ふたつの新制作日本 画展	竹田道太郎	" "	" "
新制作日本画春季 展、新制作日本画 会員展			
堂本美術館第11回展	永井 信一	" "	" "
ボストン美術館の東 洋彫刻の名品	"	" "	8
第20回青羊会日本画 展	竹田道太郎	" "	" "
雨晴会第17回展	"	" "	9
メトロポリタン美術 館展	東 珠樹	" "	10
異色の画家 ジェー ムズ・アンソール展	"	" "	" "
第57回院展	竹田道太郎	" "	11
第57回二科展	植村鷹千代	" "	" "
日本伝統工芸展	永井 信一	" "	" "
新制作展一主として 日本画をみる	竹田道太郎	" "	12
一水会・一陽会を觀 る	東 珠樹	" "	" "
第40回独立展	植村鷹千代	" "	" "
第26回二紀会	"	" "	" "
第18回一陽会	東 珠樹	" "	" "
喜寿記念小倉遊亀展	竹田道太郎	" "	" "
二つの展覧会を見て 一琳派展と染付の道	永井 信一	" "	" "
広瀬功個展	広瀬 功	" "	" "
高島常雄個展	高島 常雄	" "	" "
展覧会評	三宅正太郎	日本美術	85
第27回春の院展、 第7回日春展、岩 崎巴人の個展			
溢れるヒューマニテ ィー明治の諷刺画 家ジョルジュ・ピゴ ー展	福永 重樹	" "	88
国際的視野と東洋の 伝統一「春草展」に 思うこと	鈴木 進	" "	" "
展覧会スポット		" "	92
宮本三郎舞妓十二 題展、橋本明治壁 画展、内山雨海展、 寺田政明画集出版 記念展、小柳竜児 個展、始一人個展			
展覧会評		" "	92
豊秋半治四十年の 歩み展、八木正風 個人展、竹久夢二			

手刷り版画歌謡集 展、増井英個展、 岳沢兵衛個展			
清水六兵衛回顧展	菊地芳一郎	美術グラ フ	21-1
東山魁夷の「窓」展	〃	〃	〃
小野竹喬の近作展	〃	〃	〃
展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
秋季新 興 美術 院 展、三軌会秋季展、 35回大潮会展、11 回草炎展、3 回グ ループ萌展、14回 黎会展、青地秀太 郎の「上高地」展、 西山真一展、中島 哲郎の渡欣展、玉 ノ内満雄展、上条 静光の近作展、喜 井黄羊の山水画 展、高野真美、田 代順七、井上長三 郎、中神潔、河口榮 土、島田良祐、佐 藤土筆各個展			
荻野康児と灯台一最 近の個展から		〃	21-2
展覧会評	菊地 明子	〃	〃
赫画会展、10回珠 紅会、彫塑三人展 と彫刻七人展、13 回花影会人形展、 市川秀光、橋本竜 美、鷺田新太、刑 部人、斎藤真一、 高嶋祥光、早坂信 各個展			
展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	21-4
19回日本画府展、 日本アンデパンダ ン25回展、16回新 槐樹社展、11回大 調和展、24回立軌 展、四人展（関正 和・田賀亮三・久 田弘・藤沢匠）、 2回日本画七人 展、藤本東一良個 展、丸山妙子展、 江藤哲のデッサ ン展、関口雄揮個 展、竹山博日本画 個展、佐久間藤太 郎の陶芸、浦崎永 錫、大森啓助、画 装二人（若木山・ 吉沢暉治）展、渡 辺豊重、牧進、堀 口泰造各個展			
田栗テルの制作		〃	21-6
展覧会評	菊地芳一郎	〃	〃
12回日本南画院 展、22回一線美術 展、32回美術文化 展、15回新協美術 展、48回白日会展、			

31回水彩連盟展、
25回示現会展、17
回新世紀展、24回
三軌会展、31回創
元会展、くろっち
グループの作品
展、12回三多主会
展、三橋兄弟治の
近作、堀賢三の作
品、飯野農夫也の
版画、小栗正の個
展、高間惣七・真
理父子展、帖佐美
行の彫金個展

山本丘人展を見て	菊地芳一郎	美術グラ フ	21-7
展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
27回春の院展、40 回日本版画協会 展、22回モダンア ート展、58回光風 会展、日影展2回 展、49回春陽展、 38回東光展、46回 国画会展、4 回五 燦会展、心象会日 本画展、9 回25日 会日本画展、女流 日本画創作会展、 日本画三人展、16 回陽門会人形展、 鱧利彦の近業、黒 田外喜男の作品、 工藤晴彦の油 絵 展、中山峰三郎近 作展岩崎巴人の 「戦火インド」 展、岡崎邦領の万 葉画展、塩原友子 展、勝尾黎彦の陶 展、林茂松の陶展、 東郷青児、溝田コ トエ個展、高頭信 子、久保田孝司、 西尾善積展、佐藤 潤四郎各個展			
桶部弥弼の新作陶	菊地芳一郎	〃	21-8
展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
新制作日本画春の 展、日本画院32回 展、68回太平洋展、 自由美術造反展、 8 回主体美術展、 光陽会20周年展、 38回旺女会展、6 回東方美術展、12 回土窯グループ 展、5 回五月会展、 23回工彩会展、瀬 高政良展、藤沢匠 の油彩展、越後賢 女日記展、郡山三 郎個展、名村定志 の近業、奈良清四 郎展、長谷部昇、 湯沢正臣、成松由 季子、神山利夫、 神原泰、野村清六、 石塚晃溪、水田舜 人各個展			

定期刊行物所載文献

信田(洋)君の個展に寄す	大須賀 喬	美術グラフィック	21—9	大熊栄子個展、山田土筆、小柳種世、美作七朗、上田貞一、保科米三、鱸利彦、笹鹿彪、松田ヨシオ、篠田義一各個展				
展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	"	"	展評	美術ジャーナル	復刊 1		
新構造社44回展、72回朱葉会展、25回創造美術展、26回職美展、5回全日本水墨画展、日本水彩画会60周年展、28回現展、43回第一美術展、22回再興新興美術院展、14回煒土社展、66回現代鑄金工芸展、2回全国陶芸展、1回青土会作陶展、奈良岡正夫個展、三保憲司個展、佐伯米子展、池辺一郎・高橋庸男二人展、坂元淑晃、大久保実雄各個展				第57回二科展、第27回行動展、第57回院展				
「アンデパンダン'72」について—山陰地方の場合	枝野 茂	"	21—10	展評	"	復刊 2		
展覧会評	菊地芳一郎 田村 進 菊地 明子	"	"	第36回新制作展、第44回一水会展、第18回一陽会展				
57回日本美術院展、57回二科展、27回行動美術展、3回前衛美術鮎展、7回秋の日府展、6回現代美術家集団東京展、6回轍会、4回グループ崩展、長流会一回展、22回独立十人の会、5回大河展、20回平和美術展、浜田親展、西村恵定の訪欧作展、武藤彰展、斎藤悦子人形展、山田耕三、斎藤嗣火、高橋北修、田辺竹次、藤田喬平、今井善一郎、日野耕之祐、小川博史、吉城弘、罇竜一郎各個展				第11回国際形象展	"	"		
展覧会評	"	"	21—11	反動的！「現代の幻想絵画」展<今月の焦点>	野村 太郎	美術手帖	350	
34回一水会展、18回一陽会展、36回新制作展、40回独立美術展、36回自由美術展、26回二紀展、8回白土会東京展、11回国際形象展、26回新樹会展、3回樹展、12回青明会、4回九月会展、4回四象会展、13回青炎会展、中間冊展、矢崎虎夫の彫刻、箕輪初太郎油絵展、佐藤亘宏個展、本目勇市個展、				<展覧会から>フランシスコ・デ・ゴヤ	"	"		
				ゴヤー檻からの解放	神吉 敬三			
				ゴヤー病跡学の立場から	宮本 忠雄			
				展評	平野 重光	"	353	
				展評	峯村 敏明	"	"	
				原口典之、加賀谷武、菅木志雄				
				流れを欠く展覧のチグハグさ—「天心と現代日本画展」をみて<今月の焦点>	匠 秀夫	"	"	
				なぜ「土」にこだわるか—意図の不明瞭な「現代の陶芸展」<〃>	木島 俊介	"	"	
				オリンピック芸術展示	ヴラスト・チハーコバ	"	354	
				展評	"	"	"	
				高橋罔夫、菅木志雄、狗巻賢治	峯村 敏明			
				野村仁個展、浮田茂個展	平野 重光			
				戦後具象絵画の衰退ぶり—近美<具象表現の変貌>展を見て<今月の焦点>	藤枝 晃雄	"	"	
				<ここ>から<ここ>へ—1972京都ビエンナーレから	峯村 敏明	"	355	
				《ひらかれている》展報告<表現理論'72>	田中 孝道	"	"	
				展評	"	"	"	
				Japan Kobe<0>展、山本圭吾個展	平野 重光			
				永松勇三個展、河口龍夫個展	峯村 敏明			
				ウィーン幻想絵画展	"		356	

幻想の誕生—「時代の神話」として	栗津 則雄		
ウィーン派にみる<幻想>の風化	栗田 亮		
展評		美術手帖	356
田窪恭治個展、稲憲一郎個展、本田真吾個展	峯村 敏明		
中辻収子個展、片岡友和個展	平野 重光		
詩の光と色の形—「クロマトポイエマ」展望	大岡 信	"	357
展評		"	"
河鐘賢個展、徐承元個展、沈文燮個展	峯村 敏明		
宮崎豊治個展	平野 重光		
シケイロス展		"	358
その政治的主題と活動	利根山光人		
現実の発見がまたぎ越すもの	織田 達朗		
展評		"	358
10年目のギャラリー16展、村岡三郎個展、庄司達個展	平野 重光		
彦坂尚嘉のミュージック、堀浩哉、A C T展No. 2、Bゼミ展(中上清)、田窪恭治展、<展>柏原えつとむ	峯村 敏明		
展評		"	359
高橋雅之個展、八田淳個展、長重之個展、石川誠個展	峯村 敏明		
<Context" exhibition =美術は展覧会=活躍する僕たちは'72・8/4→8/9展>	平野 重光		
"都市空間のなかに、?—第3回須磨離宮公園現代彫刻展		"	360
展評		"	"
関係概念平面・水本修二展、遙かモビイ・ディックの日の巨体を求め…和田守弘展、DIF-FUSION DE RIVIERE・山中信夫展、松本曼展、PRIVATE BOX 展			
Book<五人組孔版展REVOLUTION>展、志野明個展、高田和弘個展	平野 重光		
展評		"	361

Just-pulsing 永松勇三、時差の鶏「狩人製の発電所」展清水晃、AFF-ECT a Cotton Space 柴田雅子、青山光佑			
高橋秀個展、榎倉康二個展	峯村 敏明		
META ART PROJECT ('72 8/22—27)、映像表現'72—もの・場・時間・空間—Equivalent Cinema	平野 重光		
日展の「工芸美術」をみて	柳橋 真 萌 春	206	
諸展観評		"	"
華計会展、4回朱門会、山崎豊個展、3回霜晨会、石井正哉遺作展、橋爪堆恩水墨画展、森緑翠展、12回轟会、上村淳個展、山本六郎展、白合会展、飛鳥会展、牛島・吉田近作風景展、1回新樹会、現代日本新作家展、3回生々会展、芳樹会展、1回杜園会展、4回十一月会展、3回澄流会展			
現代の幻想絵画展の日本画をみて	田中 皓一	"	207
清水六兵衛回顧展	井上 昇三	"	"
諸展観評		"	"
全榮華東洋画展、千鶴先生の水彩画九月会3回展、桂花会5回展、23回白寿会、島田良祐個展、佐藤土筆個展、清湍会1回展、上条静光個展、7回青令会、信貴会展、日本画六人展、8回凱風会展、池田憲二小品展、5回晨松会、丹阿弥岩吉個展、正井和行作品展、中央公論秋季展、8回蓍会、4回艸芽社展			
酒井三良を偲ぶ会を見て	田中 皓一	"	208
諸展観評		"	"
14回黎会、日展受賞作家新作展、高島祥光個展、珠紅会、黒崎義介個展、阪口一草色紙展、早坂信個展、2回7人展、院展受賞作家新作展、1回們会、7回悠々会、春鶯会、登竜会受賞者展、結城天童滯欧作品展			

諸展観評		萌	春	209	深見実郎 2 回展	萌	春	212
16 回明窓会展、9 回京風会、2 回松嶺会展、1 回翠嶺会展、雄翔会展、牧進個展、1 回絃々会、関口雄揮個展、木村塚一個展、綜合美術展「潮」、日本南画院 12 回展、竹山博展、昭彩会 3 回展、上村賀子・柴田光子二人展					諸展観評	〃	〃	
第 27 回春の院展	田中 皓一	〃		210	日本画院 32 回展、東方美術 6 回展、水田舜人個展、三人展、林茂松作陶展、菊地友一“雪月花”展、加倉井和夫・山岸純二人展、伸光会 2 回展、春風会展、新風会 1 回展、中山忠彦・野々山良樹二人展、戸田康一個展、牧人社、林潤一個展、			
諸展観評		〃	〃	〃	諸展観評			213
美纓会 1 回展、中央公論新人展、馥会 1 回展、潮会 5 回展、春暉会展、三多主会 12 回展、彩杯会展、草土展、無礙画塾展、精彩会 1 回展、小栗正小品展、西村愛山個展、鴉の会 3 回展、女流日本画創作会展、岡橋邦領個展、安西啓明展、大山魯牛水墨展、京葉会展、丹扇会、肅築宝・掌一父子展、岩松正作品展					新美術 19 回展、霹靂 26 回展、大平華泉墨彩展、創造美術 25 回展、荻野次郎小品展、玲方画塾日本画展、藍の会 1 回展、藤田高日子展、グループ展、陽和会 4 回展、新生美術 13 回展、峭風会 4 回展、中央公論春季展、創英会 4 回展、彩潮会 10 回展、青羊会 20 回展、翠松会展、燦人会展、樗会 8 回展、新松会展、晴風会 9 回展			
山本丘人・杉山寧・高山辰雄新作展によせて	田中 皓一	〃		211	第 57 回院展	三宅正太郎	〃	214
第 7 回日春展寸感	〃	〃	〃	〃	諸展観評	〃	〃	〃
加藤栄三の「日本の祭」展	三宅正太郎	〃	〃	〃	轍会 6 回展、“且”、日本画四作家展、全日本水墨画展、登龍会新人会展、女流日本画創作会展、尚美展、梧桐会 9 回展、来友会展、北辰会展、錦銀装会 11 回展、雨晴会 17 回展、日本画小品展、嗽会 1 回展、九阜会展、翠轡会展、墨彩会展、銀二会 10 回展			
諸展観評		〃	〃	〃	新制作第 36 回展をみて	永井 信一	〃	215
川端竜子展、松尾敏男個展、高頭信子 5 回展、明石梅溪墨彩画展、石黒直子作品展、竹内広吉 2 回展、川崎小虎展、石塚晃溪墨彩画 2 回展、松声会 6 回展、日本画三人展、二十五日会 9 回展、飯田満佐子・島万里二人展、リュミエール、春信会展、輝風会展、日本画洋画大家展、松柏会 4 回展、金蘭会展、翺爽会 7 回展、三彩会 3 回展、虹 2 回展、卯月会 6 回展、小川千穂遺作展					伊東深水展	奥田 元宋	〃	〃
第 22 回新興展・評	三宅正太郎	〃		212	九月会展を見て	田近 憲三	〃	〃
新制作日本画春季展	田中 皓一	〃	〃	〃	第一回好想会展によせて	佐々木直比古	〃	〃
東丘社 29 回展		〃	〃	〃	清水六兵衛新作展		〃	〃
日春会展		〃	〃	〃	皆川月華染彩展		〃	〃
池田遙邨・中国スケッチ展		〃	〃	〃	工芸采匠展（11 回）		〃	〃
					小谷津任牛・中島多茂都遺作展		〃	〃
					浜田観個展		〃	〃
					諸展観評		〃	〃
					東方美術秋季展、武藤彰個展、長流			

会展、山田土筆 5 回展、青明会 12回 展、日本画教室作 品展、新井富美郎 個展、金耀会同人 展、小林草月個展、 創風会展、三珠会 16回展、彩日会展、 紫雲会 5回展、青 丹会展、朱立会展、 小杉放庵展、鼎会 屏風展、セントラ ル百人展、祇園会 42回展、鎌倉美術 協会 9回展、東京 表具経師文化協会 作品展、女を描く 五人展	第 4 回日展日本画評 舞妓画に挑む石本正 小泉淳作展 小栗正個展 諸展観評	細野 正信 萌 春 216 田中 皓一 " "	小柳種世個展、住 谷磐根個展、渡辺 玉花作品展、中山 千翠個展、池辺安 民 6 回展、横尾芳 月美人画展、川合 修二作陶展、青炎 会 12回展、新月会 展、四象会 4回展、 興人会 8回展、花 恵会 2回展、陶女 会作陶展、翅会 1 回展、好古会 2回 展、漆々会 2回展、 日和会展、鼎会展、 至風会 4回展、華 計会展、洛琳会展
1972京都ビエンナー レ<フラッシュ>	乾 由明 みづゑ 808		
近代イタリア美術の 巨匠たち<">	赤根 和生 " 810		
第 3 回須磨離宮公園 現代彫刻展<">	乾 由明 " 813		
現代の眠一近代日本 の美術から<">	陰里 鉄郎 " "		
現代ドイツ美術展感 想	吉岡健二郎 視 る 56		
「ヨーロッパの日本 作家」展にみる変化	河北 倫明 " 66		

東洋古美術

総 記

仏教美術の世界 1, 2	真鍋 俊照	季刊芸術 月刊文化 財	21, 23
日本文化史講座			
4. 飛鳥の史跡	平野 邦雄		101
5. 飛鳥奈良時代の 彫刻	西川 新次		103
6. 奈良時代の寺院 建築	大岡 実		105

7. 平安時代の建築	浅野 清		106
8. 平安時代の彫刻	町田 甲一		107
9. 平安時代の工芸	蔵田 蔵		108
10. 平安時代の 絵 画	秋山 光和		111

美術史雑記

1. 唐草模様、2. 日 本の彫刻 3. 日本 美術における装飾 性 4. 日本美術の 静物画 5. 日本美 術の文学性 6. 日 本の風俗画 7. 日 本画面と構図 8. 日本の風景画	源 豊宗	日本美術 工芸	400, 401 403, 404 406, 408 410, 411
日本美術誌 1~12	栗田 勇	芸術新潮	265~276
日本美術史への試 み一仏教美術	林 紀一郎	中 美	201~212
日本美術史における 中央と地方	源 豊宗	月刊文化 財	102
古美術雑感	神田喜一郎	"	103
日本美的再発見 1~10	安岡章太郎	芸術新潮	265~274
日本美術の原色	田中日佐夫	"	271
空間と実体	稲田 尚之	京都市立 芸大美術 学部研究 紀要	17
失われたものとの 対話 1~4	吉村 貞司	日本美術 工芸	408~411
禅林美術史考 1~4	竹内 尚次	茶道雑誌	36-2, 4, 7, 9
本の美術史 7~11	小野 忠重	三 彩	284~288
古京年代記 12~19	村井 康彦	日本美術 工芸 月刊文化 財	400~407
文化財の旅			
27. 丹後路	百田 昌夫 杉原 和雄		100
28. 上野国 と その 周辺	尾崎喜左雄		101
29. 常陸路	西宮 一男		102
30. 国東路	後藤 正二		103
島の旅		"	105~108 110, 111
沖縄の自然と文化	源 武雄	"	104
立石寺	永井 信一	仏教芸術	85
大徳寺の美術	源 豊宗	茶道雑誌	36-4
当麻寺 1. 縁起を中 心として	岩城 隆利	元興寺仏 教民俗資 料研究所 年報	5
怨霊鎮魂の薬師寺	下沢 剛	芸術新潮	266
神々の浄土(厳島)	景山 春樹	"	109
法隆寺献納宝物 法 隆寺献物帳	木内 武男	ミュー ジ アム	257
史料公刊 1~3 壬 申検査「古器物目録」		"	255~257

東京国立博物館の100年		国立博物館ニュース	296~308	高松塚壁画古墳 大陸からの懸橋(座談会)	宮川、上原 杉山、田中 土居 三 彩	288
東京国立博物館100年のあゆみ	大場 佐一	月刊文化財	109	東アジア圏のなかの日本文化・美術の位置—高松塚古墳遺物の理解のために—	杉山 二郎	古美術 37
百年前の東京国立博物館	樋口 秀雄 椎名 仙卓	芸術新潮	267, 268	高松塚の考古学的価値と今後の問題点	末永 雅雄	仏教芸術 87
地方博物館と美術工芸品の取扱い管理	西川杏太郎	月刊文化財	111	高松塚古墳総合学術調査—その成果と今後の課題	青山 茂	" 89
美術館博物館めぐり64~71		"	100~103 105~107 110	高松塚古墳所感	清水 潤三	考古学ジャーナル 69
ポストン美術館東洋美術名品展によせて	景山 春樹	"	102	私見高松塚	梅原 猛	芸術新潮 274
ポストン美術館と里帰りする名品	金沢 弘	"	"	続私見高松塚 被葬者は誰か 上、中	"	" 275, 276
ななめから見た「ポストン展」	加藤 一雄	芸術新潮	269	高松塚古墳をめぐる一壁画の墓域の問題点をさぐる一	田中日佐夫	古美術 37
平家納絵と厳島の秘宝展	京都国立博物館	月刊文化財	109	高松塚古墳壁画について	上原 和	" "
琳派展によせて	千沢 楨治	"	109	高松塚古墳の壁画について—7世紀中期制作説の提起—	"	美 学 91
琳派展をめぐる一		芸術新潮	273	高松塚古墳壁画の意義	長広 敏雄	仏教芸術 87
アイヌ文化の成立—民族・歴史・考古諸学の合流点	渡辺 仁	考古学雑誌	58—3	絵画としての高松塚壁画古墳—法隆寺金堂壁画との比較など	川面 稜一 田中日佐夫 (対談)	三 彩 289
東博保管のアイヌ民族資料紹介 1.2	松野 庸子	ミュージアム	252, 253	装飾文様の上から見た高松塚壁画古墳の様式年代について—ベルシャ文様の受容とその時期	上原 和	仏教芸術 87
もと長崎奉行所のキリシタン関係遺品	江口 正一	月刊文化財	100	高松塚古墳の壁画によせて	金 延鶴	考古学ジャーナル 71
玉虫厨子問題の再検討—建築的造形に見られる二つの特徴について—	上原 和	仏教芸術	84	高松塚壁画筆者の問題	佐和 隆研	仏教芸術 87
同続編—戦後発見の高句麗壁画古墳と玉虫厨子	"	"	86	高松塚古墳の壁画風俗と被葬者	義江 彰夫	日本歴史 293
同続々編—玉虫厨子絵における彩色と主題について	"	"	89	飛鳥壁画の画家		芸術新潮 269
高松塚古墳の保護について		月刊文化財	105	1. 美をめぐる意見	五味 充子	
高松塚古墳総合学術調査について	文化庁文化財保護部	"	110	2. 服飾から見た高松塚		
高松塚古墳の発掘調査	網干 善教 伊達 宗泰	仏教芸術	87	高松塚古墳壁画断想—特に婦人像について	中吉 功	韓 1—7
高松塚古墳の保存	三輪 嘉六	日本歴史	293	高松塚古墳壁画人物の服飾と持物		仏教芸術 87
特集高松塚古墳の謎		日本美術工芸	405	服飾	相川佳子子	
高松塚古墳	伊達 宗泰			持物	秋山 進午	
唐代壁画墓と高松塚	町田 章			中国文献より見た高松塚古墳壁画の器物	愛宕 元	
高句麗壁画古墳と高松塚	永島暉臣慎			高松塚の星象・四神図について	吉田 光邦	" "
高松塚古墳をめぐる(座談会)	秋山、岸、 斎藤、伊達 浜田、井上	日本歴史	293	高松塚古墳と高句麗壁画—四神図の比較—	有光 教一	" "
				高松塚古墳壁画と神仙思想	服部 良男	びぞん通信 18

高松塚古墳の壁画顔料について—その化学的調査	安田 博幸	仏教芸術	87	和泉—泉北地方—の文化財調査		大阪市博研究紀要	4
日本古代史からみた高松塚古墳—壁画と被葬者を中心に—	直木孝次郎	〃	〃	九州における仏教美術(講演要旨)	平田 寛	佐賀県立博物館報	9
高松塚古墳と帰化人	今井 啓一	史迹と美術	424	沖繩文化財建造物等の復旧事業	全 正夫	仏教芸術	88
高松塚の被葬者は百済王禪広(善光)であらう—統高松塚古墳と帰化人	〃	〃	428	海外「日本古美術」展に随伴して(座談会)	北村・財津 西川・真保	月刊文化財	105
奈良の高句麗古墳と日本古代史学	文 定昌	韓	1—12	古美術の海外流出とその周辺	中垣 壮	求 美	10
高松塚古墳の副葬品と唐代出土品	樋口 隆康	仏教芸術	87	文化財保護審議会専門委員として思い出の二、三	石田幹之助	月刊文化財	100
壁画古墳のもたらしたものの	請田 正幸	歴史学研究	389	文化財と共に「文化国家」に勞した4年	石田 茂作	〃	105
特集裝飾古墳		芸術生活	274		今 日出海	芸術新潮	274
裝飾古墳の圖像様式(遊史疑考12—21)	松本 清張	芸術新潮	265—272 274, 275	陳列室・収蔵庫内温湿度に関して	登石、見城 石川	保存科学	8
明日村村長日記	岸下 利一	中央公論	87—7	陳列室・収蔵庫の室内温湿度及び汚染空気が文化財に及ぼす影響とその防除について	登石 健三	〃	〃
経帯をつけた鳥獸意匠の比較	増田 精一	東洋学術研究	11—3	コンクリート建造物内空気の偏苛性・偏酸性	登石 健三 見城 敏子 石川 陸郎	〃	〃
三十六人集料紙裝飾における対位法的響き合い	江上 綏	国 華	946	室内偏苛空気による乾濕球湿度計の狂い	見城 敏子 登石 健三	〃	〃
光琳文様の展開	北村 哲郎	ミュージアム	260	つくりたてコンクリート室内雰囲気が油絵に及ぼす影響	見城 敏子 登石 健三	〃	9
鶴の美術—松喰鶴を中心に—	香取 忠彦	日本美術	83	ガスクロマトグラフィーによる収蔵庫内外の文化財環境調査	江本 義理 門倉 武夫	〃	8
亀—日本美術に見る瓶花の図	細川 護貞	陶 説	236	汚染空気による生成物の分析	江本 義理	〃	〃
川端康成と古書画趣味	由良 哲次	芸術生活	275	奈良国立博物館内の空中微生物	江本 義数	〃	〃
特集川端康成の座右宝		芸術新潮	270	奈良国立博物館における正倉院展示環境調査	門倉 武夫 江本 義理	〃	〃
骨董百話37—48	小山富士夫	〃	265—276	万国博覧会美術館の展示環境調査	門倉 武夫 江本 義理	〃	9
あんつく骨董買い美學 1—12	安東 次男	〃	265—276	日本万国博覧会美術館内の空中微生物	江本 義数	〃	〃
特集買作考		芸術生活	279, 280	寺院収蔵庫内の空中菌	〃	〃	8
文化財の保存について		考古学雑誌	57—4	黄金塚出土鉄器の保存処理について	樋口 清治 青木 繁夫	〃	9
明治大正時代と現代との古美術品評価の変化—古社寺保存法と文化財保護法との対比を中心に—	吉沢 忠	国 華	949	重要文化財増上寺三解脱門の燻蒸	新井 英夫 森 八郎 原田 豊科	〃	〃
新指定の文化財 国宝・重要文化財	文化庁文化財保護部	月刊文化財	104, 111	神奈川県伊勢原市宝城坊の薬師三尊の防徽	江本 義数	〃	〃
国指定中世史跡の現況	石丸 照	日本歴史	292				
中世史跡保存の諸問題	北村 文治	月刊文化財	106	韓国における文化財の保護	伊藤 延男	仏教芸術	83
歴史地区と地域計画(特集)		建築雑誌	1046	中国古文物観覧記	長島 健	芸術生活	269
文化財集中地区総合調査を終えて—滋賀県湖北地方—	真保 享	月刊文化財	110	西安古文物見学記	宮川 寅雄	三 彩	282
				六朝時代における芸術ジャンルの成立	上田 早苗	書 論	1

定期刊行物所載文献

于闐の鼠	藤枝 晃	日本美術 工芸	400	清盛自殺論—平家 の美学	岡本 太郎		
アフガニスタンにお けるクシャーン朝仏教 美術に関する二、三 の問題	藤田 国雄	東京国立 博物館紀 要	7	装飾へのあくなき 執念	大岡 信		
インドの造形美	町田 甲一	萌 春	206	安宅切料紙下絵の特 殊性—平安世俗山水 画と経絵の一接点—	江上 綏	美術研究	284
タントラアートの世 界	真鍋 俊照	芸術新潮	267	絵巻物入門 11~22	宮 次男	日本美術 工芸	400~411
「花経を担ぐエロス」 の源流と伝播に関す る一考察	青柳 正規	オリエン ト	15—2	藤原信実(日本の巨 匠9)	吉田 友之	〃	410
絵 画				信貴山縁起絵巻様 式論 3~5	下店 静市	史迹と美 術	422,423, 426
絵画鑑賞の論理	野口 栄子	大手前女 子大論集	6	伴大納言絵詞新研究 4	〃	帝塚山大 学紀要	8
銀屏風についての一 考察	鈴木 規夫	史迹と美 史	426	源氏物語絵巻 16~ 27	橋崎 宗重	中 美	201~212
フレスコ画と水墨画 —東西美術の接点—	川原 正二	美術グラ フ	21—2	『紫式部日記絵詞』に ついて	竹内 順一	日本美術	89
にせ画家	脇田秀太郎	国 華	943	天神信仰の表現構造 —北野天神縁起成立 前後—	桜井 好朗	文 学	40—7
密陀絵	川原 正二	美術グラ フ	21—6	拾遺古徳伝の諸問題	宮崎 円遵	龍谷大学 論集	398
日 本				拾遺古徳伝絵巻残欠 —浄土開宗の段—	宮 次男	古 美 術	38
法隆寺金堂壁画の顔 料—装飾古墳との比 較—	山崎 一雄	仏教芸術	87	平治物語絵巻断簡	奥平 英雄	〃	〃
地獄の芸術	香取 忠彦	日本美術	88	永徳元年の一遍上人 絵伝残欠	宮 次男	〃	39
阿弥陀如来像	竹内 尚次	古 美 術	38	一遍上人 絵 伝 残 欠 (金光寺本)	〃	〃	〃
十一面観音像・弁才 天像	白畑 よし	古 美 術	37	「粉河寺縁起」復原 への一考察	清水 義明	仏教芸術	86
千手観音像	〃	〃	36	西行物語絵巻 詞書 公刊	宮 次男	美術研究	281
華嚴五祖の画像	平田 寛	金沢文庫 研究	197	彈誓上人絵詞伝 塔 の峰阿弥陀寺本につ いて	脇坂 淳	三浦古文 化	11
文化庁保管 愛染明 王画像	関口 正之	美術研究	280	「地藏菩薩靈驗記」 について	小西 英子	元興寺仏 教民俗資 料研究所 年報	5
白山権現と白山曼荼 羅	川口 久雄	日本海城 研究所報 告	4	女性肖像画とその時 代	村井 康彦	大和文華	56
立本寺蔵妙法蓮華経 金字宝塔曼荼羅図に ついて	宮 次男	美術研究	282	小袖意匠の展開—女 性肖像画を中心とし て—	伊藤 敏子	〃	〃
金沢文庫本「仏像抄」 の歓喜天図像につ いて—双身像周辺の問題—	真鍋 俊照	三浦古文 化	12	近世初期女性肖像画 に関する一考察	武田 恒夫	〃	〃
本館所蔵図像類につ いて 1,2	阪井 卓	みをつく し	70,71	水墨画の神髄	望月 信成	茶道雑誌	36—2
ボストン美術館東洋 美術名品展の仏画に ついて	浜田 隆	ミュージ アム	254	右愚溪の水墨画	太田 孝彦	美 学	91
旧法隆寺舎利殿障子 商山四皓・文王呂尚 図屏風	村重 寧	〃	256	鉄舟徳斎筆芦雁図	中村 溪男	古 美 術	38
出雲大社並びに神郷 図	山本 信吉	仏教芸術	86	周文に真跡はあるの か(真贋99)	徳永 弘道	芸術新潮	267
平家納経の標紙絵	源 豊宗	月刊文化 財	109	曾我派と朝倉文化	源 豊宗	古 美 術	38
「平家納経」の美	白畑 よし	日本美術 工芸	409	曾我蛇足筆雪景山水 図(日峰賛)	中村 溪男	〃	39
平家納経の美		芸術新潮	275	山茶小禽図	田中 一松	国 華	947
				文殊騎獅像	徳永 弘道	〃	949

素材の摺肘を超えるもの—雪舟系花鳥図屏風研究 3—	中島 純司	ミュージアム	252
浅野家に伝わった雪舟筆山水小巻(名品流転16)	三山 進	芸術新潮	268
雪村(日本の巨匠7)	衛藤 駿	日本美術工芸	408
「御物御画目録」の撰者能阿弥に関する一考察	中村 秀男	東京国立博物館紀要	7
相阿弥(日本の巨匠3)	金沢 弘	日本美術工芸	402
相阿弥筆柳鷺図	源 豊宗	古美術	36
文孫筆達磨・五位鷺・叭々鳥図	中村 溪男	〃	〃
大徳寺の障壁画	土居 次義	茶道雑誌	36—4
近江の障壁画	〃	〃	36—10
近世屏風絵名作展について	鈴木 進	古美術	36
武蔵野図屏風	安達 啓子	国華	953
神戸市立南蛮美術館所蔵長崎図屏風によせて	越中 哲也	長崎市立博物館館報	12
戯童図屏風	梶崎 宗重	国華	942
源平合戦図屏風	〃	〃	947
誓願寺門前町図	〃	〃	943
陽明門の唐油漆絵の発見	関野 克	仏教芸術	84
伯牙彈琴図(旧伊達家本)と大仙院方丈衣鉢障障壁画	竹内 尚次	古美術	39
狩野元俊	大橋 乗保	日本美術工芸	407
新発見の狩野山楽系「南蛮屏風」	高見沢忠雄	古美術	37
尚信の定家像他	高原 杓庵	淡交	26—11
二人の風俗画家—久隅守景と英一蝶—	小林 忠	文学	40—6
長谷川等伯(日本の巨匠6)	土居 次義	日本美術工芸	407
等伯へのあこがれ	内山 雨海	日本美術	91
長谷川等伯 上、中	遠藤 悟空	美術グラフ	21—7,10
長谷川宗圓について	土居 次義	国華	949
海北友松の彩色画	蓮実 重康	仏教芸術	84
海北友雪の厳島真景図屏風(古美術研究ノート2)	土居 次義	アート	20—2
琳派展絵画所感	寺田 透	みづゑ	814
琳派の問題点	村重 寧	芸術新潮	273
琳派の技法について	中村 溪男	ミュージアム	261
新琳派論—俵屋宗達について—	佐々木剛三	古美術	39
俵屋宗達における“おかしみ”の表現	蓮実 重康	仏教芸術	89

宗達の様式	源 豊宗	ミュージアム	259
いわゆる松島図屏風について	松下 隆章	〃	〃
俵屋宗達下絵・本阿弥光悦書鶴図下絵和歌書巻	小林 忠	古美術	39
俵屋宗達筆西行物語絵巻	村重 寧	〃	〃
俵屋宗達筆白鷺図	白畑 よし	〃	〃
薄萩図屏風	中村 溪男	〃	37
喜多川相説と草花図—東博「四季草花図屏風」を中心に—	村重 寧	ミュージアム	259
俵屋宗理について	小林 忠	〃	260
光琳私論	高松 次郎	芸術新潮	273
尾形光琳筆燕子花図屏風	細野 正信	古美術	39
掘り出された光琳の中村内蔵助像(名品流転完)	三山 進	芸術新潮	276
光琳の春宮図・艶麗にして天空闊達	福田 和彦	芸術生活	274
渡辺始興筆吉野山図屏風	小林 忠	国華	951
渡辺家所蔵の始興の二資料	大橋 乗保	日本美術工芸	411
酒井抱一自筆句集『輕拳館句藻』について	北小路 健	ミュージアム	261
酒井抱一筆佐野渡図屏風	水尾比呂志	国華	943
酒井抱一筆秋草図屏風	〃	〃	946
酒井抱一筆梅樹草花図巻	佐々木剛三	古美術	39
其一画の展望	千沢 楨治 山地 章三	ミュージアム	261
「浮世絵類考」論究9～14	北小路 健	萌 春	206, 207, 208, 211, 213, 216
初期風俗画と浮世絵肉筆画の特質	菊地 貞夫	出光美術館報	11
浮世絵再考	瀬木 慎一	みづゑ	806
浮世絵の様式	中野 忠明	浮世絵芸術	32
版画—浮世絵を中心に—	香取 忠彦	日本美術	91
相撲の史料と版画	和歌森太郎	月刊文化財	100
海外の浮世絵とボストン美術館	梶崎 宗重	ミュージアム	254
日本浮世絵協会創立十周年記念の行事を終えて	梶崎 宗重	浮世絵芸術	33
第二回世界浮世絵大会の成功	小林 忠	〃	〃
初期鳥居派の家系についての考察(英文)	ハワード・A・リンク	〃	34
宮川長春筆琉球座楽図	梶崎 宗重	国華	950

定期刊行物所載文献

宮川長春筆初春風俗 図巻	菊地 貞夫	古 美 術	36	司馬江漢の発言と行 動—京都在住の頃を 窺う新書翰をめぐっ て—	片桐 一男	古 美 術	37
写楽小論	近藤 喜博	月刊文化 財	103	アメリカの司馬江漢	細野 正信	〃	38
写楽と北斎の虚実	瀬木 慎一	浮世絵芸 術	32	文人画の今日の問題 —田能村竹田・小川 芋銭・楠 瓊州をめ ぐって— 1, 2	鈴木 進 佐々木剛三 水谷 慶 田村 祥蔵	三 彩	285, 286
寛政期の歌舞伎と写 楽	山口桂三郎	〃	33	文人画—精神の様 式—	佐々木剛三	〃	286
二つの写楽画新発見	ロジャー・ キース	〃	〃	『芥子園画伝』につい て—その成立と江戸 画壇への影響—	鶴田 武良	美術研究	283
海外で発見された写 楽の三枚	榎本 雄斎	芸術新潮	265	祇園南海筆天台石橋 図	吉沢 忠 国 華	943	
写楽筆細判役者絵	菊地 貞夫	ミュージ アム	250	高陽研究余話	清水 孝之 萌 春	215	
東州斎写楽断想	高橋 温博	三 彩	289	池大雅の創造性—夏 山過雨図	鈴木 進	古 美 術	39
北斎の眼と魔術	辻 惟雄	す ば る	8	終の栖を得た「十便 十宜」(名品流転13)	三山 進	芸術新潮	265
「北斎漫画」におけ る滑稽表現の解釈	狩野 博幸	美 学	88	池大雅筆山水図	吉沢 忠 国 華	949	
北斎の改名とその余 波	安田 剛蔵	浮世絵芸 術	34	池大雅筆赤壁前遊図	〃	〃	951
新発見・北斎の大絵 馬	吉田 漱	芸術新潮	272	池玉瀾筆山水図	〃	〃	949
北斎伝記の再検討 1「北斎図式」より	永田 生慈 高根千意子	北斎研究	1	与謝蕪村筆谿山魚隠 図	鈴木 進	古 美 術	37
馬琴書簡及び日記に みえる北斎・北溪	後藤 清和	〃	1	新発見の竹田「賞心 帖」	細野 正信	季刊芸術	20
北斎筆文 覚 荒 行 図 (「絵本魁」ノ中)	永田 生慈	〃	1	高橋草坪筆竹石図	鈴木 進	古 美 術	38
北斎筆須佐之男命厄 神退治図(大絵額)	〃	〃	2	浦上春琴筆魚菜図	星野 鈴 国 華	953	
北斎の浦賀潜居と真 福寺	由良 哲次	〃	2	十時梅匡筆山水図	脇田秀太郎	〃	〃
北斎相州潜居への疑 問	生田 生慈	〃	〃	中林竹洞筆竹石図	吉沢 忠	〃	948
北斎主要文献目録 上	高根千意子 福田 信夫	〃	〃	中林竹溪筆墨竹図	〃	〃	〃
昇亭北寿の絵馬	仁科 又亮	浮世絵芸 術	34	中林竹溪筆柳陰野馬 図	鈴木 進	古 美 術	36
初代豊国の落款によ る画風の追求	菊地 貞夫	〃	33	貫名海屋筆赤壁両遊 図屏風	星野 鈴 国 華	949	
歌川豊国の介斜絵	浜田 直嗣	〃	〃	近代化への一視点 (行為としての 絵 画 1〜5)	大西 広	美術手帖	352, 353, 355, 357, 359
虚の構造・大蘇芳年	朝倉 俊博	芸術生活	275	渡辺華山筆五郎像	吉沢 忠 国 華	950	
子生山利生山敵討鶴 見郷一付海中出現開 運出世子安子育親世 音略像起一	入谷 清久	三浦古文 化	11	渡辺如山筆藍竹図	〃	〃	〃
奈良絵本と奈良絵巻 1, 2	小野 忠重	萌 春	213, 214	下津井萩野家と椿椿 山	〃	〃	953
「ロザリオ十五玄義 図」についての考察 —浦上天主堂旧蔵本 を中心—	福永 重樹	長崎市立 博物館報	12	谷文晁筆一遍上人絵 伝	宮 次男	古 美 術	36
キリシタンの弾圧を 潜り抜けた泰西王侯 騎馬図(名品流転19)	三山 進	芸術新潮	271	藤本鉄石筆菊花図	脇田秀太郎	国 華	953
石川孟高筆「少女愛 猫図」の原画「ミス・ トリンマー」	坂本 満	美術研究	282	日根対山の人物画に ついて—梁川星巖の 肖像と大國隆正・八 田知紀の戯画—上、 下	冠 豊一 萌 春	208, 209	
				対山と松庵	〃	〃	214
				円山応挙についての 二、三の問題	山川 武 国 華	945	
				大乘寺と円山派作家	河野 元昭	〃	〃
				大乘寺円山派関係文 書	〃	〃	〃
				応挙年譜	〃	〃	〃

円山応挙筆鍾道図	吉沢 忠	国 華	945
円山応挙筆十六羅漢図	佐々木丞平	" "	" "
円山応挙筆郭子儀図	河野 元昭	" "	" "
応挙の絵馬(中尾住吉神社蔵)	橋本 綾子	仏教芸術	86
蘆雪二題 鶴飼図・東山真景図屏風(古美術研究ノート3)	土屋 次義	ア ー ト	20—3
長沢蘆雪筆墨龍図	山川 武	国 華	942
長沢蘆雪筆汝陽逢麴車図	"	" "	" "
長沢蘆雪筆群猿図	"	" "	945
長沢蘆雪筆仁山智水図	"	" "	953
源瑞筆梅水禽図	河野 元昭	" "	945
呉春筆山水図屏風	水尾比呂志	" "	944
呉春筆耕作図	山川 武	" "	945
呉春筆群山露頂図	"	" "	" "
呉春筆溪間雨意図	"	" "	948
呉春筆池辺雪景図	"	" "	" "
森狙仙研究序説	河野 元昭	" "	950
土方頼嶺筆松に孔雀図	星野 鈴	" "	943
岸竹堂考	大橋 乗保	人 文	20
虎屋の森寛斎(古美術研究ノート1)	土居 次義	ア ー ト	20—1
伊藤若冲—その人と芸術—	中村 溪男	日本美術工芸	403
伊藤若冲筆絲瓜群蟲図	小林 忠	国 華	948
晩年期若冲の作品—水墨略画を中心として—	"	" "	944
伊勢の蕭白画—松坂市の遺品を主として—	辻 惟雄	" "	952
播州路の蕭白画	松尾 勝彦	古 美 術	39
禅画と水墨画	古田 紹欽	淡 交	26—11
不審庵初金酒席の仙厓禅画について	淡川 康一	茶道雑誌	36—3
彩色のある中殿御会図	江守 賢治	芸術新潮	269
西鶴筆梅に鶯画賛	野間 光辰	ビブリア	52
綾足『東の道行ぶ』校刊(業餘稿叢10)	石川真弘他	" "	50
経裏に描かれた円空絵画への疑問	加瀬 藤圃	芸術新潮	276
松平文庫越前国絵図(慶長絵図と仮称す)の研究3, 4	笠松 重雄	若越郷土研究	17—2,3
龍安寺方丈前庭之図	田中 正大	建築史研究	38
砲弾下に失われた琉球の名画	鎌倉芳太郎	古 美 術	36
殷元良筆鶴図	真保 享	仏教芸術	88

中国・その他

中国絵画における形態の伝承1—模写の特殊性について—	戸田 禎佑	東洋文化研究所紀要	57
中国絵画に関する国際シンポジウム	鶴田 武良	文 化	35—3
中国絵画意外史 1	古原 宏伸	日本美術工芸	409
中国文人画の行くえ	新藤 武弘	芸術新潮	273
近代中国絵画の背景	鶴田 武良	美をつくし	72
中国画人物語 5 顧愷之 1—3	横川毅一郎	萌 春	213—215
女史箴図巻考	駒井 和愛	東 方 学	43
ロンドンの「女史箴図巻」	高橋 新吉	芸術新潮	268
惠崇と伝称作品上、下	米沢 嘉圃	国 華	942, 943
伝趙令穰筆 秋塘図	"	" "	942
道有印牧溪筆鼻毛の老子	吉村 貞司	古 美 術	37
白衣観音図	戸田 禎佑	国 華	946
新発見の温日観の葡萄図	加瀬 藤圃	芸術新潮	267
顔輝の朱達磨—晦機元熙の賛で柳営御物—	田山 方南	古 美 術	37
戦国武将垂涎の「寒山拾得図」<名品流転21>	三山 進	芸術新潮	273
張路筆 濯足図	米沢 嘉圃	国 華	951
藍英筆 傲呉鎮山閣長廊図	宮崎 英誠	" "	953
中国画人物語 4 王石谷 1, 2	横川毅一郎	萌 春	210, 211
石涛との邂逅—漂泊の系譜1—	加藤 楸邨	日本美術工芸	400
祁多佳の画蹟 上	川上 涇	美術研究	279
沈銓筆 百鹿百鶴図屏風	戸田 禎佑	古 美 術	38
『芥子園画伝』について—その成立と江戸画壇への影響—	鶴田 武良	美術研究	283
老子八十一化図説について—その資料問題を中心として—	窪 徳忠	東洋文化研究所紀要	58
康熙萬寿盛典図考証	小野 勝年	ビブリア	52
韓国の壁画古墳	網干 善教	仏教芸術	89
伝新羅神徳王陵の壁画	中村 春寿	" "	" "
高麗彩色壁画の発見	朴 春錫	考古学ジャーナル	71
慶州四天王寺塔扉の四天王画像と同塔址出土の四天王像緑釉甗	たなか・しげひさ	仏教芸術	84
朝鮮仏画資料拾遺	熊谷 宣夫	" "	83

定期刊行物所載文献

ボストン美術館蔵朝 鮮画について	堀岡 智明	仏教芸術	83
エルミタージュ博物 館蔵ベゼクリク壁画 誓願図について	上野 アキ	美術研究	279

書 蹟

書の鑑賞128~132	綾村 垣園	茶道雑誌	36-2~ 5,10
生きている文字 3 ~14	小野寺啓治	中 美	201~212
書の美しさ	杉村 勇造	淡 交	26-11
草書の成立について	目加田明子	美 学	91
墨跡	立花 大亀	茶道雑誌	36-9
墨跡について	芳賀幸四郎	"	36-2
篆刻の名義	北川 博邦	書 品	226

日 本

古筆の鑑賞 1~12	春名 好重	淡 交	26-1~ 12
古筆鑑賞の歴史 1手鑑というもの 2古筆の断簡 3手 鑑のなりたち 4手 鑑の盛行 5手鑑の 複製 6古筆名葉集 7古筆鑑定 8古筆 の筆者 9歌切と文 切 10古筆と新筆	木下 政雄	日本美術 工芸	400-409
安宅切料紙下絵の特 殊性一平安世俗山水 画と経絵の一接点一	江上 綏	美術研究	284
古筆掛物あれこれ	佐藤 真令	茶道雑誌	36-2
茶人の花押 1~10	横田 信義	日本美術 工芸	400~409
茶人と花押 1~9	十和田湖月	茶道雑誌	36-2,4 ~11

特集木簡

総 説	坪井 清足	考古学ジ ャーナル	64
多賀城跡	岡田 茂弘		
伊場遺跡	川江 秀孝		
平城宮跡	横田 拓実		
藤原宮跡	和田 萃		
上田部遺跡	狩野 久		
金石文の研究とその 課題(考古学講座18)	大場 磐雄	日本歴史	292
越後奥山庄の金石文 雑記	中野 豈任 大沢 淳	史迹と美 術	427
近江の金石文 3~7	景山 春樹 宇野 健一 稲田 和彦	考古学雑 誌	57-3,4 58-1~3
奥院「石工」名集録 一紀伊高野山金石遺 記10一	天岸 正男	史迹と美 術	427
沖縄の梵鐘と金石文	外間 正幸	仏教芸術	88

高野山滅亡の危機を 招いた三十帖冊子 (名品流転14)	三山 進	芸術新潮	226
三十六人集料紙裝飾 における対位法的響 き合い	江上 綏	国 華	946
吉田忠氏蔵古写本 「こわたの時雨」公 刊 上	田村 悦子	美術研究	282
道元について	東 専一郎	墨 美	219
深草極楽寺と道元	本田 義憲	"	"
藤原定家自筆明月記 治承四,五年記執筆 年代考	辻 彦三郎	日本歴史	286
大覚寺の墨宝 国宝後宇多法皇宸翰	竹内 杏邨	嵯 峨	487
一休の一休たるもの	古田 紹欽	出光美術 館館報	12
豊太閤の吉野山花見 の和歌懐紙	古谷 稔	ミュージ アム	258
小西来山短冊百枚貼 屏風	上田 穰	大阪市立 博物館研 究紀要	4
蕪村の自筆句帳 上 ・中・下	尾形 働	文 学	40-6,8, 9
良寛の書をたずねて	中田勇次郎	日本美術 工芸	404
良寛一木村家蔵 3一	原田 勘平	墨 美	218
良寛をめぐる人びと の書一木村家蔵り交 ぜ屏風による一	"	"	220
良寛一木村家蔵 4一	"	"	221
有楽の手紙	増田 孝	茶道雑誌	36-11
光悦(日本の巨匠 2)	吉田 光邦	日本美術 工芸	401
光悦・非光悦	小松 茂美	ミュージ アム	259
俳句短冊一松平家蔵	荻原井泉水 松平 寿郎	墨 美	224

中 国

法書要録注釈 1	杉村 邦彦	書 論	1
書譜における書体の 条件	田村 胞治	宮城教育 大学紀要	6
明末清初の書論	多田 最正	書 論	1
曇倩訳『金剛壇広 大清浄陀羅尼経』一八 世紀安西における未 伝漢訳経典一	上山 大峻	竜谷大学 論集	399
般若心経慧浄疏の敦 煌新出写本一慧浄疏 第十門の発見一	福井 文雅	大正大学 研究紀要	57
鄂君啓節について	船越 昭生	東方学報 (京都)	43
漢の磨崖について	牛丸 好一	書 論	1
漢篆補記	西川 寧	書 品	222
造像記の書と墓誌銘 の書一比丘法生造像 記と元詳墓誌	宇野 雪村	"	224

唐太宗屏風書	伏見 冲敬	書 品	226
もう一人の顔真卿	杉村 邦彦	書 論	1
顔真卿は王羲之をどのように受けとめたか	"	"	"
蘭溪道隆	今枝 愛真	墨 美	226
金沢長老と一山一寧一特に一山の審海画像賛の機縁をめぐって一	高橋 秀栄	金沢文庫研究	198
東厳浄日の墨蹟一虚堂の虎丘十詠諸跋補遺として一	田山 方南	古 美 術	38
文徴明・王寵「北山移文」合璧	伊藤 伸	書 品	227
董其昌とその時代1	藤原 有仁	書 論	1
董其昌の書論	中田勇次郎	大手前女子大論集	6
董文敏公臨天馬賦	前田多美子	墨 美	225
鄭谷口・楊巨源七律		書 品	225
石濤七絶三首		"	"
金冬心雜事	西川 寧	"	"
金冬心臨華山碑軸		"	"
金冬心・齊梁高士伝同釈文	"	"	"
鄧書と私	"	"	222
千墨齋帖	中西 慶爾	"	229

彫 刻

日 本

秘仏開扉	久野 健	古 美 術	39
平安彫刻一戦後の収獲	田辺三郎助	"	36
藤原彫刻の光覚性	中野 忠明	史迹と美術	424
新知見の南北朝時代在銘像	猪川 和子	美術研究	280
十四世紀仏像彫刻の展開と仏師乗円	上原 昭一	仏教芸術	85
東北地方の仏像彫刻概観一平安初期・中期一	亀田 孜	仏教芸術	"
東北地方の二、三の金銅仏	田辺三郎助	"	"
勝常寺と大蔵寺の諸仏	倉田 文作	"	"
成島毘沙門堂の諸仏	佐藤 昭夫	"	"
埼玉在銘彫刻年表	林 宏一	埼玉文化史研究	1
埼玉における一木造りの展開(上)	"	"	"
室生寺金堂と創建当初の安置仏	田中 重治	史迹と美術	421
寂照院の仏像	中野 玄三	国 華	947
東海寺の仏像と梵鐘	中野 忠明	史迹と美術	428
金銅四十八仏幀考4 細部篇 手(B)半跏像	千沢 楨治	ミュージアム	256

平安初期における如来像の展開 中・下	久野 健	美術研究	283, 284
金銅如来形立像	上原 昭一	古 美 術	37
元興寺本尊飛鳥大仏	町田 甲一	国 華	942
法隆寺の草創と二つの本尊について	"	萌 春	210
東大寺大仏開眼会と仏教伝来二百年	吉村 怜	美術史研究	9
東大寺大 仏蓮弁の「吉川宗栄」銘について	松山 鉄夫	南都仏教	28
東大寺大仏の鑄造及び補修に関する技術的研究 5 左手の現状調査報告及び平安末鎌倉期修理について	前田泰次他	東京芸大美術学部紀要	8
鎌倉の大仏	香取 忠彦	日本美術	85
阿弥陀仏の芸術	"	"	86
万寿寺阿弥陀如来像の伝来について	猪川 和子	ミュージアム	258
報恩寺阿弥陀如来像考一東国における蓮慶派の一作例として一	西川杏太郎	三浦古文化	12
仲山寺阿弥陀像	清水 俊明	史迹と美術	421
法隆寺金堂薬師像の擬古作たることを論ず	町田 甲一	国 華	951
薬師寺講堂三尊の制作年代について	佐藤 靖子	仏教芸術	84
新薬師寺本堂の薬師如来像について	久野 健	国 華	948
慈尊院弥勒仏像台座蓮瓣の装飾文様	秋山 光孝	美術研究	283
観世音菩薩	香取 忠彦	日本美術	84
乾漆造日光菩薩半跏像	佐藤 昭夫	ミュージアム	253
国で買上げた十一面観音をめぐって	細見 良	芸術新潮	275
井戸から出現した鉄造菩薩(名品流転18)	三山 進	"	270
五島美術館の愛染明王像	清水 真澄	三浦古文化	12
木造不動明王立像	上原 昭一	古 美 術	36
四天王像と十二神将像の獅噛み関係	たなかしげひさ	史迹と美術	422
仁王像一白砂一	香取 忠彦	日本美術	92
新薬師寺の十二神将像について	久野 健	美術研究	281
新薬師寺招柱羅大将像のX線写真による調査	石川 陸郎	"	"
鞍馬寺毘沙門三尊像について	松島 健	ミュージアム	251
金剛力士像	上原 昭一	古 美 術	39
円応寺の閻魔十王像について	鷲塚 泰光	仏教芸術	89
鉈彫仏像論一鉈彫りの発生に関する試論一	久野 健	仏教芸術	85

定期刊行物所載文献

彫像の彩色法について—木彫像技法研究ノートから—	西川杏太郎	仏教芸術	86	北魏の金銅仏について—メトロポリタン美術館展の一隅—	中村 二柄 嵯 峨	491
運慶の作品にみる木寄せについて	〃	〃	84	新羅仏における唐様式の受容—二つの問題について—	松原 三郎	仏教芸術 83
寺院工房成立以前—仏師集団の移行—	田中 嗣人	元興寺仏教民俗資料研究所年報	5	韓国三国時代の彫刻	黄 寿永	〃 〃
国中連公麻呂（日本の巨匠1）	清水 善三	日本美術工芸	400	慶州南山石仏探訪記	永井 信一	萌 春 209
定朝（日本の巨匠10）	〃	〃	411	迦畢試国出土の仏教彫刻の製作年代について	田辺 勝美	オリエン ト 15—2
仏師院朝と吉仲荘—仏師の荘官職と院派の系図—	清水 真澄	仏教芸術	86	賢者の子裁判—新出土のガンダーラ石彫—	小谷 仲男	大手前女子大学論集 6
名匠善円と後継者たち（日本の巨匠5）	猪川 和子	日本美術工芸	406	バングラデシュの仏たち	村主 恵快	芸術新潮 269
新知見の南北朝時代在銘像	〃	美術研究	280	大理石ヒンドゥー像はヒンドゥー王朝のものか	桑山 正進	東方学報（京都） 43
十四世紀仏像彫刻の展開と仏師乗門	上原 昭一	仏教芸術	85	カシュミール金銅仏立像	杉山 二郎	仏教芸術 86
宮川村の円空仏	小島 梯次	びざん通信	15	建築・庭園・石造美術		
未発表の円空仏紹介—木喰僧の彫刻—	永井 信一	三 彩	17 293	文化財建造物保護の現状と問題点	伊藤 延男	日本歴史 285
下総観福寺懸仏の銘の問題点について	佐藤 和夫	日本歴史	285	家形埴輪にみられる建築形態について	坂田 泉	東北大学建築学報 14
満月寺と臼杵石仏	片平 清美	古 美 術	37	「新編拾遺大工規矩尺集」における木割の方法と寸法体系の構成—木割の建築生産史的考察—その1	渡辺 保志 中山 武	日本建築学会論文報告集 194
佐貫の未完成摩崖仏	近藤 昭一	史迹と美術	429	奈良時代寺院建築における寸法関係について1, 2—和様建築の寸法比例に関する研究	岩橋 保	〃 191, 199
山口県徳地の応永在銘十三仏	内田 伸	〃	426	平安時代寺院建築における寸法関係について, 1, 2	〃	〃 201, 202
佐渡相川町の杉島聖観音磨崖仏	京田 良志	〃	424	宮殿と寺院跡	坪井 清足	仏教芸術 86, 89
八尾市楽音寺の薬師石仏	天岸 正男	〃	421	5 都城遺跡の出土品	〃	〃
周防阿弥陀寺の永和二年銘石仏	内田 伸	〃	429	6 寺院遺跡の出土品	〃	〃
千体地藏	佐々木隆美	嵯山女学園大学研究論集	3	前期難波宮をめぐる諸問題	中尾 芳治	考古学雑誌 58—1
峰岡八幡宮僧形八幡像胎内納入文書について	千々和 到	史学雑誌	81—6	平安内裏における常御殿と上の御殿	角田 文衛	平安博物館研究紀要 2
大將軍神像 大將軍八神社蔵	田中 義恭	仏教芸術	86	平安宮内裏址の調査	大石 良材	〃 3
オランダから漂着したエラスムス像（名品流転15）	三山 進	芸術新潮	267	平安内裏内郭回廊推定地の調査	伊藤玄三他	〃 〃
越前の仮面	杉浦 茂	月刊文化財	101	平安宮豊樂院推定地（聚楽廻中町）の調査	近藤喬一他	〃 〃
東北地方の舞楽面遺品	西川杏太郎	仏教芸術	85	平安京三条西殿跡発掘調査報告	白石太一郎他	〃 〃
八幡竈門神社の仮面について(2)	小野 一郎	大分県立芸術短大研究紀要	9	押小路殿の研究	龍谷 寿治 中谷 雅治	〃 2
中国・その他						
西周時代玉人像の衣服と頭飾	林 巳奈夫	史 林	55—2			

一乗谷朝倉氏遺跡	牛山 喜幸	月刊文化財	109
一乗谷朝倉氏遺跡	河原 純之	古美術	38
東照宮と桂離宮	長倉 肇	大日光	38
日光東照宮と桂離宮	香取 忠彦	日本美術	89
日光東照宮の八角一八角建築の歴史一	李家 正文	大日光	39
元和創建日光東照宮と中井大和守正清	内藤 昌	"	38
久能山東照宮の創建上,下(東照宮建築の系譜・第二部)	大河 直躬	"	38,39
日本の建築一伊勢神宮と出雲大社を中心の一	香取 忠彦	日本美術	87
石清水八幡宮本殿について	土田 充義	日本建築学会論文報告集	201
石清水八幡宮を描いた古絵図について	"	"	202
宮崎八幡宮本殿の建築について	"	"	195
国分僧寺跡・尼寺跡の研究課題	斎藤 忠	日本歴史	288
仏塔の露盤について	小杉 一雄	美術史研究	9
福島市西原廃寺跡考	梅宮 茂	考古学ジャーナル	67
当面する武蔵国分寺跡の保存の問題	坂詰 秀一	"	74
吉崎御坊跡(史跡指定調査)	武藤 正典	若越郷土研究	17—5
阿弥陀堂勝長寿院の建立について	清水 真澄	金沢文庫研究	194
円勝寺跡の発掘調査下		仏教芸術	84
大徳寺の北派南派の塔頭を巡る	佐藤 虎雄	茶道雑誌	36—4
中世南禅寺の茶湯間	藤井 学	"	36—8
大安寺伽藍配置の成立に関する一考察一道慈による防災措置の面から一	服部 匡延	考古学雑誌	58—3
薬師寺金堂の発掘調査と写真測量	黒崎 直	考古学雑誌	57—4
薬師寺東塔擦銘考	宮上 茂隆	建築史研究	38
普明寺堂の法隆寺移建について	太田博太郎	仏教芸術	84
岡寺の享保の伽藍目録について	田村 吉永	日本歴史	285
長谷寺能満院に伝わる尋尊の四方殿舍利殿	河田 貞	"	86
成巽閣の色壁	江本 義理	保存科学	9
萩藩明倫館について1・2—古明倫館、新明倫館(近世教育施設の研究9,10)	高橋 宏之	日本建築学会東海支部研究報告集	10

細川家文書による近世初期江戸屋敷の研究	北野 隆	日本建築学会論文報告集	200
近世陣屋・番所・本陣・旧宅の調査	北村 文治	日本歴史	290
数寄屋普請1〜3	中村 昌生	茶道雑誌	36—4,6,7
有楽の茶室と露路上,下	"	"	36—11,12
如庵犬山に移る	田山 方南	"	36—12
「長四畳古様」と清漣亭	中村 昌生	"	36—1
中井家文書の研究	平井 聖	日本建築学会論文報告集	199
中井大和守正清(日本の巨匠5)	内藤 昌	日本美術工芸	404
藩政時代における宮城県上戸沢町の集落構成と形態	佐藤 巧 阿部 和彦 舩岡 和夫	東北大学建築学報	14
山形の座敷蔵	伊藤ていじ	日本美術工芸	407
北陸の町屋	"	"	408
赤城南麓民家に於ける平面と構造の年次的変遷について1—広間型について—	桑原 稔	日本建築学会論文報告集	196
幽学設計のモデル住宅	伊藤ていじ	日本美術工芸	410
伊豆の蔵座敷一戸田の太田家一	"	"	411
射和の八棟造り	"	"	402
近世初頭京都公家町の研究6公家町の道路について7公家町における屋敷地規模について	内藤 昌 大野 耕嗣	日本建築学会東海支部研究報告集	10
京の町屋見たまま、6〜8	近藤 豊	史迹と美術	421,423,425
三雲家文書について	上田 穰	大阪市博研究紀要	4
八棟造りの民家	伊藤ていじ	日本美術工芸	401
鳥取城下町の町人地における配置上の性格(鳥取城下町の研究—15)	油浅 耕三	日本建築学会東海支部研究報告集	10
今井の八棟造り	伊藤ていじ	日本美術工芸	403
千年家箱木家住宅	"	"	405
幻の千年家	"	"	406
大庄屋の居屋—三木家住宅	"	"	404
琉球の建築	田辺 泰	仏教芸術	88
飛鳥・奈良の瓦	鳥居 治夫	カラーデザイン	18—6
瓦窯跡研究の課題(考古学講座15)	坂詰 秀一	日本歴史	289

定期刊行物所載文献

日本建築における瓦葺技術の一考察—瓦割と瓦寸法—	坂田 泉 高島 成侑	東北大学 建築学報	14	岡山県西南部の古石塔など	川勝政太郎	〃	430
平安時代後期の瓦当紋様	中谷 雅浩	平安博物 館研究紀要	2	関山神社の仏足石	森 貞雄	〃	427
埼玉古瓦図録1・2	宇野信四郎	埼玉文化 史研究	1	大阪近郊の石製狛犬の研究 2	木村 茂	大阪教育 大紀要	20
平瓦桶巻作り (付ホムメル「中国の造瓦技術」)	佐原 真	考古学雑 誌	58—2	石灯籠窓その他の日象月象	瓦釜雷鳴子	史迹と美 術	429
庭園とその遺跡の保存の現状	吉川 需	日本歴史	286	虚構の石灯籠「キリシタン灯籠」	京田 良志	茶道雑誌	36—5
露地の見方	中根 金作	茶道雑誌	36—3	大山市内明寺永和三年在銘石灯籠	横山 住雄	史迹と美 術	425
露地の構成と鑑賞	〃	〃	36—6	露地の石灯籠と手水鉢	京田 良志	茶道雑誌	36—6
有楽の茶室と露地上、下	中村 昌生	〃	36—11, 12	手水鉢通説 14, 15	川勝政太郎	〃	36—2, 7
近江路の庭	〃	〃	36—10	手水鉢考	土井 実	日本美術 工芸	401
滋賀の蓬萊庭園—大池寺	松本富太郎	日本美術	82	和船の変遷	石井 謙治	月刊文化 財	111
大徳寺山内の庭園	中根 金作	茶道雑誌	36—4	中国 その他			
星と庭—竜安寺石庭とカシオペア星座・紫雲寺庭園と北斗七星	野崎 操一	古美術	39	中国における拱式架構の出現	長谷川誠一	考古学雑 誌	57—4
小太郎は作者でありえない	伊藤ていじ	日本美術 工芸	400	漢長安城の建設プラン—阡陌・懸郷制度との関係を中心として—	古賀 登	東洋史研 究	31—2
足利義政と山水河原者	中根 金作	茶道雑誌	36—1	韓国の石造建築物	圭 正夫	月刊文化 財	108
小堀遠州(日本の巨匠 8)	伊藤ていじ	日本美術 工芸	409	韓国の寺院遺跡について	金 正基	仏教芸術	83
紀伊の石造遺物(南海道)	巽 三郎	史迹と美 術	249	韓国の仏教建築特に石塔形式の展開について	杉山 信三	〃	〃
笏谷石文化について	川勝政太郎	〃	421	仏陀の葬儀と舍利及び塔供養 (Sarira, Thūpa-pūjā)	杉本 卓洲	仏教研究	2
板碑源流考1・2	千々和 実	日本歴史	285, 284	エローラの石窟寺院I	佐藤宗太郎	三 彩	296
板碑研究の課題(考古学講座 17)	〃	〃	291	廃都アンコール紀行	松原 豫	〃	295
板碑に見る中世仏像表現	〃	仏教芸術	89	アンコール・ワットにのこされた森本一房の墨書について	清水 潤三	史 学	44—3
武蔵北部の弘長・建治板碑二基	佐野知三郎	史迹と美 術	428	中部ジャワの仏教・ヒンズー教建築とその環境の構成に関する方法論的研究	野口 英雄	明石工業 高等専門 学校研究 紀要	12
経ヶ塚山の石幢	清水 俊明	〃	425	バーミヤンの石窟寺院と石窟の空間形態に関する考察	小寺 武久	建築史研 究	38
箱根宝篋印塔と大工前大和権守大蔵康氏一称名寺三重塔建立との関連において—	前田 元重	金沢文庫 研究紀要	9	工 芸			
統早期宝篋印塔考—常陸宝篋山塔と近江錦織寺塔—	田岡 香逸	史迹と美 術	422	銘のはなし1~12	小田 栄作	淡 交	26—1 ~ 12
近江石塔の新資料3~6	佐野知三郎	〃	421, 423, 425, 426	初期茶の湯と花入	磯野風船子	陶 説	236
西塔院青竜寺の石塔群—叡山考古—	服部 清道	〃	425	山上宗二記にみえる花入	岡田 宗穀	〃	〃
奥院石塔を中心とする高野山信仰の諸問題(1)	日野西真定	密教文化	100	初期茶の湯の香合1、2	磯野風船子	〃	230, 231
紀伊葉勝寺の一石式笠塔婆	瓦釜雷鳴子	史迹と美 術	421	香合に関するノート上、下	岡田 宗穀	〃	230, 231
生駒市山崎共同墓地の新資料 文永十年笠塔婆その他について	大阪石造遺 品研究会 杉田忠敬他	〃	424	茶道の香合	小田 栄作	〃	230
				香合の季節	邑木 千以	〃	〃
				印籠と根付	阪井 卓	美をつく し	73

陶 磁 工

やきものの科学的年代決定について
—フィッシュン
ラック法—

かいらぎ

茶道興隆期の名陶展

名鉢展從覽 下

茶碗の見どころ

茶入の名器と由緒

香合考

香合小見

香合随筆

兵庫県陶芸館焼物香合名品展

同心草 13李白酒詩
染付片の再会 14古
曾部の里、15坤寧殿
茶碗 16仁清唐津
17丹治豊山 18古染
付掛花入 19朝日ふ
た置 20トルコ染付
火炉 21仁清掛花
入 22李朝磁製日時
計 23蜂竜盃と可盃

日 本

アメリカでの「日本
名陶百選展」

「日本名陶百選展」
の開会式に出席して

和物花いけ管見

京・奈の名香合譜

私の香合

続々古窯巡礼 14美
濃と万古 15湖東焼
16木之庄焼発掘 17
一勝地・因久山・牛
戸 18布志名と袖師
窯 19丹波路 20志
戸呂焼と賤機焼

蝦夷窯業史考—その
成立と背景

津軽持子沢窯跡の調
査

似水と道三、道入の
はなし

古常滑三筋壺考

一乗谷遺蹟出土の陶
磁片

古九谷のふるさと

やきもの教室古九谷
を聴講して

石山県小松市波佐谷
出土の古陶磁

伊賀・信楽・膳所

古賀 孝 陶 説 232

岡田 喜一 " 234

沢田 由治 " 226

十和田湖月 茶道雑誌 36—1

満岡 忠成 " 36—3

小田 栄作 陶 説 236

直木友次良 " 230

杉浦 澄子 " "

井上 昇三 " "

満岡 忠成 " "

" 日本美術
工芸 401—411

林屋 晴三 芸術新潮 276

野田 愛子 月刊文化
財 110

満岡 忠成 陶 説 236

保田 憲司 " "

黒田 領治 " "

村上 正名 " 226—229
231, 232
234

益井 邦夫 国学院雑
誌 73—9

坂詰 秀一 考古学ジ
ャーナル 75

小野 正人 陶 説 234

沢田 由治 " 236

満岡 忠成 古 美 術 38

山下 朔郎 陶 説 229

今泉 元佑 " 227

長谷部楽爾 ミュージ
アム 255

満岡 忠成 茶道雑誌 36—9

伊賀耳付水指 林屋 晴三 古 美 術 37

鷹が峰茶陶寸感 1, 2 満岡 忠成 茶道雑誌 36—1, 2

光悦・乾山の陶芸 林屋 晴三 ミュージ
アム 260

尾形乾山作銕絵染付
絵替り向付 満岡 忠成 古 美 術 39

野々村仁清作色絵鶴
絵茶壺 林屋 晴三 " "

楽の美 1—12 浜本 宗俊 淡 交 26—1—
12

白丹波を見直す 青木 重雄 日本美術
工芸 411

古陶みちしるべ 11
備前茶碗 12備前香
合 13備前建水 14
備前水滴 15備前陶
硯 16絵備前 17備
前人形徳利 18備前
種壺・種浸壺・櫃壺
19, 20備前焼の鑑定
桂 又三郎 陶 説 226—232
234, 235,
237

姫谷 野村 泰三 " 227

土佐の春秋—やきも
のと茶会— 丸山 和雄 " 226—229

尾戸窯史の余話 " " 234

尾戸の花入と古記録 " " 236

唐津焼の研究—中里
喜平次旧記 中里太郎右 日本美術
工芸 410, 411

唐津焼と韓国 J・ベッカー 韓 1—1, 7

文禄の世・檜山城 小野 正人 陶 説 228

カンピュースの瓶 井垣 春雄 萌 春 209

再燃する古伊万里へ
の愛—「真贋」の真を
さぐる— 野村 泰三 日本美術
工芸 400

古伊万里赤絵福良雀
の香合 " 陶 説 230

染付鍋島藩窯絵図大
皿 佐賀県立
博物館報 9

古薩摩 満岡 忠成 茶道雑誌 36—5

沖繩の陶芸史 山里 永吉 仏教芸術 88

琉球陶器の分類学的
考察 多和田真淳 考古学ジ
ャーナル 67

私と南蛮焼 中山 伊作 淡 交 26—12

中国・その他

中国陶磁の手びき 13 佐藤 雅彦 茶道雑誌 36—1

私の手控帖 1, 2 大
安寺出土の唐三彩
4 維摩の脇息 5 唐
定窯のおろし皿 6
7 洪州窯について 藤岡 了一 日本美術
工芸 400—411

8 長沙の三彩 9 宇
治木幡出土の青磁水
注 10 秦始皇帝の俑
12 殷周の施釉陶

故宮博物院宋元瓷器
特別展について 1, 2 荒井 幸雄 陶 説 227, 228

宋磁私見 禪野 佐博 " 232

木葉天目平茶碗 小山富士夫 古 美 術 38

定期刊行物所載文献

関白秀次の所持していた油滴天目茶碗(名品流転17)	三山 進	芸術新潮	269	長野県松本市宮渕出土長保3年在銘鰐口と蝶形臂	中野 政樹	ミュージアム	255
細川藩の飢饉を救った安国寺茶入(名品流転23)	"	"	275	大寧寺現蔵古鐘の銘文	熊谷幸次郎	歴史地理	92-2
青白磁渦文瓶	長谷部楽爾	古美術	36	東海寺の仏像と梵鐘	中野 忠明 中村 進	史迹と美術	428
元磁にみられる靈芝文について 上、下	藪山 庫彦	陶 説	226, 227	梵鐘雜記	坪井 良平	"	429
元末明初の青花磁器	矢部 良明	"	237	日光東照宮の朝鮮鐘	李家 正文	大 日 光	38
元青花牡丹唐草文獸耳壺をみる	藪山 康彦	"	"	朝鮮鐘の新資料補遺8	坪井 良平	朝鮮学報	64
元染付辰砂菊文壺	鮎藻 彦助	"	232	由緒鋳物師人名録	村内 政雄	東京国立博物館紀要	7
青花牡丹唐草文瓶	長谷部楽爾	古美術	37	真継文書にみえる平安末一南北朝の文書について	細野 善彦	名大文学部研究論集	56
韓国古窯址の旅	香本不苦治	陶 説	228, 234, 235	備後三原の鋳物師補遺	片山 清	史迹と美術	423
高麗茶碗	直木友次良	"	229	釜の鑑賞 1~12	蔵田 蔵	淡 交	26-1~12
高麗茶碗の値打	小田 栄一	"	"	武田家の滅亡を見守った小桜韋威鎧(名品流転22)	三山 進	芸術新潮	274
高麗茶碗随想	伊東 祐淳	"	"	「永久午」の花押のある明珍信家一六十二間小星鉢の発見一	長谷川 武	刀剣美術	182
高麗茶碗展	井上 昇三	"	"	南部根尾正信花押の百二十間筋兜について	"	"	190
仮説井戸茶碗の由来	中川 竹治	日本美術工芸	411	新説の義通系を認めることは合理的である	"	"	186
ニッの宗及井戸	磯野風船子	陶 説	229	小柄小刀私考	小笠原信夫	ミュージアム	250
ヨーロッパ柿右衛門一東西文化の掛橋としての陶器	松見 守直	"	235	画題事典 83~94	沼田 鎌次	刀剣美術	180~191
ペルベデーレの皿	"	"	232	古伝書釈文一中村観齋秘伝書(続)	本間 薫山	"	180, 181 184~187 189, 191
金 工				後藤家の研究 2-7	福士 繁雄	"	180, 183 185, 188 190, 191
南部地方の鉄産業の展開	佐藤 匡宏	刀剣美術	184	幕末の名刀工「源清麿」の江戸より長門国萩城下に至る一考察 1, 2	岩井 茂	"	185, 186
殷周の青銅器と神々	伊藤 道治	日本美術工芸	408	四天王寺蔵七星剣・丙子椒林剣の伝来について	出口 常順	"	185
漢式鏡研究と課題(考古学講座11)	駒井 和愛	日本歴史	285	平泉中尊寺の刀と刀装 1, 2	辻本 直男	"	181, 182
島根県加茂町神原神社古墳出土の景初三年陳是作重例式神獸鏡	蓮岡 法璋	考古学雑誌	58-3	神宮の神宝の太刀	"	"	189
破鏡の同範関係資料一三角縁神獸鏡と三角縁竜虎鏡	西田 守夫	ミュージアム	253	春日神社の奉納刀について	鈴木 卓夫	"	"
羽状地四山文鏡	中野	美をつくし	72	日枝神社の刀剣 1, 2	加島 進	ミュージアム	254, 257
弥生時代小形仿製鏡について	高倉 洋彰	考古学雑誌	58-3	再び、春明門下の明義は東竜斎清寿の前銘であろうか	米山 高道	刀剣美術	187
奈良時代における出土・伝世唐式鏡の基礎資料および同範鏡の分布とその鑄造技術	中野 政樹	東京国立博物館紀要	8	水戸金工一柳派は七代である	長谷川 武	"	188
武寧王陵出土鏡と七子鏡	樋口 隆康	史 林	55-4				
長安の銀盤(私の手控え帖3)	藤岡 了一	日本美術工芸	402				
求菩提山出土の新発見銅製経筒	重松 敏美	考古学ジャーナル	75				

「於武砦安広造」刀の研究	松本 正利	刀剣美術	182
安房国義真について	深江 泰正	"	186
相州住伊勢大塚源綱広について	間宮 光治	"	190
「利久」銘の山野勘十郎金象嵌一附越中国重清の作刀について	小笠原信夫	"	180
「伊勢の刀工」補造	矢ヶ瀬清一	"	186
在銘「鎌倉鐔」についての一考察	大沢政之介	"	187
横山加賀介藤原祐永以前の長船假治受領について	三浦 正雄	"	188
秩父武士と備前景光作三口についての考証	岩井 茂	"	183
青江工の居住銘と本拠地の考察1,2	河合 章	"	183,184
馬来は備後の馬乗か	天野 美実	"	185
防州岩国藩刀工岩本青竜軒盛俊の研究1~3	井野 博允	"	181~183
伯州広賀新考1~4	乾 敏彦	"	187~190
阿波正阿弥について	高橋たけし	"	184
息浜(沖浜)銀治の考証	池辺 善盛	"	"
肥前刀のあとがき一正広について	片岡 銀作	"	186
月脇山正行・垣元正久について	荒木 喜義	"	191
井上真改の研究4.5	中島新一郎	"	180,191
三余不空18~29	若山 泡沫	"	180~191

スキタイ式轡の系譜	山本 忠尚	史 林	55-5
バビロン銅製聖樹靈獣文丸壺	石黒孝次郎	古 美術	39
パルティア王冠考	杉山 二郎	オリエン ト	15-2

漆 工

古代蒔絵粉の研究一奈良時代沃懸地の新資料を含めて一	中里 寿克	保存科学	9
批評と伝統	松田 権六	月刊文化財	110
伝光琳菱螺鈿蒔絵硯箱	郷家 忠臣	古 美術	38
南蛮漆芸資料の二三について1,2	荒川 浩和	ミュージ アム	250,251
琉球漆器	岡田 譲	仏教芸術	88
謎の竜爪	豊田 瓊庵	陶 説	234

染 織

法隆寺狩猟門文錦に於ける「山」および「吉」字銘に関する一考察	相馬 隆	考古学雑誌	57-3
有職裂におけるパターンのデザイン的一考察	佐藤 武郎	大分県立 芸術短大 研究紀要	9

家康所用辻ヶ花染衣服について	伊藤 敏子	大和文華	55
家康公の辻ヶ花染衣服(続編5)	徳川 義宣	大 日 光	38
尾張・水戸兩徳川家襲蔵辻ヶ花染衣服の伝来について	"	大和文華	55
小袖意匠の展開一女性肖像画を中心にして	伊藤 敏子	"	56
桃山・江戸前・中期の産衣13領について	神谷 栄子	美術研究	280
近世辞書類に採録された織物関係語彙に関する研究一「節用集」類を中心として	永野 順子	和洋女子 大大学紀 要	16
近世以降における農民服飾の研究一染色に関する一考察一	鷹司 綸子	"	"
琉球紅型	鎌食芳太郎	仏教芸術	88

ガラス工・竹・紙・その他

古代ガラスの怪(真贋97)	由水 常雄	芸術新潮	265
正倉院ガラス容器の入倉年代	"	美 術 史	84
安閑陵の眠りを破った切子ガラス器(名品流転20)	三山 進	芸術新潮	272
朝鮮古代ガラスの系譜	由水 常雄	東洋学術 研究	57
デーラマン地方出土のコア・グラス	深井 晋司	東洋文化 研究所紀 要	56

木竹工芸と茶道具	木内 武男	淡 交	26-7
龍花入の名品を見た	池田 瓢阿	陶 説	236

紙の定義の条件と紙の三絶	山田 誠一	百 万 塔	33
正倉院の紙	町田 誠之	"	"
紙の博物館所蔵資料紹介 番付	青木千代磨	"	"
和紙と遊ぶ一千年紙姉様・折紙のこと一	佐久間八重	"	"

雅楽用具の製作と修理	押田 良久	月刊文化財	108
------------	-------	-------	-----

考古学関係

埋蔵文化財の破壊者たち	荻 喬	芸術生活	272
<1971年の考古学会の動向>総論	江坂 輝弥	考古学ジ ャーナル	68
ソ連考古学者から見た日本考古学	I.G. ショウ ユブリヤス	"	76
子(考古随想)	大場 磐雄	"	64
舍利容器	香取 忠彦	日本美術	90

日本最古の土偶に就て	吉田 格	立正史学	36	間口洞窟遺跡出土の貝刃一弥生時代における貝刃の存在例について一	神沢 勇一 川口徳治朗	神奈川県立博物館研究報告	5
縄文土偶・岩偶偽物考(真贋102)	江坂 輝弥	芸術新潮	270	北伊豆発見の円形周溝	小野 真一	考古学ジャーナル	75
縄文時代草創期初頭の狩猟活動一有舌尖頭器の終焉と石鏃の出現をめぐって一	鈴木道之助	考古学ジャーナル	76	長野市篠ノ井光林寺裏山出土遺物の研究	本村 豪章	ミュージアム	254
縄文土器の製作について一小林達雄氏に対する書簡一	新井 司郎	〃	66	群集墳の形成とその被葬者について	佐田 茂	考古学雑誌	58-2
成形方法を示す早期縄文土器の一例	及川 洵	考古学雑誌	57-3	古墳解明の鍵	末永 雅雄	考古学ジャーナル	66
神宮式土器の再検討一特にその施文原体を中心として一	片岡 肇	考古学ジャーナル	72	古墳の立面設計とその技術的背景 1	櫛 国男	〃	70
底部にえぐり込み溝を有する土器とその類例	芝崎 孝	考古学雑誌	58-1	特集関東古墳			
東北地方における晩期縄文時代の注口土器について	藤村 東男	史学	44-2	1 上毛野国陸行	松本 清張	芸術新潮	276
長野県白馬村細野遺跡出土の焼成前の土器	藤田富士夫	考古学ジャーナル	73	2 関東古墳の実像を求めて四十年	尾崎喜左雄	〃	〃
千葉県松戸市中峠遺跡出土の中期縄文土器	高橋 良治	考古学雑誌	58-1	関東地方の初期横穴式石室古墳	原田 道雄	駿台史学	30
松戸市幸田貝塚出土の片口付土器	関根 孝夫	〃	57-3	特別史跡山ノ上古墳の修理	梅沢 重昭	月刊文化財	107
富山県直坂遺跡の調査	橋本 正	考古学ジャーナル	76	小金井市発見の地下式横穴	前原横穴調査団	考古学ジャーナル	67
熊本県成竹出土の蛇頭型土製品	隈 昭志	考古学雑誌	57-4	豊橋市吉祥古墳群の発掘調査	小野 真一	〃	72
佐賀県西有田町坂の下縄文遺跡	木下 之治	月刊文化財	102	黄金塚古墳出土鉄器の保存処置について	樋口 清治 青木 繁夫	保存科学	9
実験よりみた敲石とその用途(1)	木村 剛郎	考古学ジャーナル	74	岡山県天狗山古墳出土の遺物	村井 富雄	ミュージアム	250
琴柱形石製品考	亀井 正道	東京国立博物館紀要	8	熊本県山鹿市竜王山古墳調査報告一竪穴式石室墳の一例一	隈 昭志 杉村 彰一	考古学雑誌	57-3
奈良市発見の御物石器について	岡本 東三	考古学雑誌	58-2	福岡県久留米市祇園山古墳の調査	石山 勲	考古学ジャーナル	73
紀伊発見の御物石器	巽 三郎	〃	〃	島根県松江市の場土墳墓	近藤 正己 前島 己基	考古学雑誌	57-4
岡山県真庭郡落合町西原出土の線刻石製品	河本 清	〃	〃	鹿児島県吾平町新発見の地下式土壇	上村 俊雄 酒匂 義明	考古学ジャーナル	67
<1971年の動向> 弥生時代(下)	佐原 真	考古学ジャーナル	74	考古学講座10 埴輪研究の現況と課題	村井 富雄	日本歴史	284
古代製鉄窯の技術的研究	早津 良規	若越郷土研究	17-3	埴輪なる埴輪	谷 信一	〃	288
弥生式巴形銅器の同類型と同規型	中口 裕	考古学ジャーナル	75	梵字を描く墨書土器	郡司 良一	考古学ジャーナル	71
縄文式土器から弥生式土器へ一東海地方西部の場合一(1)	大参 義一	名古屋大学文学部研究論集	56	土師器とその集落研究の現況と課題、上下	玉口 時雄	日本歴史	286, 287
入門講座 弥生土器一九州1一	小田富士雄	考古学ジャーナル	76	東北地方における古代土器生産の展開	工藤 雅樹 桑原 滋郎	考古学雑誌	57-3
				飛鳥・藤原最近出土の遺物	猪熊 兼勝	〃	58-1
				山口市鑄銭司四辻遺跡予察調査概要	小野 忠熙 他三名	〃	57-4
				元明天皇陵碑再補	福山 敏男	史迹と美術	421
				那富山墓の隼人石	〃	美術史	82
				わが国における頭塔土塔等の遺跡の源流	斎藤 忠	大正大学研究紀要	57
				六波羅蜜寺発見の泥塔群	川勝政太郎	史迹と美術	422

考古学講座16 経塚研究の現況と課題	三宅 敏之	日本歴史	290
越中における六十六部納経の資料	京田 良志	史迹と美術	429
愛媛県松溪経塚について	三宅 敏之	ミュージアム	251
密教による地鎮・鎮壇具の埋納について	森 郁夫	仏教芸術	84
無産階級文化大革命中の考古新発見	夏 肅 秋山進午訳	考古学ジャーナル	69
わが国における若干の原始文化の年代についての討論	安 志敏 町田 章訳	" "	" "
放射性炭素測定年代報告1	中国科学院 考古研究所 実験室 町田 章訳	" "	" "
半坡類型の影響	中村 嘉男	考古学雑誌	57—4
新発見漢代墳墓の謎			
月に入った貴夫人	長谷川 修	芸術新潮	273
東園か暴室か黄門か—長沙T字型彩色帛画について	陳 舜臣	" "	" "
まとも発見された漢の大宝庫	杉村 勇造	" "	" "
医学的に見た古墳の主	奥平 英雄	" "	" "
私の手控え帖11 碗墓と壺葬	藤岡 了一	日本美術工芸	410
唐都長安出土の銀銭と同開珎	原田 淑人	月刊文化財	101
大谷探検隊の水滴	池田 厚史	ミュージアム	256
考古学講座19 朝鮮半島の考古学	三上 次男	日本歴史	293
韓国考古学会の近況1, 2	金 延 鶴 小泉 顕夫 江坂 輝弥	考古学ジャーナル	65, 66
韓国で最近発見された重要遺跡・遺物	金 元 竜	" "	72
韓国大谷里発見の青銅器		" "	66
全南和順の青銅遺物発見	金 貞 培 岡内三真訳	" "	" "
韓国大田地方発見の農耕図のある青銅器	岡内 三真	" "	69
広開土王陵碑研究史上の問題点	李 進 熙	考古学雑誌	58—1
百濟古都巡礼	岡崎 敬	仏教芸術	83
古都慶州前, 後	青柳 緑	日本美術工芸	406, 407
千五百年・百濟の神秘	李 丙 燾	韓	1
百濟史上の武寧王	李 基 白	" "	" "
武寧王陵発掘記	金 元 竜	" "	" "
百濟武寧王陵と出土遺物	"	仏教芸術	83

墓誌などにみる「合葬」に関する一考察—武寧王陵の発見に関連して—

慶州古新羅古墳の編年

新羅古墳の編年

耳飾の型式学的研究に基づく韓国古新羅時代古墳の編年に関する一試案

歴史以前の土器—オリエント・メソポタミアを中心に—

樹輪年代による¹⁴C年代の補正—ノーベルシンポジウムを中心に—

安井 良三 大阪市立博物館研究紀要 4

穴沢 咏光 古代学 8—1

金 基 雄 考古学ジャーナル 73

伊藤 秋男 朝鮮学報 64

立田 洋司 古美術 36

浜田 知子 考古学ジャーナル 69

歴史関係その他

1971年の歴史学界—回顧と展望

猿石の周辺2—明日香研究ノートから

仏教公伝の年代と異種の干支紀年法

仏教伝来年代の再検討

逆修信仰の史的研究

千手観音二十八部衆の系譜—諸天鬼神の系譜研究の一環として—

Mahāvastu所伝「仏の三十二相」について

願成就院と北條氏の遺跡

稱名寺の基礎的研究1

河内西琳寺と忍性

勝楽寺と寂楽寺—勝楽寺非寂楽寺説の展開

天和3年堺大安寺再興の諸檀越名簿について

寺院史から見た九代略記考

三宝絵詞の研究(3) —特に平安京を中心とする諸寺の行事について—

興福寺本往生要集(2) 沖繩の仏教

日記のなかの中世と近世 1—11

鎌倉・室町時代の武士の文化

史学雑誌 81—5

小川 光暘 人文学 122

友田吉之助 日本歴史 286

中村 浩 " 289

川勝政太郎 大手前女子大論集 6

山田 明爾 竜谷大学論集 399

高原 信一 仏教研究 2

木下 忠 三浦古文化 11

納富 常夫 金沢文庫研究紀要 9

和島 芳男 大手前女子大論集 6

田中 重雄 史迹と美術 425

泉 澄一 " 430

たなかしげひさ 日本歴史 289

伊藤 真徹 仏教大学研究紀要 56

鈴木 一男 南都仏教 28

藤井 正雄 国際文化 215

筒井 紘一 日本美術工芸 401—411

熊倉 功夫 月刊文化財 110

豊田 武

定期刊行物所載文献

東山文化と禅	芳賀幸四郎	茶道雑誌	36—1	成美出句俳書刊年考	石川 真弘	ビブリア	50
茶の湯と東山文化	中村 直勝	〃	〃	黄表紙と黄表紙趣味	森 銑三	文 学	40—6
桃山文化 1—12	吉村 貞司	淡 交	26—1—12	天理図書館蔵馬琴資料目録	金子 和正	ビブリア	50
東山時代の時衆について	藤井 学	茶道雑誌	36—1	新井白石と南都戒和上相論について	平岡 定海	大手前女子大論集	6
同朋衆のことども	吉田 光邦	〃	〃	裏松固禅とその業績	西井 芳子	平安博物館研究紀	2
町人の茶湯覚え書	原田 伴彦	淡 交	26—6	ギメ著「日本散歩・東京一日光」のこと	小林 宏	大 日 光	38
大徳寺の禅	芳賀幸四郎	茶道雑誌	36—4	朝鮮に関する研究書	中吉 功	仏教芸術	83
大徳寺と千家	数江 教一	〃	〃	唐代の敦煌 上	長沢 和俊	東洋学術研究	11—2
大徳寺山門と千利休居士	立花 大亀	〃	〃	唐時代の貢献制度	曾我部静雄	文 化	36—1
利休時代点描 1—12	永島福太郎	淡 交	26—1—12	成都万 仏寺(浄衆寺)の開基と新羅国僧無相について	大西 修也	美術史研究	9
茶の古典「南方録」の公刊	〃	茶道雑誌	36—5	華北胡族国家の文化政策—特に仏教を中心として	小田 義久	竜谷大学論集	399
宗且の手紙6—17	曾我部陽子 清瀬ふさ子	〃	36—1—12	楼蘭王国史研究序説(下)	長沢 和俊	東洋学術研究	11—1
有楽以後	秋永 政孝	〃	36—12	タルバガンに就いて—古代における黄金鉱脈採掘に関する一考察	相馬 隆	ミュージアム	252
織田三五郎遺言状	谷 晃	〃	〃	革船考	〃	オリエン ト	15—1
茶のすがた考—伝古薩摩茶碗「蛤」1—5	倉沢 行洋	〃	36—7—11				
会記の読み方 1—12	邑木 千以	〃	36—1—12				
新古今集「名所」目録稿	田尻 嘉信	跡見学園 國語科紀要	20				
天理図書館蔵鯉屋伝来品	岡田利兵衛	ビブリア	50				
千代倉来翰抄	大谷 篤蔵	〃	〃				

発行 昭和49年3月25日

日本美術年鑑

昭和48年版

編集者 東京国立文化財研究所美術部
(美術研究所)

発行所 東京国立文化財研究所
東京都台東区上野公園13-27
電話 (823) 2241

印刷所 大蔵省印刷局
東京都港区赤坂葵町2番地
電話 (582) 4411

本年鑑は下記の販売所で1部2,600円で取扱っております。

政府刊行物販売所一覽

政府刊行物のご注文は下記の政府刊行物サービス・センターおよび政府刊行物サービス・ステーション(官報販売所)をご利用下さい。

●政府刊行物サービス・センター（大蔵省印刷局直営）

(名 称)	(所 在 地)	(郵 政 番 号)	(電 話)	(振替 番号)
森 田 手 閘	東京都千代田区霞が関1-2(農林省別館前)	100	東京 京 信 1924-1925	東京 京 信 68492
古 屋 古 屋	東京都千代田区千代田1-3の2(日本国合同合資会事務所)	100	東京 京 信 551-7095	東京 京 信 13819
名 福 礼 仙	1. 名古屋市南区中之島2-5の1(名古屋国合同合資会) 2. 札幌市豊区豊条5-25の11(札幌国合同合資会)	146 060	名古屋 古 屋 1681-1682 名古屋 古 屋 9205-9341	名古屋 古 屋 29773 札幌 古 屋 99037
禮 仙	札幌市中央区三条通1丁目(第1合資会構内)	812	札幌 禮 仙 6201-6204	札幌 禮 仙 99032
禮 仙	札幌市中央区三条通1丁目(第2合資会構内)	060	札幌 禮 仙 7111-7213	札幌 禮 仙 99032
禮 仙	札幌市中央区3-2の22(森田2号2F庁舎内)	780	札幌 禮 仙 8320-8321	札幌 禮 仙 99063

●政府刊行物サービス・ステーション(官報販売所)

(名 稱)	(所 在 地)	(電話番号)	(電 話)	(振替番号)
札幌	札幌市中央区北三条西7丁目1	060	札幌 幌倉 022	0975
仙台	青森市本町2丁目7番15号(今泉書局)	017	仙台 盛岡 019	3611
秋田	盛岡市南大町2丁目11番6号	020	盛岡 仙田 020	2984
山形	秋田市内大町2の2(石川書店)	0980	仙田 仙田 020	6486
福	山形市本町4丁目2の4(人文字堂)	010	仙田 仙田 020	2129
水戸	山形市大町7の20(丸城西药店)	0960	山形 山形 022	2150
都	水戸市中央2丁目の23(川又書店)	310	水戸 戸 026	2047
浦	水戸市京町東町2丁目1番6号(中田書店)	320	水戸 都宮 026	2732-3533
谷	前橋市大町1丁目3の4号(永平堂)	371	前橋 都宮 028	1211
津	前橋市高砂1の7の9(家福書岩田店)	336	前橋 谷 028	4259
神	熊谷市本町1丁目11番9	390	熊谷 熊谷 022	7043
津	熊谷市大島町1番10	390	熊谷 熊谷 022	4947
京	横濱市中区相生4丁の74(横濱日経支店)	231	横濱 横濱 046	2661-3
東	横濱市中区大目1の2(横浜日経支店)	231	横濱 横濱 046	0605
東	東京都千代田区神田錦町1の2	101	東 京 都 03	1601(代)
港	東京都渋谷区神南1の22の2(大盛堂書店内)	150	東 京 都 03	7555
立	東京都豊島区池田西1の17の7(芳林書店内)	171	東 京 都 03	1101(代)
新	立川市栄町3の6の2(中田書店)	171	立 川 022	2213
金	新潟市東大通1の5の2(教育書局)	950	新 潟 085	5297
中	新潟市中央区南2丁目1番6号(中田書店)	930	新 潟 085	1340
指	新潟市大町2丁目1番7号(宇都宮書店)	920	金 沢 011	6136
井	新潟市千代田1丁目1番19号(品川書店)	910	新 潟 085	2211
野	甲府市中央4丁目2の18(藤倉書店)	400	甲 府 055	2201
岐	長野市大門町1番(長野西药店)	380	長 野 026	3185
名	岐阜市南5番地(徳文堂書店)	500	岐 阜 056	9897
古	岐阜市南4丁目1番10号(徳文堂書店通り)	420	岐 阜 056	2661
名	名古屋市中央区栄2丁目6番2号(川瀬洋行)	460	名 古 屋 052	3703-4705
古	名古屋市中央区中村区栄西丁の33	440	名 古 屋 052	7451(代)
豊	名古屋市昭和区40番(中田書店)	520	豊 田 054	6688
大	山崎市中央5番5号(99西药店)	514	豊 田 054	3366
津	大井町中央1丁目5番5号(五車堂)	514	大 井 026	2683
京	京都市中區区河原町六角下町東入	604	京 都 075	4444
大	大阪市西区土佐衛門町6(肥後旅館)	550	大 阪 06	2171-3
阪	大阪市中央区信濃町1の10(天満書店)	530	大 阪 06	3561-2
神	大阪市牛久米区大井橋通5丁目13の9	650	神 戸 044	0037
和	和歌山市牛久米区大井橋通5丁目13の9	650	和 歌 094	8457
歌	和歌山市本町1の7(宮井文化会)	640	和 歌 094	2131
山	鳥取市若松町39(ロゼス文化会館)	680	鳥 取 085	1358
江	松江市東町2番3号(金井書店)	690	松 江 092	7248
松	松江市東町2番3号(山田書店)	700	松 江 092	7020
島	松江市藤町3番55号(文学院附書)	730	松 島 093	2868-2869
徳	山形市中央5-13の9	1	山 形 022	0582
松	徳島市新堀町3の18(小田学館)	770	徳 島 086	2155(代)
高	高松市本町1の9の16	760	高 松 086	6055-6056
松	高松市三番町4丁目6の13	790	高 松 087	7879
高	高知市本町5丁目2の2	780	高 知 085	5866
福	福岡市中央区天神4丁目1番517号(市民会館電話室)	810	福 岡 091	1151
北	北九州市小倉区中央1の1(北九州市役所内)	803	北 九 州 093	4124
九	北九州市小倉区中央1の1(北九州市役所内)	803	北 九 州 093	4124
大	長崎市品川町3番15号	850	長 崎 095	1413
分	熊本市中通町6番23号(長崎書店)	960	熊 本 096	0555
本	大分市上春日町1番522号	870	大 分 097	4308
分	大分市上春日町1番522号(中田書店)	870	大 分 097	4308
高	鹿児島市市川2番7号(西本願寺前)	892	鹿 兒 島 099	1691
宮	那覇市泉	900	那 覇 098	1201